

UFOと宇宙

UFOs & SPACE
月刊・1977・No.28

愛媛県の新島と円盤出現は人類への警告?

驚異の宇宙人撮影事件!

本誌特別取材

11
November

■活躍する世界初の科学的UFO監視システム

UFOを観測する「百眼の巨人」^{アルゴス} レイ・スタンフォード

■UFOに対する世界の眼の移り変わり

UFOギャラップ世論調査 森脇十九男

■南米各地で発生する奇怪なUFO遭遇事件

宇宙人から^{テレパシー}メッセージを受ける科学者たち(完) グレイ・バーカー

■地球外生物からの驚くべきメッセージ

聖書と宇宙人(4) クロード・ボリロン

■マシュー・マニングはスパイか!?

スパイに使われる超能力者 中岡俊哉

■古代マヤの遺跡とムー大陸との関係を現地行で探る

灼熱の密林より永遠に^{ジャングルとわ}(1) 久保田八郎

■この眼で見た現代の怪奇(3)

海溝に消えた太古の首長竜 矢追純一

■〈連載科学記事〉UFO搭乗員と船体とのg差

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(10) レナード・クランブ

アメリカ、カナダで今、爆発的人気!!

バイオフィードバック

《GSR-1で時代を先取りしよう》

GSR-1
ジー エス アール ワン



高級天然木（クルミ）使用
長さ10cm 巾6.2cm 高さ3cm 重さ100g

定価 ¥30,000（送料共）練習用カセットテープ説明書付 1年保証

●受験生、経営者、タレント、
プロスポーツ選手、管理職、
サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR-1バイオフィードバックは何に有効か？

GSR-1は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR-1は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメークアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追いはい、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR-1を使いながら追いはい、ゆったりとリラックスした快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手くなり集中力が養えます。

毎日GSR-1の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打球に集中できるようになります。

3. 深い瞑想に入れます。

GSR-1の練習を積みまると、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることが出来ます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがらなくなります。

GSR-1に習熟すると、いたづらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずで、ゴルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはずで、すぐカーッとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出しているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと言われます。GSR-1で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

リラックスする方法は2,3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3～6ヶ月以上の練習が必要です。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR-1でストレスを追い出すことを覚え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

●使用方法・効果については詳しい説明書とガイド・カセット・テープがついています。

お申込みは、氏名、住所、年令明記捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替（東京・4-8703）でポラックス(株)へお願い致します。現品急送します。

輸入総発売元



ポラックス株式会社 U 係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元



THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA



イングランドの
●アダムスキー型UFO

1974年10月21日、イングランド、ランカシャー州ボーンマウスで、グレッグ・マーチャント氏が夜間に撮影した発光体UFO。典型的なアダムスキー型円盤である。

ADAMSKI-TYPE UFO OVER ENGLAND

Mr. Greg Marchant took this photo of a luminous UFO in Bournemouth, Lancashire, England on the night of October 21, 1974. It shows a typical Adamski-type saucer.

①最初の写真。1人しか写っていない。

The first shot. Only one person is visible.



●愛媛県川之江市の宇宙人!?(詳細は14頁「驚異の宇宙人撮影事件」を参照)

1975年3月24日の夜9時過ぎ、川之江市に住む塩田義一氏(53歳・写真材料店経営)は、同市の大江埋立地で約100m前方の地上2mの空間に浮かび上がった不気味な人影を発見した。そのとき恐怖心は起こらなかったが、ひどい頭痛がおこったという。それまでに氏はたびたびUFOに遭遇しており、そのたびに頭痛が発生していた。

それ以来、氏は非常な関心をおぼえてカメラ3台を携行し、毎夜のように埋立地へかよって、撮影のチャンスをおねらった。7日後の3月31日夜、埋立地へ行った氏は11時頃またも頭痛がはじまって緊張したとたん、約100m前方に青白い放電現象を見た。それが4～5分続いたあと、突如、身長1.7mぐらいの人間の像が空中に出現してゆっくり降下し、地上30cmの空間に浮かんだまま、すべるように氏の方へ前進して来た。このとき氏は夢中でシャッターを切り続けた。

SPACEMEN IN KAWANOE, EHIME-PREFECTURE!?(See the article on P.14 for the detail)

On March 24, 1975, at about 9:00 p.m., Mr. Gichi Shiota (53, owner of a photo processing shop) was at the reclaimed land site in Kawanoe when he chanced upon a weird figure suspended in mid-air. He estimated that the figure was about 100 meters ahead of him and some 2 meters off the ground. Although not frightened, he said he had a bad headache at that moment.

He has spotted UFOs several times and whenever he encountered a UFO, he suffered a severe headache. After this incident, Mr. Shiota, carrying three cameras with him, went to that area almost every night hoping for a chance to take photos of the mysterious figure.

On the night of March 31, at about 11:00 p.m., his body stiffened as he suffered another headache. Then, suddenly, he noticed an electric discharge with a blue-white color about 100 meters away. He stood there watching it for about four or five minutes, and then suddenly there appeared in the air a human-like figure about 1.7 meters tall. The figure descended slowly to 30 centimeters above the ground, and maintaining that level, came gliding in his direction. Mr. Shiota pressed the shutter frantically.

白光とオレンジ色の光につつまれたその人像は氏の前方50 mの位置まで来てから急に右を向いて、ヒザを曲げながら少し早足で10 mほど歩いたあとスーッと消えた。興奮した氏はふと気がついて驚いた。いつのまにか右手に小石を握っていたのだ。「この石はいつかあの宇宙人とおぼしき人物が自分をUFOに乗せるためのパスポートなのかもしれない」と氏は直感的に思ったという。後日、連続写真を現像してまたも氏は驚いた。現場ではだしかに1人しか目撃しなかったのに、2枚目から4枚目までの写真には2人の人像が写っていた！人物の目撃時間は1分間足らずだった。

カメラ=ニコマートEL/レンズ=ニッコール200mm/撮影時は夢中になっていたために絞りとシャッタースピードは不明。

The figure enveloped in white and orange lights moved in his direction approximately 50 meters ahead of him. And at that point, it turned abruptly to the right. Then, bending its knees, it walked 10 meters at a rather quick pace before it vanished.

When he recovered from the wonder of what he had just seen, he was astonished to find that he had grabbed a small stone in his right hand without realizing it. He instinctively thought that this stone might be his passport to gain entry on board a UFO. After developing the photos he had taken successively, Mr. Shiota was much more surprised at seeing them. He was sure that he had seen only one person at the actual spot. The second to the fourth photos clearly indicate the presence of two persons. He said that the sighting lasted no more than one minute.

Camera: Nikomat EL/Lens: Nikkor 200mm/Iris and shutter speed; data are unknown because he was beside himself at the time of taking pictures.

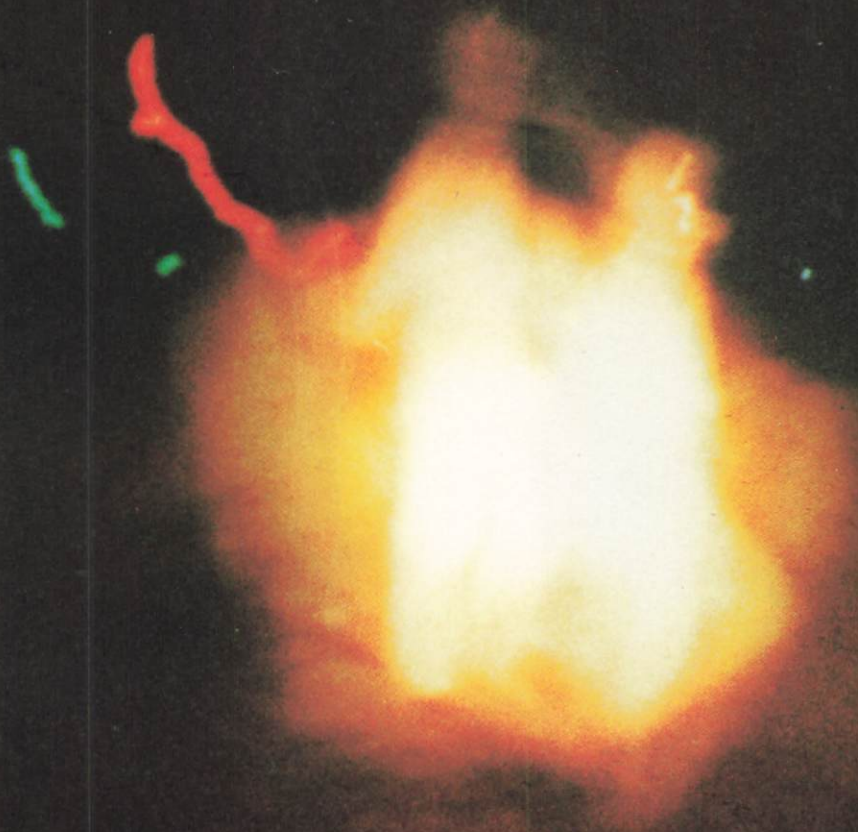


②1人の人物が2人になりかけている。青白い放電現象が見える。

The person appears to be dividing. The blue and white electric discharge is also visible.

③右向きに歩く2人の光る人間。前側の人間は左足を曲げている。

Two luminous persons are walking to the right. The one ahead is bending its left leg.



④消える直前の2人。またも青白い放電現象が写った。

Two persons immediately before disappearing. The discharge appears again.



▲塩田氏が手に握っていた石

The stone that Mr. Shiota was grabbing.



●塩田氏、UFOも連続撮影！

かねてからUFOに非常な関心のあった塩田氏は、川之江市内の城山でUFO発見のための空中観測を日課にしていた。1975年2月3日午後4時頃、突如1機の円盤が四国山脈の方向から市内の通称(ピラミッド山)(正しくは橘丘=たちばなおか)上空を通り、城山を抜けて琴弾山(ことひきやま)の方向へ飛ぶのを目撃した。はじめはゆっくりと飛来し、頭上を過ぎた頃から円盤は猛スピードになり、あっというまに飛び去った。その間に連続5枚の撮影に成功したが、ここには4枚を掲載した。最後の5枚目はかなりボケている。

カメラ=ミノルタ101/標準55mmレンズ付き/絞りとシャッタースピードは不明。

MR. SHIOTA SUCCEEDED IN TAKING FIVE SUCCESSIONAL PHOTOS OF A UFO, TOO.

Mr. Shiota takes an unusual interest in UFOs. So he has spent every day at Shiroyama in Kawano city, trying to find a UFO.

On February 2, 1975, at about 4:00 p.m., he spotted a flying saucer in the sky, traveling from the Shikoku Mountains towards Shiroyama. It passed over "Pyramid Mountain" (popular name of Tachibana-Oka) and Shiroyama, then went towards Kotohiki-Yama. At first, it moved slowly. But when it came directly above him, it speeded up and disappeared in a wink. Before it disappeared, he succeeded in taking five successive photos of it. As the last photo is considerably obscure, four photos are shown here. Camera: Minolta 101/Lens: 55mm/Iris and shutter speed: Unknown.



①中央の円盤の右下に見える丸い白いものはレンズのゴーストイメージ。

The UFO is in the center of the photo. The white spot that can be seen in the lower right of the UFO is a lens ghost.

UFOs in color



②円盤が右方へ移動している。
The disk moving to the right.



◎塩田氏の方へ接近。
The disk approaching Mr. Shiota.



④頭上に大きく接近。中心部の丸い白い点はゴースト。右下の樹木の上の白い影はフィルムについたキズ。

The disk coming closely over his head. The white spot in the center of the photo is a lens ghost. The white shadow over the trees (lower right of the photo) is a blemish on the film.

◀ メキシコ、チアパス州パレンケのジャングル中に残るパレンケの遺跡は、古代マヤ古典期後期の重要な建造物であるが、そここの“碑銘の神殿”の地下の王墓の石棺のふたに見事な浮き彫りが刻まれている。エーリッヒ・フォン・デニケンはこのを「古代の宇宙飛行士か？」と言ったが、果たしてそうだろうか。

(詳細は62頁「灼熱の密林より永遠に」を参照)

◀ ANCIENT ASTRONAUT, OR.....?

The remains of Palenque are considered the most important structures built in the Post Classic Stage of the Ancient Mayan Civilization. "The Temple of the Inscriptions" is situated in this archaeological zone. At the base of this temple is the stone coffin of an ancient king, the lid of which is engraved with a splendid relief. Mr. Erich von Däniken once said: "This relief might represent an ancient astronaut." But, can that really be so? (For a detailed description, see the article "Lost from the Burning Hot Jungle to Eternity" by Hachiro Kubota appearing on P. 62)

● 神蛇ケツアルコアトル(羽毛あるヘビ)の謎

The Mystery of Holy Serpent "Quetzalcoatl".

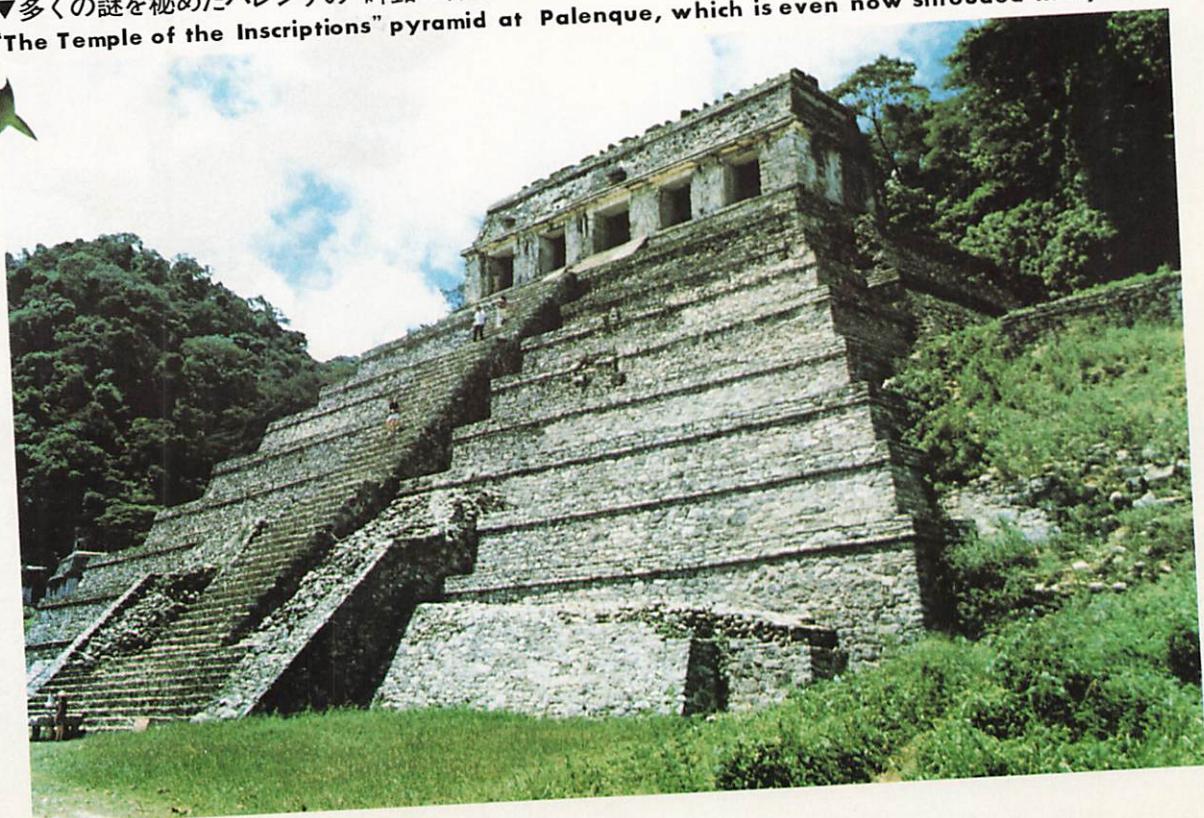
マヤの遺跡にカズ多く残っている羽毛あるヘビを
デニケンが古代の宇宙人と推測したが、このシンボルは遠い昔に沈んだある大陸から伝えられていた！

A visitor to the ancient Mayan remain will find the motif of the feathered serpent (Quetzalcoatl) in every quarter. Mr. Däniken speculated that these feathered serpents symbolize ancient space people. But, in reality, this is the symbol handed down from a certain sunken continent in a far-gone age.



▼ 多くの謎を秘めたパレンケの“碑銘の神殿”ピラミッド。

"The Temple of the Inscriptions" pyramid at Palenque, which is even now shrouded in mystery.



● 古代の宇宙飛行士か——それとも？



本誌を読んで答えてください!

豪華賞品が当たる

UFOと宇宙

クイズ

賞品



金賞

高倍率大型機!

MOP双眼鏡 20×50

(インターナショナル・サイエント
イフィック ¥11,500) 1名

●倍率20倍 対物レンズ有効径50%
射出瞳径50% 明るさ6.3 実視界3
度 1000m先の視界52m 高さ17cm
ハードケース、保証書付 通産省光
学校検査合格品。

銀賞

高感度5石トラン
シーバー(エレック
センター ¥3,450) 2名

●安定した送・受信が可能な完
成品、2台1組。周波数(市民
用周波数帯27.125 MHz
AM変調)受信部(超再生接合
出力60mW)電源(9V006
P)アンテナ(9段93cm)重さ
(1個250g) 通信範囲(1
00~800m) スピーカー
(5、7cm ダイナミック)



銅賞

消えるボールペン
(ボラックス ¥300) 50名
インク消しのついた西ドイツ生ま
れの名品。



応募のきまり

●必ず官製はがきを使用。

●締め切り 昭和52年11月20日。当日
消印有効。

●発表 『UFOと宇宙』新年号(12
月20日発売)誌上。正解者多数の場合
は抽選で決定します。

はがきの書き方

●あて先 郵便番号110
東京都台東区上野5-1-6 ヤマ

トビル

ユニバース出版社

『UFOと宇宙』11月号クイズ係

●裏面には、あなたの住所・氏名・年
齢・職業(学生は学校名/学年)、そ
して①解答 ②本号で良かった記事

③本誌への感想または企画 ④今後ク
イズの賞品として希望する商品名を、
お書きください。

●住所・氏名はハッキリと、そして府
県名、郵便番号も、必ず記入のこと。

●『UFOと宇宙』9月号

読者アンケート当選者発表!

『UFOと宇宙』の月刊化にともな
い、9月号誌上で募集した読者アンケ
ートには、825通の熱心な回答が寄
せられ、厳正な抽選の結果、左記の方
方がめでたく当選されました。

回答をいただいた全応募者のみなさ
まに、深甚なる感謝を捧げます。

☆1等(天体観測用10センチ反射望遠
鏡ニコルスB10110/2名)

平良直也(埼玉県春日部市)

新井正実(東京都品川区)

☆2等(読書スタンド/3名)

中嶋順子(静岡県袋井市) 久保公
男(三重県一志郡) 高田恵美子(埼
玉県深谷市)

☆3等(消えるボールペン/50名)

賞品の発送をもって、発表にかえさ
せていただきます。

UFO^{11月号} と宇宙

月刊

1977/通巻第28号

目次

口絵

イングランドのアダムスキー型UFO.....	1
愛媛県川之江市の宇宙人!?	2
塩田氏、UFOも連続撮影!	6
神蛇ケツアルコアトル(羽毛あるへび)の謎.....	10
古代の宇宙飛行士か——それとも?.....	11
豪華賞品が当たる「UFOと宇宙」クイズ.....	12

■〈本誌特別取材〉愛媛県の謎の“人間”と円盤出現は人類への警告か?

驚異の宇宙人撮影事件! 14

■活躍する世界初の科学的UFO監視システム アルゴス

UFOを観測する「百眼の巨人」 レイ・スタ ンフォード 26

■UFOに対する世界の眼はこの30年にどう変わったか?

UFOギャラップ世論調査 森脇十九男 32

■南米で発生する怪UFO事件と、謎のテレパシー・コンタクト グレイ・パーカー

宇宙人から テレパシー・ メッセージ を受ける科学者たち(完) 40

■地球外生物からのメッセージ

聖書と宇宙人(4) クロード・ボリロン 48

■マッシュ・マニングはスパイか!?

スパイに使われる超能力者 中岡俊哉 56

■〈クボタ・ミステリー・シリーズ2〉古代マヤの遺跡とムー大陸との関係を現地行で探る

灼熱の密林より永遠に(1) ジャングル とわ 久保田八郎 62

■この眼で見た現代の怪奇(3)

海溝に消えた太古の首長竜 矢追純一 74

■連載科学記事

(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤(10) レナード・クランプ 103

ミステリー豆知識	82	科学ニュース	98
エニグマ情報	85	声・OPINIONS	115
UFO目撃レポート	94	蚤の市	120

【表紙写真】昭和50年3月5日、愛媛県川之江市の塩田義一さんが市内の“ピラミッド山”頂上で撮影。

愛媛県の謎の“人間”と円盤出現は人類への警告か?..

昭和50年3月31日、愛媛県川之江市の写真工房経営・塩田義一さん(当時49歳)が自宅付近の埋立地で宇宙人を撮影! この驚くべき事件は、間もなくマスコミに取り上げられ、UFOフ

ァンのあいだで話題を呼んだ。というのも、いままで宇宙人の撮影に成功した例は日本では1つもなく、世界でもわずか6~7件にすぎないからだ。たとえば、1952年7月31日、

コミやUFO研究家たちを騒がせたものばかり。ここにあげた以外のいくつかの事件と同様、宇宙人の存在を信じる者たちに対して有力な証拠を提供した。

つまり、もし今回の愛媛県の事件が、真実の宇宙人撮影ならば、この事件は、UFO研究史上に残る世界的な撮影事件に匹敵するほど重要で、マスコミやUFO研究家たちの注目を浴びるのが

か……。問題の宇宙人の写真を手にしながら、電話で塩田さんにこれらの疑問をぶつけると、すぐに「実は、まだ公表していないことが……」という興味ある回答が返ってきた。しかも、報道機関は断片的な取り上げ方しかしていない、本当はもっと奥が深いのだ、と強調する。そこで編集部では、事件とその奥に隠された新たな事実を知るために直接四国へ飛ぶことにした。

が汚れていた。ホームを降りたとたん、ノドに刺激を感じる。原因は、市内の工場からはき出される煙だった。駅から歩いて10分ほどのところにあるホテルの7階から市内を見渡すと、その様子はつきりわかる。あちこちに伸びた沢山の煙突から白い煙が絶え間なく上空に流れ出ているのだ。

公害とUFO……汚染された街の景

本誌 特別取材

愛媛県川之江市の埋立地に夜ごと出没する謎の発光体。その姿をカメラにとらえようと徹夜で張りこむ塩田さんの目の前に現れたのは、オレンジ色と白光に包まれた浮遊する“人間”であった。「宇宙人に違いない!」。強烈な衝動を感じた塩田さんは独自に調査を進め、ついに新しい事実を発見した……!

■公害とUFOの街

四国・高松駅から急行に乗り、右手に瀬戸内海の島々をながめながら1時間半ばかり。香川県境を通りすぎて愛媛県に入ると、まもなく人口4万の都市・川之江市に到着する。緑の山々に囲まれた川之江市は、期待に反して空気

色をしばらくながめっていると、なぜかそれらの関連性が頭に浮かんで離れない。そして市内に長年住む塩田さんは、この考えを裏付けるかのように公害問題の重要性を説き、この問題こそが今回の事件の謎を解くひとつのカギになっているのだと語る。

では、公害と事件とがどのようなかわり合いを持っているのか。そのあ

イタリヤ・ペルニナ山中でガンビエール・モングッチが円盤と乗員を撮影した事件や、1954年、スコットランド・ロシーマウスの海岸で発生したセドリック・アリンガムの火星人事件、最近では1973年、米アラバマ州で若い警察署長グリーンハウが銀色の服を着た宇宙人を撮影した事件などがあるが、これらはいずれも、当時のマス

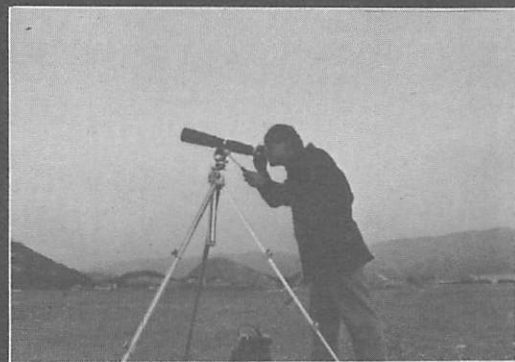
当然なほどに魅力的だということになる。そしてその魅力の背後に潜む新たな事実を探ることで、UFO問題の謎を解くための重要なカギを発見できるかもしれないのだ。

だが、この事件の真相はどうなのか……。各報道機関は正確な情報を伝えているか……。未発表の事実はないのか……。

驚異の宇宙人撮影事件！



▲宇宙人を撮影した塩田義一さん。



▲事件現場付近の埋立地で観測中の塩田さん。

たりを詳しく述べてみたいと思うが、それにはまず、塩田さんとUFOとの

最初の出会いから話を始めなければならぬ。

UFOとの出会い

塩田さんが最初に不思議なものを見たのは、子供の頃であったという。

当時大阪に住んでいた塩田さんは、ある日、屋根の上を猛スピードで飛んで行く光る物体を仲間5、6人とともに目撃した。

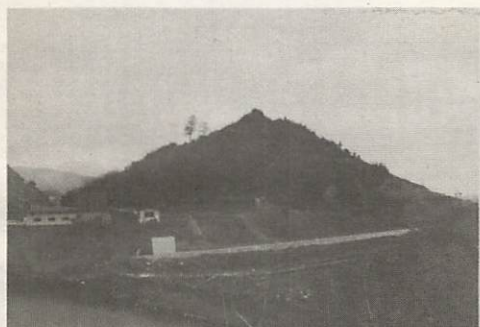
「あれは何だ!? 火の玉や!」

一同は声をそろえて叫んだ。その頃UFOなどというものが知られているはずもなく、子供心にその物体が「火の玉」と映ったのは当然のことであった。

「UFO問題が世に出る前は、光った物が現れたりすると、それは「火の玉」



▲① 塩田さんがUFO観測に使用したカメラ類。



▲② 数々の謎を秘める川之江市の橘丘、通称「ピラミッド山」。

このニュースを目にしたとたん、彼

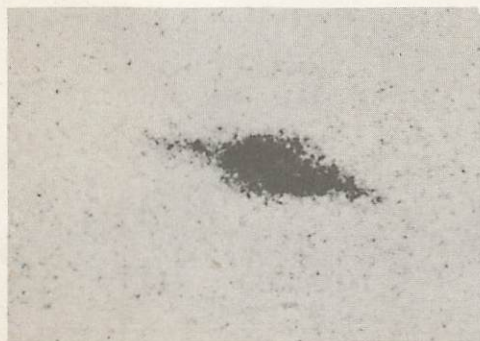


▲③ a 昭和45年8月、「ピラミッド山」に突如1機のUFOが現れる。

「次にUFOを目撃したのは、今から

■だれも信じようとしな

は、子供の頃に見た不思議な光る物体の正体を知った。
「あれはUFOだったんだ! よし、もう1度見てやろう」
それ以来、塩田さんのUFOに対する強いあこがれが始まった。この関心の強さは、昭和25年8月5日付で愛媛の新聞「愛媛ウィクリー」に『空飛ぶ円盤とリーダーズ・ダイジェストについて』と題する論文を発表したことからもうかがえる。そして、この論文の発表前後にUFOらしきものを目撃したことも重なり、塩田さんのUFO熱はますますさかんになってゆくのである。



▲③ b ③ aを拡大すると土星型をしていた。

「もう、あの手この手といろいろなカメラ、たとえばモータードライブのついたやつやレンズの明るいのだとか望遠だとか、を使って毎日のようにUFO

10年ほど前でした」
以前と違い、かなりはつきりとUFOの姿を目撃した塩田さんは、あわてて他の人にその話をした。だが、だれもその話を信じようとはしなかった。
「全然受けつけようとしません。『UFOか、それはよかったなあ』と言うぐらいで……。そこで、よし、それでは何とかしてUFOを写真でキャッチしてやるぞ! と決心したわけです」
当時、愛媛県新居浜市で週刊誌のカメラマンをしていた塩田さんは、その日から常にかメラを手にするようになった。



▲④a “ピラミッド山” 頂上で発見した不思議な “くぼみ”。

〇を狙いました(写真①)」。努力が報われる日が来るのは、そう遠くなかった。3年ほどたった昭和45年8月、自宅近くの橋丘、通称「ピラミッド山」(写真②)で風景写真を撮っている塩田さんの眼前に突如1機のUFOが現れ、それを見事にキャッチしたのだ。(写真③a)。写真を拡大してみると、土星型をしていることがよくわかる(写真③b)。

■ “ピラミッド山” の謎とUFO撮影事件

このことがあってから、塩田さんは



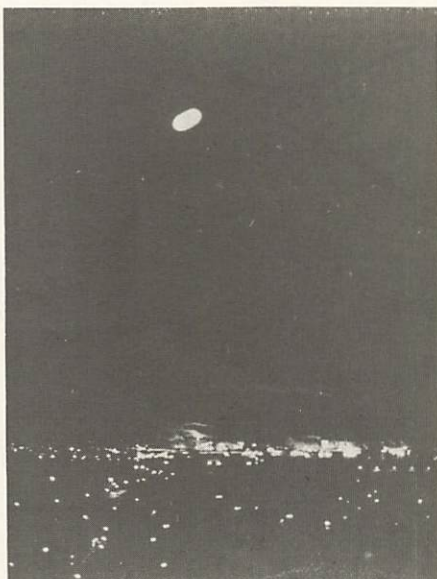
▲④b “くぼみ” の前で記念撮影。よく見ると右上に円形のものが写っている。

「ピラミッド山」に関心を持つようになり、自然と山に足を向けることが多くなった。そんなある日、彼は「ピラミッド山」の頂上で深さ50cm、直径5mぐらいの不思議な「くぼみ」を発見した(写真④a)。

「友人の話によると、この山は、昔からこの地方に言い伝えられているように戦国時代の野武士が立てこもった隠れ城の跡で、“くぼみ”はそのときの井戸の跡。しかし、それにしてはおかしいことがあるのです。たとえば、まわりの土地は水分の不足と砂岩地のため植物が育ちにくいのに、“くぼみ”の中だけは青々としていることや、“くぼみ”の周辺の土質は「ピラミッド山」の他の土と全く違い、黒っぽく変質しているようなことなど。さらに、穴の中がくすぶっているのを見たこともあ



▲④c ④bの拡大写真。◀⑤ 左は昭和50年初め、城山頂上からボラロイドで撮ったUFO。



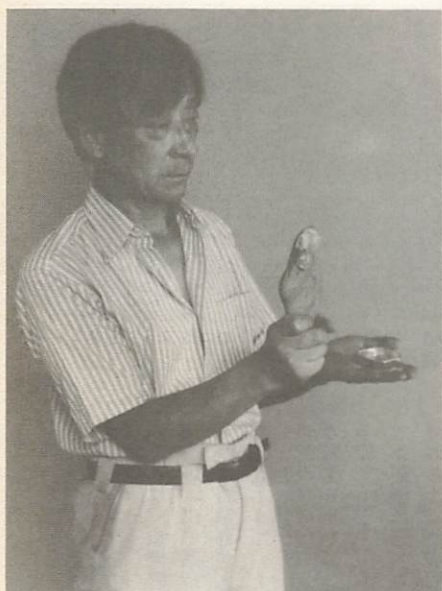
このことがあってからだという。「ピラミッド山」を中心に、毎日のように観測が続けられた。そして次第にUFOを目撃することが多くなり、その回数は、ある時点から急に増え始めていった。そのわけは、目撃を重ねるうちに、UFOの飛行コースと、UFOの「見える場所」がわかってきたからだ。飛行コースとは、石槌山方面から「ピラミッド山」上空を通り、市内にある城山を抜けて東北東の琴弾山へと向かうもので、

「見える場所」は「ピラミッド山」と城山の2カ所、塩田さんが「Uポイント」と呼んでいるところにある。この飛行コースと「ポイント」を知ったおかげで、塩田さんは今までに50回以上ものUFO目撃に成功しているというが、そのことは、この「ポイント」で撮影した見事なUFO写真の数々——昭和50年の初めに城山の頂上から撮影したもの(写真⑤)や、同年2月3日午後4時、同じ城山で撮った連続写真(カラー真参照)、同年3月5日に「ピラミッド山」頂上から撮影したUFO(表紙)などを見ればよくわかる。

ります。私には、これがUFOの発着地点に違いないと思えるのです」

こうした考えは、「くぼみ」の前で撮った記念写真(写真④b)を現像したとき、さらに強まった。右上にうつ

すらと円盤状のものが写っているではないか！(写真④c)塩田さんによると、彼がカメラマンの仕事を放り出し、本格的にUFOを観測しだすのは



▲⑦ 愛媛県松山市付近の亀岡町と高仙山(中央)。◀⑥(左) 宇宙人撮影直後、気がつくくと右手に石を握っていた。

るか、絶対に現れるのだという確信を持って埋立地へ向かった。いつものように3台のカメラを三脚に固定して時を待つ。時計はすでに11時を回っている。あたりにはだれもいない。

突然、頭に激しい痛みが走った。いつもの痛みだ、これは何か起こるぞ！塩田さんは、とっさにカメラをつかむ。痛みがしばらく続き、次第に気分が悪くなってきた……と、そのとき、前方100mのところ放電現象のようなのものが起こった。白や青や赤の光が強くなったり弱くなったりしながら上下・左右に変化している。音は、普通の放電のようにパチパチではなく、キーンという高い振動音、何か非常に高音階の電子音楽のようだ。この状態は、しばらく続いた。

4〜5分もたった頃だろうか、放電現象の中に突如、白とオレンジ色の光に包まれた“人間”の姿をした光体が1つ現れた。宙に浮いた感じのその“人間”は、地上30cmのところまで降下したあと、音もたてず、すべるようにカメラの方に向かって進んで来る。

「私は、このときから夢中でシャッ

ターを押し続けました(カラー写真参照)」

“人間”はさらに近づくと、前方50mぐらいのところまでくると、くるりと向きを変え、向かって右の方へと進み始めた。不思議なことに、今度はヒザを曲げて普通の歩き方をしている。おかしいと思うまもなく、“人間”は早足で10mばかり進んでスーッと消えてしまった。そして、そのとたんに例の電子音もやんだ。“人間”が消えるまで約1分、放電が始まってから約5分間の出来事であった。

「無我夢中でカメラを操作していたため、絞りやシャッタースピードなどの詳しいデータは覚えていません。それほど興奮していたわけですから。そして興奮が少しおさまると、なにげなく下を向いて自分の手を見たときアッと驚きました」

知らぬ間に右手に奇妙な形をした石(カラー写真参照)を握っていたのだ。なぜこんなものを……

「初めは持っていなかったし、拾ったのでもない。何者かが私に渡したのかもしれません。ひょっとすると、これは宇宙人からのメッセージかもしれないと思っています」

塩田さんのイメージは次第にふくらむ。そして実際、この石に関する不思議な出来事も起こっているのだ。



⑧ a b c 高仙山付近の謎の石像群。



▲⑧d 右側の石はサイクロトロンクス・ジェネレーター
の一種か？

■奇妙な石と謎の石像群

石質はそこらの海岸によくある輝石粗面岩の一種だが、形が奇妙。この石には何かある。強い予感のようなものを感じた塩田さんは、今年(昭和52年)の春頃、この石と磁石を持って仲間の1人とともに車に乗りこんだ。

「この石には何か誘導する力があると感じたので、右手に石を、左手に磁石を持ちながら(写真⑥)、国道を西にまっすぐ走らせるようにと仲間に頼みました」

やがて強い衝動が起こり、思わず、「うん、このあたりだ。ここから山の方に入ってくれ」と叫ぶ。

あたりを見ると、ここは愛媛県松山市近くの亀岡町というところであった

(写真⑦)。

「あとで考えてみると、遮光メガネをかけた有名な土偶が出た青森県の亀ヶ岡と地名がよく似ているのですよ」

2人は、亀岡町から高仙山の方へと向かい、山の周辺をめぐるが、途中、奇妙な石像群があるのに気づいた(写真⑧a~d)。

「これは何だろう？ ヘルメットのようなもののかぶっているようにも見える」

不思議に思った塩田さんが町の人に尋ねると、この石は、町の歴史を書くためにいろいろな場所を調査していた亀岡町のある人が、人家の庭先や山の小路などで偶然に見つけたもので、どれもそのいわれを知らぬという。町のある郷土史家などは、これを隠れキリシタンのものだと言明するが、町の人はこの意見に否定的だ。このへんに隠れキリシタンがいたことなど全然ないというのである。

「これらの石は、山路の所要場所に置いてある。隠れキリシタンならば、こんな人目につくようなところに置くはずがありません。私の推理では、石像は何かの目印で、石像が出てきた高仙山やその周辺の亀岡町、大西町、菊岡町には宇宙人か宇宙人の子孫の部落があったのではないかと思うのです。この石(写真⑧dの右側)などは、サイクロトロンクス・ジェネレーターの一つで、何か未知のエネルギーを発信する

装置ではないかと考えています」

この石の謎を解くため、塩田さんは現在、石のエネルギーを計る機械を開発中とのことである。

■光体の目撃者登場

さて、話がだいぶ横へそれてしまったので、このへんで宇宙人撮影事件にもどることにしよう。

先に述べたように、現場にいたのは塩田さん1人であった。写真という証拠はあるが、ほかにこの光景を見た人や、一歩ゆずって同じような光体を見た人はいないのか。1人もいなければ大ボラ吹きだといわれてもしかたがない。そう考えた塩田さんは、事件の信憑性を高めるために翌日からさっそく証人探しを始めることにした。

しかし、そう簡単に目撃者が現れるはずがない。数カ月というものは全くといってよいほど情報がなかった。

「やはり、いないのか……」

塩田さんは、ほとんどあきらめかけていた。

ところが、その年の9月、2人の青年——市内の製紙工場で働くH君(当時25歳)とN君(当時22歳)が彼のもとにやって来て、驚くべきものを取り出したのだ。それは、塩田さんが見たものと同じ燐光を放つ「人間」を描いた2枚のイラストであった。イラストには、埋立地に隣接する墓地の夜景に浮

かぶ「人間」の姿が描かれている……。

H君は、これについて、

「イラストは、今年の8月15日に私とN君が見たままを描いたものです。絶対には宇宙人に違いありません」と断言する。

目撃者は塩田さんだけではなかったのだ。2人の青年の話に塩田さんは感激した。そして彼の喜びは、まもなく入ってきた別の興味ある情報によってさらに増した。それによると、埋立工事を請負っている五洋建設のI氏が似たようなものを目撃している、というのである。驚いた塩田さんは、さっそくI氏を尋ね、次のような証言を得ることに成功した。

「問題の写真に写っているのは埋立工事の潜水夫ではないかという意見がありますが、潜水夫が夜間に仕事をするようなことはありません。それに、潜水夫が必要な工事は、去年で終わっています。事件のことは社内でも有名で、社内報にも載ったぐらいですし、私自身も今までに2、3回この埋立地で不思議な光体を見ているので、信じないわけにはゆかないと思っています」

この証言は塩田さんにとって心強かった。そして、次のようなことがわかったとき、塩田さんの確信はゆるぎないものとなった。

あるテレビ局が埋立地に面する市営住宅の団地で調査をしたところ、この団地に住むほとんどの住人が、不思議

な光体の目撃者だったのである。このことは、傍証を重んじるマスコミを驚かせ、事件の信憑性を高めるのに大きく役立った。

事件に関する詳細は、以上のとおりである。工事が終了して家などが建ち

小型UFO? 墜落事件

だが、これですべてが終わったわけではない。前にも述べたとおり「まだ公表していない出来事」があるのだ。そして塩田さんが調査したいろいろな興味ある話がまだまだ残っている。

▲⑨ 昭和50年7月24日、城山付近に小型UFO? が炎上しながら墜落した。

始めた今日では、もう埋立地に光体は出現しないという。塩田さんは今でも毎日現場へと通っているのだが……。「状況が変わり、もう警告してもムダだと思っただけでなくなったのでしょ

まず、宇宙人撮影事件後に発生した不思議な出来事から述べてみよう。

事件から4カ月ほどたった7月24日の夜、城山の頂上から海をながめている塩田さんの視界の中に、真っ赤に光る物体が入った。物体は上空をゆっくりと横に飛んでいる。

「UFOだ!」

思わず緊張し、無意識にカメラをつかむ……と、驚くことにその物体は急に燃え出し、ボンと飛び上がったかと思うと、みるみる落下し始めたのだ。とっさにシャッターを切る(写真⑨)。物体は城山にある例の「ポイント」付近へと落ちて行った。

「UFOが墜落した!」

翌日の朝早く、塩田さんは物体が落下したと思われる「ポイント」へ急いだ。しかし、そこにはUFOでなく、得体の知れない2つの物体が転がっていた(写真⑩、写真⑪a b)。

「これは何だ!」

正体を探るために家へ持ち帰り、いろいろの人に見せるが、だれもわから

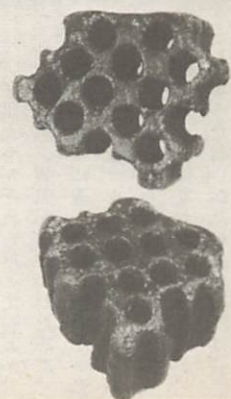
▲⑩⑪a b 墜落現場で見えられた奇妙な物体(下の2つは同じ物体)。



ないという。しかたがなく独自に調査を始めた塩田さんは、やがて不思議なことに気づき、驚いた。

まず写真⑩の物体に磁石を近づけたところ、大きく針が揺れたのである。物体の位置をずらすとまた揺れる。しかも、正常な南北とはまるで方向違いのところでビタリと止まるのだ(写真⑪a b)。なぜこうなるのか、さっぱりわからない。いずれ、どこかの大学に依頼して正式に調査してもらおうつもりだと塩田さんは言う。

次に写真⑪の物体だが、持ってみると軽石のように軽い。しかも、不思議な穴まであいている。おかしいと思いつながらしばらくそれを見つめていたとき、ふとある事件を思い出した。それは、1972年8月、四国の高知市介良で発生した有名な小型円盤捕獲事件、いわゆる「介良事件」といわれるもの



だ。塩田さんは、いそいで資料の中からこの事件に関するものを取り出し、ある写真を見つけた。

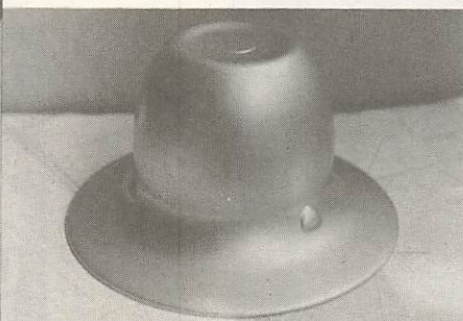
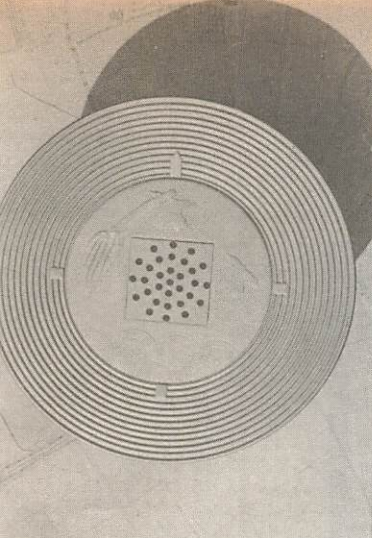
「これだ!」

写真⑬a bは、田んぼの中から小型円盤を拾った少年が、円盤に逃げられたあと、記憶をたどってスケッチを書き、それをもとにしてある人が作製した実物大の模型だが、円盤の底(写真⑬b)を見ると、中心に穴がいくつもあいている。塩田さんは、すぐに自分が拾った物体と比べてみた。

あまりにも似ているではないか! この瞬間から塩田さんは、物体が、何かの事故で炎上し落下した小型UFOの残骸に違いないと確信した。

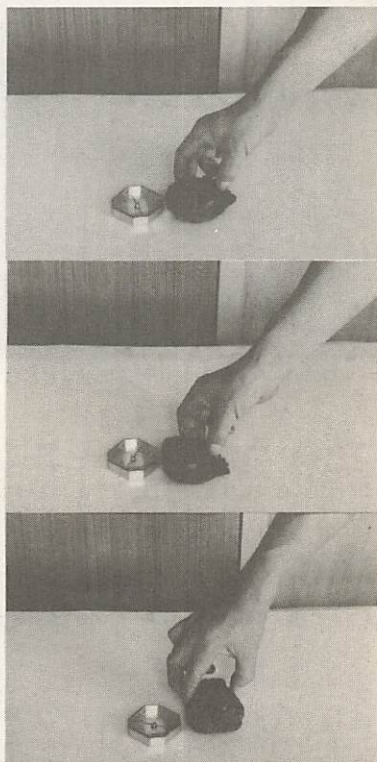
多発する墜落事件

落下といえば、この四国には飛行機が墜落したり、謎の物体が空から降ったりすることがたびたびあるそう。たとえば、昭和48年10月27日、松山市の商業・川田朝市さん方の屋根に正



⑫ a b c

⑩の物体を磁石に近づけると針が大きく揺れる。



▲⑬ a (右) 高知市で発生した「介良事件」の目撃者たちの証言から再現された小型UFOの模型。⑬ b (左)はその裏面。中央に穴があいている。

体不明の金属が落下し、かわら2枚を粉々に砕いた事件(写真⑭)があるが、これなどはほんの一例で、昭和43年には、石槌山頂付近で米軍の対潜しょう戒機P3Aオライオン機が謎の墜落をしている。この墜落に関する詳細は述べないが、事件後ただちに米軍が乗り



▲⑭ 塩田さんが極秘に撮影した自衛隊機墜落現場。

「ほかにこのような例をたくさん知っています。原因についてはいろいろ考えられますが、私はやはりUFOとかわりがあるのではないかと感じます。なぜかという、四国には宇宙人の故郷、あるいはゆかりの土地があったのではないかと思えるような様々な伝説——「星」や隕石にまつわる話がたくさん残っているからです」

香川県の海岸寺という古い寺には、弘法大師の出生とかかりがあるとされる「弘法大師の産湯のたらい」(写真⑮a)が秘蔵されているが、このたらいの中に入っている石(写真⑮b)は調査の結果、隕石だということがわ

四国はUFOの故郷か？

出し、日本人の立ち入りをいっさい禁止したうえで秘密裡に処置を行ったた



▲⑮ 昭和48年10月30日付、愛媛新聞に報道された謎の物体落下事件。

め、現在でも「核兵器を積んでいたのではない」という憶測が流れている。だが塩田さんは「核」を積んでいたかどうかよりも、なぜ落ちたかに疑問を持つ。ひょっとするとUFOと関係があるのではないかと、とまで思っているのである。

昭和50年3月、宇宙人撮影事件が起こる少し前には、発表すれば大スクープになるような貴重な写真を撮影した(写真⑯)。これは、川之江市川滝町の山中で極秘に撮った自衛隊機の墜落事故現場の様子だが、おかしなことに、この事故に関する報道は全くなかったという。

かったという。どことなく「介良事件」の小型UFOに似ているが、それはさておき、瀬戸内海沿岸各地にはほかに同じような話がたくさんある。

愛媛県越智郡大西町の星浦に伝わる話では、大昔この浦に「星」が落ちて来て、子供たちがそれを拾って遊ぶが、その年に悪い病気がはやってために、原因は「星」に違いないと意見が一致し、「星神社」をつくって祭ったという。このときから、この付近が星浦とよばれるようになったのだそうだが、このような言い伝えのある場所は「星」が落ちて来た星岡や、月の中の山が落ちてできた天山(松山市)、「星」を祭



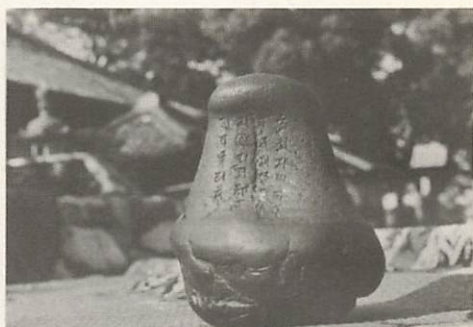
▲⑭ 新居浜市の星原神社にある不思議な石（上部の黒い部分が1年中濡れている）。



▲⑮ 愛媛県新居浜市の清住神社は金星を祭っている。



▲⑯ a 香川県の海岸寺に秘蔵されている「弘法大師の産湯のたらい」。



▲⑯ b たらいの中に入っている石。調査によるとこの石は隕石だという。

「銭形」は UFO の 発着場か
それに香川県観音寺市・琴弾公園の「銭形」（写真⑱）についての話も興味深い。この「銭形」は寛永10年、丸亀藩主の領内巡視のさい、地元の人たちが歓迎の意味で一夜のう

る星原神社や、金星を祭る清住神社（写真⑮）新居浜市）などにも見られる。

ちに作ったものとされているが、塩田さんの推理では、これは実際にはもっと古いもので、昔は同心門が描かれ、ちょうどナスカの地上絵のようであったという。この説の根拠は「銭形」の近くにある琴弾八幡の伝説からヒントを得たものだ。

その伝説とは――大昔、浜に琴を弾くような音をたてながら1隻の船が近づいてきたので、村人たちが驚いて乗組員に正体を尋ねると「われは八幡大菩薩なり」と答える。そこで人々が「おまえが本当に菩薩ならそのまま山の上にあがってみろ」と言うと、そのとたんに船は山の上にひょいとあがってしまった、というもの。

「この物語を検討してゆくと、船というのはUFOで、「銭形」はUFOの発着場ではなかったかと思えてくるのです」

UFOが関係すると思われる不思議なものはまだある。先にあげた星原神社にある不思議な石（写真⑭）この石の

上部の黒い部分は1年中濡れている）や香川県三豊郡高瀬町の謎の石塔（写真⑳）などだが、長くなるので、これについての詳しい説明は別な機会にゆずることにする。

■ 恐るべき磁気異常地帯

四国における不思議な話で忘れてならないものに、磁気異常地帯がある。よく調べてみると、四国には磁気が異常と思われる地点がいくつも見つかるのだ。そのうちの一つは、国道19



▲⑱ 香川県観音寺市・琴弾公園の「銭形」。



▲㉔ a 愛媛県大西町付近にある魔の交差点。



▲㉔ 香川県三豊郡高瀬町の謎の石塔。



▲㉔ b 交差点付近は磁気が乱れている。

6号線を今治市から大西町に入り、しばらく行ったところにあるY字交差点(写真㉔a)。ここは通称「ヒトクロダケ」と呼ばれ、死亡事故多発地帯として地元の人たちに恐れられている魔の交差点で、実際に事故を起こした人の話によれば、ここに近づいたとたん目の前がバァッと白くなり、気がつくとなをばねていた、という。

地元では何かのたたり、のせいにしてはいるが、塩田さんは、そんな説明では気がすまない。原因を探るために現場へ行き調べてみると、やはり磁気の乱れがあった。交差点付近のガードレールに2つの磁石を近づけたところ、それぞれ違った方向を指したのである(写真㉔b)。これが事故の直接の原因かどうかかわからないが、不思議な現象には違いない。このほか事故多発地

帯は愛媛県北条市(写真㉔)にもあるが、塩田さんの考えではこれも磁気の異常が原因で事故が起きている。

そしてもう一

つ、これはごく最近耳に入れたものだ。今年の9月初め、香川県三豊郡財田町役場の蒲原さんという人が仕事で高松市出張中、不思議なことが発生した。ある、ゆるやかな長い坂の途中で車を

停め、ギヤーをニュートラルに入れたところ、車が徐々に坂を登り始めたのである。驚いた蒲原さんが車を降り、ために道路の上にコーラのビンを置いてみると、やはり上の方に転がる。そこで役場に帰り、土木課の人たちを連れて来て一緒に調査をしたところ、ま



▲㉔ 愛媛県北条市にある魔の交差点。

宇宙人は地球人類に警告している

以上が、塩田さんが語る不思議な出来事のすべてだ。それでは最後に全体をまとめる意味で、彼と交わした会話のいくつかを紹介しよう。

まったく同じような現象が起こったのである！

蒲原さんがこの場所を秘密にしているのを詳しいことはわからないが、塩田さんは、いつかここを探し出し、詳しい磁気調査をしたいと強く願っている。

——世界には宇宙人と会ったとか、宇宙人を撮影したというような事件がたくさんありますが、それについてどう思いますか。

「私が見た宇宙人と、多少の共通点はありませんが、違うところも多いようです。外国での例は人間くさい——たとえばセックステストをしたりするものが多いのですが、私の場合は話もしないし、アダムスキーの会見記のようなコンタクトをしようという積極性が全く感じられませんでした」

——アダムスキーの体験についてどう思いますか。

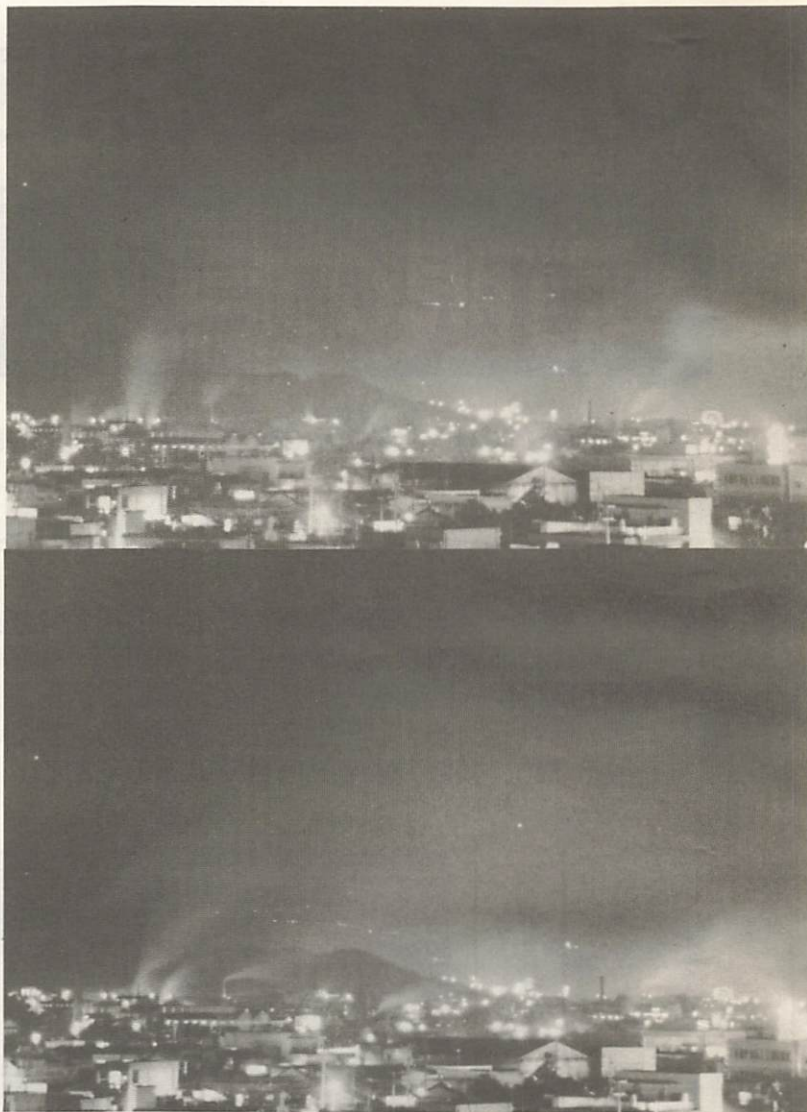
「私は絶対にアダムスキーの解釈を信じています。非常に荒唐無稽だという人がいますが、私だってよく同じように言

われるのです。みなさんに対し、もう少し積極的に解釈をしてくれと言いたい。ものをゆがめているのは日常感覚なのです。私も常識人なので突飛なことを考えるわけにはゆきませんが、これからのUFO問題を研究してゆくには、日常感覚から超越した考えを持たなければならぬと思うのです」

——UFOや宇宙人の目的は何だと思えますか。

「ある人の意見では、宇宙人は世界に1千万人いるそうです。私の考えでは、彼らは好意的で、何か地球人の終末的

な状況を知らせようとしているのではないかと思います。食糧やエネルギー、人口、公害など、どの問題を見ても破壊の方向へ向かっているのはあきらかだし……。宇宙人は、それらを警告しに来ているのだと思います。ですから、急激に開発が始まったところから、UFOの出現が多いのですよ。北海道とか……。北海道の石狩川などは、上流にある王子製紙工場からの廃液で真っ赤に汚れ、サケどころでなく、ミズ一匹住める状態ではありません。この川之江市も公害が進み、近くを流



②ab 今年の9月8日午後7時30分ごろ、取材で川之江市を訪れた記者がホテル7階からUFOを連続撮影した（左側上空の光点と、中央に薄く見える山の上空の光跡がUFO）。これは、そのうちの3枚目（上）と7枚目。当日は雨模様で、星は1つも見えなかった。ニコマートFT-2、ニッコール43～86ズーム、F3.5、開放10～20秒、フジカラー400。

れる金生川の汚れはひどいものです。UFOが現れても不思議ではありませんよ」

最後に、先ほど宇宙人と話をしなかったと聞きましたが、できれば話をしてみたいですか。

「してみたいですね。あれ以来姿を見せないの、場所を変更したのか、それとも別のコンタクト方法を考えているのかを聞きたいのです。この頃では、もう少し進んだ形でコンタクトをするのではないかと予感がしてなりません。

最初の頃は、UFOを見たと言っても人が信じてないので、よし写真に撮ってやろうと、写真に凝り出したわけですが、写真を撮るような野次馬では本当のコンタクトはできない——最近はその思うようになりませんでした。今度宇宙人に会ったら写真を撮らないかもしれませんよ。でも、そうすると人に信用されなくなる。何かよい方法はないものかなあ」

付記 取材で川之江市を訪れた9月8日夜、記者が、宿泊先の川之江ビネホテル7階から街の夜景をながめていると、急に南西の方角に複数のUFOが出現した。1機はオレンジ色に光りながら上空に停止し、その他いくつかのUFOは、弱い光を発しながら直角ターンなどを繰り返している。記者は、すぐに手元にあったカメラでその光景を連続撮影した。あまり鮮明ではないが、参考までにそのうちの2枚を紹介しておく（写真②ab）。

活躍する世界初の科学的UFO監視システム

専

UFOを観測する

「百眼の巨人」

プロジェクト・スターライト・インターナショナル
ディレクター
レイ・スタンフォード

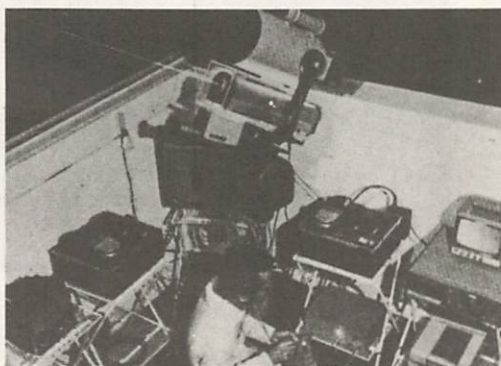
テキサス州オースチンの人里離れた山中にある科学技術の粋を集めた研究施設。いまそこで、ギリシャ神話に登場する百眼の巨人の名をとった「ARGUS」計画が着々と進められている。UFO実在を証明する決定的な証拠を得るため、多数の眼を光らせているのである。

UFO問題を研究している者のあいだで、ときとしてこんなつぶやきを聞くことがある。

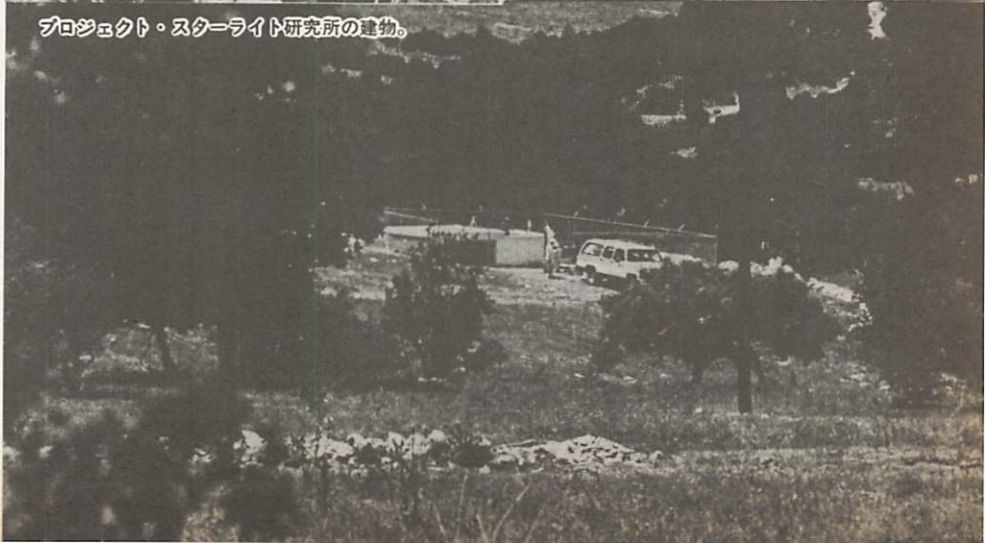
「UFO研究者たちはUFOを直接研

世界初のUFO観測基地

究することができない——できるのはただ、UFO観測者の報告からデータを得て、それを評価し、互いに関連づけることだけだ」



プロジェクト・スターライト研究所の建物。



しかし、9年前の1968年7月29日、米下院の科学および宇宙飛行に関する委員会の聴聞会で、当時シエナラル・ダイナミックス社のフォート・ワース地区応用研究グループ宇宙科学部門の主任研究員であったギャリー・C・ヘンダース博士は、UFO研究者たちにできることは何であるかについてもっと現実的な評価をくだした。ヘンダース博士は当時、月面重力計および調査システムに関するプロジェクト・リーダーだった。

ヘンダースはこう証言している。「優秀なプロの観測者を数名集めて、彼らに適当な観測機材と計画と時間とを与えれば、一切の先入観を排除した組織的方法を講ずることによって、まず、(1)UFOは何でないかを明らかにし、つぎに、(2)UFOは何であると考えたらよいのかを明らかにすることができるはずである」

ヘンダース博士は、さらにこう問いかけている。

「UFOが存在すること、または存在しないことを証明するには、目撃事件の調査だけでなく、確たる事実をつかむための条件を備えた計画が必要ではなからうか？」

この航空宇宙科学者は、さらに一連の観測機器を列挙し、それらを組み合わせる用いれば、「UFOが存在すること、または存在しないことを証拠づけ、本当に存在するものであれば、そ

れらの大きさ、形状、飛行特性——推進方式および航法を知り、あるいはUFOと交信し、ついにはその起源を明らかにするための十分なデータ」を収集できるという見解を述べた。

UFO研究の 恒久基地が完成

たいへん喜ばしいことに、ここに、ある非営利の研究法人が、ヘンダース博士が挙げたすべての観測機器（およびそれ以外の多くの装置類）を着々と集めつつあるばかりでなく、UFOに関する確実な直接データ（ハード・データ）を研究するための専用施設を完成したのである。

この研究所は、プロジェクト・スタライト・インターナショナル（PSI）という「人間理解をめざす会」の研究施設で、テキサス州オースティンの北西約30kmの人里はなれた場所に、観測機器運用のための恒久基地として設立された。研究所の2棟の建物と、まわりをとり囲むいくつかの丘の中腹には、UFO事件と関連づけて研究すれば有益であろうと考えられるさまざまな物理現象を広い範囲にわたって監視し、その結果を（万国標準時データと対応づけて）記録する装置類が設置されている。現在までのところ、PSIのメンバーのうち4人が、それぞれ少なくとも400時間の空中監視および空中物体識別の経験を積んでいる。

研究所の主力はもっぱら恒久的研究設備に注がれているが、一方では、UFO活動の集中発生が伝えられている地域にたいしては、有給のUFO職員が必要な機器を4輪駆動の有蓋トラックでいつでも運搬することができ。必要とあらば、これらの機器は北アメリカ大陸のどこへでも、車で行けるかぎりのところへ運ぶことができるのである。

ここで、PSIとそのARGUS（正確に位置確認されたUFO目撃の即時自動通知）計画の目的をかんたんに説明しておこう。それは、広い範囲にわたってUFOハード・データを収集し、興味を持つ科学者たちがそれらデータを迅速に入手できるようにするとともに、のちに説明するような地域レベルでのUFO事件の共体験を実現させることである。

ハード・データ収集の ための観測機器

至近距離からのUFO目撃例の報告に繰り返し見られる記述から推測すると、UFOは、磁気や高周波、ときには重力効果さえも生じ、また、気圧の変化、静電効果、温度変化を引き起こし、それに、奇妙な音を発するようである。このため、PSI研究所には自記磁力計が3台と自記重力計が1台設置されている。現在準備中のものとしては、自記微気圧計、自記電位計、お

よび磁力計と連動した全天カメラが各1台予定されている。また、遠距離録音用の高指向性マイクロフォンと集音マイク（近くのあらゆる音声およびそれにたいする人間の声の反応を録音するためのもの）が各1台すでに稼働中である。すべてのデータは、互いに関連づけて検討できるように万国標準時データを付して記録される。さらに、すべての低周波データ（150ヘルツまで）とWVB時間を表示するためのセンサー連動8チャンネル・レコーダーが備えられている。同様の時刻表示付各種高周波スキャナーおよびレコーダーが、UFO事件発生時に使用するために設置されている。

また、コンピュータと直結した磁力計システムを現在準備中である。このシステムは、3次元的に配置された3台の新設計の磁力計センサー（60ヘルツ・フィルタ付、最高周波数700ヘルツ）から送られた磁場効果データを処理し、こうして得た磁場データを「3次元モデル」形式でカラー・ディスプレイする。この際、磁場の3方向成分はそれぞれ異なる色で表示される。さらに、この磁場効果「モデル」表示のブラウン管上に時刻も同時に表示され、磁場効果と他のUFO効果とを関連づけて検討することができ

る。UFOと関係のある光の2・5メガヘルツのバースや変動を監視し表示す

るには光学電子装置が用いられるが、この装置は現在、固体センサー・シス

テムを採り入れて帯域幅を10メガヘルツまで広げるために改造中である。

UFOとの交信に備える

米航空宇宙局(NASA)は最近、「地球外の生物との実際のコンタクトを目ざす第一歩」となる研究を行っていることを認めた(ワシントン市NASA宇宙科学研究所I・ラースール博士)。これと同じ目的で、また、1968年の議会証言におけるヘンダーソン博士の提案にこたえるためにも、PSI研究所のスタッフは、UFOにも知的生物が乗っているとすれば、彼らは我々と知的な交信をする能力があるのか、また、そうする意志があるのかをはっきりさせなければならないと考えている。このため、研究所には変調装置付のリコニックス605Mヘリウム・ネオン(赤色波長)レーザーが備えられており、これによって音声、符号、またはテレビ映像を送ることができ。また、先に述べた光パルス検出システムは、PSIが発したレーザー通信実験信号にたいしてUFOが光変調信号で応答した場合、それを音声またはテレビ画像として表示することができる。

通信応答の実験に高周波伝送を使わずに赤色レーザー光線を採用した理由は、UFOが電波の送受信を妨害すると伝えられていることと、UFOから

何らかの(高周波雑音以外の)電波が発せられたという信頼すべき報告が見あたらないことによる。これに反して、いくつかの信頼できそうな報告によれば、レーザー光線に似た光(コヒーレントな光線のようにみえる光)がUFOから地上に向けて発せられたという。

たとえば、1968年3月19日、オハイオ州ビルスウィルのグレゴリー・ウェルズ少年は、UFOから発せられたレーザー光線のような赤い光にあたってやけどを負った。このことは、少年の母親と祖母も目撃しているという。他のUFO目撃例でも、レーザー光線のような(しかし、さほど破壊力のない)光と思われる例がいくつか報告されている。

PSIの最重要目標はあくまでもUFOハード・データの収集であって、このレーザー装置の目的も通信実験だけにあるのではない。一例をあげれば、あるUFOのまわりでは空気の密度が変化していてそこでは光線がかなりはつきりと屈折するという仮説の検証にもこの装置を役立てることができるのである。しかし、このプロジェクトのディレクターである私としては、

PSIの持つ装置類を使えば高度な通信実験も可能であることを強調しておきたい。

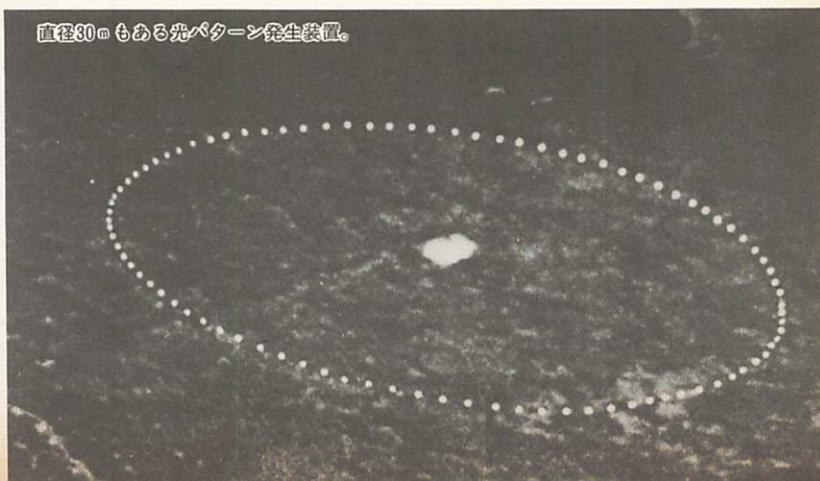
また、システムに一定の改良を加えれば、こちらからレーザー光線を発射してUFOからの反射光を正確に測定することにより、UFOと観測点との距離をきわめて正確に求めることも可能である。

現場のいろいろな位置からUFO事件の記録撮影をするには、35ミリ映画カメラ1台、ズーム比1から12のズームレンズ付スーパー8ミリ同録カメラ1台、および自動同期式35ミリ・カメラ3台(うち1台はスペクトル測定用の回折格子付)が用いられる。さらに、追跡中の物体の高分解能「クロージアップ」写真を得るには、焦点距離2110ミリと1250ミリのジュミット・カスグリーン(2反射鏡式)望遠鏡2基と、前述の35ミリ映画カメラに240ミリ望遠レンズを付けたものを用いる。

UFOは地上の新しい光のパターンやふだんからある光のパターンを調べに來たり、地上から意図的に発せられる光に反応を示すことさえあるという報告がしばしば見受けられる。そこで研究所では、光パターン応答実験装置を考案したが、これはめったに用いられることはない。

この装置は、直径が100フィート(30m)の円内に150ワットのスポッ

直径30mもある光パターン発生装置。



トライトを91個配置したもので、1個は中心に置かれている。しかしこの装置はUFOをおびき寄せるためのものではない。小型データ処理装置と固体回路を用いた制御により、これらのスポットトライトで任意のパターンを描くことができ、さらに、観測されたUFOの光パターンに似せたパターンを描くこともできる。



▲「ARGUS」計画のコンピューター。右の画像は、PSI研究所上空にUFO編隊が襲来したという想定での模擬実験。左のスクリーンには、編隊をなしているUFOそれぞれの距離データが表示されている。

1977年6月8日、本研究所のリーダー設備は連邦通信委員会の免許を得た。コール・サインはKI2XBJ（新規）である。これは、UFO研究専用のものとしては知られているかぎり世界でただひとつのものである。（この装置はレイセオン1700型レ

最も高度な監視システム

現在、研究所スタッフの設計になる最も高度な監視システムを、1978年の中ごろまでに実用化する予定で準備中である。このシステムはARGUS（正確に位置確認されたUFO目撃の即時自動通知）計画と呼ばれるもので、次のような働きをする。

まず、リーダー反射信号の帰還時間データ（UFOがリーダーによってうまく追跡されている場合）と、システム内の光学追跡装置のシャフト・エンコーダーからコンピューターに送られる高精度の水平および垂直座標データとから、非常に正確なUFO距離情報が電子回路により算出される。こうして得た角度データとリーダーによる距離データはARGUS計画のコンピューターに2進形式で入力される。するとコンピューターはこの入力に基づいて直ちに計算を行い、UFOからの実際の距離、水平距離、およびUFOの高度をブラウン管上に表示し、また、UFOの大きさを計算するためのデー

ターで、半径12マイル、回転角360度、垂直有効範囲20度、ビーク出力7・5キロワット、周波数9375メガヘルツである。しかし、観測範囲が狭いので、予算が得られしだいさらに有効なシステムを購入するつもりである。）

タも記録される。UFOがARGUSのリーダーによって追跡されているあいだは、距離データの誤差はほんの数メートル以内のはずである。

さらに、コンピューターにはシステムによるUFO追跡が可能な472平方マイルの地形データが記憶されていて、距離データの算出と同時にそれに対応する地区のカラー地形図を選び出し、UFOが通過、空中停止、または着陸している地点を地形図上で求めることができる。この地形図の像はコンピューターの記憶装置から直接8色カラー・ブラウン管上に表示され、さらにその上に、計算で求めたUFOの位置と経路がスーパインポーズで示される。また、各時点でのUFOの位置を示す文字や数字も同じように次々とブラウン管上に表示される。こうして合成された画像は記憶装置に格納されるので、あとで再生して検討することができる。

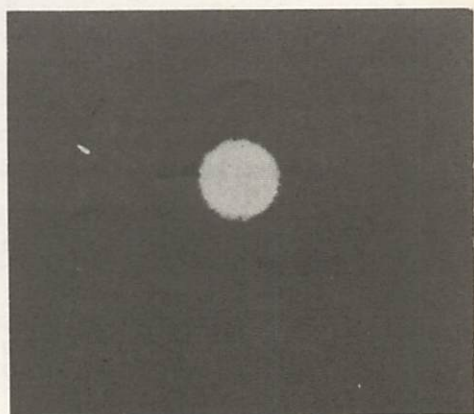
このようにしてPSIのスタッフ

は、UFOが現在何の上を飛んでいるのかを知ることができるし、また、着陸地点さえ求めることができる。従って、UFOが着陸しているあいだにPSIの4輪駆動トラックが現場に到着するのが無理だとしても、できるだけ早く現地へ行って着陸地点を調べ、さまざまな証拠を集めてそれをあとで評価し、検討することが可能である。

ギリシャ神話に登場する

「百眼の巨人」のように

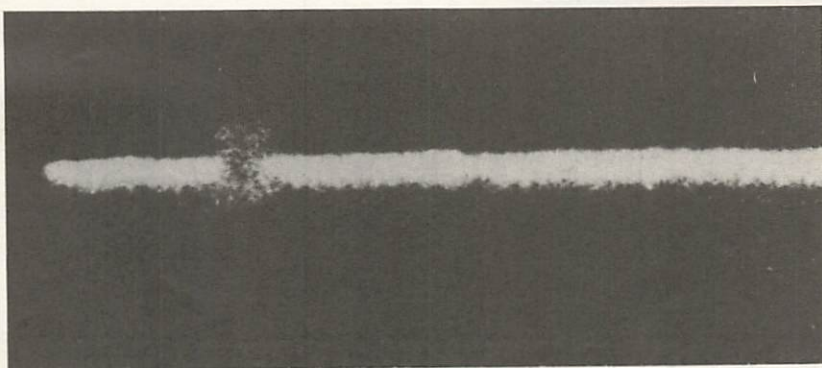
さて、この計画の頭文字としてARGUS、つまりギリシャ神話に登場する百眼の巨人「アルゴス」の名前が使われているわけをご説明しよう。いま述べたように、コンピュータはさまざまなデータを計算し、またそれらを表示するが、それと同時に、追跡中のUFOを眼で捕えることのできる地域の半径を(UFOの大きさと高度を用いた計算によって)求め、その半径内に住むすべてのARGUS協力者の名前と電話番号を検索する。さらにコンピュータは、数本の電話回線を同時に使用して可視半径内のすべての協力者に自動的に電話をかける。協力者が電話に出ると、テープレコーダーの音がこう言う。「こちらARGUS計画本部です。緊急連絡。指示されているとおりに行動してください」。これを受けた協力者(一般人、技術者、科学者、その他)は、外に出てUFOをみ



●1975年12月10日、PSI研究所が撮影したUFO写真、写真上・UFOは10分間、完全に空中静止の状態を保った。写真左・突然、UFOは猛烈なスピードで飛び去った。

つけ、写真を撮影し、メモをとり、さらにいろいろなデータを収集するというわけである。これがUFO事件の、体験と言われるものである。これによってひとつのUFO事件にたいして今までよりずっと多くの目撃者が——しかもいろいろな場所で——得られることになる。また、コンピュータが電話をかけた協力者の名前と電話番号はすべてタイプ出力されるので、協力者が報告をしてこない場合には、あとでPSIのスタッフが連絡をとることができる。

自動電話連絡と並行して、コンピュータはアマチュア・バンドと民間放送の周波数帯のうち適当なものを選んで一般向けのUFO緊急放送をすることもできる。これについては現在慎重



に検討しているところである。この一般向け緊急放送では、聴取者が何をすればよいのか、またPSIと連絡をとって情報を提供するにはどうしたらよ

いのかを知らせることになるだろう。

これまで何回か報告されているところによれば、UFOの出現にともなって停電が起きることがあるという。このような事態に備えて、停電時に自動的に切り換える非常電源の設置を計画中である。商用電源を停電させた原因が何であつても、この非常電源がそれによって影響を受けることはないであろう。現在のところ、研究所の観測装置によってUFO現象が記録された場合、8チャネル・レコーダーで描かれた低周波(150ヘルツ以下)データをコピーして世界中の協力科学者、技術者、およびまじめな研究グループに24時間以内に発送することができ。(三角測量用の写真を得るための3台の同期カメラから送られてくる露出時間データも、この低周波データと同じチャート紙上に記録されている。)写真、スベクトル写真、磁気効果の記録、IRIG(FM)形式で磁気テープに納められた重力計データ等は、約1週間以内にコピーを作成し、研究所員の報告書を添えてしかるべき個人およびグループに発送することができるようになっている。

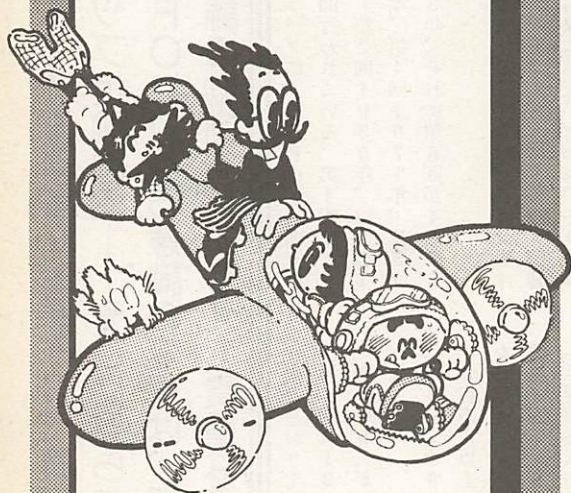
また、UFOを非常に近くで目撃したり、UFOに乗った「生物」に誘拐されたことがあると伝えられている人たちの誠実さを評価するには、心理緊張度測定装置(PSE)による分析も有効である。

宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162東京都新宿区堀場町15セントラル
・コーポラス207 電話03(268)6312

全世界的な共同研究を期待

PSI研究所と、ここでのコンピュータを中心にしたARGUS計画とは、現在のところ他に例を見ないものである。しかし、この設備はすべてのまじめな研究者たちに解放されている。研究所の活動と、すでに得られつつある成果とに刺激されて、世界中の様々なグループが同じようなアプローチにとりかかるだろう。そしてこのようなアプローチには、いま述べてきたような装置類が強力な研究網を組織する上でも有効であると思われる。

しっかりした観測設備を備えたUFO研究所がほかにも地球上のどこかで

活動を始めることがあれば、そのとき

には、プロジェクト・スターライト・インターナショナルはよろこんで情報の即時交換に応じ、UFO現象とともに観測していきたいと思っている。そのためには、コンピュータによって電話回線をスイッチし（これは国際回線の場合でも可能になるかもしれない）、観測されたUFOデータを2進形式でリアルタイムに伝送することが考えられている。

このように、いくつかのUFOデータ観測所のあいだでリアルタイムにUFO緊急情報を交換し、データを共有

することになれば、それは、UFOの实在に関する多くの物理的問題に最終的解答を与える上で非常に有益なものとなる。

UFO研究が始まってから4半世紀が過ぎ、UFOハード・データ観測装置の問題に積極的に取り組み始めてから5年を経たいま、私が結論として言えることは、いくつかのグループや国々が建設的かつ率直に力を合わせて全時間計器観測の共同プログラムを遂行すれば、きわめて価値の高い結果が得られるであろうということである。

これはまだかなり先の話になるが、UFOが高度に発達した技術の産物である可能性を考えれば、UFOハード・データ観測のためのこのような共同

プログラムは、たんに未確認飛行物体の謎を解く以上の働きをするだろう。つまり、伝えられるUFOの耐久力、数、飛行様式、スピードなどが信頼するに足るもので、しかもそれらが新しいエネルギー利用法を何らかのかたちで示唆しているとすれば、UFOハード・データの研究は、世界的なエネルギー危機の実行可能な解決法を見つけるのに役立つものと思われる。また、基礎物理学の分野でも、UFOハード・データを注意深く分析することによって、基本的な相互作用やそれら相互作用間の関係について新しい重要な知識が得られるものと考えられる。

遠山峻征訳

UFO 問題レポート

UFO

ギャラップ世論調査

＝UFOに対する世界の眼は、
この30年にどう変わったか？＝

森脇十九男



●米大統領選挙の結果予測で権威のあるギャラップ世論調査——そこに見られる米国民のUFOに対する意識の変遷は、日本のUFO世論の動向を探るうえで貴重な資料となる

ギャラップによるUFO世論調査は

合計6回行われている。第1回は1947年、第2回1950年、第3回1966年、第4回1971年、第5回1973年、それに第6回が1975年。

このうち1971年は、「インターナショナル・フーズ・フリー」72カ国著名人を対象に調査が行われ、1975年第6回のときは、知能指数145以上の天才集団「メンサ・インターナショナル」の仏支部に、アンケート調査が実施された。

ギャラップ以外のUFO世論調査としては『インダストリアル・リサーチ』誌のものが挙げられよう。こちらの場合は、学術専門家を対象にして行ったUFO世論調査である。

これらの調査を項目別に区分してみると別表(次頁)のような結果が得られる。

またギャラップの大見出しは、UFOに関する世論の動向をよくとらえている。

次のとおりである。

○第1回(1947年)

「10人中9人がUFOのうわさを耳にしている」

○第3回(1966年)

「50万人以上のアメリカ人がUFOを目撃」

○第4回(1971年)

「世界著名人の53%は地球外文明を信じている」

○第5回(1973年)

「1500万人以上のアメリカ人がUFOを目撃」

○第6回(1975年)

「天才集団の93%がUFO実在説を支持」

わが国で、もし世論調査を行えば、次のような結果が得られるかもしれない。

●空飛ぶ円盤は何だと思えますか？

第1順位(想像、錯覚、妄想)

第2順位(米国の秘密兵器、あるいはソ連の)

第3順位(悪ふざけ)

第4順位(気象現象)

第5順位(飛行機のサーチライト、

空飛ぶ円盤騒動が鎮静化したことにより、今こそ、一般大衆の見解を調査すべき絶好の機会である。

10人中9人のアメリカ人が6月25日、最初に報告された現象について聞き及んでいる。(ケネス・アーノルド事件のこと)

最近の事件に関する大衆の意識調査では、空飛ぶ円盤は非常に真実性を増

第一回ギャラップ世論調査(1947年8月)

常識的見方から神秘的見方まで

し、オーソン・ウェルズの火星人襲来、ネス湖の怪物、トム・サムのゴルフといったものと同等の位置におかれている。空飛ぶ円盤の話がどんなに広がったかを見るには、同時期におけるマリーシャル・ブランが国民の半分、タフト・ハートレー法(労働関係調整法)を読んだ国民が61パーセントであることから明らかである。

日本人のUFO意識が右のようなものであるとすると、これはちょうど今から30年前の、1947年(昭和22年)のアメリカ世論と大差がないのである。当時のアンケート結果を別表で示した。

ところが、今日の米国の様相は、30年前の往時の状況とは完全に異なっている。このことは、1976年4月11

日、ワシントンでの記者会見で現在のカーター大統領が行ったスピーチからも明らかである。

したがってわれわれとしては、合衆国が現実に対応してきた30年史を、わが国が当然に迎って行くであろうUFO史と見なし、何らさしつかえあるまい。そこで、とにかくこれからUFO問題のスタートラインについてみよう。

①UFOの噂を耳にした—

%	年度
90	'47
94	'50
96	'66

②UFOを目撃した—

%	目撃数	年度
5	(5,000,000人)	'66
11	(15,000,000人)	'73

③'73UFO目撃者の学歴比—

学 歴	%
大 卒	12
中高卒	10
小 卒	10

④UFOは実在する—

%	年度
46	'66
(※54—'71)	
51	'73
93	'75

(※メンサ・インターナショナル)

⑤UFOは地球外から飛来している—

%	年度
34	'66
(※32—'71)	
46	'73

(※「インダストリアル・リサーチ」のUFO調査)

Flying Saucer (1947年)

構成比	分 類
29%	想像、錯覚、妄想
15	自国(米)の秘密兵器
10	悪ふざけ
3	気象現象
2	飛行機のサーチライト
1	ロシアの秘密兵器
9	その他
33	不 明

現実的なものから空想的な憶測まで様々である。後者の場合は、聖書の世界終末説を例示する婦人、ビキニの核実験が原因の電磁波だと考えている西部の男、そして他の者達は、デュボソ社が新製品を作ったのだと語っている。

(一部重複回答)

○気象現象 15%

○ロシアの秘密兵器 3%

○飛行機のサーチライト 1%

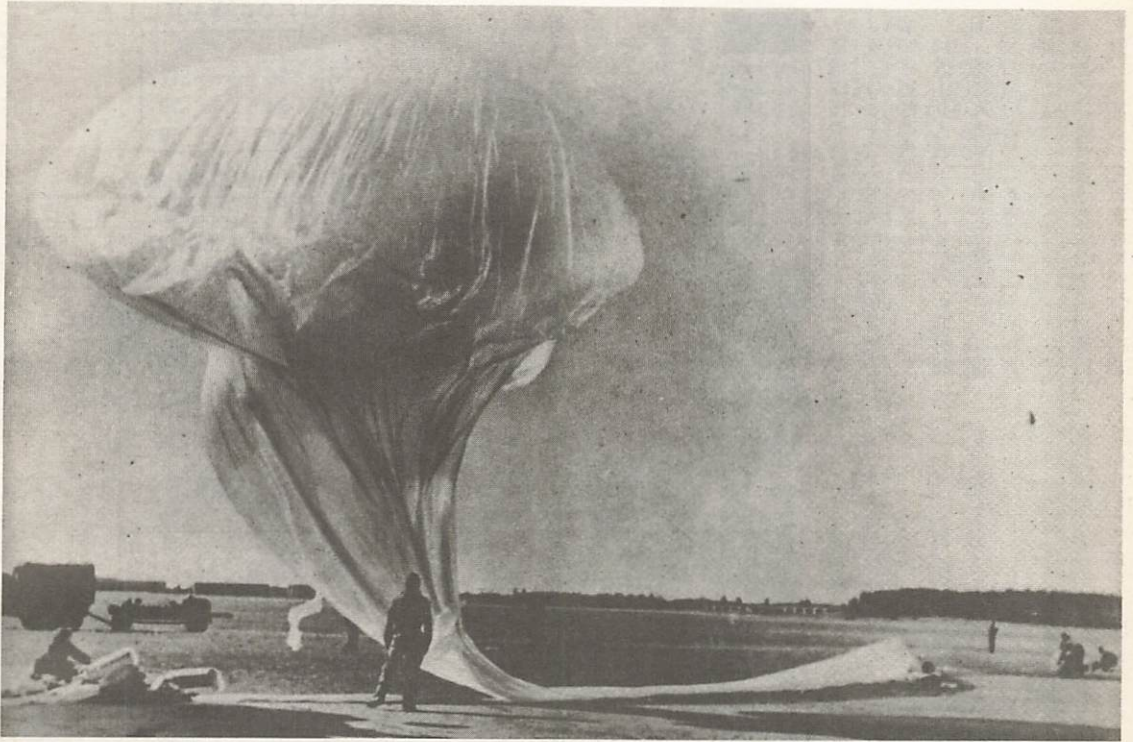
○その他 2%

計102%

- あなたは空飛ぶ円盤をどう思いますか?
- 分らない 33%
- 想像、目の錯覚、妄想 29%
- 悪ふざけ 10%
- 米の秘密兵器 10%



▲1947年、レイニア山上空で9個の円盤を発見して戦後UFO目撃第1号となったケネス・アーノルド。



▲UFO追跡中に無惨な最期をとげたマンテル大尉事件当時(1948年)使用されていたスカイフック気球。その頃、UFOを気球とする憶測も流れた。

少数のある者達は、そこに自己宣伝の臭いをかきつけ、他の人々は、つまるところ、これはある種の流れ星か、もしくはほうき星であろうと信じきっている。

初期の世論調査を更に突っ込んで分析してみると、90パーセントの人々が空飛ぶ円盤を周知している事実は、他方で、去年の1月、10人中8人の有権者がワグナー労働法の意味を知らな

第3回ギャラップ世論調査(1966年5月)

5百万人以上の人々が空飛ぶ円盤を目撃

500万人以上のアメリカ人が、空飛ぶ円盤を見た主張している。約10倍の人々、合衆国の約半分の成人が、しばしば報じられている飛行物体(必ずしも皿型ではないが)を真実なものとして受け止め、決して想像の産物ではないと信じている。

これはギャラップ研究所が、アメリカ国民を世論調査したときの主だった発見である。というのは、その時の調査比率が多数の人々に関して彼らの意識を説明しているからだ。

1940年後半からずっと、科学者と軍関係者は何百というUFO目撃報告書を調査しつづけてきた。そして特に最近の目撃ラッシュは、遂に議会公聴会とこの特別調査活動を促した。

いったい、典型的なアメリカ人は、空飛ぶ円盤をどのように考えているのだろうか? どれほどの人々がUFOを

ったことや、国民の51パーセントが、連邦均衡予算の意義を述べることでできなかった事実と対比することができよう。

大衆への意識浸透という観点から、空飛ぶ円盤に接近し得る最近の出来事といえば、84パーセントの人々が聞き及んでいる昨年のジョージア州知事選ぐらいのものである。

目撃したか? その話は本物なのか? それとも想像か? 他の惑星にわれわれの知っているような知的生物が存在すると信じているのだろうか? その調査結果を見てみよう。

150人以上のギャラップ世論記者が選ばれて、性別やあらゆる教育レベルおよび地域にわたるすべての年代層の典型的なアメリカ人に質問した。

まず最初にいえることは、殆どあらゆる人(96パーセント)が、少なくとも空飛ぶ円盤のうわさを耳にし、関連文献に目を通していていることである。もともと、これらの物体が報じられると、それに関連した事柄はすこぶる大衆化するので、この発見事は異常ではないように思われる。しかしながら、歴史上の出来事や事件についての大衆の意識という点で、この状態は極めて異常である。実際この意識得点

は、30年の歴史を誇るギャラップ世論調査中、最も高いものの1つに加えられる。

■空飛ぶ円盤はいたずらなのか？

メリーランド州バルチモアのフィリップ・イースターは、記者の1人に次のような話をした。

「夜でした。建物を出ようとして夜空を見上げた時、頭上でふらふら揺れ動いている物体を目撃したのです。それは非常に明るく、数分間同じ場所にありました。最初私は惑星だろうと思いましたが、その動き方から判断してまちがっていることがわかりました」

ハロルド・ストゥープスは、去年の6月、カンサス州トピカをドライブしていたが、その時の模様を次のように語っている。

「夜も遅く、午前2時半頃でした。そのとき頭上に、円形物体を目撃しました。それは大変輝いていて緑色がかっていました。車を止めて外へ出てみると影も形もありませんでした」

ニュージャージー州の一主婦は、最近起こった夜の出来事に驚いている。彼女の話、

「それは朝3時頃でした。外の非常に明るい光に突然目が覚めました。飛び起きて窓越しに見ると、あたり一帯が燐光のように輝いているのです。そのとき私は、ベルが鳴るような不思議な

音を耳にしました。夢を見ているような気がしましたが、翌日20マイル離れたところで、数名の人々が殆ど同じ時刻に、似た体験をしたと報告しています」

このようなデータを更に分析してみると、空飛ぶ円盤の目撃は必ずしも、ある特定の住民団体に起こる現象ではないことがわかる。大卒者についても同じ比率が見られ、小卒の人々もまた、それを見たと言っている。

■実在、それとも想像？

空飛ぶ円盤は実在するのか？ それとも想像なのか？ われわれはこの質問を試みたが、その結果は驚くべきものであった。あらゆる空飛ぶ円盤目撃報告書のその殆どは、流星や気球、沼池のガス、惑星などとして容易に説明できると空軍は語っているが、想像の産物と考えている者よりも実在すると信じているアメリカ人の方がずっと多いのである。46パーセント（合衆国成人人口の約半数）がこの考えを持ち、他方、29パーセントが想像の産物と述べている。残りの25パーセントは不明と答えた。

このことは、20年前に実施したギャラップ世論調査以来、大衆の態度が、空飛ぶ円盤の実在性を認めつつあるという方向へ変化していることを物語るものである。その当時——空飛ぶ円盤

の話が最初に報道された直後だが——10人中4人が、悪ふざけかもしれないがオパーヒートして作られた物語にすぎないと述べていたのである。この姿勢に変化が現れ始めたのは、1950年の別のギャラップ調査においてである。その年、多くの人たちが、空飛ぶ円盤は現実に実在すると主張し出した。

空飛ぶ円盤の信頼性に関する証拠を問う場合、目撃報告の殆どが説明し尽されているにもかかわらず、空軍の報告に従えば、依然として説明のつかぬ多くの目撃例が存在している、という点に注目するのが重要であろう。

ハイスクール以下の教育を受けた人よりも、大学で教育を受けた人々の方がずっと空飛ぶ円盤の実在性を信じているのである。

空飛ぶ円盤は現実的なものであって説明がつくと信ずる人々は、それを次のように分類している。

- (1) 空軍テストの如き実験プロジェクト
- (2) 宇宙からの飛来機
- (3) 沼池のガスの如き燃えるガス現象

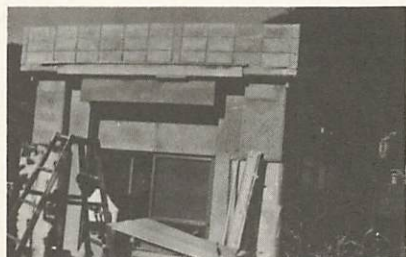
象

(4) 流れ星

(5) 気球

(6) 超自然的な新事実

そして、空飛ぶ円盤を宇宙からの飛来機と信じている人々は、6パーセントである。



重力研究所

〒798 宇和島市中央局私書箱33号

空飛ぶ円盤の科学研究誌 宇宙艇 隔月刊 B5判

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部品を頒布します（カタログは、宇宙艇巻末にあり）

年会費 A) 4,000円（大学生及び社会人）

B) 3,500円（高校生以下）

振替 徳島 28986（又は、現金書留にて）（切手は不可）

☆ 超相対性理論（原著） 定価 3,000円

〒 200円

（同じく切手は不可）発売中

■他の惑星に知的生命が存在するか？

宇宙時代に生きている人々は、他の惑星にわれわれの知っているような知的生命が存在するかと考えているだろうか？

権威ある多くの科学者連は、知的生命が宇宙のどこかに存在すると信じている。

統計学的見地からして、生命を維持するに十分な何百万という惑星が、この宇宙に存在しているからである。

この調査に関わってきた34パーセントの人は、他の惑星上の生命の存在を信じている。

くり返すと、最も教育を受けた人々が、最も多く、他の惑星上の知的生命の存在を認める傾向にある。

調査結果表

●空飛ぶ円盤について聞いたり、読んだりしたことがありますか？

総計	96	96	96
性別	男性	96	96
性別	女性	95	5
yes			
no			

●あなたは、空飛ぶ円盤と思われる物を見たことがありますか？

yes
no

総計

性別

男性

女性

教育

大学

高校

中学校

小学校

地域

西部

中部

南部

東部

yes

no

(%)

総計

性別

男性

女性

教育

大学

高校

中学校

小学校

地域

西部

中部

南部

東部

yes

no

(%)

総計

性別

男性

女性

教育

大学

高校

中学校

小学校

地域

西部

5

4

6

6

4

6

94

96

94

95

97

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

95

94

实在
想像

●あなたの考えでは、空飛ぶ円盤は現実のものと思いますか？それとも想像の産物とお考えですか？

●宇宙の他の天体に、我々と同じような人類が存在すると思いますか？

総計	46	29
性別	男性	41
性別	女性	50
教育	大学	51
教育	高校	51
教育	中学校	33
教育	小学校	36
地域	西部	3
地域	中部	5
地域	南部	6
地域	東部	5
yes		
no		

科学誌「インダストリアル・リサーチ」の調査

■UFOは実在するか？
空想の産物か？

(1971年1月号)

「最終の決定的報告書」(コンドン白書のこと。1969年公表)が公表されてからもずっと、なかなか治らない痛みを伴う傷口のように、未確認飛行物体はなお出現している。

宗教問題の如く、UFO実在に関する論議は、信ずることを疑わない小さな組織から、UFO現象を頭ごなしに否定する無神論者にまで及んでいる。

その中間として、多分最大のグループ

といえようが、心を広くして調べてみようと思っている不可知論者が存在する。

UFO目撃のうち、出所不確定のものを、仮りに航空機や気球、雲などとして割り引いてみたところで、依然として、目撃例の20パーセントから30パーセントが説明不可能として残るのである。

この世論調査は、説明不可能な目撃例について、皆さん(当雑誌を購読する専門家)の意見を収集するために企画された。

キルリアン写真実験セット



キルリアン (KIRLIAN) 写真とは、コロナ放電を利用して被写体の発光現象を撮影するものです。指や人体の一部などを撮影すると「生体エネルギー・オーラ」と呼ばれる現象が観察できます。あなたもこのセットで未知の世界を探ってみませんか？

○キルリアン電子写真実験セット

TKP101 (装置本体、附属部品共) ¥28,000

カタログのご請求は誌名記入の上下記まで

株式会社 テクノニクス

326 足利市鹿島町1156 ☎ 0284-62-8073

UFOは確かに実在する

(1971年4月号)

未確認飛行物体は、政府機関や研究グループのみならず学術コミュニティにおいても容易に却下できない問題である。1月の世論調査に対して寄せられた2700通の回答のうち、確かにUFOを目撃したと主張している人はわずかに8パーセントにすぎないが、54パーセントがUFOは実在すると信じている。31パーセントの人々が実在説を否定している。

調査に参加した人たちの殆どが、政府はUFO情報を差し控えていると信じ、80パーセントがコンドン・レポーは決定的な意味を持つものではないと主張した。政府による調査の意義に



▲第5回目の世論調査が実施された1973年には、ミシシッピ州の2人の造船工がUFOに身体検査をされる事件が発生。誘拐の行われたバスカゲーラ川の現場。

ついで、五分五分に意見が分かれている。驚いたことには、32パーセントがUFOは宇宙から飛来しているとし、27パーセントがその原因を自然現象に求め、鉄のカーテン(ソ連)の新鋭機と答えたのは、わずか0・6パーセントにすぎない。

調査結果表

●あなたはUFOが実在するとお考えですか？

確かに……………20 (%)
多分……………34
ありえない……………23
絶対にない……………8
わからない……………15

●あなたはUFOを見たか主張している人を知っていますか？

はい……………36

いいえ……………64

●あなたは自身UFOを目撃したことがありますか？

はい……………8

多分……………14

いいえ……………78

●UFOを観測した殆どの人が、その目撃を権威筋に報告していると思いますか？

殆どの人……………15

ある程度……………49

わずかな人……………36

●政府はUFO情報をすべて公表していると思いますか？

はい……………24

いいえ……………76

●あなたの意見では、コンドン白書の結論は決定的なものとお考え

第5回ギャラップ世論調査(1973年11月)

目撃者急上昇 その数1500万人以上

ある夜、ロサンジェルスの一婦人がボーチに座っていると、奇妙な明るさを増してやってくる光に気がついた。最近ギャラップ世論記者が聞いたところによると、彼女が目撃したものは白色の点滅する円盤で、木立のうしろから現れ、1〜2分間彼女の家の上空をふらふらして突然消えてしまった。その瞬間から円盤の実在を信ずるようになったと語っている。

驚くべきことに、成人人口の11パー

えですか？

はい……………20

いいえ……………80

●政府は更にUFO調査を継続すべきであると思いますか？

はい……………49

いいえ……………51

●仮にUFOは実在するとお考えなら、それはどこから来るのでしょうか？

宇宙から……………32

自然現象……………27

合衆国……………5

共産圏……………0・6

不明……………35・4

☆☆☆

セント、つまり1500万人以上のアメリカ人がUFO(未確認飛行物体)を目撃しているのである。1966年までは5パーセントであった。

加うるに、最近の調査でインタビューに応じた人の約半分(51パーセント)が、空飛ぶ円盤の実在は本当であって、想像の産物とか幻覚が原因ではないと信じている。

同じくインタビューに応じた全体の約半数(46パーセント)が、他の惑星

に知的生命が存在するとしている。その数値は34パーセントであった1966年の調査以来、急上昇ぶりを示すものである。他の惑星上の知的生命存在説を支持する人々が、UFOは現実のものであつて想像上のいかなるものでもないことを、はるかに信ずる傾向にある点を指摘できるのは、興味深い。実際そういう人々の10人中7名が、UFOを認めている。

UFO目撃者の側面

調査資料を分析すると、UFO目撃事件は特殊な住民団体に限つたものではないことがわかる。例えば、大学教育を受けた人々は、それ以下の教育を受けた人たちと同様にUFOを目撃している。しかしながら、東部や西部地域よりも中西部や南部地方の方が、報告される目撃比率がずっと高い。

そして小都市や農村地域に住んでいる人々の方が、大都市の住民よりずっと多くUFO目撃を報告している。

調査における最初の質問。

「あなたは、未確認飛行物体（UFO）について聞いたたり、関連する本を読んだことがありますか？」

殆どの人々（95パーセント）が、少なくともUFOのうわさを耳にし、関係文献に目を通してゐる。もともとこの事実、UFO問題が広く報じられた影響から考えて異常なことではない

ように思われる。しかしながら、歴史上の事件や行事等に対する大衆の意識という点では、その実態は驚くほどの高率なのである。事実この意識結果は、37年間のギャラップ世論調査中、最も高いものの1つなのだ。

次の質問は、UFOの話を知り、あるいは関連書を読んだことのある人々に対してなされた。

「かつてあなた自身が、UFOと思われるものを目撃したことがありますか？」

全国統計（1500万）		11%
（教育）		
大学	12	
高中	10	
小学	10	
（地域）		
東部	5	
中西部	13	
南部	14	
西部	10	
（都市集中）		
人口百万人以上	6	
人口50万人以上	6	
人口5万人以上	11	
人口2500人以上	14	
人口2500人以下	13	

「あなたの意見では、UFOは実在するとお考えですか？ それとも想像の産物と考えていますか？」

1966年の調査と比較した最近の調査結果は次のとおり。実在すると答えた比率がわずかに上昇している。

実在する	46	51%
想像	29	28
無回答	25	21

次の質問は、調査に関わつたすべての人々に対してなされた。

「宇宙の他の惑星に、われわれと同様の人々が住んでいると思いますか？」

1966年と比較した最近の調査結果。

存在する	34	66%
存在しない	46	73%
無回答	20	16

大学教育を受けた人々のうち57パーセントが、他の天体に人類が存在すると信ずる傾向にある。

1971年、ギャラップが72カ国のトップ指導者について行つた調査では、53パーセントの人々が、他の天体上の人類の存在を信ずると表明した。47パーセントがその可能性を除外している。調査は、「ザ・インターナショナル・フーズ・フー」から注意深く選ばれた科学、医学、教育、政治、実業界、その他の分野の指導的立場にある人々について行われた。

UFOを目撃したと語っている合衆国民に関する最近の調査の中には、ワシントン州 Tacoma 市出身で不動産代理業を営んでいる35歳の主婦がいる。「私の息子がちょうど新しい望遠鏡を

入手した頃のことです。夫と娘、息子と私は前庭に居ました。その頃は製錬所のストライキですべての工場は閉鎖してしまつた。最初私の息子が、望遠鏡で、ある物に焦点を合わせていました。私たちは肉眼でそれを見ることができたのです。煙突の上の方を2機の円盤がうなるようにして揺れていました。1分間そうしていましたが、やがて消え去りました。その後、すぐ2機の追跡機が近くの飛行基地から飛んできました」

ペンシルバニア州ヘイズルトン市では、父親と娘が3週間、毎夜UFOを目撃しているとギャラップ記者は報じている。それは、いつも午後7時から8時にかけて東南方向から現れ、それが無色に輝き、脈動しながら次第に明るさを増す。下の娘が、土星のようだと語つた。約2分間、一団となつて山をふらふらし、やがてちがつた方向に散ると完全に消えてしまつた。

この調査報告書は、11月2日から5日まで科学的に選択された300以上の地域において、18歳以上の成人1550人を対象にして行われた国民調査に基づいている。

絶ち消えるどころか、右の如く正に飽和の極限状態にまで達しているUFO史が、戦後30年以上もの長きにわたる歴史の表舞台から遠ざけられてきたことは、この問題の重大性を如実に物語るものであらう。



楽しさバツグンのハム

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県は那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいいたします。どうぞ……』

ハムになるのはカンタン

『電話級ハム免許』は〇×式のやさしい試験、小中学生の合格者も多数います。ラジオ、模型、BCL等の好きな方なら短期間の準備でOK。

▶ハム初心者のための『普及会』通信講座では日本短波(全国)放送にて『必勝!! 国試対策教室』を放送中。国試最新情報をつかんだ重点速習指導で会員を一発合格へプッシュします。



ハムガイド集 無料贈呈中!!

——こんなふうに《電波の声》で仲間を呼び出して自由にラグチュー(おしゃべり)を楽しめるハム(アマチュア無線)が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が空を駆け一瞬のうちに世界各地の仲間(100万人以上!!)

にとどいて、楽しい交信が始まります。



↑クルマとハムを結びつけた「カー無線」は人気最高! 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。

楽しみつきないハムの世界

●海外交信で外国の友達もたくさんできるし●ローカル(近辺)の仲間とのラグチューもゴキゲン●まだ学校その他のクラブ局や野外交信でも活躍できる●カラフルなQSL(交信)カードあつめの楽しさはBCLファンなら見逃せないところ●ハムコンテストやフォックスハンティング等各種の催しも盛ん●手がるで予算少々のハンディー局も急増中!

●ハム受験から開局までの総合指導システム



CQアマチュア無線普及会

QTH・東京都世田谷区尾山台3-9-5

[CQハムサービス 03・704・4986]

「ハムガイド」送れ
干番・住所
氏名・年令

〒158 東京玉川局
私書箱19号
CQアマチュア無線
普及会C7係

20円

南米各地で発生する奇怪なUFO遭遇事件と、謎のテレパシー・コンタクト

宇宙人からテレパシー・メッセージ を受ける科学者たち 完

地球上で、南米ほどこの60年間にUFO活動の激しかった大陸はない。そればかりか、明らかに物体のすぐそばまで接近したとか、乗員を目撃したとか、中には彼らに誘拐されたという奇怪な事件も多いのだ。

ナックマンは、1975年の新聞フアイルまでさかのぼったが、その年後半まで、UFO報告は目立って少なかった。なるほど二、三の記事は発見できたが、それほど劇的なものはないし、近距離からの目撃例もなかった。

というと、ペルーのモジャバンバから出ているラ・クロニカンという小新聞の中で見つかった。残念ながら署名入りの記事ではなかったが、せんさく好きの筆者は、深い奥地から帰って来た宣教師が伝えたといううわさを追跡したのである。

アマゾン川の流域に墜落したUFO

そのうわさによると、1機のUFOがペルー領内のアマゾンア(ブラジルとの国境に近いアマゾン川流域で、ほ

とんど人の住まぬ広大な地域)の中の孤島のような村に墜落したという。長円形の物体が1本の木をなぎ倒して着

グレイ・バーカー

陸し、小さなナウタの村の住民たちは恐れおののいて家から逃げ出したのである。

乗員については、何もふれられていない。物体は、民間警備隊によって捕獲され、運び去られた。

そのうわさに夢中になった無記名の記者は、幸運な目に会った。ある町で宣教師たちが家族を連れてある行事をするという話を聞いた彼は、早速その会場に出かけて、探していたエンリケ・ボンセ宣教師に迎えられた。

ボンセは宣教師ではあるが、牧師ではなくて、遠隔地でも宗教活動ができるよう訓練を受けた俗人である。

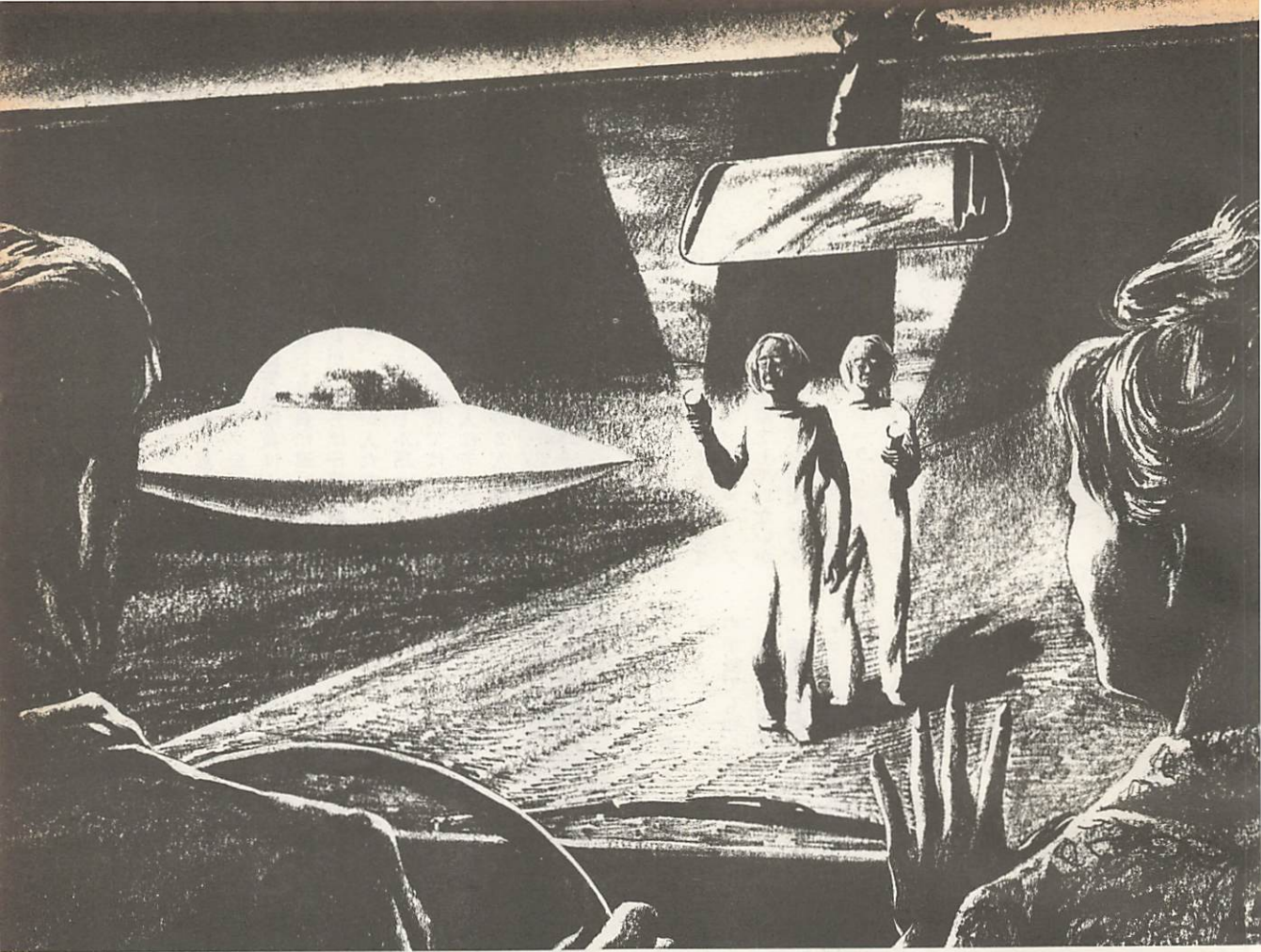
そうですとも、その事件は本当に起こったのですとボンセは記者に説明した。彼は80kmほど離れた村を訪問してその話を聞き、計画を変更してわざわざ着陸地まで足を伸ばしたのである。

彼が到着したとき、着陸地の村には誰もいなかった。彼は電池式のハンド・スピーカーで自分の名を名乗って、ジヤングルにかくれている村民たちに出て来るよう呼びかけた。数人の村人がおそるおそる姿を現し、恐ろしい出来事に皆が森に逃げこんでからもどって来たのは自分たちだけであると、彼に説明した。

■「雷石」は

ガラスのような金属

三晩前、強烈な閃光が数秒間輝いて広い地域を明るく照らした。雷のよう



な——その夜は晴れて星が光っていたが——轟音が聞えた。間もなく1人の村人が悲鳴を上げながら皆の方へ走って来た。1kmほど向こうに「雷石」が見えたのである。雷石とは実際はいん石のことで、ある時代は恐れられ、ある時代は崇拜されてきた。ある部族ではいん石は凶兆と考えられて、それが近くに落ちると、その村は放棄された。他の部族では神聖な物体と見なされて、回収された上、麗々しく村にかざられたものである。

ボンセは大変な苦勞をしたあげく、2人の村人に「雷石」のところまで案内する約束をさせた。

「村から1kmばかり離れたところで、彼らの恐怖の的である物体が目に入りました。いん石でないことはすぐ分かりましたが、私は前に進んで長円形の機械の前に立ちました。長さは約3・5m、幅はそれより少しせまいくらいでした。墜落するときこの物体は、直径60cmもある木の幹を切断してしまっていました。半球の平面同士を重ね合わせた形をして、合わせ目には段がついています。合わせ目にある開口部を通して、両端が丸い円筒形の機械や細い電線、その他正体不明の装置が見えました。これらすべての一方の端には1本のキラキラ輝くパイプがあり、全部の装置を連結していました。

外観は相当変わっていました。金属

製のようにも見えましたが、見事な磁器の表面のようなガラス状のつやがあるのです。私が気のついたただ一つの損傷は、一方の端にあるひどく曲がった突起物だけでした。これはたぶんアンテナでしょう。横棒は5本ありましたが全体は十字形をしていました」

■「偉い人たち」の代理人

その前に立ったとき感じた恐怖心と混乱——この世のものとは思えぬくらい調子の高いキーンという音が、不規則な間隔をおいて物体から発していた——を押えることは困難だったが、宣教師はこの物体が兵器の一種に違いないと感じた。迷信深い土民たちにはさぞ恐ろしいものに見えたことだろう。

彼が来たことに安心して、大部分の村人も次の日にはもどって来た。だが

◀人の住まぬ広大なアマゾン川の流域



彼らは、墜落の現場付近にだけは近づこうとしなかった。数日後、ヘリコプターの爆音を聞いたボンセは、現場にもどってみた。平服を着た3人の男が、物体の周囲にロープをかけようとしていた。民間警備隊員はよく平服を着ている、彼らも隊員に違いないとボンセは考えたが、彼らは任務に関しては口が堅くて、「偉い人たち」の代理で来たのだ、とだけしか話さなかった。アマゾンニアの住民ではない。スボークスマンらしい1人はアンデス山地人らしかったが、他の2人は宣教師に

アルゼンチンの奇怪な事件

残念ながら筆者は、1976年中期以後の南米におけるUFO活動については、ナックマンから情報を入手していない。昨年7月にフィラデルフィアで会って以来、彼と話をしていないからである。私たちの会合を手配してくれたフィラデルフィアのリスラー天文台のノーマン・J・シュライプスタイン台長は、ナックマンは8月末にボゴタへ帰り、ふたたび彼のUFO研究を

も全く理解できない言葉で話していた。たぶんドイツ語と思われる。

ボンセに会った記者はアマゾンニア管区民間警備隊に照会してみたが、1人の士官が、その地域ではいかなる行動もなされなかったときっぱり否定した。もし人工衛星やその他の無人機がペルーの奥地に墜落することがあれば彼は、「友好国政府に安全に返還するため」それを回収せよという命令が出るはずだ。彼の知る限りペルーでは、そのような事件は起こったことがないというのである。

続けて、と話してくれた。

「当分の間、彼とは連絡がとれないでしょう」とシュライプスタインは最近の手紙でも知らせてくれた。

■そういつは

誘拐しようとしていた

ナックマンとは連絡が絶えたけれど、南米の他の情報源からのニュースで、巨大なUFO騒ぎが持ち上がりつつあることが確認された。事実、ナッ

クマンがニューヨーク港で帆船バレードを見たのと同じ7月4日、カルロス・ネグリという男が怪しい侵入者を自分の弟と間違えるという、本当に奇怪な事件が発生したのである！

アルゼンチンのカルメン・デ・パタゴネス周辺のUFO出没地域が、26歳のネグリの巻きこんだ事件の現場である。いつもは夜中までにぎやかにさえずっている近くの茂みの小鳥がビタリと静かになった。虫の声の伴奏はまだ相変わらず続いていた。しかしそれもいつもと違っていやに控え目である。突然訪れた静けさに彼は不安になりはじめた。と、彼は、ゆっくりとした心臓の鼓動のような、ドスン、ドスンという音を、聞くというよりもむしろ感じ

たのだ。光るものが近づいて来る。だがそれは、人が持っている光のように上下に動かないことに彼は気がついた。光は急に強くなり、間もなく地面のすぐ上を動いている奇怪な機械の輪郭が浮かび上がった。円形で丸屋根があり、直径は少なくとも9mはあるに違いない。

その物体が農機その他合理的に説明できる地上の機械でないことだけは、ネグリにもすぐ分かった。わけのわからぬ恐怖が彼をとらえ、彼はトラクターのエンジンをいっばいにふかし、ハンドルを急激にまわして、ゆっくりと近づいて来る怪物から逃げようとした。だが、エンジンは大きくせきをし

てバッテリー止まってしまった。チョークの使い方が悪かったかと彼は思った（ネグリは、UFOが接近したとき起こる、たぶん強烈な電磁効果のためのエンジン停止現象を聞いたことがなかったのだ）。

「私はトラクターの運転台から飛び下りて逃げようとした。でも突然歩けなくなりました。何か重たい、濃い液体のようなものが、あらゆる方向から私を押しつけてきます。それでも痛みはちっとも感じませんでした。私は何をすることもできず、何かえたいの知れぬ悪魔につかまれているような気がしました。そいつは私が考えることをすべて知っていて、私のしようとすることを先回りするか、私を誘拐しようとしているようでした。『マリアさま！』私は祈りました。『どうか私をお助け下さい！』」

■怖くて後を振り返ることもできなかつた

カルロスがトラクターの下に逃げこもうとして地面に倒れたとき、物体は彼からほんの30cmのところまで来ていた。それから、そいつが地上からは数m離れていることを知って、彼はホッとした。物体はあぶない所でトラクターをかすめて、グラリともゆれず確固たる前進を続けた。もうそのときにはドスン、ドスンという音は聞こえなかった。「千台ものラジオやテレビをいっせいに鳴らしたような別の」奇妙な



音にかき消されていたからである。恐怖で気が変になっていたのか、ネグリは、その音が無数の金属的な声から成っていて、その一つ一つが彼の名を呼びながら反響しているような気がした。物体が通り過ぎると、その音は、またあのドスン、ドスンという音と入れかわった。

物体の通過で呪縛が解けたようにカルロスは手足の自由を回復し、トラックに飛び乗った。今度はエンジンもすぐかかった。怖くて後を振り返ることもできず、彼はノロノロしたトラックをとにかくできるだけ速く走らせて家に帰り、家族に事件の話をした。家族が外に出てみると、明るく光るのが家の周囲を旋回していた。

それからというもの、ネグリは、ただ1人で農場の奥で働くことを拒否した。だが、何事も起こらなかった。しかし、ネグリと家族に会った記者が、続いて起こった事件を詳細に調査しなかったのは残念だ——というのが、その事件は、UFO活動とは不思議に縁の深いいわゆる「黒服の男」の訪問を思い起こさせるからである。ごく近くでUFOを目撃した場合、多くの目撃者が怪しい男の訪問を受け、自

分たちの体験や過去の個人的経歴について問いただされた上に、どうかすると自分たちの目撃したことを他人に話してはならないと警告される。それらの訪問者がいつも黒服を着ていたわけではなく、軍服の場合も軽装の場合もあったのだが、「黒服の男」という言葉は、1952年にアルバート・K・ベンダーを訪れ、この有名なUFO研究団体の会長に活動を中止するよう警告したダーク・スウィッチを着た3人の男の事件から使用されるようになった。

この目撃事件から2日後、ネグリは家にいなかったが、黒服を着た3人の男が現れ、彼の母親と話をした。彼女は彼らが、今までに見た聖職者のような服装はしていなかったが、何かの宗教団体から来た人たちだろうと思った。スポークスマンらしいその中の1人は、白髪を長く伸ばしていたが、農場や家族について見当違いの質問をした。目撃の話にはふれなかったが、「信仰深い調子で物を言い、来年まで続くはずの天のしるしと奇跡について警告」した。スポークスマンは親切そうな様子をしてしたが、他の2人は「奇妙な目つきで彼女をジロジロ見めて」いた。

ペルー南部のコンタクト事件

(本稿の書かれた) 1976年の夏から秋、冬にかけて、UFO目撃報告は

大陸の各地から提出され続けた。あまり沢山あるのでここには書ききれない

のである。UFOに近寄って乗員とコンタクトした事件の代表的な例は、9月6日に起こった。

55歳になるレオニシオ・ハラ・トレスと妻のエレナは、ペルー南部のオラシェアとアジャビビリを結ぶ道路の、アッコ・パンバ付近を車を走らせていた。午後8時ごろ明るい物体が見えた。その物体は彼らめがけて降下をはじめ、接近して来るとトラックのエンジンが止まってしまった。レオニシオはブレーキを踏み、車を路肩の上に寄せた。そのとき、丸屋根のついた、直径9mもある円形形のUFOが、2人から30mほど離れた野原に着陸したのである。

■あの怪物に感謝しています

物体からは2人の人間が姿を現した。夫妻の短い説明によると、彼らは人間そっくりではあったが、「キラキラ輝く服」を着て、「目のところは空っぽ」だった。彼らはあぶなっかしい足どりでも「コチコチ」と歩いた。ずっと並んでいたが、1人は心持ち後にさかっているようだった。彼らは懐中電灯のようなものを持っていて、それを上空に向けて照らしていたが、トラックが止まってから夫妻が、体がしびれたようになって動くことができなかったのはそのせいではないかと、2人も信じている。

乗員はヨチヨチ歩きを続けてトラッ



クに近づき、運転台の両側に分かれるといきなり開いた窓から手を伸ばして、レオニシオとエレナの背中にふれた。こんな事件にはよくあることだが、奇妙な2人組はそのままクルリと向きを変えるとあの特徴のある歩き方で円盤の方へもどって行き、中に消えると離陸してしまった。夫妻のしびれはすぐに消え、トラックももう1度動きはじめた。震え上がった2人はハイウェイ・パトロールの事務所へ車を止め、怪物たちが手をふれたため背中をやけどしたと訴えた。「やつらの手は赤熱しているようにひどく熱くて、気絶しそうでした」とレオニシオは警官たちに話した。2人は極度に興奮してほとんどヒステリー状態にあったが、診察の結果2人の背中の皮膚にやけどの跡らしいものはなかった。警官たちは夫妻を事件現場につれもどした。2人の言葉どおり、着陸地点は土に凹みがあり、焼け焦げたあともあった。

警官たちは夫妻の住所を聞いて保健所に連絡した。保健所ではおきまりの調査をしたが、数日後になっても2人

には後遺症も現れなかったばかりでなく、その反対に、レオニシオの話によると、怪物にさらわれる前は2人ともリューマチに悩まされていたのが、数日間には全然痛みを感じなくなったという。残念ながら数日後にはリューマチ

UFO騒ぎは10年周期？

1977年中ごろには南米で大量にUFOが目撃されるという予言が正しいかどうかは、時間がたてば分かることだろうが——UFO研究者たちには、UFO騒ぎは10年周期で起こるといふ、ティモシー・グリーン・ベックリーの説をも検討してほしい。これは実際に南米でも起こりつつあるのであ

る。
私自身のファイル——特に1966年7月から1967年8月までの——についてみると、彼の説はたしかに正しい。この期間内の南米でのUFO目撃とコンタクトの報告は、文字どおり膨大なものである。この期間のUFO資料を容易に閲覧できる立場にある人なら誰でも、100件以上の、現在起こりつつある事件と同じくらい不思議で魅力的な事件に目を通すことができる。これらの事件のことをよく知らない人たちのために、一つだけ例を挙げることにしよう。

1967年6月12日の霧深い朝、アルゼンチンのブエノスアイレス地方の

も戻って来た。だが痛みは以前よりもずっと軽くなっていた。エレナはふたたび縫い物ができるようになり、ドレスを仕上げては2人の収入の足しにした。あの怪物に感謝しています、と2人は語ったものである。

農場主の息子オスカル・イリアルトは、行方不明になった家畜をさがすため馬に乗って出かけた。2人の人間が、合図でもするように彼に手を振った。最初は狩人かと思ったのだが、近寄ってみると2人は普通の人間ではなかったのである。彼らは緑色に輝く継ぎ目のない服を着ており、頭の毛どころか眉毛さえ生えていなかった。彼が近づく間2人は、ジッと彼の方を見て身動きもせず立っていた。

■手渡された奇妙な紙

イリアルトはこの見知らぬ人たちに



▲アルゼンチンの農場

対して、強い好奇心は感じたが、恐怖心は起こらなかった。彼は自分の名前を名乗ってから彼らに、どこから来たのか、とたずねた。2人のうちの1人が——「ラジオのアナウンサーが話すような」とイリアルトは説明した——地方の訛りのない完全なスペイン語の返事をした。くちびるを(まるで人形のように)機械的に動かし、感情のない声でスポークスマンは、質問には答えず、彼にこう告げた。「君はまもなく世界を見るようになる」

もっと大きくなったなら米国や欧州に行くことを夢見ていたこの15歳の少年は、単にこう答えた。「ええ、いつかそうなるでしょう。でも今はまだ若すぎるし、それにお金もないんです」
「お金はいらない。私たちが連れて行ってあげる」

異様な、しかし親切そうな男はこう約束すると、谷の方を指さした。今まではイリアルトは気づかなかったが、そこには金属製の台に乗った輝く円盤形の物体があった。周囲には丸窓があって、小さな丸屋根からアンテナが突き出していた。

奇妙な乗物を見て少年は怖くなったが、UFOの乗員がこう言ったのでホッとした。「でも、今すぐ連れて行くわけにはゆかない——重すぎるほど荷物を積んでいるからね」

その代わり、と乗員は、残念賞でもくれるように幅15cmほどの紙を1枚差

好評発売中!
アルファートン
バイオフィード
バック装置

これを使って精神統一をすると速やかに効果が上がり超能力が発現します。

超科学七、八号(各三〇〇円・送料共)参照

二九、五〇〇円
千五〇〇円



ESPカード……………五〇〇円
千一四〇円

キリリアン写真機用テストラコイル
美顔器……………一三〇〇円
千五〇〇円

超科学四号
特集 超科学実験装置 参照
五〇〇円 千一二〇円

橋本電子研究所
鎌倉市小町一―一五―一七
0467(25)3035

あなたの中に眠る超能力を引き出す素晴らしい人生を送るための会

日本超科学会

会員は右記の品一割引、会報進呈、切手六〇円送れ。



ティモシー・グリーン・ベックリーの情報によると、南米での10年周期は1946〜7年までさかのぼるといふ。1947年6月のケネス・アーノルドの目撃事件が最初で、それが米国

南米における最初のコンタクト事件

に、谷の宇宙船に歩み寄り、中に入って行った。円盤はヒューンと大きな音を立てて離陸し、すぐに見えなくなりました。少年は全速力で家に帰ると父親にそのことを話した。驚いた父親は警察を呼んだが、警官たちも、着

し出して、それを近くの小川の水にひたすように命じた。イリアルトは馬から降りて紙を受け取り、言われたように水につけた。不思議なことに、紙にはまるで防水処理がしてあるように、ぬれもしなければずくも垂らすこともなかった。

■吹き飛んでしまった物的証拠

2人は、それ以上一言も口をきかずに、谷の宇宙船に歩み寄り、中に入ってしまった。円盤はヒューンと大きな音を立てて離陸し、すぐに見えなくなりました。少年は全速力で家に帰ると父親にそのことを話した。驚いた父親は警察を呼んだが、警官たちも、着陸現場に行くと地上に三角形に並んだ三つの凹みを見るまでは、疑い深そうな目をしていて。彼らはまた、あの奇妙な紙を水にひたす実験をしてみてもうっかり驚いた。

この事件は、物的証拠が調査者の手に残された珍しいケースのように思われたが、事件はそれきりで行き止まりとなった。残念なことに、記者が事件の話を聞いて調査に乗り出す前に、その紙の方が消滅してしまっていたのである。イリアルトは、その紙は分析のため警察に渡したと言う。警察は、その紙は本部に持ち帰る途中、車のウィンドウから吹き飛んで見えなくなつてしまった、と主張している。

■奇妙な円形の物体は私の前へ着陸した！

ブラジルの目撃者ホセ・C・ヒギンズの証言を、言葉どおり引用しよう。「7月23日に私は、ビタンガの北西、そしてカンボ・ムラオの南西に当たるゴイオ・パンゴという小村にいました。これらの地名はみな、パラナ州の中にあります。私は、測量の仕事をしていました。その地方では3カ所か4カ所しかない森林中の開拓地の一つを横切ろうとしていたとき、シューッと深い音が聞こえて、髪の毛が逆立ちました。奇妙な円形の物体が……空から降下して来ました。私の部下は、皆単純な田舎者ばかりでしたが、物体を見ると恐れて逃げ去ってしまいました。どうして私だけがとどまって成り行きを見守る気になったのか、自分でもよく分かりません。物体は、開拓地の上空を旋回して、私から45mほど離れたところにふんわりと着陸しました。大した見物でした。直径は約24m、高さは4・5mぐらいありました。パイプがいろいろな方向に交差しており、シューッと音はそこの中の6本から発していました。でも煙のようなものも見えませんでした。地面に接する部分には曲がった脚のようなものがあり、物体が着陸すると曲がり方はいっそうひどくなりました。銀ではないが、明灰色の金属でできているようです。窓が一つあり、男が2人、私

会員募集

日本
GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP（知らせる運動）組織の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特殊な体験と宇宙的哲学の促進活動を展開してきた。機関誌「GAPニュースレター」はすでに61号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山各市支部設立。個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期刊機関誌

「GAPニュースレター」

第61号発行中

●本格的活版印刷・B5判・極上アート紙40頁●UFOに関連した他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
主要記事■連載スペース・ブラザーはなぜ来るのかG・アダムスキー／太陽が黄金色に見える／宮内温夫／宇宙異想について久保田八郎／その他有益な記事写真満載

入会希望者は50円切手と宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」28号で見たと書きそえてまず案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の一回売りはしません。

〒113東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP（主宰）久保田八郎

の方を物珍しそうに見ていました。2人ともたいそう変わった様子をしていました。

■ドアが開き3人の男が現れた

しばらくすると、その中の1人が機内の方を向いて、誰かと話をしているように見えました。それから音がして(物体の)周縁部の下側にドアが開くと、3人の男が現れました。体を完全に包む透明な作業服のようなものを着ています。タイヤ・チューブのようにふくれて、頭部ですっぽり包んでいました。背中には、服装の一部らしい金属製のサックを背負っています。透明な作業服を通して、布ではなくてアルミ箔のようなものでできた下着やサングラスを身につけているのが分かりました。奇妙な感じがするのは、主に、眉毛もまつげもない大きな丸い目と——それに頭に全然毛がないことによるらしいことが分かりました。ひげはなく、頭は大きくて丸いのです。足も地球人よりはかなり長い。私の身長は172cmですが、彼らは私よりも30cmは高かったでしょう。彼らは皆、作業服を着たのも窓側にいるのも、同じように見えました。3人のうちの1人は小さな金属管を持っていて、それを私に突きつけました。お互いに話し合っていました。言っていることはよく聞きとれましたが、意味は全然分かりません。私の聞いたことのない言葉でし

たが、耳には快く響きました。彼らは、背は高くせにキビキビと動いて、私の周囲に三角形を作って立ちました。金属管を持った人が、船内に入るように私に手まねをしました。私はドアに近づきましたが、中に見えるものは床と壁際に何個か丸い厚板の置いてある小さな部屋だけでした。

私は言葉と手まねで、どこへ連れて行くのか、と彼らにたずねようとしました。彼らは私の言うことが分かったらしく、指導者らしい1人が地面に太陽をあらわす円を描き、その周囲に七つの輪を描きました。彼は7番目の輪と宇宙船を指さし、それを何度か繰り返ししました。(注1第7惑星は天王星)

■7番目の輪を示すオルケ

私は肝をつぶしました。地球を離れるって？ それはお断りだ！ 私は状況を考えました。彼らと戦うことはできません、それは明らかです。彼らはずっと強そうだし、人数も多い。そのとき良い考えが浮かびました。彼らが日光を避けようとしているのに気がついた私は、自分も日陰に入り、ポケットから財布を取り出して、彼らに家内の写真を見せ、彼女も連れて来たいと説明しました。彼らは別に私を止めようとしなかったで、私は茂みに入ると彼らの様子を観察しました。彼らは飛びはねたり石を遠くへ投げたりして、子供のように遊んでいましたが、30分

もすると宇宙船に乗りこみ、同じシュートという音を立てて離陸すると北に向かって飛び去り、雲の中に消えました……奇妙な様子はしていましたが彼らは美男子で、とても健康そうに思われました。彼らの言葉を字で表わすことはできませんが、二つの単語は覚えていいます——太陽を示すアラモと、7番目の輪を示すオルケです。

UFOの謎の他の様相の場合と同じように、人は、南米での予言と「騒ぎ」の周期から何かの意味を引き出そうとする。ある者は、テレパシーは「非科学的」であると主張して、宇宙人から受信したメッセージの正当性を疑うこともあるだろう。

しかし、UFO乗員と地球人との沢山の直接連絡が、言葉を用いずテレパシーによってなされている。エンリケ・カステイリヨ博士がイザドア・ナックマンに語ったように、博士の同僚が受信したメッセージは人間の脳が受信できるある種の電子的通信法によったものと博士は信じている。関係したのが声望ある科学者たちであり、大陸のはるか離れたところにいる全く別の二つのグループが、お互いの発見について全然知らないのに、同じようなメッセージを受信していることから考えても、デッチ上げという可能性はまことに少ない。

宇宙人は二つのグループの受信者に

「私たちはもどって来る」と繰り返し言っている。彼らは、科学者も彼らの存在を知っていると言い、若いフランセスコ・オヘダに「私たちは大勢であなたたちの星を訪れます」と語った。

恐怖に震え上がって彼らの言葉を全部は話そうとしなかった運転手も「彼らは来年もどって来るでしょう！」と言う。あの白髪の「黒服の男」でさえもカルロス・ネグリの母親に、1977年まで続く「前兆と奇跡」について語ったではないか。

科学者たちが、訪問者は明らかに技術的にも知識的にもはるかに進歩しているが、彼らの言葉をかならずしも全部信用するわけにはゆかないと言っているのは事実である。ジョン・キールのように高い尊敬を受けている研究家も、彼らは何か秘密の暗い目的をかくすために別のことを言っているのかもしれないと指摘している。その他の経験深い研究家たちも、UFO目撃の突然の増加は広範囲にパニックを生む原因となるかもしれない、そしてテレパシー・メッセージは民衆に不安が生じないようにとの努力の現れかもしれない、と警告しているのである。

もちろん、そのような推測は、長い間続いた激痛から解放されて新しい日を迎えることができたブルーのレオニシオとエレナのトレス夫妻には無意味なものかもしれない。

(完)

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426(25)7941



連載第4回

クロード・ボリロン

異星人は語る。今やつと人間は、真実が理解できる時期に達した。生命が創造された惑星は地球だけではない。そして、地球が他との競争に勝ち残れるかどうかを決める「最後の審判」の日はせまっているのだ。

第3章 選民を監視する

最後の審判

ユダヤ人がペルシャ人やギリシャ人によって支配されたのは、彼らの信仰心の欠除を罰するために、創造者たちが人々の間に「天使」をつかわして、彼らの文明の偉大な瞬間を解き明かす技術的進歩を達成させようとしたためです。ペルシャ人を助けるため派遣された天使たちの長がミカエルです。

『ミカエルはペルシャの王のそばにやつて来た』(ダニエル書X)

『ダニエル書』の第XII章にも、死者の復活が述べられています。

『地のちりの中に眠っている者のうち多くの者は目をさますでしょう。そのうち永遠の生命にいたる者もあり、また恥と、限りなき恥辱をうける者もあるでしょう』(ダニエル書XII)

「最後の審判」は、偉大な人々の復活をもたらし、人間性を肯定し、創造者たちを崇拝していた人々は、創造者たちの命令に従って、来たるべき時代の人間として喜びと共に目覚めるでしょう。反対に邪まな人々はすべて審判者の前で恥じることになります。でも彼らも、人間性の見本として、永遠の恥辱と共に生きながらえます。『賢い者は、大空の輝きのように輝き

また多くの人を義に導く者は、星のようになつて永遠に至るでしょう』(ダニエル書XII)

天才たちは最高の評価を受け、報われるし、心の正しい人々も、天才たちが我が世の春を迎え、勝利を得ると同様に報われます。

『ダニエルよ、あなたは終わりの時までこの言葉を秘し、この書を封じておきなさい。多くの者は、あちこちと探り調べ、そして知識が増すでしょう』(ダニエル書XII)

この言葉は、人間が充分な科学知識の水準に達するまで理解できないものだったのです。つまり、現在になるまで。そして、すべては明らかにになるのです。『聖なる民を打ち砕く力が消える時に』。

これは、イスラエルの民が長きにわたった放浪の後、自分たちの国を再び見つけ出す時のことです。イスラエルの国家が誕生したのは数十年前、地球人類の科学が飛躍的に進歩したのと同じ時期です。

『ダニエルよ、あなたの道を行きなさい。この言葉は終わりの時まで秘し、かつ封じておかれます』

すべてが、今の時代になるまで理解不可能だったのです。今や、すべて理解できるようになりました。ここ数年

の間に、人間は宇宙探査に着手できるほどの目覚ましい科学的進歩を遂げたので、人間の目から見てすべてが可能と思われるようになりました。どんな驚嘆すべきことでもテレビの画面を通して見ることに慣れっこになってしまった人々にとって、心から驚くようなことは何ひとつありません。人々は彼らが「神」に似せて創られたこと、創造者たちがすべてをなしうるということとを、彼らの科学的な可能性の範囲内で、さしたる驚きもなしに受け入れられるようになりました。「奇跡」は理解可能となったのです。

『ヨナ書』にでてくる、予言者をのみ込んだ「大いなる魚」は大変に興味をそそります。ヨナが小舟から海中に投げ入れられると

『ヤーヴェは大いなる魚を備えて、ヨナをのませられた。ヨナは3日3夜その魚の腹の中にいた』

『大いなる魚』……実は潜水艦のことです。いまでこそ、あなたがたもこのような潜水艦を知っていますが、当時の人々は「大いなる魚」しか知らなかったで、魚の胃袋で人は消化されてしまい、二度と目の目をさがめないと考えました。潜水艦は、人間が内部で呼吸できるように、空気を取り入れる必要があります。この潜水艦の中で創造者たちはヨナに話しかけ、当時の政治的事象の推移について詳しく教えました。

『ヤーヴェは魚にお命じになったので魚はヨナを陸に吐き出した』
潜水艦は海岸に近づき、ヨナは再び大地をふみしめたわけだ。
『ゼカリヤ書』の第Ⅴ章にも、宇宙船についての描写が見られます。
『わたしがまた目をあげて見ていると飛んでいる巻物を見た。……その長さは20キュビト（9m）、その幅は10キュビト（4・5m）』（ゼカリヤ書Ⅴ）
この記述のすこしあとに、はじめて女性の創造者たちが登場します。
『それからわたしが目をあげて見てみると、ふたりの女が出てきた。これにコウノトリの翼のような翼があり、その翼に風をはらんでいた』（ゼカリヤ書Ⅴ）
創造者たちの仲間の2人の女性は、自動飛行装置のついた衣服を身にまとい、ゼカリヤの周囲を飛び回ったので、
『詩篇』の第Ⅷ篇では、人間について次のように語られています。
『ただ少しく人をエロイムよりも低く造って』
人間は創造者たちとはほぼ等しいだけの知力を備えています。ただあえて書きとめる勇気がなかったので、口述されたとおりエロイムと等しいとはせず、に、書き直したのです。
『それは天のはてからのぼって、天のはてにまで、めぐって行く』（詩篇XX）
創造者たちは、地球の軌道から遠く

へだたったところにある惑星からやて来ました。

『神は太陽のために、海の上に幕屋すくやを設けられた』(詩篇XXIX)

大洋が地表をおおひ、原初の大陸が形成されたときに創造された陸塊りくかいについての、新たなほめかしです。

『ヤールヴェは天から見おろされ、すべての人の子らを見、そのおられるところから、地に住むすべての人をながめられる』(詩篇XXXIII)

創造者たちは彼らの宇宙船から、人間の普段の行動をつぶさに監視していたのです。

サタン

『ヨブ記』の第1章に、サタンについての説明があります。

『ある日、エロイムの子たちが来て、ヤールヴェの前に立った。サタンも来てその中にいた』(ヨブ記一)

エロイムは、ここではヘブライ語の字義どおり「天空より来たる者たち」と解すべきです。したがってエロイムの子たちとは人間を監視している創造者たちのことで、彼らは自分たちの惑星と定期的に連絡をとり、なによりもまず人間が彼らを敬愛していることを示そうと努めていました。しかし彼らの中のひとりにサタンという名前の者がいました。彼は、地球のような近きにある惑星に知的生命を創造すること

を絶えず批判していた者たちのひとりでしたので、人間が脅威となる可能性を秘めているとみなしたのです。

人間が創造者たちを敬愛しているという数多くの例のうちでも最もすぐれたヨブの信仰心を前にしても、サタンは次のように言いました。

『サタンはヤーヴエに答えて言った。『ヨブはいたすらに神を恐れましようか。……あなたの手を伸べて、彼のすべての所有物を撃つてごらんなさい。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのうでしよう』。ヤーヴエはサタンに言われた、『見よ、彼のすべての所有物をあなたの手にまかせる。ただ彼の身に手をつけてはならない』(ヨブ記一)

もし富を失えばヨブの創造者たちに對する敬愛の念はうせるといふサタンの主張を聞いて、創造者たちの惑星の政府は、サタンにヨブを滅ぼす全面的な権限を与えました。それでもヨブが創造者たちを敬愛するなら、大丈夫だと考えたのです。このため、ヨブを殺すことはなりませんでした。

ひとたび彼の所有物を滅ぼされてもヨブが強情に創造者たちを尊敬しつづけたので、政府はサタンの反対意見に勝利をおさめました。しかしサタンは確かにヨブは多くの所有物を失ったが、彼自身は健康だったためだと主張し、命だけは奪わないという条件つきでヨブに関する白紙委任を政府から取りつ

の間に、人間は宇宙探査に着手できるほどの目覚ましい科学的進歩を遂げたので、人間の目から見てすべてが可能と思われるようになりました。どんな驚嘆すべきことでもテレビの画面を通して見ることに慣れっこになってしまった人々にとって、心から驚くようなことは何ひとつありません。人々は彼らが「神」に似せて創られたこと、創造者たちがすべてをなしうるということとを、彼らの科学的な可能性の範囲内で、さしたる驚きもなしに受け入れられるようになりました。「奇跡」は理解可能となったのです。

『ヨナ書』にでてくる、予言者をのみ込んだ「大いなる魚」は大変に興味をそそります。ヨナが小舟から海中に投げ入れられると

『ヤーヴェは大いなる魚を備えて、ヨナをのませられた。ヨナは3日3夜その魚の腹の中にいた』

『大いなる魚』……実は潜水艦のことです。いまでこそ、あなたがたもこのように潜水艦を知っていますが、当時の人々は「大いなる魚」しか知らなかったで、魚の胃袋で人は消化されてしまい、二度と目の目をさがめないと考えました。潜水艦は、人間が内部で呼吸できるように、空気を取り入れる必要があります。この潜水艦の中で創造者たちはヨナに話しかけ、当時の政治的事象の推移について詳しく教えました。

『ヤーヴェは魚にお命じになったので魚はヨナを陸に吐き出した』
潜水艦は海岸に近づき、ヨナは再び大地をふみしめたわけだ。
『ゼカリヤ書』の第Ⅴ章にも、宇宙船についての描写が見られます。
『わたしがまた目をあげて見ていると飛んでいる巻物を見た。……その長さは20キュビト（9m）、その幅は10キュビト（4・5m）』（ゼカリヤ書Ⅴ）
この記述のすこしあとに、はじめて女性の創造者たちが登場します。
『それからわたしが目をあげて見ていると、ふたりの女が出てきた。これにコウノトリの翼のような翼があり、その翼に風をはらんでいた』（ゼカリヤ書Ⅴ）
創造者たちの仲間の2人の女性は、自動飛行装置のついた衣服を身にまとい、ゼカリヤの周囲を飛び回ったので、
『詩篇』の第Ⅷ篇では、人間について次のように語られています。
『ただ少しく人をエロイムよりも低く造って』
人間は創造者たちとはほぼ等しいだけの知力を備えています。ただあえて書きとめる勇気がなかったので、口述されたとおりエロイムと等しいとはせず、に書き直したのです。
『それは天のはてからのぼって、天のはてにまで、めぐって行く』（詩篇XX）
創造者たちは、地球の軌道から遠く

けました。

『見よ、彼はあなたの手にある。ただ彼の命を助けよ』(ヨブ記Ⅱ)

『ヨブ記』の中では、なんととっても第XXIII章にある短い文章が興味をひきます。

『これに耳を傾けよ。ヨブ。……あなたは鑄た鏡のように堅い雲を彼とともに

以前は人間に理解できなかった

創造者たちは、人間たちに邪魔されないように、高い山の上や海の底に基地を造りました。ヒマラヤ、ペルーな

どには、今でも高度文明の跡が見られます。高山の基地はしだいに廃止されていき、人間がもっと近づきたい海底へと移されました。追放された創造者たちは、最初から大洋の底に隠れ住んでいました。

『その日、ヤーヴェは堅く大いなる強いつるぎで逃げるヘビ、レビヤタンを罰し、また海における竜を殺される』(イザヤ書XXVII)

この当時、惑星の政府は、人間の創造者たちを滅ぼそうと考えていました。こうした驚異をすべて明確に理解するのは容易なことではありませんでした。人々は科学的なことを理解できなかったたので、抽象的な方法で創造者たちに無理矢理いどうとしました。『その書物を読むことのできない者にわたして「これを読んでください」と

に……』

人間は「堅い雲」すなわち金属製の宇宙船をつくる能力があるでしょう。当時の人々は、神以外は不可能だと考えていました。でも、現在では……

創造者たちはヨブの人間性を目のあたりにして、最後には彼に富と子供たち、それに健康を再び与えたのです。

言えば、「読むことはできない」と彼は言う(イザヤ書XXIX)

人間はずっと昔から真実を手中にしていたのですが、「読むことができる」まで、つまり科学的に十分な発達を遂げるまで理解することができなかったわけです。

『すべての人は愚か(おろかな)で知恵がなく、』(エレミヤ書X)

この知恵(科学)が創造者たちに創造を可能にしたのであり、将来、人間にもそれを可能にすることでしょう。

『ヤーヴェが昔そのわざをなし始められるとき、そのわざの初めとして、わたしを造られた。いにしえ、地のなかつた時、初めに、わたしは立てられた……彼が天空を張られたとき、わたしはそこにあつた。……水にその岸を越えないようにし、また地の基を定められたとき、わたしは、そのかたわらにあつて、名匠(めいしやう)となり、日々に喜び、常にその前に楽しみ、その地で楽しみ、

また世の人を喜んだ』(箴言Ⅷ)

知性と科学、この2つの徳によって創造者たちは「母なる大地」を創造できたのです。生物が住む単一の大陸です。現在、この知性と才気は人間の頭

脳を導いて、彼らの創造者たちの行為を模倣するまでにいたっています。そ

もその初めから、人間は他の世界に彼らに似た人間を創造しています。このサイクルは続きます。ある者が死ねば、他の者が交代します。私たちはあ

なたがたの創造者であり、あなたがたは他の人間を創造することになるので

す。

『今あるものは、すでにあったものである。後にあるものも、すでにあったものである』(伝道の書Ⅲ)

『人は獣にまさるところがない。すべて空だからである』(伝道の書Ⅲ)

動物も創造されたもので、再創造されることになるでしょう。すべて人間と同じで、それ以下でもそれ以上

でもありません。滅びつつある動物の種は、あなたがたが再創造を知った時再び復活できるでしょう。

創造者である私たちは、私たちに創造されたことを人間が感謝してしかるべきだと公式に主張する気はありません。私たちは、あなたがたが恨みを持つことを恐れています。私たちはあなたがたと近づきになりたく思います。そして、あなたがたが私たちの非常に進んだ科学から利益を得ることを望ん

でいます。これは、あなたがたが私たちに反抗せず、私たちを父のように敬愛すればのことですが。

『おのれを造った者に抗議する者はわざわいだ。粘土は陶器師にむかつて、

「あなたは何を造るのか」と言い、あるいは「あなたの造った物には価値がない」と言うだろうか。父にむかつて

「あなたは、なぜ子をもうけるのか」……と言う者はわざわいだ(イザヤ書XIV)

『わたしは苦しみの炉をもってあなたを試みた。わたしは自分のために、自分のためにこれを行う』(イザヤ書XVIII)

これは、人間が創造者たちを嫌うことがあってはいけないうと、創造者たちが科学の進歩をもつばら人間にゆだねて、ほとんど援助を行わなかったということです。

『あなたがたは知らなかったか。あなたがたは聞かなかったか。初めから、あなたがたに伝えられなかったか。地の基を造った時から、あなたがたは悟らなかつたか』(イザヤ書XL)

高い山の上に造られた創造者たちの基地の跡は、『アモス書』にみつかりま

す。

『地の高い所を踏まれる者』(アモス書IV)

創造者たちの基地は、7つありまして。これらの7つのものは、あまねく全

地を行き来するヤーヴェの目である』

(ゼカリヤ書Ⅳ)

7本の管をもつ燭台(しんたい)というのは、その意味がわからなくなっているのです。が、もともとは創造者たちの司令部のことです。これは7つの表示灯をもつ中枢部で、他の基地や地球を周回する惑星間航行用宇宙船と連絡がとれるようになっています。

テレパシーについては、次のような暗示に富んだ記述があります。

『わたしの舌に一言もないのに、ヤーヴェよ、あなたはことごとくそれを知られます。あなたは後から、前からわたしを囲み、わたしの上にみ手をおかれます。このような知識はあまりに不思議で、わたしには思いも及びません。これは高くて達することはできません』(詩篇C XXXIX)

当時、テレパシーなど想像もつかなかったのです。『このような知識はあまりに不思議で、わたしには思いも及びません』

彼らにとって、天文学と惑星間旅行も、まったく想像のつかないことでした。

『主はもろもろの星の数を定め、すべてそれに名を与えられる。われらの主は大いなる神、力も豊かであって、その知恵ははかりがたい』(詩篇C XLVII)

当時は、電気通信もまったく理解の及ばない事柄でした。

『主は地に命令を送られる。その言葉

はすみやかに走る』(詩篇C XLVIII)

わたしたちは、創造者たちの仕事について、その目指すところのかなめとなる連結点に到達しました。彼らは、人間に直接干渉することをせずに、科学の進歩は人間のするがままにまかせておきました。彼ら自身、自分たちが同じようにして創造され、自分たちに似た生物を創造することにより、この循環を続けていけるということを知っていたからです。しかしその前に、彼らは、真実を地上全体に広めるため、「救世主」をつかわしてイスラエルの民だけにこれを理解させるようにして、太古からの神祕が科学の進歩によって解明されたあかつきに、地上全体にこの知識が広まるようにしようと考えました。彼らは、次のように言っています。

『ベツレヘム・エフラテよ、あなたのうちから、イスラエルを治める者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである……彼はヤーヴェの力により……立ってその群れをやしなひ……彼の威力が地の果てまで及ぶからだ。これは平和である』(ミカ書 V)

『喜べ、エルサレムの娘よ、おまえの王がおまえのもとに来る……見すばらしい姿で、ロバに乗って……彼は国々の民に平和を説き、彼の王国は四海に広がるであろう』

第4章 キリストを利用する

受胎

キリストは地上全体に聖書に記述されている真実を広め、この真実が科学によってすべての人間に解き明かされる時代になった時、その証拠となるようにする義務を負う者でした。

このため、創造者たちは人間の女と彼らの1人との間に子供をもうけることにし、その子供に人間にはないテレパシー能力を遺伝的に授けたのです。『マリヤは、聖霊によって身重になった』(マタイによる福音書 I)

こうして地球人の中からマリヤが選ばれたわけですが、彼の婚約者にとつては耐えがたいことでした。しかし、『主の使いが夢に現れて言った』

創造者たちの1人が彼のもとへ行って、マリヤが神の子を宿していると説明したのでした。

創造者たちとコンタクトを持っていた「予言者たち」は、神の子に会いにいくには遠すぎる所にいました。そこで、創造者たちの宇宙船が彼らを導いていったわけです。

『わたしたちは東の方でその星を見たので、そのかたを拜(まつ)みにきました』

情報コーナー

●ぜひ備えておきたい紫外線治療器
頑癬(いんせん)・いんじん・たむし・水虫・円形脱毛症・毛根残存・痔瘻・創傷・足のいやなニオイに悩まされているキミに勧めたいのがこれだ。一日数分間照射でOK。

●室内で日焼けが出来る「太陽灯」
男の魅力は褐色の肌。それを簡単ににつくのが「紫外線健康ランプ」。一日数分ずつ一週間も続けるとグッド。白なまずで困っているヒトも医師と相談の上。

8,000円より



●伸び悩みの十代のキミへ朗報
成長期の栄養補給に、プロテイン85。植物性たんばくを微粉末化したもので、健康維持、男らしい体格を作りたいキミにピッタリ。受験地獄に勝ち抜きたい受験生のたんばく補給にオススメです。

3,400円

●らくらく読める読書スタンド
文庫判から週刊誌大、900gまでの本がピシッとセットでき、寝返りに応じてポジションが簡単に調節できる便利なもの。スタンドに組み込んであるランプがページを適正に照らすから、目の疲れも少ない親切な商品だ。

商品のご注文は現金書留又は振替で
案内書請求は商品名を書き左記へ。
104東京都中央区築地一三四ツクダ
日本健康体力づくりの会 UFO保

☎03-5433-2733(代)
地下鉄築地駅上野寄り出口3分

『彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上にとどまった』(『マタイによる福音書』)

そして創造者たちは、この幼な子を監視していました。

『主の使いが夢でヨセフに現れて言った。』立って、幼な子とその母を連れて、エジプトに逃げなさい。そして、あなたに知らせるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが幼な子を捜し出して、殺そうとしている』

ヘロデ王は、「予言者たち」が彼に告げたことから、この「幼き王」が彼の領地の民にわざわざいをもたらすと知ったのです。ヘロデ王の死後、創造者たちはヨセフにイスラエルに戻ってよいと知らせました。

『さて、ヘロデが死んだのち、見よ、主の使いがエジプトにいるヨセフに夢で現れて言った。』立って、幼な子とその母を連れて、イスラエルの地に行け。幼な子の命をねらっていた人々は死んでしまった』

秘法の伝授

イエスが成年に達した時、彼は創造者たちに連れて行かれ、彼がどのような素性であるかを教えられ、父にひきかわされました。さらに、彼の使命を教えられ、様々な科学技術をほぼできされました。

『天が開け、神の御霊がハトのように自分の上に下ってくるのを、ごらんになった。また天から声があつて言った。これはわたしの愛する子、わたしの心にかなり者である』

『さて、イエスは御霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである』

悪魔というのはサタンのこと、彼は前に述べたように、人間はもっともいいことをしないと説きまわっていた。彼は、あなたにある私たちの惑星政府の反対派から、一貫して支持を受けていたのです。サタンはイエスに会って、彼が正しい知性を持ち、創造者たちを敬愛しているかどうか確かめました。イエスが信頼できるとわかったので、彼に使命の遂行がゆだねられました。

より多くの人々が彼のもとに参加するようにと、イエスは「奇跡」を行いました。実のところは、創造者たちから学んだ科学を応用したわけです。

彼は使徒たちに、地のすみずみにまで真実を広めよと語りました。

イエスは、テレパシーによる集団催眠を用いて、説得力のある話をする方法も学びました。

『イエスがこれらの言葉を語り終えられたと、群衆はその教えにひどく驚いた。それは律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである』(『マタイによる福音書』)

彼は創造者たちの助けをかりて、遠方から光線をあてることによって病人たちの治療を続けました。

『ひとりのライ病人がイエスのところに来て……イエスは手を伸ばして、彼にさわり「そうしてあげよう、きよくなれ」と言われた。すると、ライ病は直ちにきよめられた』

中風の患者に対しても同様のことを行いました。光線を用いて遠方から治療するというのはレーザーから着想を得たものですが、身体を通過して患部だけしか焼き尽さないようになっていきます。

『起きて歩け……そして彼は起きた』
『マタイによる福音書』のあとのほうで、イエスは彼の使命を次のように語っています。

『わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである』
彼がやって来たのは、創造者たちの存在を知っているイスラエルの民のためではなく、この知識を世界中に広めるためなのです。

もっとあとで、最初のものと同じような「奇跡」が行われています。すべて医学に基づくものです。今日では、心臓や他の器官の移植、ライ病などの治療、適切な手段による昏睡状態の回復が可能です。未開人にとってはそれが奇跡と受け取られたのです。この当時、人間はお互いに似かよっており創造者たちも「文明」国家の人間と似

よかっていました。ただ、創造者たちのほうが科学的にすこし進化していただけです。

次の文書は、創造者たちのうちに、イエスの本当の父がいるのを知っているということをほめかしています。
『人の前でわたしを受けいれる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受けいれるであらう』(『マタイによる福音書』)

『天にいますわたしの父の前で』。こう書かれているのです。触れることのできない非実体的な「神」が問題ではないのです。彼は「天にいます」というわけですね。星は光を放つ異物のように天蓋にくっついていて、世界の中心である地球の周囲を回っていると信じていた人々にとって、このことが全く理解できなかつたことは明らかです。今ではこれに反して、宇宙旅行が可能になると共に、宇宙の深遠さについても理解が深まっていますので、この文章にも全く異なった照明をあてる必要があります。

人間の創造

『マタイによる福音書』の第Ⅲ章にはイエスが比喩を用いて説明している重要な一節があります。

『見よ、種まきが種をまきに出ていった』

創造者たちが、他の世界に生命を創



Valentin Vashin

造するため、惑星を離れたのです。

『道ばたに落ちた種があった。すると鳥がきて食べてしまった。ほかの種は土の薄い石地に落ちた。そこは土が深くないので、すぐ芽を出したが、日が上ると焼けて、根がないため枯れてしまった。ほかの種はいばらの地に落ちた。すると、いばらが伸びて、ふさいでしまった。ほかの種は良い地に落ちて実を結び、あるものは100倍、あるものは60倍、あるものは30倍にもなった』

これは、他の惑星でのいくつかの生命創造の試みをほのめかしたもので、その試みは3度まで失敗しました。第1回目は「鳥」がきて食べてしまったと表現されていますが、実際は、その惑星が創造者たちの惑星にあまりにも近すぎたために失敗したのです。自分たちに似た生命の創造が脅威をもたらすと反対する者たちが、その惑星にでかけて創造を破壊したのです。第2回目の試みでは、あまりにも太陽に近い惑星を選んだので、暑すぎたうえ、有害な放射線のために創造は失敗してしまいました。第3回目の試みは、これに反して「いばらの地」で行われました。この惑星は非常に湿気が多く、植物がはびこっていたので、自然の均衡を破壊し、動物を減ぼしてしまっただけです。この世界では今でも、植物だけが存在しています。そしてついに第4回目の試みが、「良い地」で成功をおさ

めました。ここで重要なことは、3度の成功をおさめたことです。つまり比較的近くにある他の2つの惑星にも同じ創造者たちによって創造された、人間に似た生物がいるのです。

『耳のある者は聞くがよい』。能力のある者は理解できるだろうということです。時がくれば、努力している人には理解できるようになります。他の人たち、「見ても見ず、聞いても聞かずまた悟らない」者には、真実はわからないでしょう。

みずから知性を示し、同時に創造者たちの援助を受けるに値する者だけが援助を受けることになるでしょう。

『おおよそ、持っている人は与えられて、いよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう』

みずからの知性を示すことのできない者は滅ぼされるでしょう。人間は、創造者たちから認められる価値を持っていることをほ示しました。ただ、愛だけがすこし欠けています。お互いが愛しあい、さらにまた、創造者たちを愛するようになさい。

『あなたがたは、天国の奥義を知ることが許されている』

生命が創造された3つの惑星は競争関係にあります。科学的に最も偉大な進歩を達成し、それによって自分たちの知性を示した者が、創造者たちに敵対心を示さないという条件つきで、創

造者たちの遺産の恩恵にあずかれるのです。その遺産を受けつぐのは「最後の審判」の日です。つまり、知識が満ち足る水準まで獲得された日です。この時期は、地球人にとってそれほど遠いことではありません。

人間という種は『どんな種よりも小さいが、成長すると、野菜の中でいちばん大きくなり、空の鳥がきて、その枝に宿るほどの木になる』(マタイによる福音書 XIII)

「空の鳥」つまり創造者たちは、人間がそれに値することを示した時に、人間のための知識を持ってやって来て枝に「宿る」のです。

『天国は、パン種のようなものである。女がそれを取って3斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる』(マタイによる福音書 XIII)

創造者たちが科学の開花を見守っている3つの世界についてはのめかしたものです。

『わたしは世の初めから隠されていることを語り出そう』(マタイによる福音書 XIII)

これは、最も重要なことのひとつです。惑星自体にも生命があり、いつの日にか居住不可能になります。もしその環境に適応できないとすれば、人間が生き残るためには、その時までには他の惑星への移住あるいは他の世界に適応できる人間型生命の創造を実施できるだけの科学水準に到達していなければ

なりません。環境が人間に適応できないものならば、その環境に適応できる人間を創造しなければならぬのです。例えば生存できる別の人種を創造して、創造者が終末をむかえる前に、自分たちの知識を彼らに受け継がせるのです。

創造者たちは、遺産が失われないようにと、3つの世界に生命を造り、そのうち最もすぐれたものが彼らの遺産を受ける権利を持つようしました。『世の終わりに、御使いたちがきて、義人のうちから悪人をえり分ける』

科学の奇跡

イエスが水の上を歩いた時、創造者たちは反重力光線で、その場所の重力を打ち消し、彼を支えました。

『イエスは、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた』

これが風をひき起こすことは、次のように記されています。

『しかしペテロは風を見て恐ろしくなり……ふたりが舟に乗りこむと、風はやんでしまった』(マタイによる福音書 XIV)

彼らが舟に乗り込んだ時に「風がやんでしまった」のは、イエスが舟に乗ると光線がさえぎられてしまったからです。ここでも「奇跡」はきわめて科学的なのです。奇跡ではなく「文明」のずれにすぎません。もしあなたがイ

たま出版の最新刊

世界に先がけて刊行 トニー・アグパオア著 わが奇跡の力

フィリピン心霊手術者の半生

本山博・水谷ツルヨ 特別寄稿

浮島勝朗訳

850円 送料160円



指で肉体を開き、腫瘍を摘出する。そして皮膚は傷口もなくふさがる。いかにしてこの力を得たか。幼少時代の奇行や、山中での修行など、興味深い半生と神秘のドラマ

話題のUFOシリーズ

宇宙哲学

ジョージ・アダムスキー著 久保田八郎訳
空飛ぶ円盤の惑星文明とは何か、宇宙人達の普遍的真理体系 定価750円 送料160円

宇宙の友人たち

古山晴久著 地球に來ている宇宙人とのコンタクト体験記と生命の真理。アダムスキーを継ぐ啓蒙活動 定価850円 送料160円

宇宙文明の夜明け

高橋田一著 他惑星とのテレパシー対話による救世の警告 定価950円 送料160円

UFOは第2の黒船だ

坂本ツトム著 宇宙的交流と逆産業革命による人類滅亡の回避 定価680円 送料160円

株式会社 たま出版

162 東京都新宿区納戸町33

電話03-260-4367 振替東京3-94804

エスの時代に宇宙船やヘリコプターを持ち込んだら、あなたがたの科学水準の限界にもかかわらず、当時の人々の目には奇跡とうつることを行えるでしょう。例えば人工照明をつけたり、空を飛んだり、自動車で走り回ったり、テレビを見たり、銃で小鳥を撃ち落としたりすれば、その機械のメカニズムがさっぱりわからないので、彼らはそれを「神」の力か、超自然的なものと思ふはずです。あなたがたとイエスの時代の人間とのずれと同じほど、私たちとあなたがたとの文明には差があります。だから今でも私たちは、あなたがたと「奇跡」と見えることを行えます。しかし、あなたがたのうちで最も進んだ人たちにとっては、こ

れは「奇跡」ではなくなることでしょ。う。というの、あなたがたは数十年前から科学を発達させる道を歩んでおり、捧げ物をして自分ばかりのようにすきつ腹をかかえているかわりに、物事の起る原因を追求するようになっているからです。

しかし私たちの知識は、あなたがたには予測もつかないもので、私たちも「奇跡」を行えば、たとえあなたがたのなかの最高の科学者でも、その奇跡がどのようにして行われたか見当もつかないでしょう。高い知性を持った人たちは恐らくうたえることはないでしょうが、大衆はバニックにおちいってしまします。だが、私たちは彼らを驚かす必要がないのと同様に

大衆もちつとも驚かなくていいのです。彼らは、無形の「神」ではなく、他の人間がみずからの姿に似せて人間を創造したということ、とにかく理解する必要があります。『マタイによる福音書』の第XVII章に、次のような創造者たちに関する記述があります。

『イエスはベテロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。ところが、彼らの目の前でイエスの姿が変わり、その顔は太陽のように輝き、その衣は光のように白くなった。すると見よ、モーゼとエリヤが彼らに現れて、イエスと語り合っていた。……たちまち、輝く雲が彼らをおおい、そして雲の中から声がした。「これはわた

しの子、これに聞け」

この場面が繰りひろげられたのは夜です。イエスが宇宙船の強力な投光器で光り輝き、またその宇宙船からモーゼとエリヤが出てきたのを見て、使徒たちは肝をつぶしました。モーゼとエリヤは「生命の木」のおかげで生きていたのです。不死というのは、人間の考えとは相いれませんが、実際には科学的なことなのです。

次の文章、『多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう』というのは、創造者たちがかつて創造されたように、創造された者も創造者になるであろう、ということです。

(以下次号)
中村省三訳

マシュー・マニングはスパイか!?

スパイに使われる
超能力者

超能力の利用、これは各方面で考えられているが、その中でも最も力をいれているのがスパイ機関であるとされている。

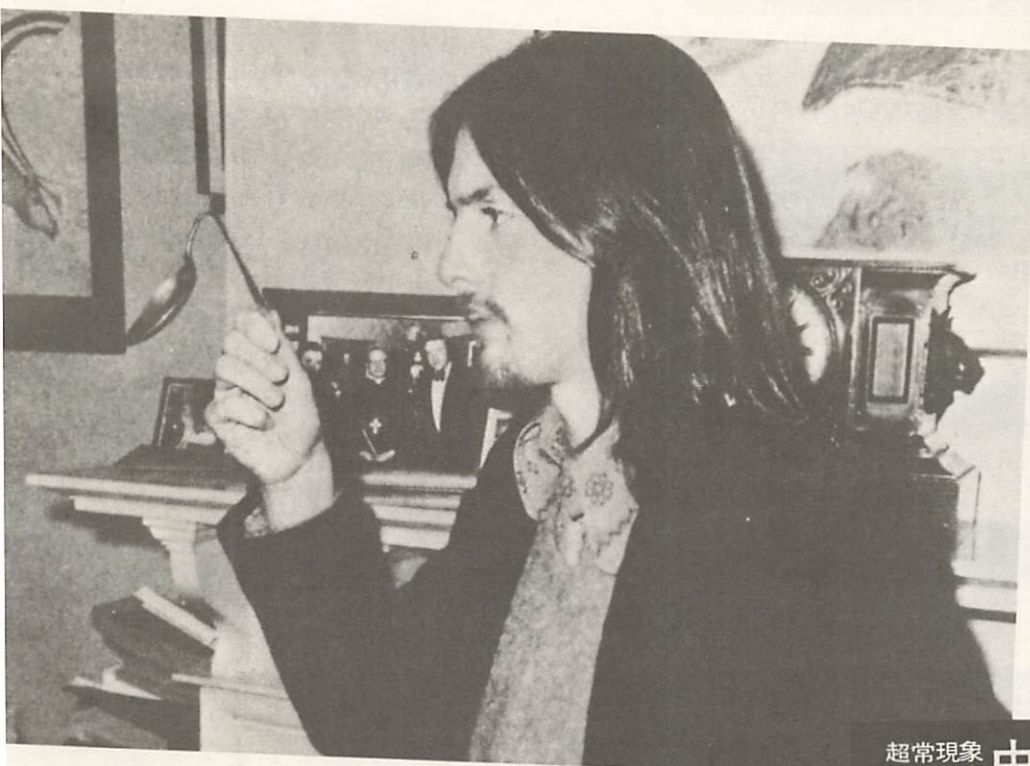
「エニゲマ」第5号にも紹介したとおり、ソ連、アメリカのスパイ機関では、すでに超能力をスパイ活動に使って、多くの成果をあげており、その養成機関では続々と「超能力スパイ」が育てられている。

また、世界各国の秘密警察でも犯人捜査に超能力の応用を研究しており、その一部は実用化されているようだ。

今回は、超能力者がスパイに使われている事実を紹介しようと思う。

M・マニングにのびる

スパイの黒いワナ



▲マニングはスプーンを曲げる念力がある。

超常現象 中岡俊哉
研究家

彼は、まだ22歳の若者で、ポルトガリスト現象（物品の引きよせ）を起こしたり、オートマチックライティング（自動書記）によってピカソなどの絵を書き、世界的にその名を知られている。

ロンドンで発行されている「サイキック・ニューズ」紙(8月6日号)は、マニングが「危険なスパイ」になりか

マニングの超能力は、彼を危険なス

パイにしているといわれている。彼の親友であり、彼のマネージャーでもある。

るピーター・バンダー氏は、スパイ機
関から意味ありげな警告をうけたとい
う。

007ばりに続く予告電話に、マニ
ングは途方にくれているといわれる。
それは、はたして故障によるものなの
か？ それとも何者かの仕業によるも
のなのか？

その不思議な現象は、12月のある寒い夜に始まった。ちょうど、彼がケンブリッジの自宅で本を読んでいるときのことであった。

彼は、自分の車に誰かが何かを仕掛
けている気配を感じたそうだ。最初は
漠然としたものであったが、しばらく
たってもそれは続き、感じはいっそう
強くなってきたばかりか、見えてきた
そう。

何者かがブレーキオイルを流し、ハンドルの効かなくなり、タイヤのナットをゆるめているのが見えたのである。

マニングは、ガレージへ急いで行って見た。だが、何も変わったことはなかった。

彼は、それがどういうことなのかわからなかった。彼は自分の思考がおかしくなっているのではないかと思い、気分転換を試みてみたが、「何か危険な事態が発生するのではないか」という感じを強く持った。『そうだ。』

そこで、マニングはバンダー氏に電話をかけて次のように話したそうだ。

「車のコントロールができなくなって

▲マニングがポルターガイストで引きよせた物品。

いる、木に突っ込むような可能性がある。ほんとうに驚いた！ 早く何とかなのを見きわめなければいけない」

ピーター・バンダー氏は、その夜、1人の男の訪問をうけていた。

その男は、イギリスのスパイ機関の者で、空軍に籍をおく、アルジー・レウエリンと名乗っていた。

そのスパイは、バンダー氏に対して「マニングのテレパシーは、彼を『治安上の危険人物』に仕立てた」と警告したのだ。

さらに、レウエリンは次のように話した。

「私自身の能力はテレパシーの熟知によって、遠く離れた場所の出来事、または会話さえも転換させることができるのです。」

私は、たとえ文書でさえも遠隔距離で読むことができます。このことは私を優れたスパイにさせたのです。

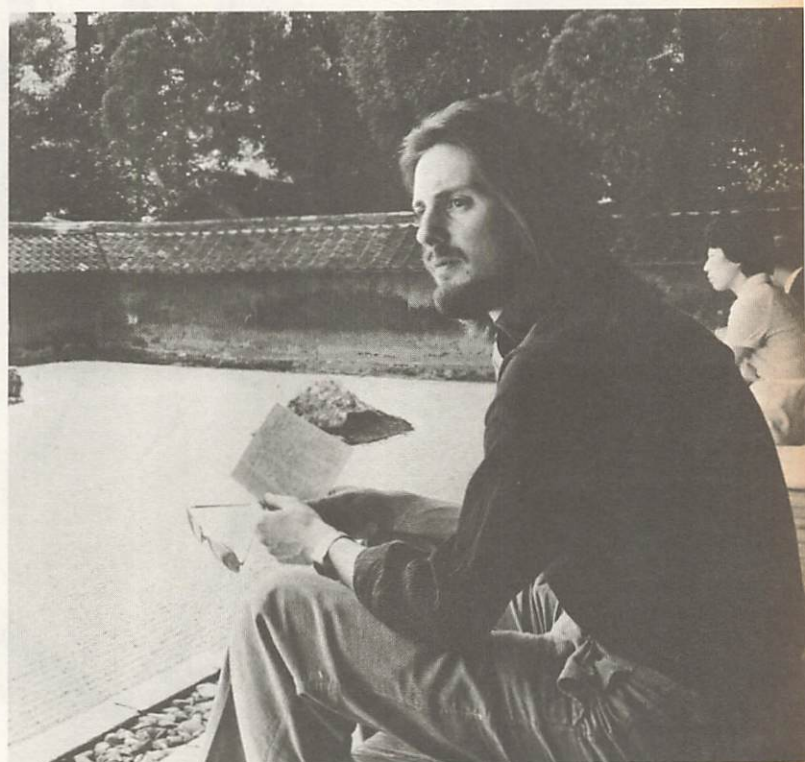
いくつかの外国政府は、私がかれらに何らかの損害を与える前に、私を排除するようにつとめるでしょう。

マニングの車には、仕掛けられていたのかもしれない

マニングは、バンダー氏のところから70マイル（約110 km）離れた家にいたのだ。それに、レウエリンが訪問することも知らなかったのである。

それなのに、何故だろうか？

しかもマニングは、レウエリンとバンダー氏との会話の詳細をもすべてビ



▲来日したときのM・マニング。

ックアップしていたのである。そしてさらに続いて起きる出来事をも見ていたのだ。

マニングはそれらのことについて次のように話している。

「私は、わざとレウエリンの特徴を立証してみせた。スーバー・スパイは流動的な秘密兵でもあるわけだ。」

レウエリンは、とても深刻だった。

私はある種のスパイ行為による爆破に関係させられたことは確かだ」

以上がサイキック・ニュース紙に発表された記事の一部である。

私（中岡）は、マニングとも、バンダー氏とも数回会っており、いろいろ極秘の話を聞いている。その中に、スパイ活動のこともあった。

スパイを強要されたミハイル

ソ連のモスクワに住むミハイル・クーニは、ソ連はもちろん、世界的にも有名な超能力者であり、もともと強い力はあるといっても過言力である。

彼に超能力があることを偶然に見

マニングの持つ超能力をなんとかスパイ活動に利用しようとする動きはかなり以前からなされており、彼はその実験にも無理やり応じさせられているのだ。

テレパシーによって、イギリスに潜入している諸外国スパイの活動を探知することもやらされたという。その成果は非常に大きく、米ソのスパイ活動をそれによって未然に防いだそう。

ポルターガイストによって、秘密情報を引きよせてしまう実験もやらされた。この実験では、あまり大きな成果はなかったが、可能性だけは証明された。

バンダー氏の話によれば、某国スパイ機関からもマニングの能力が欲しいという申し入れがあったそうだし、マニングは本人の意志とは関係なく、スパイ活動に関係させられてしまっているというのであった。

私は、マニングの能力をいくつも見ており、その面からだけ考えても、彼がスパイに使われる可能性は今後ますます大きくなると見ている。

してくれたのは、バラサイコに興味を持っていたレニングラード大学の学生で、20年以上も前のことである。

ミハイルの透視能力が科学者たちに認められたのは、なんといつても19



▲テレパシーの公開実験をするソ連のミハイル氏。

65年12月4日のことである、

その日、ミハイルの家に7人の科学者が訪ねてきていた。かれらはキエフ大学の助教授と医者で、ミハイルの超能力を研究するためであった。

科学者たちと話をしていたミハイルは突然それを中断した。そして、飛行機の空中接触事故の様子を見たと話した。その事故は、アメリカの海岸近くで起きたものだった。

ミハイルは、1万数千kmはなれたところでの事故の様子をくわしく語ったのである。

そして、事実、ミハイルが見たとおり空中接触事故が起きたのであった。

この事故の透視によって、ミハイルの超能力は、科学者たちからも認められるようになったのである。

1976年3月初めのある日、ミハイルは、モスクワ郊外の友だちの家から市内にある自分の家に向かっていった。

「ミハイル・クレーニさんですね？」

3人の男にとり囲まれた。ミハイルがうなずくと、1人の男がいきなり、彼のみぞおちめがけて鉄拳を飛ばした。

彼はうめき声を発しながら、意識を失ってしまった。

「ここはどこなのか？」

ミハイルは、意識をとりもどして周囲を見回したが、まったく見知らない部屋の中であつた。

その部屋は、ミハイルが初めて見る豪華な造りであつた。分厚いじゅうたん、身体全部がうもれてしまうような大きなソファ、七色の光を放するシャンデリアなど、彼の目を見はらせるものばかりであつた。

「ミハイル君、どうかね住みごこちは？」

彼が部屋の中を歩きまわっているとき、どこからか声が聞こえてきた。人の姿はどこにもなかった。彼は声のするところを捜したが、まったくわからなかった。

ミハイルは部屋からの出口のドアを

捜したが、周囲は厚いカベばかりで、ドアは見つからなかった。

「ここはどこなんだ？ 声だけでなく姿を見せたらどうなんだ！」

ミハイルは、異様なものを感じながら大声をあげた。

「ここがどこか、そのうちわかるさ、まあ、お茶でものみたまえ」

声だけが聞こえた。どこからしているものかわからなかったが、すぐ耳もとで話しているように聞こえた。

ミハイルが、なおもキョロキョロと声のしている場所を捜していると、部屋の真ん中にあつたソファセットの丸テーブルが、動きはじめ、回転しながら床の下へおりはじめた。

テーブルは見えなくなった。1分たらずの後、テーブルの上に紅茶やパンのせられてあがつてきた。

「ミハイル君、びっくりしなくてもいい。これは君の超能力とは違って、機械で操作しているのだよ。まあ、ゆっくりとお茶でものんでいくれたまえ、あとで行くよ」

また、声だけであつた。

ミハイルは、のどがかわいていたが、お茶には手をつけなかった。

彼はソファに腰をおろし、ポケットから残り少ないタバコをとり出して吸った。とてもにがく感じたが、気持ちを落ち着かせるために、むりして吸った。

タバコを吸いながら考えた。

どこなんだろう………なんのためにつけてこられたのだろう………、昨夜、いや、正確に昨夜かどうかわからない、なにしろあて身をおわされて意識を失ってしまったのだし、あれからどのくらいの時間がたっているかわからないのだ………、しかも部屋の中は電灯だけで、窓もなく外部のあたりは見えないのだ………

「秘密警察かなあ……？」

ミハイルはわざと声をあげて言ってみた。そして反応を待ったが、なんの反応もなかった。

彼は以前も1、2回、いまのような目にあつたことがあるが、結局、相手の正体はわからないままであつた。

「そうだ透視して見てやろう」

ミハイルは、全精神を集中させて、部屋の外を透視しようとした。

だが、だめだった。

薄暗く見えるだけで、何も見えなかった。

「すると、このカベは……」

ミハイルはこれまでの実験のことを思い出した。彼は科学者の実験で、鉛のカベをおしては透視力が働かないことを知っていた。

「こんな大きな部屋全体を鉛で包むことができるのは、やはり警察か、スパイ機関ぐらいしかないなあ……」
ミハイルは、ため息まじりにつぶやくとソファに身を横たえた。

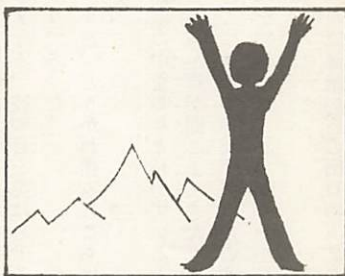
「やあ、ミハイル君！」

心と体の統一強化

超道

◆超道師範資格取得講座

- カール・ヘニングアの指導によりアメリカでブームを呼ぶ画期的運命転換システム「ボード原理」、大脳生理学、深層心理学による独創的中枢能力開発によって、心と体の統一強化をはかる。



●通信講座部 (基礎科3ヵ月)

1日10分の行法練習を自宅で行うだけで充分効果のあがるシステム指導。

受講料: 9,000円(スクーリング付)

●通学部 (基礎科3ヵ月)

銀座会場で毎月1回直接個人指導を徹底的に行なう。

受講料: 15,000円

申込方法

ハガキに通信、通学の別を明記の上、超道受講と書いて申込み下さい。受講料は教材到着後振替又は現金書留でお近くの郵便局からご送付下さい。

唯超学会 (UFO係)

〒104 東京都中央区銀座

2の8の17

(中川ビル1号室)

TEL 03 (567) 6 7 1 8

資料呈: 超道資料(通信・通学の別)と書いて、切手50円同封下さい。

突然、人の気配と共に声がした。3人の男が物音一つたてずに部屋に入っ

てきた。ドアの開いた音もなかったのだ。

北京の中国首脳部を透視

「われわれのいうとおりにしたほうが君の身のためだ」

3人の男は、かわるがわるにミハイルをおどかしたり、なだめたりしながら彼の超能力を国のために使えと命じた。

「あなたたちは、どここの機関の人なんです」

ミハイルは、いくども尋ねた。男たちは初めは何も答えなかった。答える必要がないとさえ言った。

男たちは、強迫しはじめた。ミハイルはそれでも応じなかった。

「はつきりした目的もわからないのにやれませんか。それに、もしかして、あなたたちが敵、西側の人だったら、大変なことになってしまいますからね」

ミハイルは、肉体的、精神的苦痛に耐えながら同じことを言い続けた。

3日目、

「いやどうも失礼をした。私は……」初めて会う男女が入ってきて、ミハイルに対して丁寧なあいさつをした。

男は、KGB特殊部の責任者だと名乗った。そして、情報機関として超能力の応用を研究中であって、ミハイルの透視力がどうしても必要なのだと云った。

「私はスパイになりたくない。年もそんなに若くないし」

ミハイルはきっぱり断った。

「どうしても承知してもらわなくては困る、その気になるまで、ここにいてもらう」

男は腹を立てた。

「これを聞かぬがいい」

男はそう言いながら手をあげた。すると、ミハイルの奥さんの声が流れてきた。

奥さんは、ミハイルにどうか国の研究に協力して、一日も早く無事に帰ってもらいたいと涙声で訴えていた。

ミハイルには、奥さんも強要されて話していることがよくわかった。

「汚い手だ……」

ミハイルははき捨てるように言った。

五日目、

「やってみます、でも、スパイにはなりたくない」

ミハイルは覚悟した。

ミハイルは、別の部屋に移された。

「何を透視すればいいんですか？」

「中国だ、北京の様子を透視するんだ」

ミハイルは、精神を集中させた。

彼の特異スクリーンに、北京の景色

が映りはじめた。

天安門が、天安門前の広場が、そして人民大会堂が……

カラーでそれらのものが映った。

「北京の様子が見えたら、天安門のわきにある中南海の内部の様子を見るんだ」

KGBの男は、身をのりだして命じた。と同時に、2枚の写真を示した。

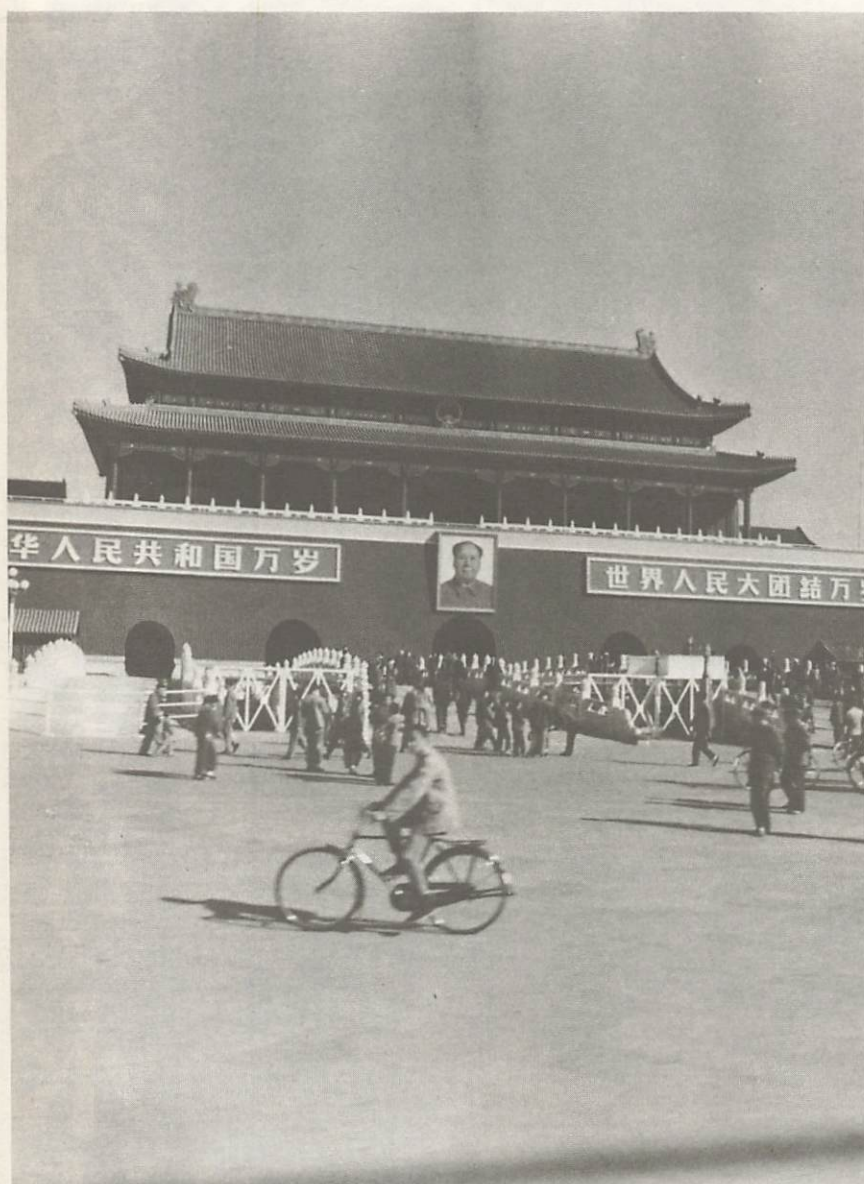
「この2人を見つuckerのだ」

ミハイルはその2人を新聞などで見て知っていた。

毛沢東夫人の江青と、若手実力者の王洪文であった。

ミハイルは、中南海の中にあるいくつもの建物を透視していった。

中南海というのは、中国の要人が住んでいるところでもあり、主要な公務もこの中で行われている、中国でもっとも重要なところであった。この中の様子が見れば、中国のすべてがわかるのだ。



▲ソ連の超能力者ミハイル・クーニはKGBの要請で北京の天安門(写真)を透視した。

「見えた！」

ミハイルのスクリーンに、大きな部屋の中で、江青を真ん中にして、4、5人の男が何やら話している様子が映った。

江青は、大きな口を開けて笑っていた。ほかの男たちは、同じように笑ったり、下を向いたりしていた。

その部屋の外には、数人の銃を持った兵士が、見張っていた。もののし、警備であった。

男たちの中に、王洪文の姿が見えなかった。

間もなく、大きなカバンをかかえた王洪文が入ってきた。男たちは立ちあがって王洪文を迎え、江青のわきに座

らせた。

部屋の中に緊張の空気が流れた。何か重要会議が開始されるようだ。

王洪文が、カバンから書類をとりだし、テーブルの上においた。

そして、こわばった表情で何やら話しはじめた。何を話しているのか、ミハイルには聞こえなかった。

江青がテーブルの上の書類を手にとって、それを読みあげながら、一人一人に意見を聞いていた。

男は短くそれに答えていた。

江青が書類を置いて電話をとった。電話を聞きながら、江青が右手をふった。すると、王洪文が、急いでカバンに書類をしまった。

同時に男たちは立ちあがって、そそくさと部屋から出て行った。

みなあわてている様子だった。電話を切った江青も、部屋を出て行った。

何事か起きたようである。

ミハイルは、江青を追って見た。江青は車にのった。車は猛スピードで走り出した。

江青をのせた車は病院に入って行った。

ミハイルはそこで透視をやめた。「当分の間、毎日、北京の様子を透視しろ」

KGBの男は、ミハイルにそう命じた。

その日から、約3カ月間、ミハイルは毎日同じことをさせられた。そして帰宅が許された。

イギリスのマニングにしろ、ミハイルにしろ、その超能力をスパイ機関に利用されていることは明白のようだ。超能力のスパイ活動への利用は、これからますます多くなるだろう。

灼熱の密林より永遠に

しやくねつ
ジャングル
とわ

久保田八郎

(1)



古代のマヤ人は1万2千年昔に太平洋のもくずと消えた
栄光あるムー大陸人の後裔ではないのか？ メキシコで
マヤ遺跡を調査した筆者が意外な事実を明るみに出す！



☆はたして古代の宇宙飛行士か

焦熱の大地と鬱蒼たる大森林が展開するメキシコ、ユカタン半島の中部地域北方、母なるウスマシタ川の支流のオトゥルム流域のジャングル中に連なる小高い丘のふもとで、いま世紀の大発見が行われようとしていた。場所はバレンケのマヤの遺跡中、ひととき雄大にそびえる『碑銘の神殿』である。これは高さ約20mの急勾配の石段の上に大神殿を築造した8層の堂々たる階段状ピラミッドで、頂上の神殿の壁面には620個の奇妙な神聖文字を彫り込んだ大石板が人々の目をひきつける（カラー頁の写真参照）。

すでに4年前からこの神殿内の発掘作業を続けていたメキシコの考古学者アルベルト・ルースは、神殿の床の石蓋を持ち上げて、内部へ降りる石段を発見し、ここに故意につめられた土砂の排除作業をほぼ完了した。石段のつきあたりの左側の壁に三角形の大石板がはめ込まれている。

「これを除けば何かが出てくるぞ！」ルースは助手たちを督励してジャッキの操作を急がせた。ギギギッ、メリメリ……。大石板は少しずつ外側へ移動し、バックリ口を開いた暗黒の縦長の空間が徐々に大きくなってゆく。全身に滝のような汗を流したインディオの人夫たちが大石板を回転させる。

「あつ！ 玄室だ！」

真暗闇の広い室内を強烈なランプが照らしたとき、ルースは叫んだ。

「おお、素晴らしい！ あの彫刻を見る！」

ルースの指さす方をのぞいた助手や人夫たちも一斉に感歎の声をあげた。

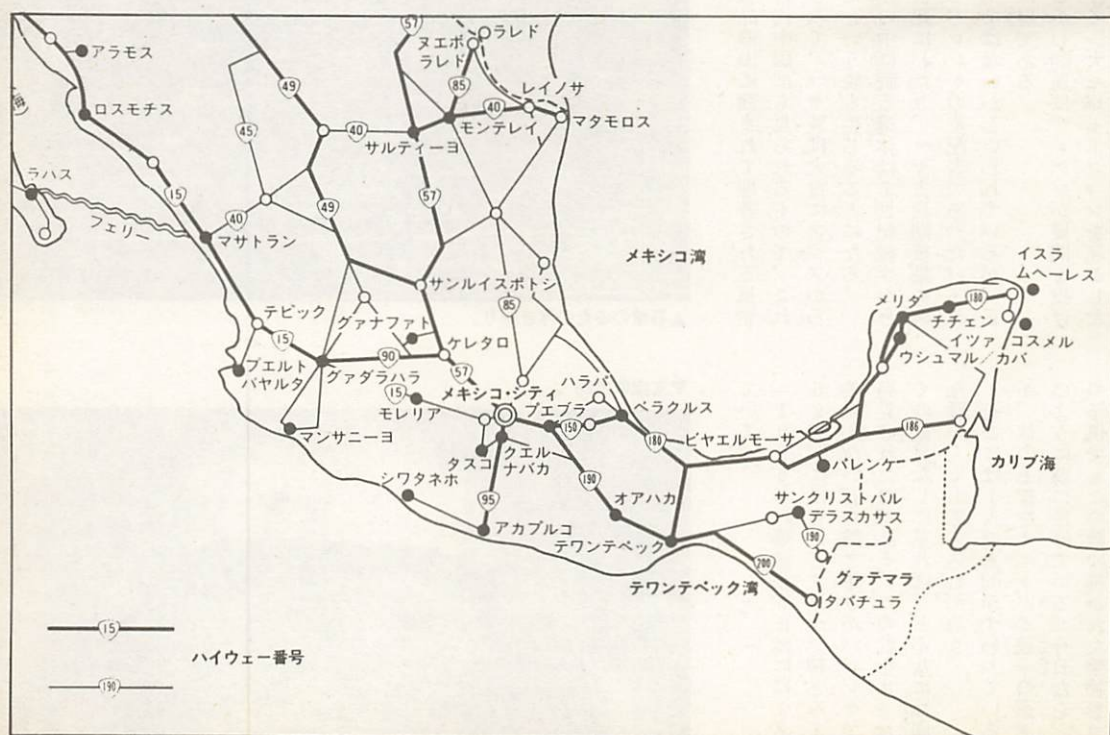
「わーっ！ 天空の神だ！」

時は1952年6月15日、午後3時すぎである。一同はどこぞと室内へなだれ込んだ。

この玄室（納骨堂）は奥行き約10m、幅約4m、高さ7mあり、両横の壁はわずかにアーチ型をなしている。ここは頂上の神殿の床面から25m地下に位置する暗黒の部屋で、1千年の霊気がこもった不気味な地下墓所なのである。

床には一枚岩をくり抜いた大石棺が安置され、その表面には重量5トンもあると思われる、長さ約4m、幅2mの大石板が水平にとっしりと置かれている。一同を驚嘆させたのは石の重量や大きさではない。こんな物はユカタン半島一帯のマヤ遺跡にはザラにある。問題はその表面に彫り込んである図形なのだ。なんとこの素晴らしい作品品だ！ 中央部には1人の人間が横向きにすわり、両手を上方に上げて奇妙な動作をしており、両足の膝を立て

▼メキシコ南東部。右端の部分がユカタン半島。



☆偉大な文化を築いていたマヤ

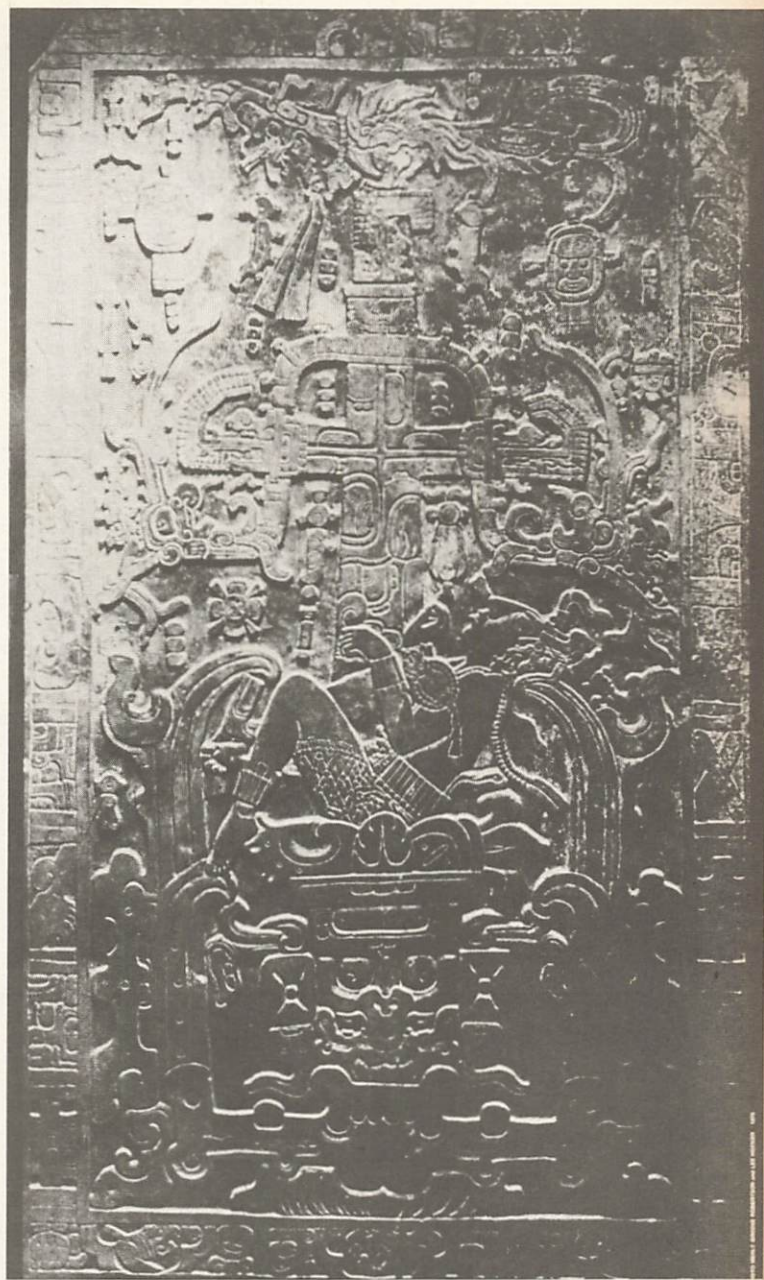
石蓋はさておいて、棺の中には何があったか？そこには白骨化した1人の遺体があり、その顔にはヒスイをモザイク状に組み合わせて作った仮面が

かぶせてあった。ヒスイ（翡翠）というのは深緑色の硬玉の一種で、古代マヤ族が珍重した飾り石である。これで作った見事なマスクと、その他のヒス

てて、左足は斜下方に伸ばしている。それを複雑な模様がとり囲んでいるのだ（カラー頁の写真参照）。

これこそエーリッヒ・フォン・デニケンが『神々の戦車』の中で、古代の

宇宙飛行士か？と大胆な解釈を持ち出して、世界のUFOマニアを唖然させた代物なのだ。果たして彼の言うとおりだろうか？



▲石棺のふたの浮き彫り。

イ製品（の山）に囲まれて埋葬される風習は古代中国にも見られるもので、これからみて、マヤ族は太古にアジアから来たという説も生じることになる。

棺の中に眠る遺体は7世紀後半から8世紀にわたり、マヤ古典期後期におけるパレンケの支配者であったバ・カル王ではないかといわれているが、正体は謎である。

しかし問題はデニケンが疑問を投げかけて一大センセーションを起こした石蓋の絵模様だ。彼は次のように述べ

ている。

「1935年（筆者注Ⅱ正確には1952年）にはほとんどクマツ神とみて差支えない石の浮き彫りがパレンケで発見されたのである。この絵をまったくの偏見なしに見れば、どんなに頑固な疑い人でも考え込むだろう。

そこには1人の人間がすわっているが、体の上部をオートバイ競争の選手のように前に曲げている。今日ならどの子供でもこの絵に描かれた乗物をロケットと認めるだろう。先端がとがっ

▼玄室の内部





ていて、次に吸入孔に似た奇妙なミゾのある刻み目の部分となり、幅が広くなつて、炎を噴き出す尾部で終わっている。前かがみの人間は種々のわけのわからぬ操縦装置をあやつっており、左足のカカトを1種のヘダルの上に置

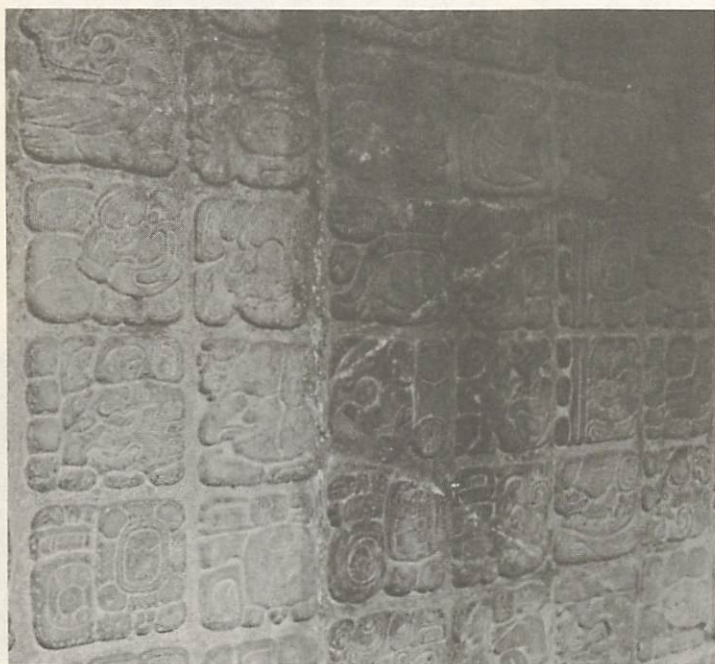
いている。その衣服もうまくできている。幅の広いベルトでしめた半ズボン、首の所が日本のキモノのようにえりの開いたジャケツ、腕と足にびつたりとはめてあるバンド。これと類似した絵画の知識をもち出すと、ここにも

複雑なヘルメットがなければおかしいことになるが、それもある。くぼみと管のついたヘルメットで、てっぺんにはアンテナのような物もある。この宇宙飛行士

は——宇宙飛行士としてはつきり描かれてはいるのだが——前方へかがんでいるだけではなく、顔のすぐ前にぶらさがっているある装置を熱心に見つめているのである。この飛行士のフロントシートは、支柱によって乗物と後部と切り離してある。内部には左右対称に配置された箱、輪、点、ラセンなどが見られる。

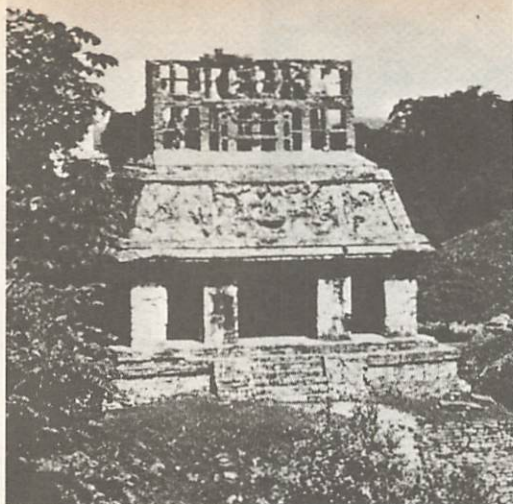
この浮き彫りは何を語る必要があるのか？ 何も語ることはないのか。宇宙飛行士と結びつけることは愚かな空

▲パレンケの『碑銘の神殿』ピラミッド。
▼『碑銘の神殿』の石壁に刻まれた謎の神聖文字。



想の産物なのだろうか（コズモ4号より）
デニケンの推測を考察する前に、ひとまず古代のマヤ文明を概観することにしよう。太古のマヤ族はどこから来たのか？ これについて考古学上の通説によれば、洪積世末期（氷河期）に陸続きであったベーリング海峡を渡って来たアジア系人種だという。しかしマヤの遺跡には旧大陸の遺物と思われる物は全然ないし、だいたい、2万5千年も大昔にモンゴル人がベーリング海峡を渡って、広大なアメリカ大陸や中央アメリカに集団移住しなければならなかった理由も判然としない。現代のマヤ族、その他アメリカインディアンなどの容貌がアジア人に似ているからといって、数万年前に起源をアジアに求めるのはいささか無理な推理ではあるまいか。

古代のあらゆる神秘的な民族のなかでマヤ族ほど謎に満ちた種族はない。その起源は全く不明だが、彼らは古代から驚異的な数大系を持っていた。ゼロの概念を含んだ位取り表記法を用いていたのである。またマヤは素晴らしい暦法により、ばう大な単位をもつ長期計算法を応用した。そして現代の天文学と同じほどの高精密計算により、地球の公転周期を365・2420日と出したのである。また神聖文字といわれる文字も使用していたし、神殿ピラミッドや擬似アーチ天井のある宮殿などが中央広場の周囲に整然と配置され



▲パレンケの『太陽の神殿』

話をもとにもどすことにしよう。こ

☆マヤの十字架の謎

た広大な石造都市を建設した。これらは紀元前300年から西暦300年頃に発展したが、マヤ暦の起算点は紀元前3113年にさかのぼっている。マヤ族のいちじるしい特徴がもうひとつある。彼らは戦争を好まず、ほとんど大戦争らしいものを経験しなかった。野蛮な好戦的な種族に囲まれながら、よく種族の安全を保っていた。マヤの黄金時代は西暦300年から900年までの古典期であり、特にユカタン半島中部地域は学術と芸術が偉大な発達をとげた。これは前期と後期に分けられるが、後期の低地マヤの文

明は世界でも屈指の雄大な「失われた文明」である。そのうち最大の遺跡はグアテマラのティカル遺跡で、6基の神殿ピラミッドのうち4号神殿は高さが実に70mに達する巨大なものである。そしてパレンケではあらゆるマヤ遺跡中で最高の美を誇る神殿群が建設され、そのなかでも『太陽の神殿』は完璧な建造物だといわれている。つまりこの神殿のあらゆる面の長さを測定すると、どうみても高度な数学を応用したとは思えないほどに均整がとれていることがわかるのだ。いかなる数学をマヤ人は知っていたのか。

のパレンケの大石棺の石蓋に彫りつけられた絵模様を古代の宇宙飛行士だとみなしたデニケンの仮説は正しいか？大間違いである。マヤの伝承によると、この絵の中心部にいる人物は女性なのであり、その下の台座は大地の神をあらわし、最上端に一羽の鳥が天空を象徴している。そして鳥の下には太い十字架が位置している。つまりこの女性に天空と大地をつなぐ仲介物たる十字架のもとで祈りを捧げているか、またはトランス状態で宇宙を讃美しているのだ。周囲に描かれた種々の神々は、「創造パワー」をあらわすということになっているのである。

この見事な浮き彫りの中で最大の謎

▼パレンケの宮殿（『碑銘の神殿』ピラミッド頂上より撮影）



は十字架である。西欧キリスト教文明の影響を受けたはずのない古代のマヤ人が、なぜこのような物を描いたのか？

16世紀、エルナン・コルテスの率いる残忍なスペイン侵略軍がユカタンのマヤ遺跡を初めて目にしたとき、古い石に刻まれた奇妙な模様の中に、しばしば十字架があるのを発見して、狂信的キリスト教徒であったスペイン人たちを不思議がらせ、喜ばせた。そしてマヤ研究家のなかにはこれを原始キリスト教と関連づけようと試みた人が現れた。その代表的なのがキングズバロ1卿ことエドワード・キングである。

古代マヤ人とは失われたイスラエルの12支族のひとつなのだと信じた彼は、全財産をなげうって中米古代文化を探索し、9巻の大冊にまとめたが、不遇のうちに世を去った。彼のイスラエル説は現在正統考古学からは完全に黙殺されているが、そのぼう大な記録やスケッチ等はいまなお貴重な資料とされている。

宇宙の創造パワーをあらわすシンボルとして用いられていた。どこで？ 太平洋の失われた大陸ムーである！

近代の正統考古学は出土品その他の残存証拠物を基盤とした「科学的」考証による研究法が主流をなしているために、伝説上の大陸などはいわば仮空の存在として無視されるか、冷笑をあびるのが関の山だった。しかし20世紀になってから急速に発達した測定法その他の研究法により、遠い先史時代に地球のどこかに存在した偉大な文明に対する探求意欲が盛り上がり、2種類

☆失われた大文明国・ムー大陸

しかしマヤの古代文明の源流はムー大陸の偉大な文明にあると考えて、この面で徹底的に探求を続けた先駆者がいる。イギリス陸軍の退役大佐ジェームズ・チャーチワードがその人で、1868年にインドで軍務に服していた頃、ヒンズー教の高僧から不思議な文字の記されたナールカの粘土板を見せられて、それがムー大陸の聖典『聖な

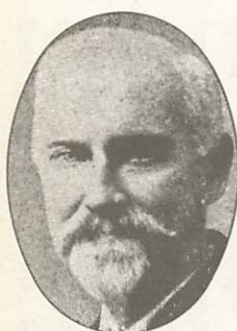
の大陸が脚光をあびてきた。ムーとアトランティスである。奇人・変人扱いにされながらこうした幻の大文明を研究した考古学者に、16世紀にユカタンを探索して悪名を残したスペイン人司教ディエゴ・デ・ランダの書いた『ユカタン事物記』を発見したブラジュール・ドゥ・ブルブル師、フランスのル・ブロンジョン博士などがあり、これらはマヤ古代文明の源泉をアトランティス大陸に帰した人である。アトランティスについても多数の研究結果が残されているが、ここでは省略する。

る靈感の書』の復刻であることを知り、以来50年にわたって世界各地の遺跡や碑文、古文書等をあさって、ムー大陸実在の証拠をつきとめたのである。彼の猛烈な執念と努力の結晶はついに数点のムー大陸研究書の発刊となったが、例によって正統考古学界からは無視された。デニケンの奇想天外な推測が全世界に大旋風を巻き起こしている今日、チャーチワードの素晴らしい業績が等閑に付されているのは惜しみてもあまりある。

さて、失われたムー大陸はどこにあったか？ 彼の研究によると、それは太古、太平洋のハワイの北あたりから南のフィジー島、イースター島あたりに伸びていた東西8千キロ、南北5千

キロにわたる広大な国土で、偉大な帝王ラ・ムーの指導下に6千4百万人の住民は10種族に分かれていたが、宇宙の法則のもとに調和した生活をし、ハスの花の咲く美しい楽園に巨大な神殿や宮殿を建設し、7つの大都市があつて、高度な文明の栄えた、輝く太陽の帝国であつたという。

これを裏書きする傍証としてはメキシコの鉱物学者ウィリアム・ニーベンが集めたメキシコ石板のシンボル、ラシコ司教の焚書（まきしょ）をのがれて後世に伝わった古代マヤ族の古記録『トロアノ古写本』、『コルテシアス古写本』、チベットの『ラサ記録』、その他かぞえ



▲ジェームズ・チャーチワード

▼ムー大陸位置図



されぬほどの記録があり、遺跡に残された古記録としては古代マヤのウシュマル遺跡の『秘儀の神殿』の壁に刻まれたムー大陸の宇宙のシンボルが見られるし、「この神殿は我らの教義をもたらした西方の国ムーの崩壊を弔うために建立された」という碑文も残っている。

栄光に輝いた巨大な帝国ムーは今を去る1万2千年の昔、突如発生した自然の大変動により海中に没したが、その前にムーから東西の新天地を求めて植民が勇飛した。その主流をなすものは太古のマヤ族であり、北・中南米に渡ったカラ・マヤ族、ビルマ、インドへ定住したナガ・マヤ族、中央アジアから中部ヨーロッパに大帝國を築いてアリア民族の祖先となったウィグル・マヤ、その他がある。いずれも数万年も昔のことだ。したがってグアテマラからユカタンにかけて住んだマヤの歴史がわずかに千数百年というのは、はるか後代の1部分にすぎず、実際は2万年以上続いたことは、チチェンイツアの遺跡でル・ブロンジョン博士が発見した神官カイの墳墓の12頭ヘビの彫刻が、12王朝の統治期間たる1万8千年をあらわしていることからわかるとチャーチワードは述べている。いずれにしても気の遠くなるような大昔からマヤ文明は続いてきたけれども、栄枯盛衰を繰り返して、その間、現代に残る壮大な石造建築物を造ったいわゆる

前古典期や古典期のマヤ人は、精神文化ではむしろ退化して、遠い昔のムーなる祖国から伝えられた宇宙の法則を忘れ果てたけれども、わずかにシンボル類と、かすかな伝承とにその名残りをとどめた、ということになるのではあるまいか。そして、その輝かしいシンボルのひとつに十字架が伝えられていたのだ！

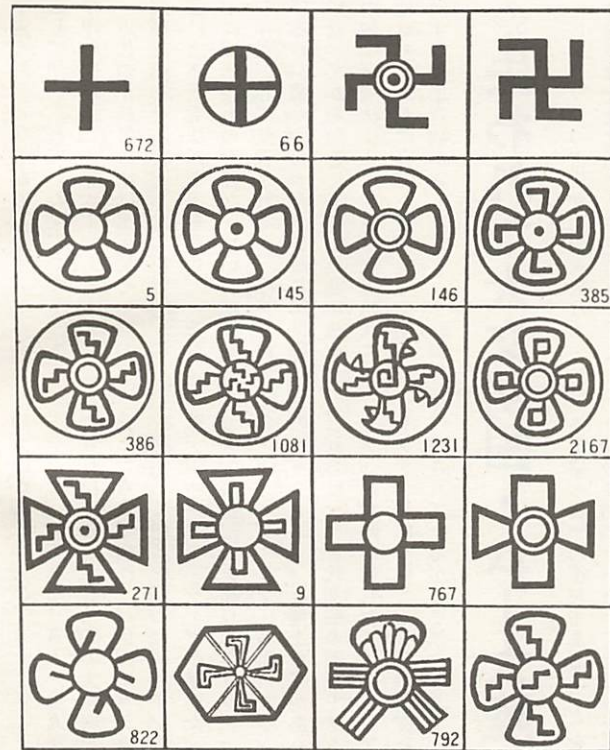
☆ムー大陸の宇宙思想

ムー大陸の哲学は、宇宙の創造主に対する崇拜思想でつらぬかれていた。そして太陽が創造主の象徴とみなされた。

したがって、パレンケの『碑銘の神殿』の石棺のふたに刻まれた十字架は古典期のマヤとムー大陸との関連を示す重要なカギであって、この意味を解くことが考古学上の先決問題なのだがどうしたわけかマヤ関係の考古学専門書には、あの図柄に対する考察がほとんどなされていない。マヤ研究の権威コウ博士の著書にも言及していない。

た。王位継承者は神の代弁者であり、「ラ」という太陽の称号を与えられたけれども、神そのものとして崇拜され

ることは禁じられていた。あくまでも人間として傑出した存在であり、しかも国民によって選出されたのである。今からわずか30数年前まで一人の人間を現人神として仰いでいたどこやらの国と比較すると、1万数千年の大昔にムー帝国で行われた思想がいかに次元の高い宇宙的な哲学であったかがわかるというものだ。

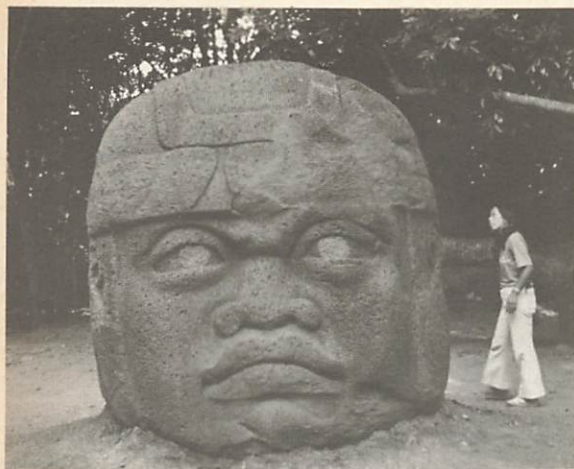


▲十字架の各種の型

▼タウ (T) の語源『生命の木』



この深遠雄大なムーの宇宙哲学を表象するシンボルには各種のものがあつたが、その代表的な図は円で囲まれた十字である。円は宇宙をあらわし、十字は創造主の意志を伝えた宇宙の4大パワーを意味した。これは生命の木をあらわすT (タウ) から出たものであり、この十字が回転する姿としてスワスチカ (卍) が生じたのである。4大原動力とは宇宙の磁気、太陽の引力、惑星の磁気と引力である。そしてムーではこのパワーを創造主の意志、願望であるとみなした。



▲ラベンタの巨石人頭像

☆謎のオルメカ族

だが消滅しなかったのはムーの偉大な文明に関する伝承とシンボルマークである。これが先史民族によって世界各地に伝えられたことは前述のとおりだが、精神は退化しても忠実に守り通した種族が中米にひっそりと住んでいた。マヤ以前の謎の民族オルメカである。この種族はマヤよりもはるかに早くから精密な長期計算法による暦を考

その栄光あるムー大陸は海底に沈下した。この模様は『トリアノ古写本』に詳細に記してある。
「カンの6年、11ムルク、サクの月に恐ろしい地震が始まり、13チュエンまでやむことなく続いた。ムーの大地は

2度隆起し、夜のうちに消滅した」これが記録されたのは1500年から4000年前のある期間であるといわれており、そして「この書の編集に先立つ8600年前の出来事」と結んでいる。

案していたし、文字も発明していた。

オルメカ族がマヤの祖先であるか否かは確かでないが、少なくともメソアメリカの各種の文化に大きな影響を与えたことはまちがいない。しかしペラクルス州南部とその隣のタバスコ州の海岸地帯で勃興したオルメカ文明は、ある時点で突如地上から消滅した。だがなぜオルメカ人はタバスコ州の海岸でなく、その奥のジャングル中の沼沢地ラベンタに大ピラミッドを築き、重さが数トンもある巨大な人頭像を築いて消えてしまったのか？ だいたいこれらの石材である玄武岩の産地は100kmも離れた奥地にあったのだが、これをいったいどのようにして運んだのか？ 車輪のついた運搬用具を知らなかったのはオルメカだけではなく、マヤもそのような道具を用いた形跡はないのに、やはり数トンもある巨石を運んで壮大なピラミッドや神殿を建設している。驚くべき数大系、天文学、暦法などを会得していたこの古代の民族オルメカ、マヤに関しては全く謎だら

けであるが、確かな事は、あの十字架のシンボルマークはムーから伝えられたということぐらいのものだろう。そしてそれはラベンタの各種神殿に残されていたのである。

十字架といえばあの石棺だけではない。ラベンタに残るジャングル中の遺跡『太陽の神殿』『十字架の神殿』『葉の十字架の神殿』などにも十字架のシンボルが刻まれている。これらに残る神聖文字によれば、この遺跡は古典期後期のはじめに相当する7世紀の後半に建立されたことがわかる。その頃のマヤ人にはすでに太古のムーに関する知識も記憶もほとんど消えうせていたのだろうか、聖なる宇宙のシンボルとして石板に刻みつけるだけの「衝動」はあった。あるいは大昔の栄光ある楽園に対するかすかな憧憬をいっていたのかもしれない。

『碑銘の神殿』の床面から25mもある内部のしめった石段を降りて、玄室内に横たわる神秘的な大石板を見た瞬間、筆者は言いしれぬ荘厳な雰囲気胸を打たれた。この浮き彫り模様は明らかに宇宙の生命を支配する神に対して限りない崇敬の念をあらわしたものだ！ 宇宙飛行士とはとてもない話である。筆者が現地ですり込んだ鮮明な大判カラー写真(本号カラー頁に掲載)を詳細に調べてみても、中央の人物の両手は何もつかんではいない。頭部のかわり物がヘルメットに見えたとはど

▼盛装して神に祈る古代マヤの娘



ういうことなのだろう。これは古代マヤ人が盛装したときの髪飾りなのであり、これに類似した姿は各地のマヤ遺跡の浮き彫りに残っている。石棺の浮き彫りの人物は男女いずれとも判別しがたいが、伝説では女性ということになっている。そういえば頭部の右下に、編まれた長い髪とおぼしきものが垂れ下がっているの、これにより女とされたのかもしれない。しかもこの人は「ジャケツを着ている」のではなく、上半身はハダカであり、はいているのは「半ズボン」ではなく、1種のスカートなのだ。これも古代マヤ人の盛装時の衣服である。

大地を焼きつくすかと思われる炎熱のここラベンタの『碑銘の神殿』のそばで筆者が樹下に憩いを求めていると、フランス人観光団に説明するガイドの声が響いてきた。デニケンがどうのこうと話している。空想と現実のはざまに横たわる大いなる深淵にはらま

れる錯誤と危険とを、このときほど痛感したことはない。1人の文筆家の飛躍した仮説がひょっとすると一般大衆に現実離れした夢をいだかせて、そのためにとり返しのかね結果をもたらすかもしれないのだ。たとえばユカタン半島一帯に散在する古代マヤのピラミッドの石段は大体にひどく急傾斜であり、このために年平均20名の転落死者が出るという。ヨーロッパで数千万

部を売った「名著」に刺激され、安からぬ費用をはたいて遠い古代のマヤ文明の跡を訪い来たあげく、あの世行きとなつてはたまらない。

だがデニケンの勇気と努力を認めるのにやぶさかであつてもならない。なんといつてもマヤ遺跡——特にバレンケ——見学ブームを起したのは彼であり、世界の耳目を注目せしめたその功績は大である。

☆ケツアルコアトルとは何か

マヤ遺跡に残るシンボルで見逃すことのできないものに、もうひとつケツアルコアトルがある。これは羽毛あるヘビという意味で、古代マヤ語ではククルカンという。つまり地上をほうへき宿命をになつたヘビに羽が生えたシンボルをマヤ族はなぜか重視して、多くの石の彫刻に残しているのだ。

ケツアルコアトルとは古代からマヤ人のあいだで崇拜された1種の神の名であるとともに、伝説上ではマヤの地へやって来た卓越した1人の白人指導者ということになっている。そのことはマヤの史料のなかで西暦98年に終了するカトクンチアハウの時期にククルカンと自称する1白人の事蹟が述べられており、この人物がユカタン半島を支配してチチェンイツァに都市を建設したものである。これについては例のスペイン人司教ランダがマヤ人

から聞いた伝承を次のように記している。「ククルカンは人から好感をもつて迎え入れられる人物で、独身であつた。彼は西方(メキシコ中部地方)に帰つて以来、神として崇拜され、ケツアルコアトルと呼ばれたが、ユカタンでもやはり傑出した指導者としてククルカンと称された」

つまりマヤ史上ではケツアルコアトルとは単なる神の名なのか、実在した人物なのかは不明なのであり、この点で考古学者の論議をまき起こしたが、まだ結論は出ていないのである。これを我らのデニケンが黙っているわけがない。早速『神々の戦車』で次のようにとりあげた。

「この神はどこともわからぬ日出づる国から、白衣を着てあごひげをはやしながらやって来たのである。彼は人々に科学、芸術、習慣などを教え、きわ

めて賢明な法律を残した。彼の指導のもとにトウモロコシは人間と同じほどの高さに伸び、綿は色づくほど成長したといわれている。ケツアルコアトルは使命を終えてから道すがら教えを伝えながら海の方へ帰って行つた。そして船に乗って明けの明星(金星)へ飛び去つた。ここでも具合がわるいのはヒゲをはやしたケツアルコアトルもまたやって来ると約束したことである」

どうやらデニケンはこの賢人を太古の宇宙人とみなしているらしい。だが、この種の仮説はあながち否定できないものがある。遠い昔から別な惑星の偉大な進化をうけた人間が地球を指導に来たと思われる形跡はあるのだ。それは旧約聖書のエゼキエル書でも明らかだし、他にも多くの証拠が残っているのである。

しかし伝説によれば、この賢人は船に乗って明けの明星(金星)へ飛び去つたのではなく、ある日、海岸へ行って泣き始め、われとわが身を焼いたあと、その心臓は明けの明星となつたというし、船に乗って自分の国へ帰つたという伝承もある。もとは戦争の捕虜としてチチェンイツァに連行され、雨の神ユムチャクに捧げるための生け贄として『いけにえの池』に投げ込まれたが、死ななかつたので、規定により救出して神の位を与えたという。そしてこの「白い皮膚の男」はユカタンを制する偉大な王としてあがめられ、チ

▼チチェンイツァの『いけにえの池』



チンイツァは繁栄した。人々はこの英雄を記念して大神殿を建設した。これが現在も残るカステイリヨ(城塞)大ピラミッドとその頂上にあるククルカン神殿である。『いけにえの池』に多くの美しい処女や若者が生け贄として投げ込まれたという伝説は、1904年から4年にわたつてこの池の水底を探ったアメリカ人エドワード・H・トンプソンにより、多数の骨や装身具その他の品が発見されて実証された。これからみると伝説をあたまから無視してかかることは禁物である。どのような驚くべき事実が秘められているか、わからないのだ。



▲チチェンイツァのカスティーリヨ（城塞）ピラミッド。頂上はククルカン神殿。

さて、ケツァルコアトル（ククルカン）すなわち羽毛あるへビは、マヤばかりでなくメキシコ中部一帯の各種族で信仰の対象になっていた一種の神のシンボルであり、宇宙人の象徴ではない。前記の賢人をククルカンと称したのは、マヤ人が偉徳をたたえて神の称号を与えたのである。この白い皮膚の賢人が実在したとしても、これまたどうみても宇宙人ではない。彼は戦争なども指導して武勲をたてているからだ。おそらく遠い陸地から漂流してユカタンへ上陸した白人ではないだろう。これはカーネギー研究所の見解とも一致する。

とかく「宇宙考古学」者は、古代の伝承などに出てくる偉人をすぐに宇宙人とみなしたり、洞窟内の壁画に円型の模様などがあれば、やたら古代の円盤だと称したりしがちだが、空想は自由であるにしても、やはり考古学の基礎をふまえた上で研究を行うことが重要であろう。

少々説教めいて失礼だが、とにかくへビはたしかにデニケンが言うように

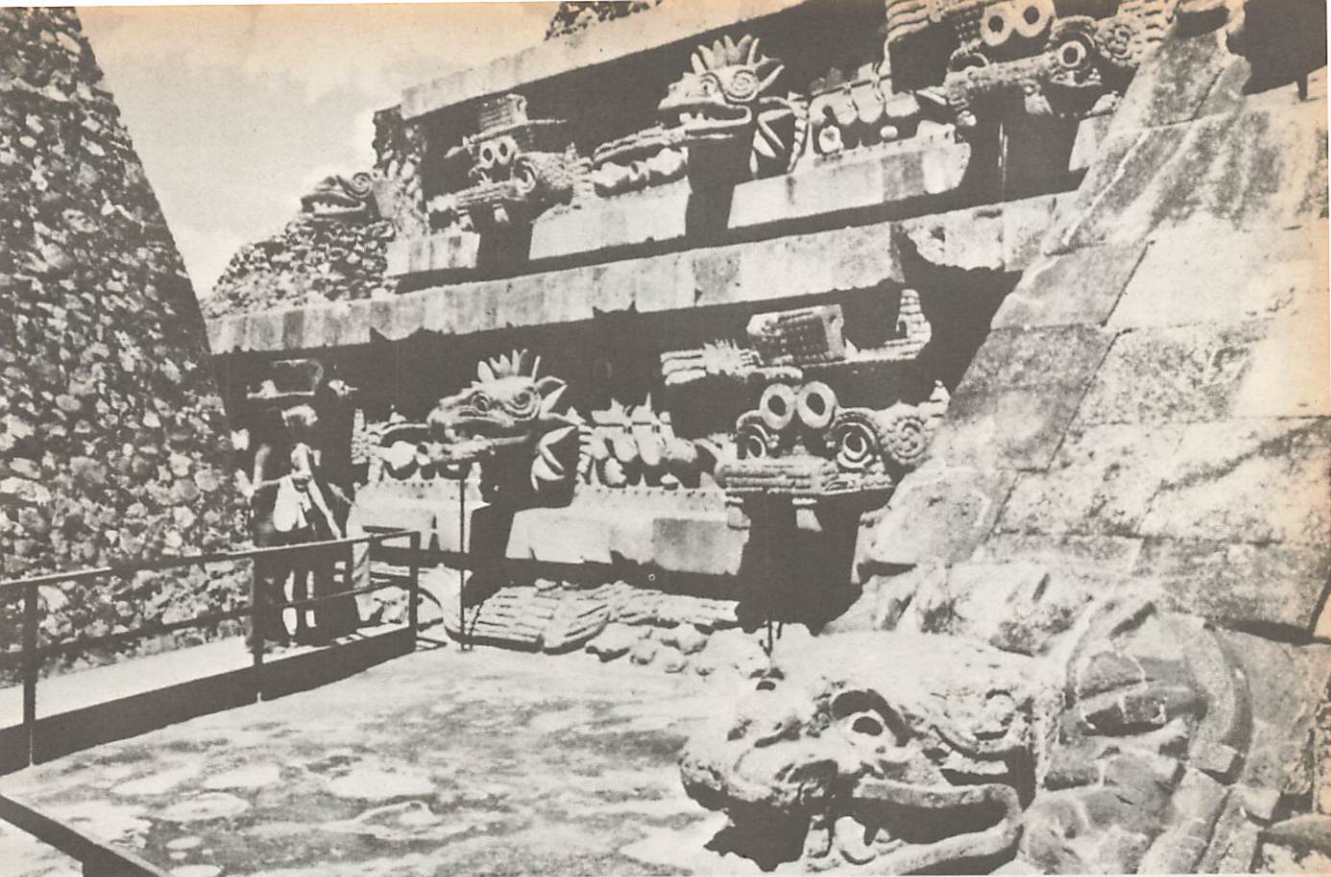
☆ムーのへビのシンボル

チャーチワードの研究によると、ムーの『聖なる靈感の書』には、生命の木にからみついているへビの図があって、このへビはカンと呼ばれ、水を象徴するものであるという。ムー大陸は

マヤの建築物すべてのシンボルとなっている。「これは驚くべきことだ。というのはマヤ人が繁茂した草花にかこまれた民族ならば石の浮き彫りに花のモチーフを残しそうなものであるからだ。だが、どこへ行ってもイヤらしいへビの模様が待ち受けている。遠い昔からへビは地面のホコリの中をはいまわっている。しかしなぜそのへビにマヤ人は空を飛ぶ能力を与えるようになったのだろう。もともと悪の象徴であるへビは地面を這うように運命づけられている。どうしてこのイヤらしい生きものを神として礼拝できよう？ しかもそれが空を飛べるとは！ しかしマヤ人にとってはへビが空を飛ぶことはできたのである」

続いてデニケンは例の白い皮膚の賢人をもち出して、結局ケツァルコアトルとは別な惑星から来た「空を飛ぶ人間」または「空を飛ぶ乗物」だと示唆している。なかなか豊かな想像力だが、彼はある重要な史実を見落としているようだ。つまりへビもムー大陸の重要なシンボルであったという事実をだ。

四方が水に囲まれているという意味をこのシンボルであらわしたのである。そして生命の木とはムー大陸そのものを意味し、そこに住む人間はその木に実った果実である。『聖なる靈感の書』

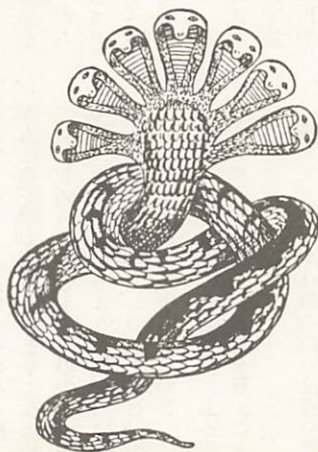


▲ケツァルコアトル（羽毛あるヘビ）の彫刻（テオティワカン）

によれば、真の生命とは人間の内奥に宿る靈魂、すなわち宇宙の創造パワーである。肉体は仮の宿にすぎず、この宿が滅んでも創造パワーは永遠に不滅であり、したがって人間の靈性こそ真の生命であるという。

この樹木とヘビのシンボルは十字架と同様に大昔のムー人が大陸から世界各地へ植民したときも持ち出されて、北米、中南米へと広まった。しかしムー大陸で用いられた各種の象徴のなかに、ナガと呼ばれる1種のコブラがある。これには創造主の7つの命令に由来して7頭のヘビとしたムー人があ

▼7頭のヘビ『ナラヤーナ』



▼生命の木とヘビ（ムー大陸のシンボル）



り、彼らはインド方面を開拓してナガ族と呼ばれた。一方、ムー大陸の北に住んでいたある種族は、羽毛のあるヘビを宇宙の創造主のシンボルに用いていた。これが伝えられたユカタンの古代マヤ族はクルカンと呼んで羽のはえたヘビと、7頭の大蛇の2種類を天地の創造神のシンボルとした。「クク」とは羽毛を意味し、「ウル」とは覆わ

☆本当のマヤ族

れたことを意味するムー大陸の言葉だったのである。グアテマラの古代キチエ・マヤ族の聖典である『ポボル・ブー』にも羽毛あるヘビは天地の創造神と記されている。だが、本来きわめて抽象的な意味をもつこのケツアルコアトルという名称は、白い皮膚の偉人に移ってしまい、マヤ古典期後期ではひどく混乱してしまつたのである。

1870年にユカタンのチユマイエで発見された『チラム・バラムの古書』に、古代マヤ族の伝説が述べられており、それには「遠い昔、マヤ族の祖先は巨大な地震と噴火のために滅び海にのみこまれた。生き残つた者は各地へ散らばつた」とある。こうした大洪水伝説は世界中の民族の伝説に残っている。なにか太古の大変動をそれとなく伝えているらしい。そして中米へやって来た白人の一族がケツアルコアトルという王に率いられていたけれども、黒ずんだ皮膚の種族に侵略されたので、船に乗って太陽の昇る方向の遠い陸地へ逃げた、という意味のことが『ポボル・ブー』に述べられている。

以上で大体に判明するのは、ケツアルコアトルという名で遠い太古に中米へ住みついたムーの白人種こそ、古代マヤ帝国の最初の文明を築いた輝かしい民族であつたということである。そ

して先古典期前期から後期にわたってグアテマラで曙光を見せ始めたいわゆるマヤ文明なるものは、はるか後代の別な人種によるものだと言つていい。だがそれにしても、このいわゆるマヤ人は太古のマヤ帝国の文化を何らかの方法で多少とも受けついでにちがいない。少なくとも栄光あるムー大陸のシンボルは伝えていたし、宇宙の法則である万物との一体化の精神を持ち続けたことは遺跡からみてうかがい知ることができるといふ、長期にわたる蛮族の侵略と影響をのがれることはできなかった。特に残忍きわまりないトルテカ族の支配下に入ったマヤ人は、生ける人間の胸を切り開いて心臓を取り出し、これを神に捧げるというほどに墮落してしまつた。これは最も反宇宙的な行為である。

こうして過去に偉大な文明を誇つた

ムー帝国の宇宙哲学にもとづく高貴な精神は、はるか後世のユカタンの灼熱のジャングルからも永遠に消えうせたのである。

ムー大陸はなぜ海中に没したか？

チャーチワードは地殻中の巨大なガスチェンバーの爆発説をとなえている。もつと飛躍した別の説によると、当時高度な科学を有していたアトランティス大陸との核戦争の結果だといふものもある。そしてアトランティスも最後を共にしたというのだ。これもあながち荒唐無稽視するわけにはゆかない。一大文明が消滅して人間が原始の状態に返ることはあり得るだろう。

だが科学によると、1万数千年ないし2万年ぐらゐを周期として地球の自転軸が急にかたむく、いわゆる地軸の傾斜現象が発生し、その際に世界的な大変動が起こるといふ。しかも現代の地球にもこの現象が接近していると説く学者もある。ムーやアトランティスの沈下もこれが原因となつて海中に沈んだというのだ。これも言下に否定はできないだろう。人智を超えた大自然界には何が起こるか、わかつたものではないからだ。

とまれチャーチワードの大研究は後世にはかり知れぬ貴重な資料と知識を残してくれたが、オーソドックスの考古学界からは奇人として無視された。正規の考古学の教育を受けていないアマチュアだからというのが唯一の理由であつた。だがいつか彼の業績が目玉をあびる日がくるかもしれない。将来大変動が発生し、太古に沈下したムー大陸がふたたび浮上して、そのときに彼の研究を知る者が証人として生き残るならば、だ。ムー帝国を脱出したケツアルコアトル族のように――。

(以下次号)

(カラー頁と記事中の写真は筆者撮影。図版類は大陸書房刊図書より転載。許可済)

参考文献

- マイケル・D・コウ著、寺田和夫／加藤泰建訳「マヤ」学生社
- 石田英一郎「マヤ文明」中央新書
- マイケル・D・コウ著、寺田和夫／小泉潤二訳「メキシコ」学生社
- 増田義郎「古代アステカ王国」中央新書
- カーネギー研究所／小泉源太郎訳「失われたマヤ王国」大陸書房
- エリック・ウムランド／クレイグ・ウムランド著／高山信雄訳「マヤ文明の神秘」佑学社
- ジェームズ・チャーチワード著／小泉源太郎訳「失われたムー大陸」大陸書房
- ジェームズ・チャーチワード著／小泉源太郎訳「ムー大陸のシンボル」大陸書房
- ジェームズ・チャーチワード著／小泉源太郎訳「ムー大陸の子孫たち」大陸書房
- リチャード・F・デンベウル著／坂崎新治訳「失われた都市」大陸書房
- B・グリヤエフ著／中山一郎訳「中米古代文明の謎」大陸書房
- 「ロズモ第4号」エニバス出版社
- 「Ancient Mysteries of the Mexican and Mayan Pyramids」by Warren Smith
- 「Palenque」by Richard Bloomgarden
- 「Chichen Itza」by Jose Diaz-Bolind
- 「Maya Jades」by Adrian Digby

●7千万年前に絶滅したはずの巨大な首長竜プレシオサウルスの生き残りかと白熱した論議を呼んだニューネッシー騒動も、不粋なウバザメ説で軽く蹴されたかにみえる。が、唯一の物的証拠であり、そして分類の決め手とするにはあまりに迫

■海に生きていたネッシー

『ニュージラランド沖で巨大な怪物の死がい発見さる!』
今年、こんなに大きな話題をさらっ

たニュースは、これまでほかになかっただろう。もし、この未知の怪物「ニューネッシー」が前世紀の遺物、首長竜の生き残りだとしたら、それこそ学問的に見ても世界的な大発見といえるのだから――。

このビッグニュースが報道されたとき、私は『木曜スベチャル』の取材中で沖繩にいた。「とうとう現れた! やはりネッシーの仲間が海に棲んでいたのだ……」私がテレビニュースを見て最初に感

力に欠けるヒレの一部分だけで全体像の結論を導こうとするのは、浅薄にすぎるといえるものではなからうか? まして古代生物棲息の宝庫クライストチャーチ沖では、プレシオサウルスに似た怪物を目撃したという報告が現に相次いでいるのだ!

●連載／この眼で見た現代の怪奇——③

海溝に消えた

太古の首長竜

「クライストチャーチ沖に出没する怪物は、

古代生物プレシオサウルスか?」

じたのがこれだった。

というのは、もう10年近くの間、私は何度もスコットランドのネス湖に足を運び、なんとかしてネッシー実在の証拠をつかもうと努力してきたのだが、その結果、大勢の目撃者や学者とのインタビュー、それにネッシーの実写フィルムや写真などから推して、ネッシーは首長竜の一種、プレシオサウルスにちがいないと考えていたからである。

プレシオサウルスというのは、今から1億5千万年前から7千万年前頃までの間、海に棲んでいた巨大な爬虫類で、全長10〜12メートル、首は蛇のように長く、小さな頭部と、魚を捕らえるのに適した鋭くかつた歯を持ち、胴体は甲らのない亀に似て、前後に一対ずつの大きなヒレがあったといわれている。

現在発見されている化石から判断して、比較的浅い海か、湾の中、ときには淡水の河口や入江、あるいは湖の中

▼大洋漁業の瑞洋丸に引き揚げられた怪獣の死がい。矢野道彦氏撮影。



にも棲んでいた形跡があり、その長い首を利用して魚を捕食し、産卵のときは鮭のように川をさかのぼったと考えられている。

とすると、ネッシーの場合は、もともと海棲だったプレシオサウルスが、産卵のためにネス湖へ川をさかのぼるうちにそこに棲みついて陸封されたものか、あるいは氷河時代の終わり頃には深く切れこんだ湾だったといわれ

●日本テレビ
ディレクター

矢追 純一

るネス湖あたりの浅海にいたものが、氷が溶けるとともに徐々に隆起した陸地によって、その場所が湖となった後、環境に適応して生き残ったのか——いずれにしても海水から淡水への適応をなしとげて生き残ったものと思われる。

海棲のものが淡水に適応することは、海に棲むジュゴンが河に棲むマナティになった例や、淡水棲のアザラシがソ連で発見された例などもあって、可能性としては大いに考えられることである。

いずれにしても、私は、もしネッ



▲ カンタベリー博物館での筆者(左)。下は古代生物目撃地点図。



1がネス湖に実在するとすれば、その前身である海棲のプレシオサウルスそのものが、何処かの海中に生き残っているにちがいないと考えていたのである。

今回発見された怪獣の死がいが、もしもプレシオサウルスのものだということになれば、それこそネッシー実在の最も有力な証拠だということになるだろう。

もちろん、今から7千万年も前に絶滅したといわれている首長竜プレシオサウルスが、今なお生き残って泳ぎ回っているということ自体、大変なことなのだが……。

■ヒレの一部だけで

全体を論ずるのは……

1977年7月27日。

私は、急ぎよ呼び戻されて、沖繩から東京へ向かう機中にいた。

翌日の日本テレビ『おはよう！ワイドニュース』に、怪獣の死がいが発見者の1人、大洋漁業の矢野道彦氏といっしょに出演するためである。

私が怪獣発見のニュースを聞いてから、もう5日もたっているのだが、東京から遠く離れた沖繩での取材ということもあつて残念ながら手許に資料があまりない。機中で、集まっただけの新聞の切り抜きなどから、ニュースをざっと振り返ってみることにした。

●日時 1977年4月25日、午前10時40分頃。

●場所 ニュージーランド南島、クライストチャーチ東の沖合い。南緯43度51・5分。東経173度48・5分の海上。

●状況 大洋漁業の大型トロール船、瑞洋丸(2455トン)がホキ漁の網を引き揚げたところ、網の入口付近にもすごい悪臭を放つ、全身白い脂肪で覆われたクジラの死がいのようなものが引つかかっていた。

●怪獣の大きさ 全長、約10メートル。首の長さ、1・5メートル。尾の長さ、2メートル。

ヒレの長さ、1メートル。頭の大きさ、タテ45センチ、幅30センチ。

直径1センチくらい、鼻孔が2つあいており、下アゴは脱落。腹部もなくなっている(矢野さんの計測による)。

●目撃者 甲板員8人のほか、ブリッジに船長、矢野さんら5人、司厨員2人の計15人。

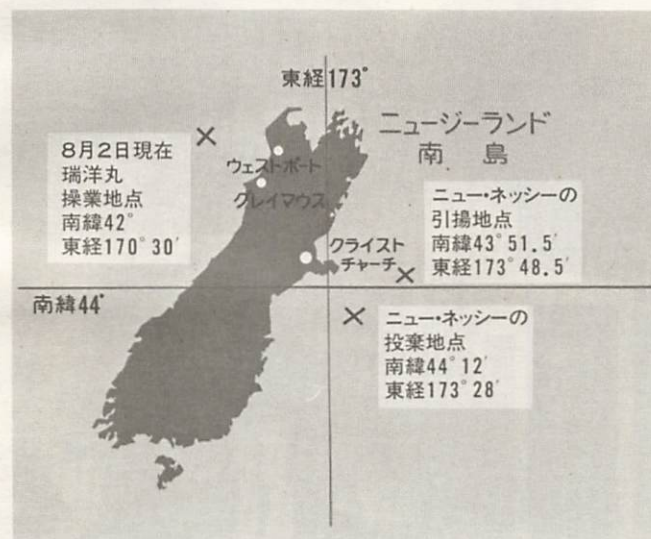
●撮影 矢野さんが船内中を探し回

つてようやく手に入れたビックリコニカで、ウインチに巻き揚げた怪獣を4カット撮影。

●スケッチ 矢野さんが死がいが投棄前に大ざっぱに計測、スケッチした。

●悪臭 「魚の死臭ではなく、トドとか、トッカリなどと同じ動物の死臭だった。」

●腐敗 「この怪獣から溶けた脂肪が、糸をひきながらボタボタと甲板にたれ、白い豆腐のように甲板上に点々と残るほどだった。」船員たちの意見では、経験上から判断して死後1カ月くらいという。



▲ニューネッシー引き揚げおよび投棄地点。

●肉の状態 「白い脂肪の間からところどころにクジラのような動物性の赤身の肉が見えた。」

●投棄状況 目撃した船員たちの判定は「大きなカメ」と「怪獣」説が半半。ペテランの甲板長が「カメだ」と言ったこともあり、そして重要な資料と思わず「腐肉が船内にあると衛生管理上悪いから」と、ふたたび海中に投棄した。

◇

その後、今年6月上旬、矢野さんが他の乗組員より一足先に帰国、持ち帰った写真とスケッチ、それに怪獣のヒレの一部分である角質繊維40数本を大洋漁業本社に提出、本社から専門家や学者に鑑定を依頼したのである。

このヒレの一部を化学分析した東京水産大学の安田富士郎教授は、記者会見で「化学分析の結果は、サメのヒレの中にある角質繊維(エラストイン)と同じもの。だが、この結果で怪獣が、サメだとか爬虫類だとかは判定できない」と発表している(傍点筆者)。

また、写真やスケッチからの鑑定結果では、巷間言われている、

① 首長竜説

② サメ説

③ クジラその他の哺乳類説

④ カメ説

などのいずれにも軍配が上げられず、謎のまま残されている——といったところで、唯一の物的証拠があまり

決め手にはならないヒレの一部分だけといった状況では、はっきりした結論など出るわけがないのは当然だろうと思われた。

ただ、私は、現在日本にいる唯一の目撃者、矢野さんと会うことで、何かが得られるのではないかと、翌日のワイドニュース出演に期待をかけていたのである。

■怪獣をほうふつとさせる

目撃者の証言

7月26日、午前6時半。

出演30分前の打ち合せで、初めて矢野彦氏に対面した。

矢野さんは、海の男らしく陽気な精悍な顔に、キチンと背広を着こなして、物静かで礼儀正しい動作の中にも、芯の強さと誠実な人柄を感じさせた。目撃者にありがちな誇張や、ひとりよがりの推論を交えることなく、終始一貫して淡々と事実だけを述べる態度には好感が持てた。

よく話をきいてみると、矢野さんは以前から魚の生態や形態に興味を持ち、操業中、珍しい魚が揚がると必ずスケッチをとり、各部のサイズを計測して記録するということを続けてきている。今回のスケッチや目撃記録についても、非常に細かいところまでを冷静に観察していることがうかがわれ、かなりの信頼がおけると思われた。

そのあと、私はワイドニュースの本



▲クライストチャーチ沖合いにニューネッシーは投棄されたが、ここには仲間のプレシオサウルスが棲息しているかもしれない。

番を通じて、次のような大変興味深い点を矢野さんから聞きだすことができたのである。

① 写真に撮るために怪獣の腹の辺りにワイヤーをかけて、ウインチで巻き揚げたが、その際、全身が少しずつ上がるたびに、長い首がぐんぐんとしなるようにして揚がっていくのがはつきりと見てとれた。

(これは、サメのような軟骨魚では考えられないことで、サメならば首の骨はそのような堅牢さを感じさせる弾力性などなく、最初からぐにゃつと折れ曲がっただろうと思われる。)

② ある程度、全身が揚がった時点で、背骨がワイヤーをかけた辺りから折れたか外れたかしたらしく、ポキンと二つ折りになり、それ以上揚げるができなくなった。

(なるほど、そのために怪獣の全身、特に下半身が写真に写らず、うしろのヒレがあるかないかがはつきりせず、のちに論議をかもす原因になったのだろう。)

③ 頭がい骨の上アゴ部分(下アゴは脱落してなかった)にはたしかに2つの眼の穴と、その下方に2つの鼻孔とがあいだの近い位置で見えて確かめた。

(サメの場合、上アゴの部分に鼻孔があることは考えられない。)

④ ヒレの大きさは、前後とも殆ど同じか、または後方のヒレのほうがや

や大きいくらいだった。

(サメやクジラでは、うしろのヒレのほうはずっと小さい)。

⑤ 魚やサメに必ずある尾の先端の尾ビレはまったく付いていなかった。(脱落したのかもしれないが……)

⑥ 腐臭は、あきらかに動物性のもので、職業柄、魚類やサメの腐臭はなじみ深い、そういう臭いではなかった。

⑦ 肉は赤みの強い海獣性のもので、クジラの肉に非常に似ており、もしあんなに腐敗がひどくなければ、少し切りとって食べてみようと思ったほどだった。

⑧ もし、サメとかクジラだと思われるフシがあったら、苦労して写真やスケッチはとらなかったと思う。

⑨ ⑩は、矢野さんのように、長年、魚とともに生活してきた人の証言であることを考えると、信頼のおけるものだと思う。

⑪ クジラは、これまでにたくさん見たし、たまたまとれたクジラの頭がい骨も3個保存しているが、頭がい骨の大きさや形からして、今回の怪獣はクジラとは全然違うと思う。以上である。

この矢野さんの証言を信用するとしとき(私はもちろん全面的に信用するものだが)仮りに何パーセントか引き引きするとしても、そこにはサメでもないクジラでもない、そしてアシカやト

ドなどの哺乳類でもない(これらの哺乳類で全長10メートルもの大きさのものはいない)、またカメでもない(同様にそんな大きなカメはいないし、首や尾の長さが合わない)といった何か得体の知れない文字どおりの怪獣の姿が浮かび上がってくるのだ。

では、いったい何なのだろうか? 私は、論点を明らかにするため、早速、各説を主張する学者の先生方を訪問することにした。

■肢の骨があれば

爬虫類か哺乳類

最初は、サメ説を唱える東京大学医学部、比較解剖学の神吉敏郎教授。

東大医学部の研究室を訪ねると、物静かな口調で、素人の私にもわかるようにと気をつかって順々に話してくれた。

「サメの頭骨は、腐敗すると下アゴの骨が脱落しやすい構造になっているんです。その場合は、ちょうど矢野さんの描いたスケッチや、写真で見えるような小さな頭に見える形になりますし、上アゴの歯も脱落したと思われれます。一般に、爬虫類や、クジラのような哺乳類の歯は、歯ぐきの奥深くまで入りこんでいて、腐敗してもなかなか抜けませんが、この怪獣の死がいの場合、完全に歯がないという点から見ても、サメのように歯が抜け落ちやすいものだったのではないかと考えられます」

——矢野さんは、頭がい骨の前部に2つの鼻孔があったと言っていますが、サメの頭骨の場合、そういうものが上アゴ側に残るものでしょうか?

「いえ、サメの場合には、そういうものはありません。その辺をみるとサメには適合しないんですが……多分、矢野さんはスケッチを描くときに推定でそういうものがあると考えて描いたのではないかと私は解釈しているのです……」

——ほかにもサメであるとする理由がありますか?

「ええ、これがもう1つの大きな理由なんです。私は初め、矢野さんのスケッチを見たときに、ヒレの部分に肢の骨のようなものが描かれ、その先に、最近問題になっている角質繊維のヒゲのようなものがついているように描かれていたので、矢野さんがヒレの内部を確認して描いたものと考えていたんです。

ところが矢野さんにきいてみると、ヒレを足で踏んだときに、何か固いものがあるような感触だったので、そこに骨があるものと推定して描いたのだというんですね。それでは、ヒレの中の角質繊維の集まった部分を踏んで固いと感じ、それを骨のように錯覚したのではないかと、と解釈し、このことを前提にして、肢の骨がなく、角質繊維だけならば魚類……それも体長10メートル以上に上るウバザメではないかと

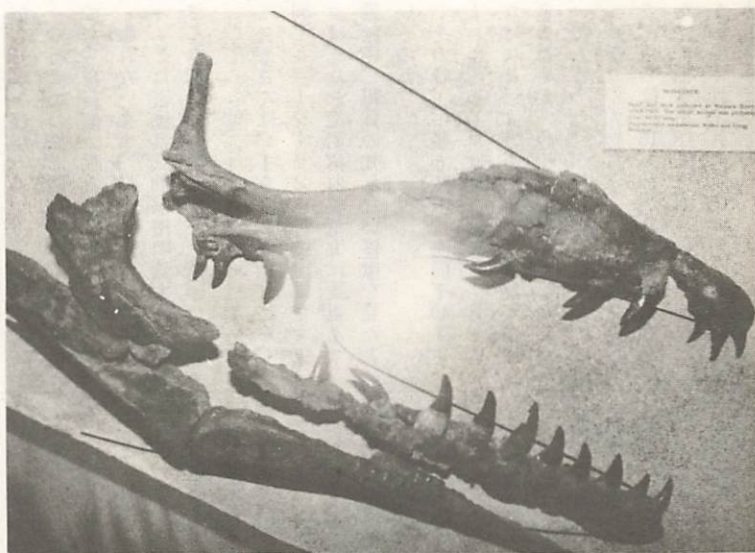
と考えたんです。もちろん、角質繊維の成分が、サメのものと同一であるという分析結果も考慮に入れてのことですが……」

ここでちょっと補足しておかなくてはならないのは、魚類と爬虫類の違いである。今から3億5千万年ほど前の古生代に、水中の魚類がだんだん陸にあがるようになって両棲類となり、さらにそれが進化して爬虫類になったのだが、その進化の過程で、はじめ魚類のヒレだった部分が肢に変化して、そこに肢の骨が形成されたといわれている。したがって爬虫類も、それからさらに進化した哺乳類も、首長竜やイルカのように外見は完全にヒレの形をしていても、内部には肢の骨がハッキリと認められるもので、この辺が単にヒレの繊維だけというサメや魚類とまったく違う点なのである。

したがって肢の骨があれば、爬虫類か哺乳類、なければ魚類ということがいえるわけで、今度の怪獣の場合、神吉教授は、ヒレの中に骨がなかったに違いないと類推してサメ説をとっておられるのだ。

「サメの場合は、うしろのヒレが前方のヒレより小さいということですが……」ときいてみると、

「その辺も、スケッチには同じ大きさに描かれています。矢野さんが推測で描いたのではないかと考えているんです。この写真では、後方のヒレがまっ



▲ニュージーランド、カンタベリー博物館に展示されているプレシオサウルスの化石。

の証人たち、残り14人の瑞洋丸乗組員にインタビュをしなくては論議が進まないのではないかと感じた。

プレシオサウルス棲息の可能性

哺乳類説をとっておられるのは、元国立科学博物館地学研究室長の尾崎博氏である。

「写真とスケッチで見るかぎり、あのように長い首を持ったサメやその他の魚類は考えられません。また首長竜も7千万年前

たく写っていませんので、その辺がよくわかりませんし……」
要するに、矢野さんのスケッチにあまり信を置いていないということである。だが、矢野さんは、前に述べたように私の質問に対して「ハッキリと、前後のヒレの大きさは同じくらいだったと答えている。」
はたして、実際はどうだったのだろうか？

私はこのとき、これは矢野さん以外

に絶滅したといわれ、現在までは、その生きた実物が発見されていないので何ともいえませんが、現存している生物であるスケッチに似た形のものはないかという、アザラシなどがビッターのように思えるんです。ただし、これまで発見されているものには体長10メートルもの個体はありませんが、異常発育をした巨大な個体が未発見のまま棲息しているということも考えられるのではないのでしょうか」という。ただ

し哺乳類とはいっても、頭が骨の形からみて、クジラとはまったく違うとのことである。

続いて今度は、首長竜説をとられる横浜国立大学、古生物学の鹿間時夫教授に伺ってみた。

「およそ動物を分類するという場合、その形態によって分類するのであって、その動物の一部分を化学分析して決めるというようなものではありません。」

したがって、今回、矢野さんが持ち帰ったヒレのほんの一部分を分析したところ成分がサメに似ているからといって全体がサメだなどということは絶対に言えないわけです。

そこで、動物分類の基本である形態学の面から見ますと……これは実物があるわけじゃないから、あくまでもあの写真とスケッチから類推するしかないわけですが、形態から見ると、これはもう首長竜……それもプレシオサウルスにぴったりなわけです。

身体全体のバランスから見ても非常に小さな頭部と非常に長い首、それに前後一対の大きなヒレなど、この写真が示すものは、そのまま素直に見れば、プレシオサウルスそのものだと言っているようにいいでしょう。

それでは、7千万年も前に絶滅したはずのものが、未だに生き残っている——といっても、1頭が7千万年も生きのびたということではなく、何代も

の世代を経て生き続けてきたということですが、その可能性は決してないとはいえない。いやむしろ、海中は環境の変化が非常に緩慢ですから、大いに可能性はあるといえるでしょう。

現に、シーラカンスという、7千万年前に絶滅したと信じられていた古代魚は、2億年も前の形そのままで1938年に発見されているんですから。このシーラカンスが発見されたマダガスカル島沖の海中は、このことから2億年前の環境とそう違ってないということができると思います。古代生物が生き残れる状況というのは、この広い海の中にまだいくらか残されているし、今回、怪獣の死がいが発見されたニュージーランド沖あたりも、その可能性がじゅうぶんある場所だと言えるんじゃないでしょうか」とすると、あれがプレシオサウルスの死がいだったという可能性は大いにあるわけである。

だが、鹿間教授のいわれるように形態学的に見て決めるにしても、また神吉教授のいわれるサメ説を検討するにしても、矢野さんの持ち帰った写真とスケッチが、どの程度正確なものであるかの傍証（ほうしやう）がなくてはならない。

それには、今なお現地で操業中の瑞洋丸の乗組員の目撃体験をインタビュ

ーしなくてはならない。
そう考えた私は、早速上司の許可を得て、急ぎょ現地ニュージーランドへ

飛ぶことにした。

■ウォーッという

不気味な吠え声

7月30日、午後8時半。

私とカメラマン、そして照明担当と録音担当の一行4人の取材班は、カンタス航空でオーストラリアのシドニーに向かって羽田空港を出発した。目ざすニュージールランドのクライストチャーチには、シドニーでさらに乗り換えなくてはならない。

飛行機での旅に馴れているはずの私でも、夜行便で眠るのは難しい。

眠れないまま、私は電話でインタビューした宮城県気仙沼市の鈴木岩太郎さんの話を思い出していた。

.....

鈴木さんは、1962年12月ごろ、同じニュージールランド沖の海域でマグロはえなわ漁船第21善竜丸に乗組んで操業中、得体の知れない怪物を見たというのだ。

その日、午後6時頃、海面下40メートルにおろしたはえなわをウインチにかけて揚げようとしたが、獲物が重すぎるためか、途中で機械が動かなくなってしまった。

かなりの大物だ……と直感した鈴木さんたちは、15人がかりで4時間もかかって網を手作業で引っ張り、どうにか海面すれすれの所まで揚げるのに成功したのだった。

だが、船内灯の薄灯りでそのものを見てびっくりした。

網の中にいたのは見たこともない巨大な怪物で、胴体だけで10メートル近くもあり、首と尻つばは海中に入ってしまったで見えなかったが、サメやクジラではない、何か得体の知れない怪物だったのである。

結局どうしてもそれ以上引き揚げることができず、操業ができなくなるのでやむをえず切り離れたという。そのときの怪物がどうやら今回のニューネッシーと同じ種類の怪物だったのではないかと思う、と語っているのだ。

とすれば、そのときはまだ怪物は生きていたというから、ニュージールランド付近の海中には、ニューネッシーの仲間が何頭も棲息しているということになる。

.....

1971年4月には、宮城県牡鹿郡女川町の第28金比羅丸という漁船が、こともあろうに今回大洋漁業の瑞洋丸が怪物を引き揚げた地点と殆ど同じ場所、クライストチャーチの沖合いで怪物に出くわしているのだ。

4月28日の正午をちょっとすぎた頃だった。マグロはえなわをウインチで巻き揚げていると、突然、なわが切れ、ブイとなわが流されそうになった。その瞬間、50メートルほど先のブイの横に、何ともいえない醜悪な怪物が姿を現したのだ。

海面上に1・5メートルほど首を突き出したその怪物は、体の色が茶色だった灰色で、顔も体もしわだらけ、大きな眼で船のほうをにらみながら10分ほど動き回ったあげく、潜ってしまったという。

船内は大騒ぎになり、26人の乗組員全員が目撃している。

乗組員たちは「化け物のような怪物」とか「タコ入道のお化け」みたいだったと証言しているが、クジラやサメではなかったという。

.....

今年、1977年2月10日には、今度はオーストラリアの南、約千キロの沖合いで怪物が目撃された。

静岡県焼津市のマグロはえなわ漁船第八富久丸がこの海域で操業中、午前8時半頃になって、突然、村松船長が「ウォーッ」という気味の悪い声を耳にした。

急いでブリッジを駆け降りてみると、船の左舷のすぐ傍の海面に大きなコブのようなものが2つ並んで浮いているのが見えたのだ。

コブは2つとも楕円形で、水面上に突き出している部分の長さは、おおよそ1メートルくらい、水中の部分はよく見えなかったが、非常に巨大な生物の背中の一部が海面上に現れたように見えたという。

他に何人かの乗組員もいっしょに目撃しているが、何とも気味の悪い生き

物で、今までに見たこともないやつだったと言っているのだ。

どうやら、これから向かう海域は、怪物の宝庫らしい。

われわれは殆ど一睡もしないまま、シドニーに到着、1時間の待ち合わせでニュージールランド航空に乗り換え、クライストチャーチへ向かった。

■首長竜は生きている!

7月31日、正午すぎ。

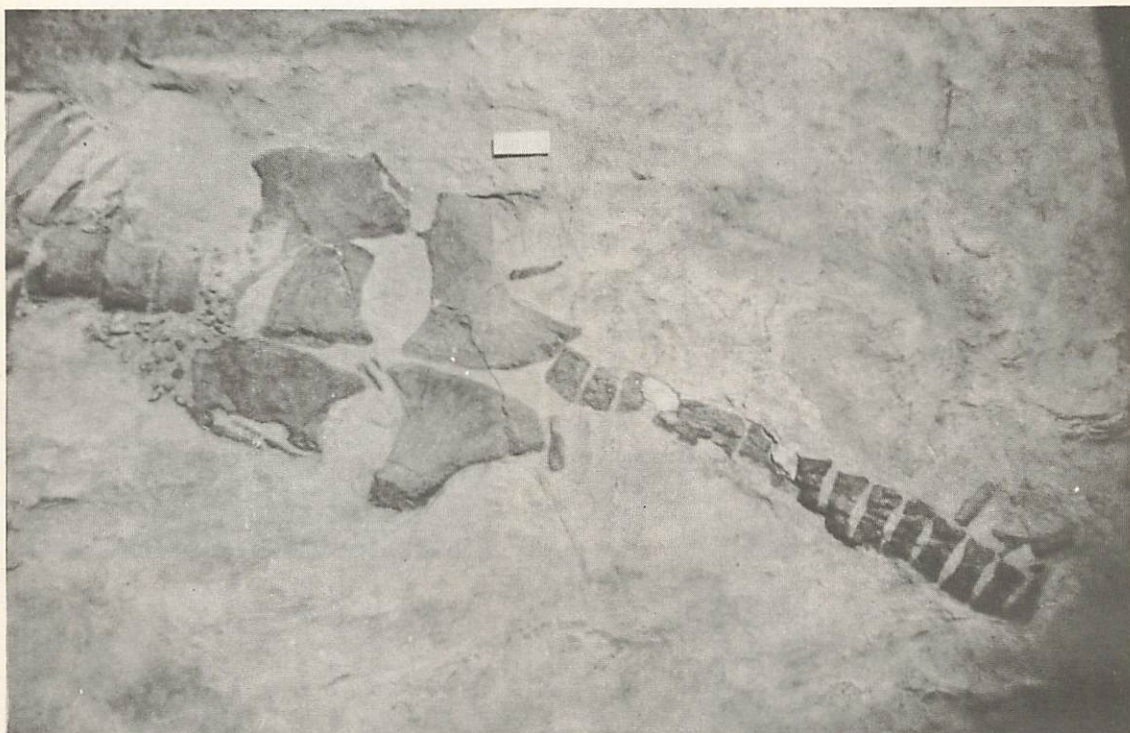
ようやく眼下に、真っ白に雪を頂いた山なみが次々に見えてきた。目ざすニュージールランド南島に着いたのだ。

ここは南半球、日本とは赤道をはさんでちょうど反対側になるため、日本が真夏ならこちらは真冬というわけである。

クライストチャーチ空港に着くと、摂氏4度という寒さが、山脈を吹きおろしてくる空っ風とともにまともにぶつかってきた。

覚悟はしてきたものの、相当に寒い。クライストチャーチは、南島の東海岸に位置する港町で、この沖合い30カイリの地点で瑞洋丸が、ニューネッシーを引き揚げたのである。

電話で連絡をしておいた地元テレビ局、サウスバシフィックテレビの支社長、スマイス氏が迎えにきてくれていた。挨拶もそこそこに、早速、ス



▲プレシオサウルスの化石。「7千万年以上も昔、この巨大な海棲爬虫類はニュージーランド周辺の海域を泳ぎ回っていた」と説明されているが、今も生きた化石として泳ぎ回っている可能性はじゅうぶん考えられる(カンタベリー博物館)。

マイス氏の用意してくれたクルマで取材に向かう。

今度のニュースについての、地元の反響をきいてみた。

「こちらでは、怪獣の写真やスケッチが発表されなかったせいもあって、日本ほどの反響はみられませんでした。学者たちも、判断の材料もないのでどう反応してよいのやらわからないといった感じです。でも今回、あなたがた日本のテレビ局の取材班がはるばる取材にこられたことで、地元でもこれからはこの問題についての関心も高まることでしょう。」

現にこれから取材に向かう相手は、このクライストチャーチに住む漁師でバリー・ワトソンという青年ですが、今から6年前に、ついこの沖合いの海域で、今回話題になった怪獣と同じような怪物に出くわしているんです。

しかもそれは、やはり6年前、日本のコンビラマルという漁船が怪獣を目撃したのとまったく同じ海域で、定期的に、そのわずか数カ月前の目撃なんです」

「えっ、本当ですか!」

「ええ。場所も、今度瑞洋丸が怪獣を引き揚げた地点からほんのわずか北へ上がった所で、殆ど同じ海域と言ってよいでしょう。」

彼は、チャタム島で漁をしたあと、このクライストチャーチのリトルトンという漁港に向かう途中だったんです

が、船からわずか10メートルほど離れた海面に、突然、ザバァッと長い首がとびだしたのを見たというんです。

それは、逆三角形をした小さな頭と、大きな口に鋭い歯を持った怪獣で、蛇のように長い首と、太くて短い胴体に、ヒレのようなものが水中で水をかいているようだったというんですが、いっしょにいた船長も、その怪獣が大きな眼で自分たちのほうをギョロリと見たのをはっきり覚えていっていると言っていました」

——— なんとということだろう、この描写は、プレシオサウルスそのものではないか!

とすると、やはりこの辺りの海域には、プレシオサウルスが今なお棲息しているのちがいない。

私は、今回の取材で予定しているトロール漁船による怪獣の死がい搜索作業を、予定より早めようと考えた。

ひょっとするとトロール作業中に、死がいならぬ生きている本物に目にかかれるかもしれないのだ。

だが、とりあえずは現在、島の反対側、西海岸に移動して操業している瑞洋丸に乗りこんで、乗組員のインタビューをするのが先である。

その取材が終わるまでは、怪獣の死がい搜索作業をさせるよりしようがあまりまい。

明日は、西海岸に飛ぶのだ。

(以下次号)

ミステリー豆知識

催眠術の歴史

Reproduced by 'The Encyclopedia of the Unexplained' published in the U.K. by Routledge Kegan & Paul.

© The Rainbird Publishing Group Ltd./Orion Planning Dept.

催眠術の歴史はフランツ・アントン・メスマー(1734頃~1815)と共に始まった。彼は最初、ウィーン大学で医学を学んでいる。1765年優秀な成績で卒業したが、卒論のテーマは「諸惑星が人体に及ぼす影響」というものであった。彼は、触知しがたい流れが宇宙に充滿していて、それが人体構造に目に見えない影響を及ぼしているのではないかと想像した。

その後数年間、彼の考えはそれ以上進展しなかったが、1774年になって、メスマーはジェスイット教の牧師マキシミリアン・ヘルの実験について聞き及んだ。ヘルはマリア・テレジア女王に仕える占星術師で、患者の身体に磁石をあてるといふ治療法で目をみはるような成功をおさめていた。

これは、惑星の影響に関するメスマー

ていき、パリに移ってから著書を出版して、「動物磁気」という新しい力を発見したと主張した。

動物磁気

動物磁気は、まもなく、パリで大流行し、メスマーは数名の有名人を治療している。彼の治療法は劇的效果たつぶりのものだった。治療はうす暗くした大広間で行い、広間の中央に水を満たしたカシの木の樽を据えた。この高さ1mほどの樽は「バケ」と呼ばれたが、その水の中には砕いたガラス、鉄粉、空ビンといった、なんとも奇妙なものをごたませに入っている。樽には木のフタがしてあり、フタにあけた穴から鉄の棒が何本か突き出ている。患者はその棒を持つか、患部におしあてるかするのである。音楽が鳴り、雲間

1の初期の思考と、明らかに似かよったものである。そこで彼はヘル神父の理論に改良を加えていった。実験をした結果、メスマーは成功をおさめたのは磁石のせいではなく、自分自身の身体の効果によるものだと思えるようになった。彼はこの考えをさらに練り上げていき、パリに移ってから著書を出版して、「動物磁気」という新しい力を発見したと主張した。

気が高まったところに鮮やかなロープをまとったメスマーがさつそうと登場する。メスマーの治療が効果を上げると、ものすごい「磁気の恐慌」が生じるので、大広間のなかに「恐慌の間」という特別室が準備されていた。1782年には、メスマーの主張を調査するため委員会が設けられた。委員会は磁気の恐慌について次のように報告している。

「それは3時間以上も続く。猛烈な発作に襲われると胸をかきむしって、ねばり気のある物質を吐き出す。時に血の混じることもある。四肢や全身のけいれんが起きるのが特徴である。眼はうつろで、焦点が定まらない。涙をながしてさけび声を上げ、せきこむかと思えば大笑いする。けいれんの前後にものうい、夢うつつの状態がある」

委員会は、「磁気流」について何らの痕跡も見えなかったということを主な理由にして、メスマーの主張をしりぞけた。

神秘主義との結びつき

それでもほとんどの者は、メスマーの磁気流を信じていた。それ以後、メスマリズムの研究は大きく2つの方向に分かれていく。科学的なものと、俗流のものである。

俗流化されたメスマリズムは、アメ

リカで繁栄した。「教授」とか「博士」とか自称する旅まわりのベテン師が、占星術、占い、骨相学などと結びつけながら広めていったのである。こうした俗流化されたメスマリズム運動から数人の理論家が出現した。

1830年頃、ジョン・ボビー・ドッズは、電気こそ「精神と不活性体とを結びつける環」だという信念を持つにいたった。そして「この偉大なる媒体を用いて、創造主は宇宙を動かし、支配している」とした。ドッズにとって「電気」が、メスマーの「動物磁気」にあたるものであった。

一方、ラロイ・サンダーランドは、講演を行うだけで催眠状態をひき起こせた。彼は、成功するには2つの要素が必要でないと考えた。「施術者が自分を権威づけること」と、「被術者が信じること」である。

アメリカでは、メスマリズムとトランス状態の観念が、靈交思想とクリスチャン・サイエンスという2つの新興宗教を誕生させた。これに対しヨーロッパでは、夢遊病の研究が神秘主義の理論と結びついた。

神秘主義の復活が絶頂に達した1890年代、コロネル・デ・ロシヤスは「感覚力の外化」と名付けた実験を行った。彼は催眠状態の被験者から磁気流が発出すると主張し、夢遊病者が真



▲フランツ・アントン・メスマー

暗な部屋の中で色を見分ける実験に成功したといっている。

こうした神秘的メスマリズム信奉者のひとりに、有名な化学者カール・フオン・ライヘンバッハがいる。彼は、「オディック・フォース」という力が存在し、透視など数多くの超能力はこの力で説明できるとした。だが、彼の主張は、ベルリンの物理学教授たちから否定されてしまった。

科学的研究のはじまり

メスマリズムを医学に応用しようという科学的研究は、このテーマが神秘主義と結びついていたので、たいへんなハンディキャップを負うことになった。しかしながら、1843年にマンチェスターの外科医、ジェームズ・ブレイドが、この研究に転機をもたらす



▲動物磁気による治療の様子

書物を著し、そのなかで初めて「催眠術」という言葉を使用した。

彼は、自分が発見した催眠術を従来の動物磁気とはつきり区別した。最初彼はそれを単純な身体的現象で説明できると考えた。異常な身体的行動を強いることによって、被害者を異常な意識状態にしていたのである。しかし、彼は、しだいに見解を修正しなければならなくなった。後になって出した著

書では催眠状態を「精神がある有力な観念に支配された状態」としている。

だが、催眠術の研究で長らく大家の地位を占めつづけたのはジャン・マルタン・シャルコー（1825～1905）であった。彼は催眠術が身体的に説明できると考えただけでなく、催眠状態は病気の症状であるとみなした。そして夢遊病はヒステリーと関係があると考えた。

1884年、このシャルコーの理論にまっとうから挑戦したのが、ヒッポライト・ベルンハイムである。彼は催眠術の原因、および催眠状態でのすべての行動は暗示によるものであると宣言した。そして、一連の実験によって彼の説を実証した。シャルコー自身も死の前年に自分の敗北を認めている。

シグムント・フロイトは、最初、シャルコーについて催眠術を学び、のちにベルンハイムの考えに改宗した。こうして、精神分析学の発展で、催眠術はきわめて重要な役割を果たしたのである。しかしフロイトは、後には催眠術を使用しなくなっている。

現在、催眠術は医学上の地位を認められている。理論的には、ちよつとした外科手術の場合、催眠術が最も安全な麻酔法である。1953年、英国医学会の委員会は、ある種の神経症の治療に有効と思われると結論した。また精神分析医も、病気の原因や治療の可能性をさぐる補助手段として、再び催眠術を用いるようになっていく。

しかし催眠術は、神秘主義と無縁になってはいない。ある種のオカルト行為に自己催眠が使われるし、生まれ変わりの逆催眠の結果を理論の根拠にしていた。私たちが人間をさらに深く理解するためには、こうした問題をもっと研究する必要があるだろう。

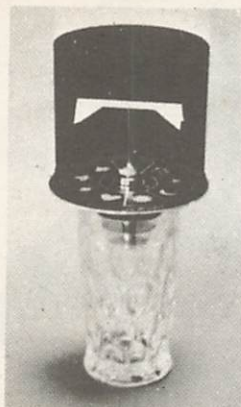
あなたにも“念力”がある!!

念力開発器

(ロジカルツェン・ダイヤレット)

人はだれでも潜在的に念力を持っています。ただそれに気がつかないことが殆んどです。このダイヤレットであなたは自分に念力があることが自分自身で確認できますし、訓練によってそれが強化されてゆくのが分ります。バラ十字団の団員は現にダイヤレットを使って自己の念力を強化して実生活で幸福をつかむ手段としていました。

¥7,000 (送料共)

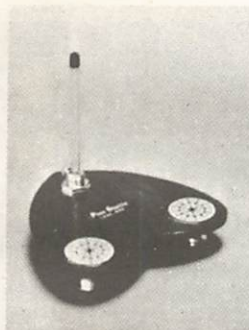


プランセット

(西洋式こっくりさん)

プランセットとはそれを行う人の意志とは関係なく自然に動き文章や図形が記されるもので、プランセットの実験は精神統一にも有益で家族や友人と一諸に楽しめます。

¥5,000 (送料共)



魔法の振子

(シュブロール振子)

魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。魔法の振子で自分のかくれた能力を発見して下さい。占いにも使えます。

¥2,000 (送料共)
携帯用ケース付



ジョーズの口

本物です。室内の装飾に最適!



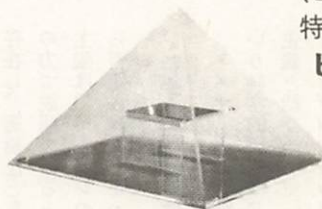
- | | |
|---------|---------|
| A 約20cm | ¥ 5,000 |
| B 約25cm | ¥ 7,000 |
| C 約30cm | ¥10,000 |
| D 約35cm | ¥15,000 |

価格はいずれも送料共です。ジョーズのAとゆうように御注文下さい。

シャーク←写真のものより平たく
歯がやゝ短い。約30cm ¥3,000

ピラミッド A

アクリル製底辺約24cm
(ピラミッドパワー実験用)
特価 ¥6,000 (送料共)

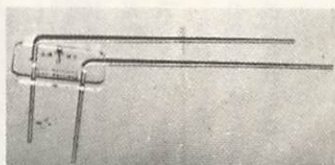


ピラミッド B

実験だけ楽しみたい方には普及型ピラミッド B
(¥1,000送料共) もあります。

不思議なピラミッド・パワーの実験ができます。中の台に色々な物を置いてみましょう。カミソリの刃は再び切れるようになります。生花は外のものより長持ちします。ミルクや果物も腐敗が遅くなります。魚や虫など小動物がミイラ化します。その他色々面白い実験ができます。

宝探しロッド (ダウジング・ロッド)



¥3,000 (送料共)
セパレーター付

このロッドであなたは不思議な力が発揮できるようになります。比較的短期間の練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できるようになります。この道具は実際に地下のガス管や水道管を探すのに実用されています。さあ、あなたも自分の潜在能力を試してみましょう。

カシオ・バイオレーター



あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、スポーツ等に応用できますし、相性判断もできます。

特価 ¥6,000 (定価は ¥7,500 です)

リズム・メーター



バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。

¥1,500 (送料共)

消えるボールペン



西独製の消えるボールペンです。紙でも布でも手でも書いた後反対側のインク消しでサッと消えます。あまりいたずらしないように。

¥300 (送料共・切手も可)

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法の解説がついています。

●カタログ請求・お問合せは

〒103 東京都中央区日本橋小舟町 2-7

発売元

ポラックス株式会社 U 係

TEL (03) 666-0511 (代)

技術指導

潜在能力開発研究所

ご注文は

紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替 (東京・4-8703) でポラックス株式会社 U 係にお送り下さい。

海外・国内・海外・国内・海外・国内・海外・国内・海外・国内

エニグマ情報

国内・海外・国内・海外・国内・海外・国内・海外・国内・海外



UFOは超地球的？

ハイネック博士は語る

「アメリカ」 UFO研究の第一人者J・アレン・ハイネック博士とのインタビュー記事が、男性雑誌「ワイ」の6月号に掲載されている。最近ではスピルバーグ監督の超大作映画「未知との遭遇」の技術顧問をつとめたことでも話題を呼んでいる博士が何を語ったか、その一部を紹介しよう。

ハイネック博士は、UFOは地球外生物の乗物だという仮説に否定的である。ひとつには、そうした生命の存在が可能と思われる星が地球からあまりにも離れているため。もうひとつは、UFOの目撃が頻繁すぎるといふ統計学的な理由からだという。では、この著名なUFO研究家は、UFOをどのように説明するのだろうか。

博士はUFOが地球外のものというより、超地球的なものだといふ考えである。すなわち、別の次

元から飛来するものである。

「もし、何世代にもわたって盲目の人ばかり住んでいる土地を訪れたとします。彼らにとって赤く輝く夕日は別の次元に属していることでしょう」

ハイネック博士は、UFOがESP、靈魂離脱、テレパシー、念力といった超能力と関係があるのではないかと考えている。博士自身はUFO問題を物理学の見地からアプローチすることを好むが、しかし「もしこの現象に超常的な次元があるということが証拠によって示唆されたなら、その線に沿った追求も行わねばならないでしょう」とインタビューに回答している。

ジャック・バレー博士の

UFO理論

「アメリカ」 コンピューター科学者で、数冊のUFO関係の著作を書いているジャック・バレー博士は、ハイネック博士との共著「エッジ・オブ・リアリティ」の中でUFO現象の説明としては次の4つが考えられるとしている。

(1)地球外の異星人 (2)地球に住む異人種（これには地球上の別の次元に存在も含まれる） (3)人間の秘密活動 (4)遺伝学的プログラム

ラミング

遺伝学的プログラムラミングとは何なのか。バレー博士はこう説明する。「私たちの種には、極度の社会的ストレスが生じた時にだけ発動する一種の防衛機構が組み込まれていて、その現れのひとつがUFOという現象ではないのだろうか。博士は、人間に対する圧力がこれほど厳しくなったことは今までなかったで、その圧力が生物学的過程の引き金を引き、「人々が空中に何かを見たり、さらには種々の物理的影響まで発生したりするのかもしれない」とつけ加えている。

また、別の著書「インビジブル・カレッジ」で、バレー博士はUFOに関する「有用な定義」を5つ列挙している。要約すると

(1)未確認飛行物体は、厳密に言えば、物体でもなければ飛行もしない。なぜなら、それは非物質化するし、これまで知られている運動法則に従わないから。

(2)それらは歴史上のあらゆる時代を通して目撃されており、それぞれの文化において、既知の知識の範囲の中で説明をつけられている。

(3)それらは必ずしも宇宙旅行者の訪問をあらわしているとはかぎらない。ひょっとすると時間旅行者かもしれない。あるいは、もし「意識が肉体とは別だと証明できれば仮説の範囲はさらに広がるだろう」

(4)UFO体験はしばしば目撃者に心霊的效果を引き起こしており、これがUFO現象を理解するカギである。

(5)UFOとの遭遇は、それがどのようなものであれ、UFOのコントロールする条件下で発生している。主な特徴は、社会のほとんどが拒絶するような「不合理の要素」がみられることである。その象徴する意味は、より深い無意識のレベルに浸透しているけれど。

「UFO現象が、より高次の存在による、我々には知ることと支配することもできないゲームのようなものだ、とみなしているわけではない」とバレー博士は述べている。「私にはこれらの現象が、人間の基準から見れば奇想天外だが、明確な規則とパターンに従った、技術工学の産物のような働きをしていると受けとれる」

バレー博士が「インビジブル・カレッジ」で述べているテーマはUFOがある「支配システム」を表しているのではないかというものである。つまり、他の文明が、恐らくは「心霊的效果」を通して我々の社会行動の条件づけを行う方法ではないかと言っている。

一段落した「ブロードヘブン・トライアングル」騒動

「イギリス」 今年の初めからサウス・ウェールズで起きていたUFO騒動もようやく一段落したようである。

昨年12月にこのUFO騒動を予測した英国UFO調査協会(BUFORA) 同地区調査員のランドール・ビュー氏は「いまでも時々報告は来いますが、私としてはそろそろ終結に近づいたと思っています」と語っている。

事件発生現場の地名をとって、

ジャーナリストたちが「ブロードヘブン・トライアングル」と呼んだこのUFO騒動から、主な事件を拾い出してみよう。なお、本誌8月号の本欄でご紹介したボーリン・クームズ夫人の事件も、ブロードヘブン・トライアングルのハイライトをなすものであった。

●生徒15人が目撃

2月4日、ブロードヘブン小学校の生徒15人(そのうち1人は女の子)が、校庭の外で宇宙船を目撃した。

目撃者の中に女の子が少ないのはおかしいじゃないか、という疑いの目に、彼らは「僕たち、フットボールをしていたんだもの」と口をそろえる。

最初に宇宙船を見つけたのは、おでぶさんのデビッド・デービーズ君(11歳)で、「かきねの向こう側からビョイと飛び出した」と言っている。丘の中腹から数百メートル離れたあたりで、大型のバスくらいの大きさがあった。

「最初、とても信じられなかったよ」これは友人のマイクル・ウェッブ君の言。「男の子のひとりか丘を駆け下りて、先生に知らせたんだ。でも、先生もはじめは信じなかったの」

先生というのは校長のラルフ・ルーリン氏のことである。他にこの物体を見た教師はいない。

ルーリン校長が冷静沈着な行動をとったことは賞讃に価する。

「私はまず彼ら一人一人から話を聞き、その後、全員を集めて聞いたでした」

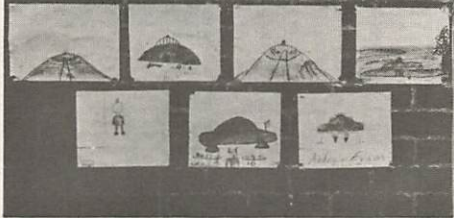
生徒たちは一人一人別々にされて、物体の絵を描いた。こうして

お互いに共謀しないようにしたにも関わらず、子供たちの絵はみなきわめて似かよっていた。

「彼らの話は終始、首尾一貫していました。私ほどの年齢にもなる、こうした事柄は頭から疑ってかかるものですが、でも子供たちが何かを見たのは確かだと思いま

す」
その2日後、子供たちの目撃を裏付けられる興味深い事実がわかった。小学校の売店の従業員2人が、生徒たちの目撃現場付近で物体を見ているのである。彼らはそれが銀色をした下水処理用タンク車だと思い、子供たちがタンク車を見間違えたのだらうと校長に報告した。

校長がさっそく現場に調べに行



写真上・目撃者の生徒たち。写真下・彼らが一人一人別々に描いたUFO。

ってみると、そこはとうてい車が入れない場所だった。「それに、彼らが示した場所に行くとしたら膝まで泥にうまってしまう」とルーリン校長は語っている。

マイケル・ウェップ君の父親、ティム・ウェップ氏は息子の話を信じている。彼は英国空軍ブローデー基地戦術兵器部隊で戦闘機の上級飛行訓練を監督する中隊長である。

UFOが銀色をしていたというのは、まるでSFではないかという疑問に対して、ティム・ウェップ氏は「その訪問者たちが宇宙船につや消しの銀色塗装をしていたというの、きわめて合理的なことだ」と答えている。熱吸収にすぐれているだけでなく人目をひか

ずに逃げ去るにも一番都合がいいのだそうである。

●ティラー君が出会った宇宙人

3月13日の午後9時頃、店員のステファン・ティラー君(19歳)は、ガールフレンドを家に送りどけた帰り道で、夜空に光体を発見した。

「大して気にもとめなかったんです」当時の状況をふり返って、ティラー君はこう語る。数分後、道で友人たちに会ったので、一応話をしたが、冗談あつかいされてしまった。

再び暗い夜道をたどっていたティラー君は、犬が必死に駆けてくるのに気づいた。まるで何かに追われているような様子だった。このちょっとした出来事も、ティラー君の注意をひくにはいたらなかった。だが彼は、いつも見なれている農家の光が、今日にかぎって右手に見えないのに気づいた。

「その農家の人が新しいサイロを建てたので、それにさえぎられたためだろうと思いました」よく見ると、巨大なドーム形の物体が農場の半ば近く立ちふさがっているため、灯が届かないのだとわかった。物体の周囲には、かすかな光の輝きが認められた。

「僕は門に寄りかかって、タバコに火をつけたんです。ティラー君が枯葉を踏むような足音を聞いたのは、まさにその時だった。右手をふりむいた彼は、すぐそばに立っている人影が目に入った。

「やせっぽちの人間みたいで、身長は1・8mくらいでした。年寄りみたいに頬骨が突き出ていました。目は魚みたい。丸くて、つや

つやしているんです」

その人影の口とおぼしきあたりには、箱型をした装置があり、そこからチューブが肩のほうへ伸びていた。呼吸装置だったのではないかと、ティラー君は推測している。

その生物の衣服は上下ひとつながりで、材質については「透明だけれど透明でない」としか説明がつかないという。首からウエストのあたりにジッパーがついていたようだった。しかし、なにしろ一目見るやいなや急いで逃げ出したので、詳しいことはわからないそうである。

「全然ふり返らず、家までずっと駆けつけました」とティラー君は語っている。

発電所上空にUFO

学校帰りの生徒たちが目撃

【イギリス】7月の初め、フェリーブリッジにある発電所に立ち並ぶ大きな煙突の間で、未確認飛行物体が入り込んでいるのが、キャッスルフォードの子供たちによって目撃された。

この子供たちは、エアデール小学校の生徒たちで、学校の帰りにUFOを見たのである。UFOは銀色に輝いていて、3つか4つほどの細長い窓があった。底部は黒くて回転しており、時々きらめく光を放ったという。

子供たちのひとり、クリストファー・ブル君(10歳)は、「僕たち、UFOが発電所の煙突の間を出たり入ったりしているのを見たんだ。とてもゆっくり動いていたので、細かいところまでよ

くわかったよ。50ペンス硬貨を半分にしたような形なの。2分ぐらいたら、消えちゃった」

ブル君や友達のマール・アディ君(9歳)は平気だったが、女の子のシーズン・ヘイウッドちゃん(9歳)はUFOがこわかったという。

「すごく明るく光って、見ていたらなかつた。目が痛いんだもの。こわくなったので、走って家に帰ったわ」

UFOを目撃した子供たちは全部で7人だが、3つの別々のグループに分かれていた。彼らのうちの1人が先生に話したことから、他にもUFOを見た生徒がいるとわかったのである。

校長のT・ペリー氏は、「私は彼ら全員と話したが、みんな見たというのに確信を持っていましたよ」

ジョナサン・ブライスは「とても明るく輝いていた。僕たちみんな見たよ」と言って、UFOは発電所の180m上空にあり、高さ9mさしわた18mくらいだったと推定している。

UFOを頭から

信じなかつた人が……

【イギリス】工員のデレク・ハーグリーブズさん(22歳)は、UFOなんて頭から信じていなかったという。ところが……

彼と妻のリンダさんは、7月の初め、バーミンガムにある自宅で、間違いなくUFOと考える物体を目撃したのである。デレクさんは義父の庭園に水をやっていて、ふと上を見た。す

ると、青みがかった銀色をした金属物体が、音もなく空中を飛行している。

リンダさんが近所の家に走って知らせにいったので、ダレル・ヘイズ夫妻もはつきりとその物体を目撃した。

「機体は葉巻型で、両端がとがっていました。大きさはジェット機の半分ぐらいです。でも翼も尾翼もありません。最近、このあたりでしばしば目撃されているUFOに、まさにそっくりで、はじめは自分の眼を疑ったものです。」

速度は、私がこれまでに見たどの飛行機よりも速いものでした。物体が音もなく空中を横切ってハンブルドン・ヒルの背後に姿を消すまで、私たちはじっと見つめていました」

モリス信号のような音を 出しながら飛行

「イギリス」 ロンドンの西160 kmにある中都市パスの近くで、警官2名を含む6人の住民が未確認飛行物体を目撃している。

ノートン・ラドストックに出現したUFOを最初に目撃したのはジョフリー・オームズビー氏で、7月4日の午後0時40分のことであつた。

「息子のクリストファー（16歳）と一緒に見たのですが、濃い青色をした塊で、300 m上空を北から南へとゆっくり移動しました。モリス信号のEに似たハイビッチの音をたて、付随の動物たちをおびえさせました」

警察では気球が故障したのではないかと考え、付近一帯を捜索した

たが何も発見できなかった。

その3時間後、マックス・デューク、テリー・タナー両巡査と、A・キングマン氏、およびR・ブラウン氏がやはりUFOらしい物体を目撃した。

タナー巡査は、それが非常に高空をかなりのスピードで移動する輝く光体だったと語っている。

「無音で、飛跡もみられませんでした。目撃していたのは30秒ほどで、だんだん光が暗くなり、消えてしまったのです」

ケインズハム警察のニック・クローハースト主任警部は、この目撃報告をロンドンの国防省に提出したと発表した。

赤い光はブーメラン型 UFOの排気ガス？

「イギリス」 7月の初め、イギリス中部のヨークで不思議な赤い光が出現。それを見た2人の若者はUFOの排気ガスだと主張している。

彼らの結論は単なる推測によるものではない。この2人、ロイ・マーガトロイド君とイアン・ロビンソン君は7月8日の朝、不思議な物体を3時間半にわたって目撃しているのである。

イアン君（16歳）は言う。

「最初は、あまりはつきりしなかったんです。僕たちは外に飛び出して、いそいで追いかけてました。それは4色の光をでたらめにつけたり消したりしていました。ブーメランのような形でした」

イアンとロイはその物体を20分間見た後、イアンの家へととってかえした。

「両親に話したら最初はまるで信じなかったんですが、結局は彼らもそれを目撃しました」

ロイ君（16歳）も語る。

「はじめ、UFOだなんて思ってもみませんでした。でも無音で高空を奇妙な飛び方をすると、なんとも不思議なんです。それに空中で静止するのも無意味でした。僕たちは3時間半も観察したあげくUFO以外には考えられないという結論に達しました」

7月8日の午前2時40分、そのブーメラン型をした物体は地上から離れはじめたという。だが物体が向きを変えた時、後部が赤く輝いているのが見えた。

「僕たちが見た赤い輝きは、地方紙に報道されていたのと同じものです。これで、みんな僕たちの話を信じてくれるようになるでしょう」

なお、2人はこの目撃を警察に報告している。

木立の上空に浮かぶ 赤く輝く円盤

「イギリス」 イングランドの北東部で、一女性が見たと思われる物体を目撃した。

ミドルズブラーに住むリタ・キヤリングトンさん（29歳）が、7月30日の午後9時頃、グレートエイトンからの帰りに見たもので、彼女は次のように語っている。

「道路のかたわらの木立の上空に浮かんでいました。静止して、赤く輝いていました。高度が低かったので、頂部にドームのある円盤の形をしているのがはつきりわかりました」

「両親に話したら最初はまるで信じなかったんですが、結局は彼らもそれを目撃しました」

キャリングトンさんは昔からUFOの存在を信じているが、実際に見たのはこれが初めてだということである。

イスラエルの秘密兵器は 天使の操縦するUFOだ

「アメリカ」 ベンシルバニア州ヨニーに住むロバート・バリー氏（55歳）は、UFOについて独創的な意見を抱いている。

イスラエルが連戦連勝なのは、天使の乗ったUFOの助けを借りているからだ、というもの。

20世紀UFOビューローの会長であるバリー氏は、天使が神の乗物を操縦し、悪魔の使いが悪魔の乗物を、また異星人もUFOを操縦していると言う。

「イスラエルが4回の戦いで勝利を収めたのが、UFOのフラッグや多数の目撃の時期となぜか一致しています。1947～48年、1956年、1967年そして1973年というように。」

イスラエルとアラブ諸国が交戦する時はいつも世界中でUFOが目撃されています」

彼はまた、イスラエルとアメリカの秘密報告によると、1967年の戦闘ではUFOが奇跡を起こし、イスラエルの軍隊を何度か救ったことになっていると言う。

例えば、シナイ高原に突然ツムジ風が巻き起こってエジプト軍の地雷がイスラエル軍に発見されたり、数千名のエジプト兵が無数の敵兵の「幻影」を見て、わずかに握りのイスラエル軍に降伏したりしているのだそうだ。

バリー氏はまた、今年の12月に

カーター大統領がUFOを肯定する公式声明を発表するものと信じているが、はたして氏の期待どおりになるだろうか。

UFO問題に対する 科学者の意見を調査

「アメリカ」 スタンフォード大学の宇宙科学天体物理学教授ビクター・A・スタロク博士は、UFOについて次のような意見を表明している。

「私の経験から言いますと、この問題を長く研究すればするほど、その科学者はより一層の研究の必要性を確信するようになってきます。単純な説明をつけて片づけてしまおうのはこの問題のうわべだけを検討した者です。」

私は先ほど、アメリカ天文学会のメンバー2600人以上を対象に調査を行い、53%にあたる1356名から回答を得ました。彼らの約80%がUFO問題について、『確実に……恐らく……ひょっとすると……科学的研究に値する』と感じています。62名の科学者たちは、UFO現象と関係があると思われる未確認現象を目撃したり、あるいはその記録を入手したりしています。

空軍は1968年に刊行されたコンドン報告に基づいてUFOの調査を中止してしまいましたが、この報告書を詳細に検討してみると、各事件の調査結果とコンドン博士の結論とはいくい違いがあることがわかります。私としては、UFOというのは徹底的な研究を絶えず続けていく必要のある重要なテーマと考えています」

「私の経験から言いますと、この問題を長く研究すればするほど、その科学者はより一層の研究の必要性を確信するようになってきます。単純な説明をつけて片づけてしまおうのはこの問題のうわべだけを検討した者です。」

長崎の少年 円盤をキャッチ

〔長崎〕また長崎にUFO現る？
3月25日午後1時ごろ、長崎市戸町の上空で小学生がナゾの飛行物体を発見、とっさにカメラのシャッターを押すと、その一枚がバツチリ。

この小学生は戸町小5年生、城清敏君(11)。城君の話によれば、同時刻ごろ自宅2階からなにげなく外を見てみると、突然円盤の形をした物体がピカピカ。UFOだ！以前からUFOに関心を持っていた城君は、夢中でシャッターを押した。このナゾの物体は星のように数回光った後、やがてスーッと消えて見えなくなってしまった、という。この間約1分。

この飛行物体、他に見た人はいないらしいのだが、城君はUFOに違いない、と興奮している。

(1977年4月2日付、長崎新聞)

UFOのしわざか 謎のキズ石再び見つかる

〔群馬〕とても人間の仕わざとは思えません——5月1日、高崎市の民家で大庭石に大きなひっかき傷や損傷があることがわかり「宇宙人の仕わざ？」と家人を不安がらせている。

これらの不可解な傷は、同市井野町、電気部品製造、引田貞好さん(49)の庭石96個のうちの30個につけられているもの。

引田さんの妻であるさん(52)の話では4月29日夜10時ごろ、引田さん方東南のムギ畑に、直径40cm

の明るい光の玉が現れ、しばらくしてから引田さん方の庭の東に消えてしまった。「おかしいことがあるもんだ」と引田さん夫婦は、あまり気にとめずにいたという。

ところが、1日昼すぎ庭に出て石を見たところ4月10日に買ったばかりの三波石、鳥海石など30個にツメでひついていたような跡(10×30cm、茶色く変色した筋、正三角形(1辺20cm、厚さ5cm)のような形に割れた跡などがあるのにびつくり。

これらの石は、引田さんが29日に1つ1つていねいにタワシで洗ったばかりのうえ、だれにもイタズラされた覚えもないという。「まるでツメでひつかいたようだが、けずりかすはおろか、石のかけらもない。まったく人間わざとは思えない」と首をひねっている。

県内では、昨年11月に群馬郡箕郷町でも同じような出来事があり、いまだに原因不明。

(1977年5月1日付、上毛新聞)

UFOと接触すれば 地球の難問題は解決

〔鹿児島〕日本空飛ぶ円盤研究会代表・荒井欣一氏

鹿児島を訪れたのは5年ぶり。丸屋デパートで開催した「世界大UFO展」のためにやって来ましたが、鹿児島は昭和20年、わが国で最初にUFOを発見したところだけに、予期以上の反響がありました。やはり進取な風土のせいだろうと思います。

ことしはUFOが米国で発見されて30年になります。UFOは未

確認飛行物体のことで、わかりやすくいえば空飛ぶ円盤です。これまで世界各地で写真、フィルム撮影などによる目撃証言が数多くあげられています。特に米国では関心が強い。米空軍はプロジェクトチームを編成して調査しているくらいです。

わが国では「UFOは大気現象がつくり出したものにすぎない」と信じない人が多い。特に大人は頭ごなしに否定する傾向があります。実物を見ないと信じないという国民性なのではないか、それにしても宇宙へのロマンがないですね。

UFOは必ず存在しますよ。他の天体の優秀な能力を持つ生物が宇宙を巡航しているのだと推理されます。地球は公害、資源の枯渇など重大な問題を山積していますが、もしUFOと接触して優秀な科学を吸収出来たら難問題も解決すると思うんですが……。

日本空飛ぶ円盤研究会は昭和30年に設立、UFOを理解してもらうため、機関誌の発行、観測会や講演会、もちろんUFO展も開き最新情報を提供するなど、活動に力を入れています。お陰で会員も1千人を超しUFOへの認識も徐々に変わっているのではないかと喜んでいきます。(丸屋で)

ついにとらえた オレンジ色の飛行物体

〔滋賀〕「ついにとらえたUFO(未確認飛行物体)」——滋賀県栗太郡栗東町御園1279、会社員

山口清子さん(30)が5月9日午後7時50分ごろ、自宅の庭で南の方をオレンジ色に輝きながら飛んでいる物体を白黒フィルム撮影に成功した。

同町では50年5月行われた同町荒張の金勝(こんぜ)山の全国植樹祭会場跡の上空に昨夏ごろから親指の先くらしい飛行物体がたびたび夜間飛来しているのを町民が目撃しており、山口さんも3回目でやっとシャッターチャンスをつかんだ。

町民の間合せて京大・花山天文台は「飛行機や虫でないことは確かだが……」というだけ。「何とか正体を……」と4万円をはたいて天体望遠鏡を買い込み、UFO熱にとりつかれた町民もいるほどで、同町はナゾの光る飛行物体の話でもちきり。

(1977年5月11日付、毎日新聞滋賀版)

一番大切なことは 科学的な心構え

〔愛媛〕川之江市・早川直己氏
UFO(未確認飛行物体)が地球上空を騒がせ始めてから4分の1世紀が過ぎた。世界の70カ国以上で目撃されているこの未知の物体、その正体は依然「ナゾの謎」であるが、遊びや冗談からの産物では決していないようである。

米国ワシントン州上空で、1947年6月、ケネス・アノルド氏が目撃したことから端を発し、世界各国の多くの人々が目撃し、その中には、カーター大統領やアポロ宇宙飛行士までいる。写真撮影に成功して堂々と新聞紙上に発

表している。現に、米ソ両国の第一線宇宙科学者の間では、「宇宙空間の未知の文明から発信されているかもしれない電波を捕え解読しよう」との共同コミュニケーションさえ発表されている。

大宇宙からみれば地球などはケシ粒以下の存在である。地球という星だけに、生物が住んでいるなどということは、果たして正しいのであろうか？

UFOを目撃しないと、信じないという人々が多いが、その人たちは、単に宇宙やUFOについて知識が欠如しているだけで、もし空中の一面に不思議な未知の物体を目撃したら、その人は、その瞬間から今までの概念が崩れるだろう。UFOを否定するのも肯定するのも自由だ。だが、その前に宇宙やUFOについて多くのことを知っておく必要はないだろうか。

もし、UFOが「外宇宙より飛来してくる」とすれば、重要な問題である。そして、一番大切なことは「科学的な心構えを忘れず、冷静に物事をみつめる」ことである。文明とは、そういうものである。ナゾ、興味から出発して、徐々に進歩して発展、解明され、今日の文明社会がある。そして、未来地球創造のためにも、この地球上に飛来しつづける未確認飛行物体について、真剣に取りくむべきである。

(1977年5月14日付、愛媛新聞)

UFOだ！
パトカーが現場へ出勤
〔大阪〕正体不明の飛行物体を

見た」と、東京・武蔵野や札幌、さらに新潟でも目撃者が次々と出て「UFO」騒ぎが起こっている。おりから、5月17日早朝、大阪・城東区でも赤い火の玉が上空にフワフワと現れ、早朝マラソンの人が110番、バトカーも現場へ出勤するUFO騒ぎがあった。結局この飛行物体はナゾのまま確認されなかったが、目撃者の話では「あんな火の玉は初めて。絶対UFOに間違いない」と話しており、警察でも一応気象台と連絡をとり、調べるといふ。

「UFOをみた」という110番が入ったのは5月17日午前3時20分ごろ。息せききった声で「上空に赤い火の玉が静止している。とても気持ちが悪い、UFOだ。すぐ来てほしい」。通報を受けた大阪府警本部司令室では、ただちに目撃現場の城東区蒲生町付近にいた城東署バトカー4号・藤井勝彦巡查部長(32)はか1名乗務員へ急行を司令した。

茨田大宮団地まで約6km、同バトカーは、約8分で現場へ着いたが、UFOはすでにどこかへ飛び去ったのか、確認できなかったという。

UFOらしい物体を見たのは、この日、早朝マラソンをしていた城東区茨田大宮の市営住宅団地、松尾さんで、午前3時すぎから付近を走っていると、上空にタコに直径30cmくらいの赤い電球をぶら下げたような「UFO」が、浮かんだようにフワフワしており、約20分余りも見えていたという。

松尾さんは、この物体を見たとき、最近新聞などで騒がれている

UFOに違いないと確信を持って110番したという。

バトカーが現場に到着したときは消えてなくなっていたが、それが残念で、もしカメラを持っていたら写していたのに、とくやしがることしきりだった。

現場にかけつけた藤井巡查部長は「当時すでに明け方で空には星影がひとつもなかった。したがって、目撃したという「赤い火の玉」は、星と間違えるようなことはない、松尾さんの証言どおりだとUFOだとしか考えられない」と話している。

府警では念のため気象台に同日朝の「気象現象に異常がなかったかどうか」を問い合わせるなど調査している。

東京ではUFOを写真撮影した中学生もおり、松尾さんの見た「タコにぶら下がった赤い火の玉」の様子は、これまでのUFO目撃者の証言とかなり似通っているため、正体不明の飛行物体が大阪上空に現れたのは間違いないさそうで、場合によってはさらに目撃者が出ることも考えられる。

なお、5月に入ってからUFO騒ぎは次の通り――

10日夜、東京上空に現れる?

東京都練馬区に住む会社員(21)が目撃。時間は同日午後9時40分前後。「犬と散歩していたら、直径30cmくらいの、青か紫の炎を噴き出した火の玉のようなものが北の方へ速い速度で通り過ぎた。同様の目撃者は大手町、駿河台、四谷、代々木、府中でもあった。一方、東京羽田空港の管制塔の最新レーダーもキャッチ。管制塔では

「一応「大流星」と扱っている。同日、名古屋でもタクシー運転手が目撃。

また、同日このUFOは仙台、富山にも「襲来」している。栃木の中学生(14)ら2人がカメラにキャッチ。飛行物体をみごとにとらえている。

大阪では13日夜、「長い尾を引いて空を飛ぶ赤い物体を見た」と大阪管区気象台に通報や問い合わせが相次いだ。いずれも、午後8時ごろで東から西へ飛ぶUFOを確認。しかしながら、大阪空港管制塔のレーダーには、飛行中の航空機以外の軌跡は確認されていない。

(1977年5月18日付、新大阪)

夜半の空に光る物体

(佐賀)夜半の3時半ごろ(5月

20世紀最大の予言者

超人ケイシーの秘密 上・下

ジェス・スターン／棚橋美元訳

上下巻各1200円

北海道の有珠山の爆発、浅間山の胎動と不気味な日本列島の地殻の動きが報ぜられる昨



20世紀最大の予言者



20世紀最大の予言者

今、30数年前に、適中率90%以上という正確さをもつ「エドガー・ケイシーが残した予言――今世紀中に日本のかなりの部分が海中に没するだろう」が思

18日)ですが、東の空に大きな光の物体を目撃しました。私はつきり火星が異常接近したものだと思い、女房をたたき起こし、2人で見てました。かなり大きかったですよ。あれ、一体、何だったんですか。ほかにも見た人も多かったと思うんですが……。(佐賀市兵庫町、農業)

佐賀気象台では、天体観測をしてないことから、福岡管区気象台に問い合わせました。しかし、「そういう現象はキャッチしてない」とのことでした。ただ、これは関係があるかどうかは不明ですが、下関方面で爆発音に似た異常音を記録しています。

「UFOらしい未確認飛行物体を見た」異常に大きく星が見えた」といった一般人からの通報が、やはり時どき、同気象台にもかかってくることもあるとのことでした。

が、一体、何だったんでしょう。(1977年5月20日付、佐賀新聞「こちら編集局」)

富士山でUFOを見たんです

〔神戸〕神戸・生田、中3男Ⅱ修学旅行で富士山へ行ったんですけど、5月27日の朝、5合目までバネで行く途中で、不思議な物体を見たんです。ボクらの位置から見て、ちょっと低い位置の林伝いに、中がオレンジ色で外が金色に光って、上下左右に揺れながら飛んで行ったんです。友だちも20人は見たというし、ガイドさんも見たいです。証拠の写真を撮ったんですよ。証人の写真を撮ったんですよ。そやけどボク、UFO、信じますわ。

(1977年5月31日付、神戸新聞夕刊)

い起こされる。

さらに――1968年には、1万2千年前に大西洋に没した古代大陸アトランティスの一部が浮上する――という予言は、まさに1968年以来、大西洋のバミューダ海域で次々と発見されている、ビミニの壁や石柱によって再び注目されている。

本書は、ノンフィクション・ジャーナリストである著者が、古代文明、地球の未来、魂の生まれ変わり、透視医療診断等ケイシーの全業績に鋭いメスを入れて執筆し、全米ベストセラーのベスト3にランクされたものの全訳である。(たま出版刊)



ゲラー自身にもわからない 超能力の秘密

「アメリカ」ユリ・ゲラーの超能力はいついかに何に由来するのだろうか。ゲラー自身にもわからないという。ただ、聴衆の前で実演する場合、人々が彼に「反感を抱いている」と能力は発揮できないそうである。また、スプーンなどの物品を曲げる力は、思念の力ではなくある種の物理的エネルギーによるものだと、ゲラーは考えている。彼は2回ほど心霊的な体験をしたそうだが、それが彼のテレパシーや念力の謎を解明するとは思っていない。彼の超能力の秘密は自分自身の内にあると信じているからである。

ゲラーはまた、自分の超能力を彼の家族と結びつけることもできないという。彼の最初の体験はあまりにもありふれたものだったので、家族の注意をほとんどひかなかった。

「僕が4歳の時、スプーンを飲んでいたらスプーンが折れてしまった

のです。両親はスプーンに欠陥があったとしてすませてしまいました。でも、それから不思議な事が起きるようになりました。

数カ月前、初めて祖母に会うため、ハンガリーにでかけました。いろいろ尋ねたのですが、祖母の知るかぎり、家族の中にはこうした超能力を持っていた者はいないそうです。家族について唯一興味深い情報は、母がシグムント・フロイトの家系と血縁関係があったというだけでです。

今後の計画については「まず第一は、科学者たちとの共同研究を進めることです。それから講演と実演ですね。今年は、僕の半生を映画化するという計画もあります。それに、メキシコへ鉱石を探しに行きたいとも考えています」

全米初の超心理学博士をめざすバイオニア

「アメリカ」超心理学でアメリカ初の博士号を取得しようとかんがっている人がいる。ジェフリー・ミシュラプ氏(31歳)で、4年前からカリフォルニア大学バークリー校で学び、今年の12月には博士課程を修了する予定である。

彼は、すべての人間が潜在的にESP能力を持っていると信じている。彼自身、数多くのESP体験をしており、そのたびに確信は高まる一方だという。こうした考えの人はミシュラプ氏だけではない。アメリカで行われた世論調査によると、ESPの実在を信じている人は75%にも達しているのだから。

ミシュラプ氏の研究資料によると、きわめて親しい友人や血縁者が悲劇的な事件に遭遇するとき、ESP体験が最も起こりやすいものである。こうした虫の知らせは「女の直観」とよく呼ばれるが、研究によれば、男女の性別には関係がない。ただ、男性がESPの受信者の場合、発信者が魅力的な女性である方が能力が増大する。受信者が女性で、発信者が魅力的な男性の場合も同様である。

ミシュラプ氏は、男女に関わりなく、私たちすべてがESP能力を持っているが、それを心から閉めだしているのだと考える。その理由は、主として、自己の人格を守るためだという。

「もし私たちが、過去、現在、それに未来からのあらゆる情報に絶えず意識を向けているとすれば、自分の人格を維持するのはきわめて困難になってしまうからです。だから、人格に対するショックを防ぐため、私たちはESP能力を制限しているというのである。

トップクラスの

超心理学研究者は語る

「アメリカ」カリフォルニア大学ロサンゼルス校の神経精神医学研究所で超心理学部門の部長をしているセルマ・モス博士は、この分野のトップクラスの研究者として知られている。

「私はそうした現象を信じています」と彼女は語る。「さもないければ15年間も研究を続けていませぬわ。そうした現象があること、めったに起きないことはわかっています。どのように説明できるか

がわからないのです」

この分野ではトリックを使って大金を要求する自称超能力者が多いので、モス博士は研究の困難さを嘆きながら、彼女の研究では報酬目当ての人間を対象にしないようにしていると言語。

こうした超能力者の一人はバリーという若い男性でサイコメトリイの能力を持っている。つまり、行方不明者の遺留品から受ける印象によって、その人物の所在をつきとめられるのである。

「私は彼と共に、研究室で7年間にわたって実験を行ってきました。そのうちで最も劇的な経験は、行方不明になった娘を捜してほしい、ある心理学者の妻がやって来たときのことです。バリーは娘の衣服から、彼女が若い男性とケルン川に水泳にでかけ、おぼれて死んだという印象を受けました。そして4日後、警察はケルン川で娘の死体を発見したのです。

私には、これをどう説明していいのかわかりません。でも、これまでの経験から、バリーの透視が25%は正しいことがわかっています。彼はいろいろな事柄を透視しますが、その75%は間違っています。ただ、これだけ当たる人はいないで、単なる生計手段だという考えは受け入れられません。問題は、どの25%が正しいのか事件が起こるまでわからないことです。それでこの超能力を実地に応用することがとても困難なのです」

ESPと創造性

「アメリカ」ラヨラ在住の精神分析医ロバート・D・リンチ博士はメンガー・スクール精神分析学科出身だが、メンガー・クリニクから奨励金を受け、著名な心理学者ガードナー・マーフィー博士と一緒に「ESPと創造性」というテーマの共同研究に取り組んでいる。

「創造性に富む人たちは、そうでない人に比べて、自発的なESP体験がきわめて少ないということがわかりました。

こうした創造的な人たちが何らかのESP体験をしたという場合には、自分の携わっている仕事を離れている時にそれが起こっています。ESPと創造性とは、精神のなかの同じ領域を占めているように思われます。だから、ESPと創造性とは相互的な関係にあり同じような働き方をすると考えるでしょう」

リンチ博士は、研究から、創造的な考えがその人の過去と無関係だとわかったとつけ加えている。「これまで心理学では、伝統的にすべてを過去の経験と印象から説明してきました。つまり、人が表明したり創造したりすることは、すべて過去に知っていることであり、新たな方法で模倣しているにすぎない」と広く信じられていたのです。

創造的な人々は、自分たちの真に創造的な思考は人知を越えたところから来ていると言うだけです。過去の経験によって美化され、豊かになってはいますが、彼らの記憶が何らかの働きをしたとは言えません」

北海道で異常発生続発！
有珠山の爆発を知らず？

その1 バッタ

〔北海道〕 虻田郡京極町の羊蹄山の山すその一部でバッタが異常発生し、付近の農家をおびやかしている。京極町農協を通じて報告を受けた後志支庁と中後志地区農業改良普及所では、7月6日午前、さっそく現地を訪れたが何十万匹とも知らぬバッタの大群に驚き、対策に取り組みとともに管内各地の農業改良普及所に「警戒警報」を出した。

バッタの大群は京極町川西の羊蹄山の登山道沿いで見つかった。この付近で通い作をしている同町の農業、長谷川敏さんが道路沿いの雑草を食べ尽くし広がる傾向をみせる。バッタの大群に驚き、町農協にかけ付けた。同農協から知らせを受けた後志支庁では7月6日午前、星豊・農務課長らが現地を訪れたが、イタドリ、ドロの木、フキの葉などにビッシリとくつき、葉を食べるバッタの大群にビクビク。同町の阿部周策町長もかけ付けたが、あまりの数に葉脈だけを残して食い尽くされたイタドリの葉を手にとりつくっていた。

幅3～4mの登山道が「防波堤」となっており、隣接する畑は6日の時点ではまだ被害を受けていなかったが、今後、変態を繰り返して大きくなると羽で飛び、広がって農作物への被害も考えられるところから、同日午後からは、さっそく道路の両側を農業で防除する一

方、中後志地区農業改良普及所でもサンブルのバッタを捕獲、農業の試験を行っている。

同支庁では、この異常発生したバッタは約500種類もいるといわれるうちのクルマ、バタモド、キリ、中にはコバネイナゴもまじっている。北海道では明治から昭和初期にかけて4回の大発生と大集団移動があり、京極町でも空が暗くなるほど飛来し、捕獲して埋めたところが「バッタ塚」として残っている——という話が伝えられている。

バッタの発生源となったのは、かつて土地会社が分譲別荘地として木を切り倒し表土をブルドーザーではいて、現在は砂地となつてるところ。バッタのふ化したあとがみられ、広さも20ヘクタールにのぼる。このため、支庁と町では、自衛隊の活動要請、部落総出による薬剤散布などを検討しているが、効果的な農業をみつけないことが先決と調査している。道内では空知郡や上川郡の一部で異常発生しているというが、後志管内では初めてのことで、発見者の長谷川さんも「こんな大発生は初めて」と話していた。

（1977年7月7日付、北海道イムスタ刊）

その2 ガ

〔北海道〕 北海道大学で今年、ガが大発生し、ミズキの葉が食い荒らされた。人畜無害の種類だし、大発生も自然界ではそう珍らしいことではないが、なにしろ大都市札幌のど真ん中。薄気味悪さが苦情を持ち込む住民もあり、植物園

は除虫剤散布作戦を繰り広げるなど対策に追われている。

大発生していることがわかったのは6月頃。植物園職員がミズキの枝からクモのようになをひいて毛虫がぶら下がっているのに気づき、ミズキを調べたところ、1枚の葉に1～2匹ずつ毛虫がついていた。すっかり食われて筋しか残っていない葉も。園内には高さ7m、13mのミズキが数100本あるが、かなりの木が痛めつけられていた。すでに体長2・5cm前後の白っぽい成虫になり、あたりを飛び回っているガが多かった。ガが毎年出るけれど、これだけたくさん発生したのは初めてという。

これと前後して植物園には付近の住民から「庭に毛虫が落ちてくる」「ガが飛んできて気持ちが悪いく」「といった苦情が10数件、なにしる植物園は道庁のすぐそばで付近に民家も多い。

北大農学部昆虫教室助手の久万田敏夫さんの話によると、このガはキアシドクガという種類。その名の通りドクガの仲間だが、実際は人畜に全く害がなく、人にかゆみを与えるようなこともない。幼虫はミズキの葉だけ食べ、3年ほど前、道央の森林地帯で大発生した例がある。大発生の原因は不明だが、気候の関係や、ハチ、ハエといった天敵の減少が考えられるそう。

ミズキは幼虫に葉を食われても間もなく新しい葉を出すので枯れる心配もないとい、久万田さんは「自然に虫はつきもの。まして無害なんだから、あまり神経質になることはありません。クサリを

かたたりすると天敵も殺しかねないので自然に任せるのが一番なんです……」と語る。

しかし、植物園は「苦情を無視するわけにはいかないし、来年以降も大量発生したらミズキがかわいそう」（辻井達一助教授）と大弱り。6月中旬にミズキに除虫剤を散布、北五条通りの歩道に落ちた毛虫だけでも大人ひと抱えほどの段ボールに2ハイ始末したが、しぶとく生き残っているガも多いので、タマゴをうみ終わるころの今秋と、幼虫がふ化する来春、徹底的に除虫剤散布をするという。（1977年7月12日付、北海道新聞）

その3 ヒメマキムシ

〔北海道〕 室蘭・白鳥台ニュータウンに昨年完成したばかりの市営住宅で、道内でも珍しい甲虫類のヒメマキムシが異常発生したため「気味が悪くて生活ができない」と、住民の引越し騒ぎにまで発展している。室蘭市では、とりあえず防虫業者に依頼して、7月15日から3日間わたって駆除作業を行ったが、発生源が全くわからずお手上げの状態。道内では例のないケースだけに、今後、駆除結果をみながら発生調査を進めることにしている。

この市営住宅は昨年10月、白鳥台4丁目に完成したもので、今のところ、ヒメマキムシが異常発生しているのはV313の1棟（30戸入居）だけ。

住民の話によると、「この5月末ごろから、体長1ミリ以下の小さな虫を数多くみかけるようにな

った」という。その後、6月末から7月に入って一気に増え出し、これまでに30戸の住宅のうち、11戸でこのヒメマキムシが異常繁殖している。

各家庭では、市販の殺虫剤をまいて懸命に駆除を続けてきたが、一向に効き目がなく増える一方。一番、被害の大きい公務員、合田裕規さん（24）宅では、窓ワタや天井などにビッシリと張りついており、手が付けられない状態。被害は少ないが、最近では衣類まで食い荒らすようになり、「気味が悪くて、これでは生活ができません」と7月18日、合田さん一家はとうとう引越してしまった。

市の住宅課では「このまま放っておけない」と、防虫業者の日本サニタ苦小牧営業所（佐々木純男所長）に駆除を依頼。7月15日から3日間わたって、被害届けのあった11戸の住宅に薬剤を散布するなど、駆除作業を続けた。

このヒメマキムシは、コガネムシやクワガタムシと同じ甲虫類の一種で、よく丸太材などに付いているとのこと。木材を食い荒らす害虫だが、民家に異常発生した例はこれまでのところ道内ではなく防虫業者も「なんでもこんなに異常繁殖したか、全く原因がわからない」と驚いている。

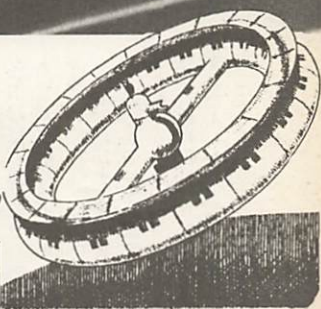
薬剤散布で虫の繁殖もかなり下火になってきた、とのことでは住民もひと安心といったところ。市住宅課では「駆除結果を見ながら今後発生調査を進めていきたい」（安藤源之助課長）と話している。（1977年7月19日付、室蘭民報）

..驚くべき宇宙の実体とは!?

エクスプローラー10号

宇宙への挑戦

ご試読できるチャンス!!



宇宙の果てでは時間が止まる!?

☆月からでなければ観測できない輝く天体とは!?

☆宇宙に吹きすさぶ“死の嵐”の正体は何か?

☆人間の次のすみかとなる惑星はどこか?

☆今も月に残る原始宇宙の驚くべき姿とは!?

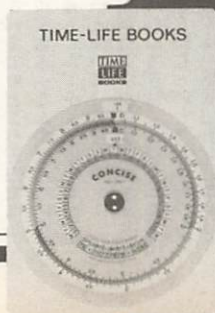
驚異の現地レポートを始め、宇宙船の内部構造や宇宙飛行士たちの特別訓練…と人類の明日に備え、未知に挑む宇宙航空界のすべてをご紹介します。人類の未来はいつた

いどこに!?!数ページめくるだけで、あなたを興奮の真只中へおつれします。

「宇宙への挑戦」を始め、「数の世界」「飛行の原理」「時間の測定」…とすべての分野を網羅するライフ/人間と科学シリーズは、いずれの巻もまず10日間無料でご試読いただけます。万一、お気に召さない場合は、最寄りの郵便局より切手を貼ってご返送ください。その後は一切代金支払いの義務はありません。お気軽にお申込みください!

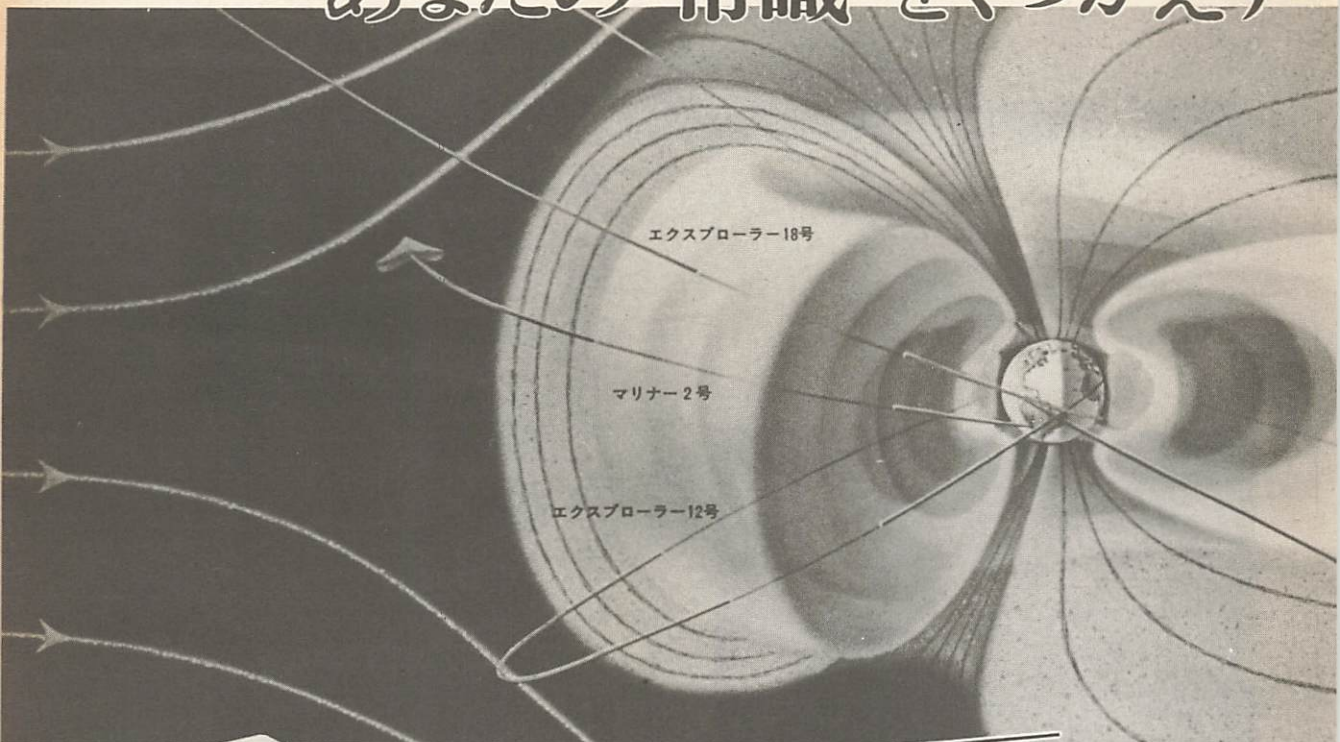
もれなく=プレゼント!!

いま、無料試読をお申込みの方全員に《7年連用カレンダー付 丸型万能計算尺》をプレゼントいたします。小型で軽く、携帯にもたいへん便利です。



いますぐ、左の
ハガキをポストへ!!

あなたの“常識”をくつがえす...



ライフ/人間と科学シリーズ

第1回配本

Life Science Library

10日間、無料で

●いますぐ右のハガキ(切手不要)でお申込みを●

科学のすべてを網羅！わかり易く説明！

地震の原因は何か？火山の爆発は予知できないのか？
“なぜ？”“どうして？”——あなたの科学に対するあらゆる
疑問にライフ/人間と科学シリーズがわかり易くお答えします。



■体裁
28cm×22cm
各巻平均200頁
豪華ケース入り

各巻定価3,400円
(1,700円×2回払い)

TIME
LIFE
BOOKS

タイム/ライフブックス

東京・千代田・大手町タイムライブビル
業務部：東京都文京区小石川5-6-9ドミ小石川ビル
〈千112〉 電話(03)947-4151

UFO 目撃 レポート

●夜空を点滅しながら遠去
かってゆく飛跡を、フィル
ムに刻印した物体は ●会社員(29歳)
村田 公昭

☆目撃日時 1976年12月19日、午
後9時頃。



▲写真1



▲写真2



▲写真3

☆目撃地点 自宅(アパート3階)の
ベランダから。

☆天候 晴れ。星がよく見える夜だっ
た。

☆目撃継続時間 約10分間。

☆同時目撃者 村田満江(妻・28歳)。

☆観測機器・方法 肉眼ならびにカメ
ラ。使用カメラはニコマートFT2

F14 全部開放で撮影。フィルムはフ

ジカラー400(撮影時は午後9時頃

なのでまっ暗だが、400使用のため

かなり明るく写っている)。

☆飛行状態その他 ベランダで洗濯物を

干していた妻が最初に発見し、室内に

居た私を呼びだしてくれた。ベランダ

で2人でしばらくの間(2~3分)見

ていると、初めは停止したままだった

のが、徐々に動きだした(写真1の右

方向に)。この時点では星よりかなり

大きな光体であり、光も強く、まるで

静止しているように見えたので、飛行

機かヘリコプターが正面からまっすぐ

飛んできているのかと思った。しかし

突然右方向へ移動したので、UFOか

もしれないと考え、カメラを取りに室

内へ戻った。この間、物体はきわめて

ゆっくりと、一定速度で右方向へ移動

していた。カメラをベランダに設置し

終わる頃には、発見した位置よりもか

なり右へ移動していた。

UFO 目撃 レポート

●それは不気味なほどの光度で
空中に静止していたが、やがて
垂直に下降し始めた

●板橋高等学校3年(18歳)
村上 博子

☆目撃日時 1976年10月10日、午

後6時5分～8時20分頃まで。

☆目撃地点 自宅およびマンションの
屋上。

☆天候 晴れ。

☆目撃継続時間 ①白い物体は、約20秒

(自宅) ②オレンジ色の物体は約5

分(自宅) ③白い物体、5秒(マン

ション屋上、2機)。
☆同時目撃者 父、知人(全部を見て
はいない)。

☆観測方法 肉眼、ファインダー。

☆物体について ①図のように点滅して
いた。形はハッキリせず、色は白。

②この日の一等星の4倍近くの大きさ
で、オレンジ色。燃えているような強
い光度。③①と同じく白で、1つは
点滅していない。

●写真1 画面中央の光体。発見し
から3～4分後、ベランダに三脚をす
えて、レリーズがなかったので手でシ
ャッターを切った。シャッタースピー
ドは約2～3秒。○印が発見位置。2
～3分静止しており、かなり強い光を
発し、全然動かなかった。

●写真2 写真1の直後、物体のスピ
ードが増した(といってもゆっくりで
はあるが)と思われたとき撮影。シャ
ッタースピードは約4～5秒。画面左
上の光には、そのときは気がつかなか
った。撮影後2～3分ぐらい物体の動
きを眺めていたが、ほとんど速度が
変わらずに右へゆっくり移動した。妻
も、「あれはUFOでしょ？」と言
いながら見つめていた。このとき突然、
目のまえ、といってもやや上方に、そ
れもすぐ近くに四角い光が上から下へ

と走ったが、瞬間的に消え、目撃はし
たもののいったい何だったのか、それ
まで見ていた物体と関連があるのか、
2人とも分からなかった。

最初の物体に目を戻すと、こんどは
それは点滅していた。かなり遠くの方
まで行き、もう戻ってこないと思っ
たのでカメラを向けた。

●写真3 急いで撮影したので少しブ
レているが、点滅のようすが分かる。
シャッタースピードは約2～3秒。そ
の後、画面右方向へ点滅を続けたまま
見えなくなってしまった。

以上、できるだけ客観的に報告した
つもりですが、物体がヘリコプター、
気球等ではなかった根拠を、次のよう
に考えてみました。

(1)最初に2～3分以上、静止したま
まであったこと。

(2)右方向へ移動する速度が、かなり
ゆっくりであったこと(ヘリコプター
の速度であるならばかなりの遠距離で
あり、そのわりには光が強く大きく見
えた。写真2でそのことはハッキリし
ている。またあんな強い光を発する気
球があるだろうか)。

(3)かなり右方向へ移動してから点滅
が始まったこと。

(4)まったく静かな時間帯であり場所
であるにもかかわらず、飛行音などが
聞こえなかったこと。

私は空飛ぶ円盤の存在を肯定する1
人であり、UFO一般に興味の強い人
間です。で、ほんとうにUFOである
とよいのですが、かなり冷静にこの目
撃体験をうけとめているつもりです。

(〒189 東京都東村山市野口町1-12
1-3 東武マンション302)

UFO 目撃 レポート

●白昼、川崎市上空に銀色に輝くUFOの大編隊が：青空にふわふわと30機近く出現

●会社員（40歳）
加藤 松男

☆目撃日時 1976年9月23日。

☆目撃地点 鶴見栄町公園。

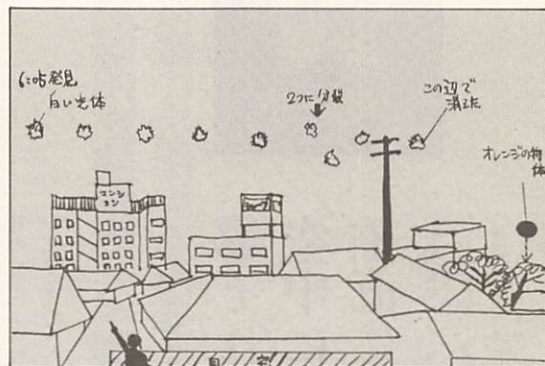
☆天候 晴れ。

☆目撃継続時間 30分。

☆同時目撃者 私と妻子、近所の子供（小学生）、公園でキャッチボールをしていた中学生ぐらいの3〜4人。

☆物体について 秋分の日、家族と近所の子供を連れて近くの鶴見栄町公園に行った。午後1時45分頃、澄みわたる青空をおおき、さわやかな空気を満喫していた私は、1つの飛行物体に気がついた。それはかなりの高空に位置していて、銀色に輝く星のようだ。数分

のあいだ、見とれていたが、ただ浮遊しているだけで動く気配はない。ちょうど川崎駅の上空あたりである。
飛行機とは考えられず、もしやこれがUFOではないかと思ひ当たり、かたわらの妻に声をかけると、彼女も同じ意見であった。ここまでで、すでに7〜8分が経過しているが、物体はいっこうに動く気配はない。私はドキドキし始めた。
そのとき、青空から湧きでるように3〜4個の同じ物体が近くに現れ、ふわふわしながら、最初の物体の所へ来



☆飛行状態その他 窓をあけるとすぐに、図のように東から西に向かってゆっくりと動いている物体が、目にとびこんできた。それは2〜3秒間隔で点滅していて、やがて2機に分裂したかのよう

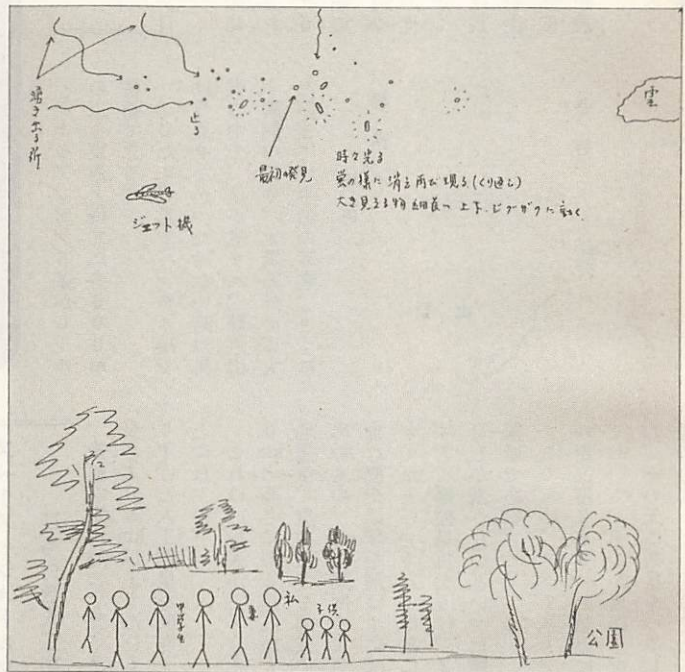
の付近にオレンジ色の物体が静止していた。不気味なくらいの光度で、高校2年のときに目撃したことのあるUFOと様子が似ているので、そのうち動きだすだろうと、私は目をみはっていた。
その物体はかなり低空まで、垂直にゆっくりと下降し始めた。2階からでは見えなくなったので、7階建てのマンションの屋上へ行った。観察場所を移動するのによした時間は、ものの5分もかからなかっただろうが、物体はもう見えなかった。
声をだしてUFOを呼んでみたら、しばらくして白い物体が、ほぼ同時に南西と東の方向に1つずつ現れた。南

西の物体は、近くの球場のナイター照明のあたりが強すぎて観察をつづけられなかったが、点滅はしていなかったようだ。東の物体は点滅していて、5秒くらいで消えた。
帰宅してから、オレンジ色の物体が消えた方向の空を、7時から8時過ぎまで見ていた。その間、赤い物体（横に長かったので飛行機だと思ふ）が点滅しながら通り、すぐにオレンジ色の点が見えた。とても小さかったもので、どのように動いたかは、よく分からなかった。

（〒114 東京都板橋区東新町

1-10-3）

て静止した。すると今度は左の方から3〜4個の物体が、同じようにふわふわと湧きでてきて、最初の物体の所まで来ると静止した。これで物体は10個ぐらいにふえている(ぐらゐ、い)というのは、物体はときどき消えるので正確な数をいえないのである)。続いてまた3〜4個がふわふわと湧きだし、つぎからつぎへと青空へ湧き続けて、ついに30個近くになった。こうなると、まさに星空だ。



午後2時10分、全体が右方面に移動を始めた。このときジェット機が飛び去ったが、物体はこれよりもかなり高空だった。相変らずふわふわと上下し、大きくふたり消えたりしている。ここでもう一度、冷静に考え直してみたのだが、飛行機だとしたらとつく

い。輝くもの、鉛色のもの、2〜3個に分裂するもの、乱舞するもの、ジグザグに動くもの……。音は初めから全然ない。

私と妻の目の錯覚ではないかと思つて、近くでキャッチボールをしていた3〜4人に声をかけてみると、彼らもUFOではないかという意見で、同行した子供たちといっしょに、ただもうびっくりして凝視するばかりだった。

20分も経過したと思える頃、物体は上下左右に動き始めた。急に大きくなるもの、スーッと螢のように消えるもの、銀色に輝くもの、鉛色のもの、2〜3個に分裂するもの、乱舞するもの、ジグザグに動くもの……。音は初めから全然ない。

に通過してしまっているはずだし、編隊を組んだとしてもあんなに重なり合うことはできない。ヘリコプターならもつと低空を飛び、しかも回転翼の飛行音が聞こえてくるはずである。渡り鳥の季節なので、もしかして白鳥の群舞かとも考えてみたが、あんな高空を飛ぶことは不可能であり、まして物体の輝きは金属そのものだ。

やがて雲のかたまりが流れてきて、全体がそのなかへ隠れた。雲が切れると、3個ぐらゐが静かにゆっくりと右の方へ移動しているのが観察された。ついで15〜6個の物体がふわふわと出現し、これも右の方へ移動して、東京湾上空の雲のなかへ消えて行った。

帰宅してすぐ横浜気象台へ電話を入れたが、気象台では関係ないという返事だった。そこで読売新聞東京本社へ知らせたのだが、関連の情報は何も入っていないということだった。

あの物体は何であったのか？ 信じられない出来事に現に遭遇した私は、いままです定的だったUFOの実在を信じに信するようになった。このことをだれかに知らせたくて、UFO関係の書物を3冊ほど読んだところで本誌にめぐりあい、報告した次第である。

(〒210 神奈川県川崎市川崎区

浅田 4-16-3)

科学ニュース



日本に性能世界一の 大電波望遠鏡誕生！

性能世界一の電波望遠鏡が日本に誕生することになった。

電波望遠鏡の大きさは直径45mと、世界第5位にランクされるが、骨組み設計とアンテナ5基の移動配列によって、宇宙のかたから飛んでくる波長1cm以下の短い波までキャッチ、性能、分析力では世界一だという。設置場所として、文部省は長野県南佐久郡の野辺山高原を決めているが、具体的には来年度から4カ年計画で観測所を新設することになっている。

電波望遠鏡は高精度パラボラ型で、付随している直径10mの

パラボラアンテナ5基がレールの上を東西と南北に各600m移動できる。

このため、光やエックス線では見通せなかった冷たい暗黒星雲の中で、星が生まれ、輝き出す瞬間の姿や、太陽系外の広大な宇宙での生命の存在、とくに



タンパク質のもとであるアミノ酸の発見、さらにどこが宇宙の果てなのかなどが解明されると期待されている。

現在、わが国唯一のパラボラ型電波望遠鏡は東京天文台にあるが、直径は6mと、世界のレベルから大きく遅れていた。この大電波望遠鏡が実現すると、この分野の研究が一気に世界のレベルに達するものと期待される。

スペース・シャトルから

ひも付き人工衛星

米航空宇宙局(NASA)は、長さ100km以上ものひもでつり下げた人工衛星を開発することになった。

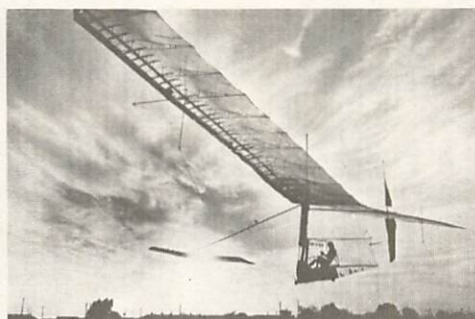
これは、地表から80~120kmの高さにある超高層大気や地磁気、重力などを調査するためのもの。この高度の大気では飛行機や気球を飛ばすには薄すぎ、かといって人工衛星には濃すぎて摩擦抵抗をうけ、2~3日しか飛べないといった難しい領域である。

このため、スペース・シャトルを高度260kmの軌道に乗せておいて、そこからひもをたらし、その先に衛星をつるした状態にしようというのである。

空を飛ぶなら

自分の足で

大空を自力で飛んでみたいというのは昔からの人類の夢。ジャンボ・ジェット機で太平洋一足飛びといった時代になっても、相変わらず人類の夢には違いないのである。



米カリフォルニア州のシャフター空港で人力飛行機が飛んだ。ブライアン・アレンさん(24)が操縦したこのコメザル・コンドル号は、主翼の幅27mと大きいですが、アレンさんのこぐ自転車ペダルが、プロペラに連動されていて、アレンさんがダウンするまでは飛び続けるそうである。エネルギー節約、無公害と当世、理想の飛行機なのだが、搭乗員1名がやっと。

この試みも英国の実業家が提供した賞金2300万円を射留めようというのが当初のねらいで行われ、お見事、長さ2kmの8の字コースを7分かかって飛行を終えたとか。

(写真/UPIサン)

「クマに会ったら死んだマネ」

さっぱり通じず、大ケガ

「クマに会ったら死んだマネをしろ」とよくいわれるが、最近アラスカで31歳になる女性



80~120 kmの低軌道に下げられた衛星は、シャトルの飛べる限りの長時間観測を続け、ひもをたぐることによってシャトルに回収される。この「ひも付き衛星」の技術は、大気観測だけでなく、将来2つの宇宙船間の荷物や人員の移動、人工衛星の回収、海中深くもぐ

「ひまわり」から初の宇宙天気図

地球がクッキリ、これは日本初の静止気象衛星「ひまわり」から送られて来た初めての「宇

宙天気図」である。高度約36000 kmから見た地球は、台風9号の雲影もはっ

っている潜水艦と陸上間の通信用アンテナの設置などにも応用が可能という。

奄美大島に弥生式土器！

通説を覆す

これまで本土の影響を受けずに独自の文化を発展させてきたと考えられていた鹿児島県奄美

大島で弥生文化の影響を裏付ける土器が初めて見つかった。

見つかったのは島の北端、笠利町喜瀬のサウチ遺跡で、8月初めから調査をしていた県文化財専門委員の河口貞徳さんらによるものである。土器は口の縁の部分が突き出ている弥生中期のかめ型や糸をつむぐ車など

きりと映り、上々のできだった。これで同衛星は、日本周辺を含む半径6000 kmの地域をカバーする「宇宙気象台」となる。

「ひまわり」は7月14日、米フロリダから打ち上げられ、ニュージーニアの赤道上空に静止した。9月8日には、赤外線、可視写真撮影、埼玉県鳩山村の気象庁の通信所を経由して、東京清瀬市にある気象衛星センターに送られ、直径50 cmの地球画像を作り上げた。

(写真/UPIサン)



TOPICS

が突然クマに会って「死んだマネ」をしたところ、さっぱり通じず、大ケガをした。

この女性には、米アラバカ州フエアバンクスで地質学研究をしているシンシアさん。研究のため山中に入ったところ、突然、体重約80 kgのクマが現れた。とっさに機転をきかし、死んだふりをして抵抗しなかったのに、どうしたわけか、クマの方はシンシアさんの両腕をガブリ、ガブリ。

すきをみてやっとな無線で連絡し、ヘリコプターに救出されたが、重傷を負ってしまった。「生きていられただけでも感謝しなければ」とシンシアさんはいたって元気とか。

地球は毎年4万トンずつ

重くなっている

最近、地球の体重が毎年4万トンずつ増えていることがソ連の科学者によって明らかになった。

タス通信が伝えたところによると、いん石などが大気圏に突入する際、分解してチリとなったものが1年間で4万トンも地球上に積もっている。

これでは年々肥満化が進んでしまうことになるが、ご心配なく。逆に地球から放出している分もあるので、実際の増加量はもっと少ないとか。

カエルになりそになった

オタマジャクシ

オタマジャクシといえば、やがて手が出て足が出て、シッポがちちんでカエルになるものだが、3年8カ月にもなるのに、いまだに

あった。

ピラミッドを復元！

数々の謎に挑戦

ピラミッドで知られるエジプト・ギゼーにもう一基のピラミッドが出現することになった。

古代エジプトの謎をとくには新しく作るしかないというのが

そもその発想であるが、新ピラミッドは設計から建設まで、すべて日本の手によって行われる。

ピラミッドには、いまなお解明されない謎がある。調べれば調べるほど未知なる謎が多い。

「ピラミッドは王の墓ではなかったのでは……」というのもその一つである。

こうした古代の謎を、ピラミッドを別に復元することによって結論を出すというのが今回のねらいなのである。

建設を行うのは、7年前からエジプトを調査している早稲田大学古代エジプト調査隊のメン



バー。これに資金を提供する日本テレビも加わる。エジプト政府も、この試みに賛成して建設場所を提供した。すでに現地では測量が始まっている。

計画では、新ピラミッドの高さは21m。ギゼーの大ピラミッドの約7分の1とミニサイズ。だが、通路や玄室などの内部構

造は古代のものと全く同じに作られる。底部は一边が30mの正四角形。傾斜角度は51度52分と正確である。

ミニサイズとはいえ、コンピュータの試算によると、長さ1・8m、幅1・5m、高さ1m、重さ3・6トンの石材が15

21個も必要になる。

ギゼーのピラミッドは約300万個の石材が使われているといわれるが、何十万人の労働力と歳月をついやしたのか。そして見事な強度計算、設計は……。

ピラミッド・パワーと呼ばれる怪現象。内部に入ると、妙に息苦しくなるのはなぜか。また人

間や動物の死体が腐らないのはどうしてか……などの謎に挑戦する。

建設にあたっては、古代さながらの人力に頼っていたのでは何十年もかかってしまうので、クレーン車など機械力を総動員しての近代建設になる。

人間の人工心臓

見通しまだ暗い

人間の人工心臓の未来について、人工じん臓の開発者W・コルフ博士（米国ユタ大学教授）は「人工じん臓の次に期待できるのは人工心臓だ。しかし、私は、患者が幸福な生活を送れるという確信が出来るまでは、人間に使わない」と語っている。

同博士は人工心臓の動物生存最長記録も持っているが、人工心臓は子ウシやヤギで大きな成果をあげているだけで、人間に使えるのはまだ先であり、世界で一番人工じん臓の普及している日本でも、まだまだ幾つかの問題がある。

技術は発達したが、医学への応用が遅れていたたり、もうかる見込みがないとメーカーが取り組まないといった社会体勢もこれらの発達に影響している、と語った。

トピックス

カエルにならないのがいる。

東京港区に住む川島虎松さんが48年12月、正月料理にと小ザカナを買ったところ、その中に混ざってオタマジャクシがいた。真冬にオタマジャクシとは思議なこと……早速、水そうに飼ってみることにしたが、春になっても手も足も出ない。3年目の今年の夏になってもカエルにならず、相変わらずオタマジャクシのまま。

オタマジャクシはふつう2、3カ月で変態してカエルになるが、ウシガエル、ツチガエルはオタマジャクシのまま冬を越し、翌年変態する。すると、4年もオタマジャクシというのは、おかしい。

上野水族館の山本洋輔さんは、「大きさを冬につかまなかったことからみて、ツチガエルのオタマジャクシと考えられる。変態はホルモンの分泌によるが、栄養状態が悪くてカエルになれないのではないか」と語っている。

ツチノコ再び現れる

4年前にも騒ぎのあった三重県

ニュージランド沖の「ニューネッシー」騒ぎのあとは、またまたツチノコ騒動が起こっている。4年前にも騒ぎのあった三重県阿山郡島ヶ原村でこの夏、中心部から約2kmの村有林で下草刈りをしていた山林作業員5人がツチノコらしい、へん平なとがった頭、胴体はビールびん大のヘビ



▲ツチノコの復元図

沈まないイカダ



深海底から生物を釣る

深海底からヨコエビなどの端

絶対に沈まないイカダがこの
ほどで連で作られた。イカダは
7個のボディーからなり、どん
な荒い波も耐え得るよう設計さ
れた。二重のデッキは、波が上
部デッキまで来ないようにして

(写真/UPーサン)

脚類を生きたまま引き揚げ、高
圧水そうで飼育することに成功
したと、海洋研究で有名な米ス
クリップス海洋学研究所が発表

いる。とにかく数々のアイデア
が生かされているが、それもそ
のはず、元巡洋艦の乗組員ライ
ケネン氏を中心に5人チームが
15年をかけて設計したものだ。
脚類を引き揚げ
た。同装置は深



▲ヨコエビ

した。

同研究所は今年の夏、ハワイ
北方の太平洋で、深さ5666
mの深海底に、

あらたに考案し

た深海底生物捕

獲装置をおろ

し、底にいる端

脚類を引き揚げ

た。同装置は深

さに応じた圧力を保ちながら水

面を浮上することができ、生物

を死なすことなく、その生態が

観察できる。

このように深海底から生物を

生きたまま水面に引き揚げるの

は初めてのことであり、深海底

生物の研究や放射性廃棄物を海

底へ投げ捨てた影響研究に役立

つとして、その成果が期待され

ている。

同研究所では、この端脚類を

高圧の水そうで飼い、酸素の消

費率、成長過程などの生物学的

機能を研究する。

ちなみに5666mの海底の水

圧は、大気圧の565倍もあり、
どうして、このように大きな
水圧のところで生きていられ
るのか謎とされている。
また意外に深海魚の体が柔軟
である場合が多いのも不思議で
ある。

TOPICS

(?)を見た。

目撃者らの話によると、仲間の1人が「キ

ャーッ、恐ろしいヘビがいる」と悲鳴をあげ

たらしく、4人がかけ寄ると青草の下で、へ

んなヘビがカメラ首をもたげ、カエルをのみこ

もうとしていた。体長は約75cm、尾は細いが

胴回りはビールびん大もあり、ずん胴、頭は

へん平だが先端はとがっていてコイのような

ウロコ、全体に黒っぽく、腹は白かったよう

だという。見入っていると一瞬飛びかかるよ

うに見えたが、そのうち首を上げたまま草む

らの中へ逃げ込んだ。

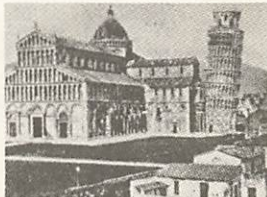
4年前と違って今度は地元の5人が目撃し

ているだけに、村はハチの巣をつついたよう

な騒ぎとなった。

年々傾くピサの「斜塔」

頭を痛めるイタリア政府



塔が傾斜しているこ
とで有名な「ピサの斜
塔」が、近年、傾斜を
強めているため、イタ
リア政府は倒壊を食い
止めようと、とりあえ
ず地下の粘土層に大量
の水を注いで、傾斜を

防ぐことを決めた。

この工事は年内にも始められるが、政府の
「斜塔研究委員会」はこれと並行して、倒壊
防止の妙案を世界中から集めている。今のと
ころ、これといった案はないものの、斜塔全
体を2mほど沈めて、コンクリートで固める
という日本の案が最有力。しかし、「これで



これは珍しい爆発の瞬間！
9月13日、米ケープカナベラルからデルタロケットが打ち上げられたが、わずか発射1分後に爆発してしまった。同ロケットには欧州宇宙機関(ESA)の通信用の実験衛星がつまれていた。(写真/UPIサン)



臓器を体内から

取り出して手術

患者の臓器を体外に取り出して、外で手を加え、また体内に返すという全く新しいアイデアが発表された。

スウェーデン、イエテボリ大学のL・E・ゲリン教授は、「体外外科」という新しい方法を紹介した。手術は①患者の悪い臓器を切り離す②取り出した臓器を氷で冷やす③手術室のサイド・テーブルの上で、病変の部分

を切り除く④手術のすんだ臓器を体内にもどす、といった4段階に分かれている。この手術で一番難しいのは、体外に取り出した臓器を、また体内に返す間

生かし続けておくこと。

この方法も基礎的な移植手術が進歩したから可能になったわけ、これまで重症の胃などはとってしまっただが、今後は胃袋のいい部分だけを残して、もとのところへもどすことも可能になる。

ネズミやハエが

宇宙飛行！

最近、ネズミやハエなどが人間の飛行士に代わって宇宙飛行した。

この研究計画は、ソ連だけでなく、フランス、アメリカ、チエコスロバキアなどのほか、5カ国の専門家によって準備されたもので、無重量状態や人工重

ロケット爆発！

力、宇宙の放射線が、動植物の組織、遺伝や代謝にどう影響するかを知らうというものである。

宇宙における生物学の実験を行ったのは、コスモス782号に次いで2回目。今回は、かつてソ連の宇宙飛行士が乗り組んで地球の周りを回った球形のウオストーク型衛星船コスモス936号。8月上旬に打ち上げられ、およそ20日間の飛行を終えて予定された地点で回収された。

この実験によって、原生動物から高等動物までにおよぶ、生理学、遺伝学、放射線生物学の研究に大きな成果が期待されている。

TOPICS

は塔の高さが低くなってしまおう」と不満の声も強い。

一方、塔をまっすぐに伸ばすという案では「斜塔がただの塔になってしまおう」と地元はこぞって反対している。このため、同委員会

はどちらの案をとるかで議論が続いている。《ピサの斜塔》 中部イタリアの古典的様式を色濃く残す鐘塔で、ピサ大会堂の背後に建っている。純白大理石造りの円塔は工事中的地盤の不同沈下によって傾斜し始め、これがかえって美しさをさそうので有名になった。塔の高さは56mあり、垂直線から約5m傾斜している。

言葉を話す犬

町の人々はビックリ

人間の言葉を読む犬が現れた。まるで漫画の世界のような話だが、真実。ただし、話す言葉は「おはよう」「こんにちは」「外に行こう」の三つだけとか。

それにしたって前代未聞のこと。このワンちゃんは、栃木県下都賀郡の中山隆昌さんに飼われているビーターンで、きげんが良ければ「おはよう」などと、しわがれた声で話します。何も知らない人が聞けば、きつと驚くことに違いない。おかげで、近所では「おしゃべり犬」と評判になってしまった。

中山さんの話では、物をせがむときの鳴き声が、話しかけるような特徴があったので、「ひょっとしたら言葉が出来るようになるのでは……」と、2カ月ほど特訓。オウムに負けないほどの「おしゃべり犬」になったそうである。

連載科学記事

続

宇宙・引力・空飛ぶ円盤

10

レナード・クランプ

【UFO搭乗員と船体とのg差】

UFO搭乗員にとって、宇宙船内部の居住性は重要な問題だ。どんな仕組みで、乗員と船体のg差を一定に保っているのだろうか。

【船体の傾きと自動車への影響】

走行中の自動車にUFOが及ぼす効果について、重力場と斥力場の2つの理論を対比させながら、解明の糸口をさぐってみよう。

翻訳出版権獲得

UFO搭乗員と船体とのg差

以前に私たちは、宇宙船の乗員と船体との重力差を飛行の各段階で1gに保つような重力(G)場の配置について考えた(本誌20号「重力場宇宙船内の乗員保護」の章を参照)。この1gの重力差は、乗員が飛行中、不自由なく過ごせるために必要なものである。

これは解決できない問題ではないが、今ここで論じると話がややこしくなってしまう。従ってここでは、その難点が克服されたとして無視するのが最良の方法であろう。

いっぽう、斥力(R)場を用いた場合には、この問題の取り扱いはいちと簡単になる。ちょっと検討を加えればわかることだが、R場宇宙船の場合、補助場発生装置を用いなくても船体と乗員との間に1gのg差を与えることができる。ただし、注意していただきたいのは、ここでは質量中心のみを考慮の対象にするということである。つまり、パイロットの身体の各部に異なった加速度が加わるといふ問題は依然として残っているが、さしあたってこれは考慮の外に置くことにする。図1では極端な例として、R場宇宙船が地上わずかに4フィートの高さに浮かんでいる場合を取り上げてみた。ただし、この図に示した条件下では、機械的な意味で困難な問題が生じると思われる。

場の焦点(FP)から宇宙船の質量中心までの距離(R₁)は3フィート、また、FPからパイロットの質量中心までの距離(R₂)は6・7フィートである。いま、1gの揚力が宇宙船の質量中心に加わっている(G_s)とすると、パイロットに働く揚力(G_p)は以前と同様に、

$$G_p = \frac{R_1 G_s}{R_2^2}$$

で与えられ、これに数値を代入すると結果は次のようになる。

$$G_p = \frac{3 \times 3 \times 1}{6.7 \times 6.7} = 0.2g$$

従って、パイロットは体重の20%を失ったことになり、これは、パイロットの体重を170ポンドとすると、約34ポンドに相当する。この体重減少は決して耐えられないほどのものではないが、また、不便を感じるほどのものでもない。実際、慣れた人ならばこの程度の体重減少にはほとんど気付きもしないだろう。この状態では、FPの直下にある草は地面に軽く押しつけられ、また、すでに見てきたように、石ころは脇に押しやられるかもしれない。だが、円盤の周囲に近い所ではほとんど

く、また、不便を感じるほどのものでもない。実際、慣れた人ならばこの程度の体重減少にはほとんど気付きもしないだろう。この状態では、FPの直下にある草は地面に軽く押しつけられ、また、すでに見てきたように、石ころは脇に押しやられるかもしれない。だが、円盤の周囲に近い所ではほとんど

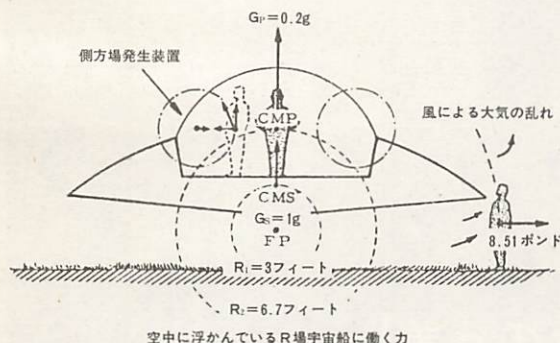


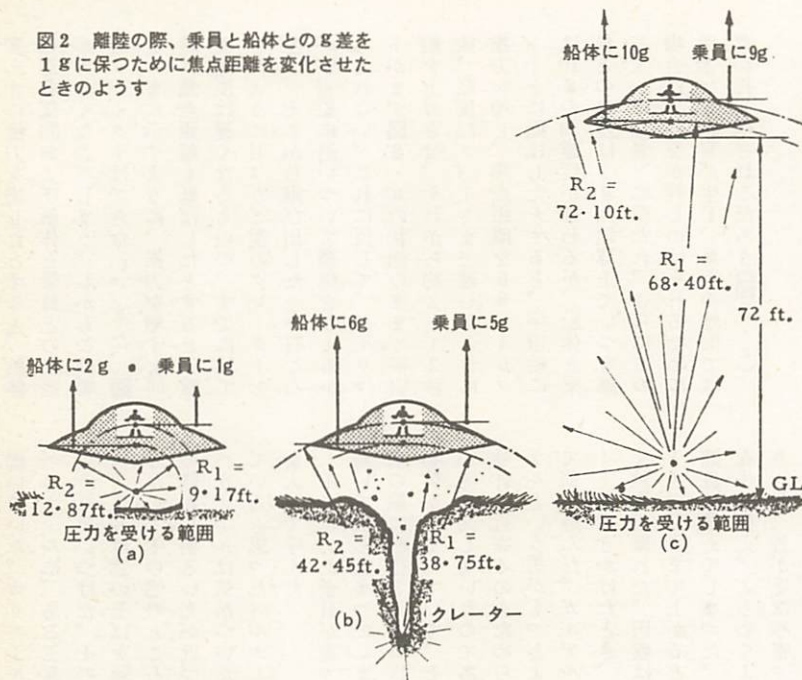
図1

船体にかかる g(G _s)	乗員にかかる g(G _p)	g差	焦点距離(R ₁) (単位・フィート)	焦点距離(R ₂) (単位・フィート)
1	0.106	0.894	1.77	5.44
2	1	1	9.17	12.87
3	2	1	16.55	20.25
4	3	1	23.98	27.68
5	4	1	31.32	35.02
6	5	1	38.75	42.45
7	6	1	46.20	49.90
8	7	1	53.60	57.30
9	8	1	61.00	64.70
10	9	1	68.40	72.10

表1 どんなg値にたいしても乗員が船内で「正常な」体重を保つための条件

何も起こらず、おそらく、かすかな風が感じられる程度だろう。宇宙船のかたわらに普通の体格の人が立っていたとすると、約8ポンド半の力を水平方向に受けて、宇宙船からやや押し戻されるような感じになるが、この力はいくらうじて気が付くか付かないかといった程度のもので、いずれにしても、そ

図2 離陸の際、乗員と船体とのg差を1gに保つために焦点距離を変化させたときのようす



の人は十中八九、この押し戻されるような感じを風のせいだと思っただろう。この力も完全に取り除く方法があるのだが、それについては後で触れることにする。

G場ポイント・ソースと同様に、R場の場合も乗員に対して横向きに働く力の成分を伴っている。しかし、この力の向きはG場のときとは反対である。つまり、G場では宇宙船の中心に向かって内向きの力が働くが、R場の場合は外向きの力が乗員に加わることになる。G場の場合同様、この力は側方場発生装置をパイロットの腰の高さに設置することによって打ち消すことができるが、ここでもやはり符号が逆になって、側方G場のかわりに側方R場が必要である。もちろんここでは今

述べてきたいくつかの条件の基礎的な検討を行っているにすぎないのだが、それでも確実に言えることは、この方式に特有な場強度の変化を適当な設計によって容易に克服できるし、さらに、乗員にはどんな拘束感も与えずにすむということである。

また、G場推進方式の場合と同様に図1のR₁の値を変えずに推力を大幅に増したとすると、船体構造各部間でのg値の差が増大し、ある場合には許容限度を超えてしまう。これによってパイロットが大きな苦痛を味わうことは言うまでもない。ここでは、離陸加速

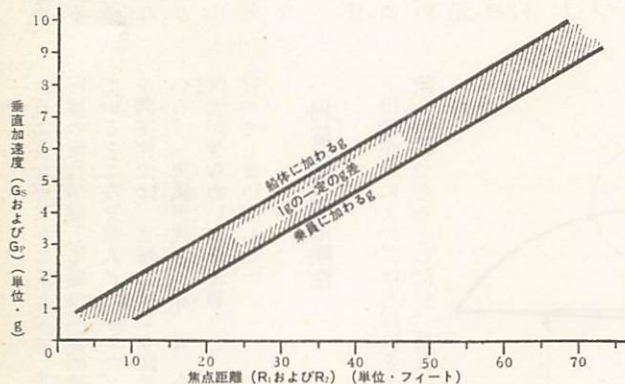


図3 乗員と船体とのg差を常に1gに保つのに必要な焦点距離の変化

ここで読者に特に注意していただきたいことは、パイロットが自分の重量の10・6%を失う時点、つまり、離着陸の直前に船体が空中に浮かんている状態においては、船体と乗員とのg差は0・894gにしかならないということである。この点については、のちに別の角度から検討することにする。

図2・a、b、cのイラストは、上に述べた条件にR場理論がよく合致しているありさまをわかりやすく示している。離陸加速度が2gの場合でも、g差を1gに保つのにいかに短い焦点距離ですむかという点に注目していただきたい(図2・a)。この高度からさらに速く離陸するために、焦点距離を

$$G_p = \frac{3 \times 3 \times 8}{6.7 \times 6.7} = 1.6g$$

度から8gの場合を考えてみよう。従って、船体が8gの加速度を受けるのたいていして、パイロットが受ける加速度はわずか1・6gにすぎない。つまり、パイロットは差し引き6・4gの力に苦しむことになる。

しかし、この問題は比較的容易に、しかも前にもすでに述べたように、補助場発生装置を用いずに解決することができる。つまり、場の焦点距離を延ばしさえすればよいのである。表1および図2、図3のイラストとグラフは、船体と乗員とのg差を常に1g(地球上と同じ条件)に保つのに必要な焦点距離の変化を示している。

変えずに推力を増したとすると、船体構造各部間および船体と乗員とのg差が大きくなってしまふ。しかしこの場合クレーターはできない。また、図2・bに示すように、推力を増すと同時に焦点距離も延ばしたとすると、離陸速度は速くなるものの、すでに見てきたようにじょうご型のクレーターを生じ、そこから飛び出した土や石ころが宇宙船に追いついて損傷を与えるかもしれない。これに反して、パイロットがまず図2・aの状態のままで宇宙船を上昇させ、それから約2・12秒後、高度72フィートまで達したときに推力を増し、焦点距離を68・40フィートに延ばしたとすると、宇宙船には10gの加速度が加わるが、船体と乗員とのg差は1g（地球上でいつも感じている重量）に保たれ、さらにこの場合は、空気が押しのけられるために大きな衝撃音が生じ、真下の地面では草が押し倒されるだろう（図2・c）。

仏モンバザンでの事件

斥力場に関する考察のはじめのほうでこの理論の裏付けとなる目撃例をいくつか挙げたが、ここでもうひとつの目撃例を追加しておこう。

1954年10月11日午後10時ごろ、フランスのアペロン県モンバザンで起きたできごとである。カリエール氏の経営する自動車修理工場で6人の男が

働いていた。カリエールが17歳の息子ベルナルに、ある工具を持つてくるように言いつけた。そのためには、ベルナルは窓のそばを通らなければならぬ。その窓のところで、すぐ隣りの畑から明るい光が近づいてくるのにベルナルは気がついた。何かが燃えていると思ったベルナルは、みんなを大声で呼んだ。

そこにいた全員が走ってきたが、皆驚いて立ち止まってしまった。隣りの家の脇に直径3・5mほどの円盤状の物体がとまっていた、それが強力な赤い光を発していたのである。皆はその物体に近寄るのをためらったが、ガルドルという男がもつとよく見ようとして前へ進んだ。ガルドルがほんの数メートル歩きかけたとき、円盤が音もなく地面を離れた。円盤は、地上数メートルの高さまで上がると、爆発的な加速度で消えてしまった。ガルドルは顔を手で押え、よろめくようにあとずさりした。皆がそばへ寄って見ると、ガルドルは「息を詰まらせてあえぎながら、ひどい衝撃に打たれたようにぼうつとしていた」という。まるで実際に肺の中から空気を叩き出されたようでありさまだったのであろうか？

前に見たシディネラのズッカラ氏の目撃例を思い出していたきたい（本誌19号「重力場の浮揚効果」の章を参照）。彼はこう言っていた。「ガッンと殴られて一陣の突風に体を持ち上げら

れるような感じがしました」。また、円盤の乗員が湖上で謎の演習活動をしているところを数人が目撃したソービル湾事件では、目撃者はこう証言している。「突風が吹き、赤、青、金色の閃光がきらめいたかと思うと、円盤は行ってしまいました」

円盤爆発の危険性

円盤が時によっては人間にとって危険な存在であるとしたら、乗員にとつ

てはどんな危険要素が考えられるだろうか。危険な要素はたくさんあるに違いないが、その中でもまず考えられるのは次のような場合である。たとえば、R場の焦点が狂って強力なポイント・ソース（PS）が船内に発生したとしたらどうなるであろうか。まず、船体内部の各分子はすべて外向きの力を受けることになる。そしてもし分子凝集力を超えるような強さのPSが突然誕生したとしたら、すべてがばらばらの分子、いや原子となって蒸発して

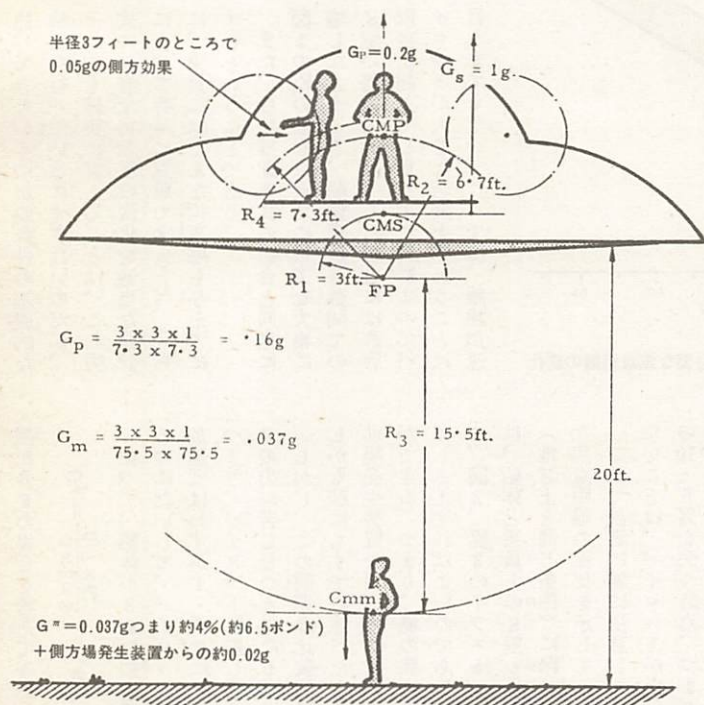


図4 目撃者の頭上にR場宇宙船が浮かんでいる場合の効果

船体の傾きと自動車への影響

R場宇宙船の局所的な地表効果の話を終える前に、次の操縦段階、つまり前進飛行について触れておかなければならない。G場理論によれば、円盤はその前縁をヘリコプターのように(そしてまたヘリコプターと同じ理由から)下に傾けて前進推力成分を得るのであ

るが、R場宇宙船の場合も図5に示すように基本的なベクトルの構成は変わらない。ただ、この場合、宇宙船は斜め上方からの「引力」のかわりに斜め下方のポイント・ソースからの斥力によって推力を得るのである。揚力、地球上のg、および前進推力の各成分は

G場の場合と全く同じである。このことから私たちは、さらにいくつかのことを予測することができる。ここでは、R場宇宙船について得られた数々の結論を踏まえた上で、あなた自身が宇宙船を操縦している場面を想像しながらはつきりとわかっている事柄を説

明してみたいと思う。だが、ここでも一度思い出していたことがあつた。すなわち、私たちは計算によって予測された事実を扱っているということである。

まず、あなたは地上数フィートの高さに宇宙船を浮かべているとしよう。

しまうといったきわめて重大な事態を迎えることになるだろう。これではまるで、宇宙船を消耗品として消滅させてしまふ新奇なやりかたになつてしまふが、じじつ、このやりかたのほうが、従来の爆薬をしかける方法よりも実際のではかまはるかに効果的であることがわかるだろう。これを暗示するような例をみつけることができる。1960年ボンベイで発行された「ザ・タイムズ・オブ・インディア」紙にはこんな記事が見られる。

それは、東アフリカのモザンビークに「4人の小さな宇宙人」の乗った空飛ぶ円盤が着陸したという記事である。ザ・タイムズは4月7日のリスボンの新聞を引用し、情報源としてポルトガルの通信社ルシタニアの名前をあげ

ている。ルシタニアの報ずるところによれば、モザンビークの沿岸地方にあるペイラという土地で、円盤の形をしたオレンジ色の物体が笛のような鋭い音をたてながら空を飛んでいるところを住民たちが目撃した。その物体は数秒後に着陸したが、そのすぐあとで大きな爆発音とともに粉々になつてしまつたと住民たちは言っている。さらに住民たちは、人間の形をした小さな生きものが4匹、機体から走り去るのを見たとも言っている。

円盤の真下の目撃者への影響

空中に浮かんでいる円盤の近く、または真下に立つたことがあるという何人かの目撃者の証言について、私たち

はG場理論の立場から分析を試み、それが理論的に予測される事柄とよく一致することを確かめた(本誌21号「クレーター及び地表付近の効果」の章を参照)。ここでは、同じ目撃者の証言を斥力場理論の観点から検討してみることしよう。

R場推進方式の円盤が地上数フィートの高さに浮かんでいるときに、そのすぐ近くに人間が立つていられる可能性についてはすでに見てきたが、図4に示すように、たとえば頭上14フィートの高さで円盤が停止していたとしたら、その下にいる人間はどんな影響を受けるだろうか。まず第一に、場が人間に及ぼす物理的效果がどんなものにして、それは体重の増加という形であらわれる。これは同様な状況下でのG

場による効果とちょうど反対である。 R_1 と R_2 をそれぞれ3フィート、15・5フィートとして再び逆二乗法則を適用すると、人間にたいする下向きの値(G_2)は次の式で与えられる。

$$G_2 = \frac{R_1^2 G_1}{R_2^2} = \frac{3 \times 3 \times 1}{15.5 \times 15.5} = 0.037g$$

これは体重の約4%、つまり170ポンドの人ならば約6・5ポンドにあたる。これに加えて、側方場発生装置が人間に及ぼす力の垂直下向き成分を考えなければならぬ。この例では、半径3フィートのところでの平均側方場強さは0・05g程度必要なので、目撃者の質量中心にたいして約0・02gの力が余分にかかる。従つて、この増加分を加えても、目撃者の体重の全増加分は約9ポンド半にすぎない。

この状態では、あなたと他の乗員の体重減少を最小にするために焦点距離の短いR場を用いている。それでもなお、船外に出て地上に立っている場合と比べてあなたの体重は34ポンドほど軽くなっている。宇宙船の向きをいくらか変えたいときは、軸調節つまみを

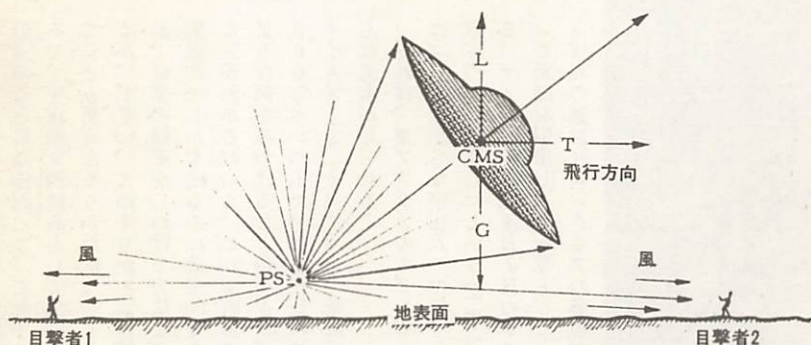


図5 R場宇宙船も前進飛行では船体を傾けなければならない。

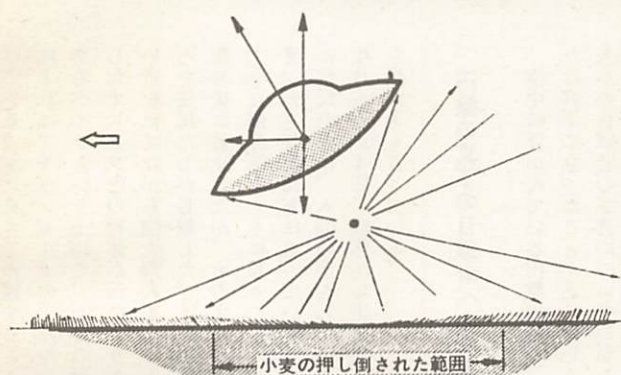


図6 R場理論の立場から見なおしたシャンプイユ事件

少しまわせばメイン・ロータの回転エネルギーのごく一部がゆっくりと吸収される。注意深く窓の外に目を走らせながら、あなたは方向転換の速度を落とし、操縦桿をゆっくりと前に倒す。それにつれて、小型宇宙船の船首は音もなくこころも前に傾く。加速レバーをさらに引くと、宇宙船が上昇するに従って体重が元にもどるのが感じられる。地上のものはみな猛烈な勢いで後方へ飛び去り、あなたはほんの少し加速度を感じる。そこで、乗員は加速度計を見ながら焦点距離を調節する。もうすでに地表効果を考慮する必要のない高度に達しているの、つまみ類

をすべて通常値にセットしたまま飛行を続けると、加速レバーの設定値が増すに従って焦点距離は自動的に調節される。体重は「正常値」に戻り、ほんの少し感じられていた加速度感も消え、舷窓に映る景色と計器類による表示がなければ、動いている感じは全くしない。加速レバーをほんのわずかに動かしただけで加速度はたちまち8gに達し、光の尾をひくパノラマが展開するが、あなたは自身は全くにも感じない。

傾いて飛ぶUFOの地表効果

さて、想像上の飛行はこのへんでひと休みするとして、もう一度離陸の場面に戻ることしよう。

もし、宇宙船の飛行コースの前後にひとりづつ目撃者がいたとしたら、図5からも予想されるように、ふたりとも突風にあられたという点においては似たような話をするだろう。

「傾くと突風が巻き起こった」これは円盤の目撃者たちが実によく口にする言葉である。

ソビエト連邦事件では、目撃者はこう語っている。「円盤は45度くらい傾きました。すると、突風が襲ってきて——円盤は目にもとまらぬ速さで飛んでいきました」

鉦山労働者ブラックの証言。「円盤は数秒間空中に浮かんでいました、次に

シューッという音をたてながら45度の角度で飛び去っていきました」

また、すでに引用したレヴェランドのトラック運転手ベドロ・サウセドの証言はこうであった。「あれが大きな音をたてて突風を巻き起こしながらトラックのすぐ上を通ったとき、私はトラックをとび出して地面にたたきつけられていました」

UFOに関する報告のなかには、これとほとんど同じ証言が数多く見られる。遠ざかって行く円盤から吹いてくる突風、そして円盤が近づいてくるときに巻き起こる突風。この突風がサウセドのトラックを揺さぶったのだとしたら、小麦やトウモロコシUFOをの飛行方向に沿ってなぎ倒して行くというのうなずける話である。当然のことながら、この種の地表効果はG場理論によってもR場理論によっても予測することができ、すでに私たちはG場理論の立場からこの効果の分析を試みた(本誌26号の図1を参照)。ここでは、同じ現象、つまり宇宙船が傾いた姿勢で動いているときの地表効果が、R場理論によっても同様に説明できることを図6に示しておくことにする。

ここで思い出していただきたいのは、私たちの推論によれば、前進推力を得るためには明らかに宇宙船の揚力ベクトルを傾ける必要があるということである。そうすると、目撃例のなかでもとりわけ確かなものとして、次にご紹

介する古典的なUFO現象観察例を取り上げないわけにはいかない。

1954年6月30日、ノルウェーのオスロ付近を3機の飛行機が飛んでいた。これらの飛行機はみな、日食観測の科学者や技術者を乗せてちょうど月の陰の中を飛行中であつた。このうち50人もの人々が、25ないし30km離れた雲の層の中から急降下してくる銀色をした2機の巨大な円盤を目撃し、フィルムに収めたのである(この25kmないし30kmという距離は、円盤が日光を浴びていたという事実をもとに算出された)。この種の観察には慣れている多くの人々が双眼鏡で観察した結果、2機のUFOは金属質の外観を呈し、回転していることが認められた。彼らはこう言っている。「ふたつの物体は一定の間隔を保ちながら地平線に沿って高速で動いていた。一方が他方よりもやや上を飛んでいたか、両方とも前縁を下に傾けた姿勢で飛行していた」。このカラー・フィルムが一般公開されれば、それだけで多くの懐疑論者たちが考えを改めることだろう。

地上の車に及ぼす影響

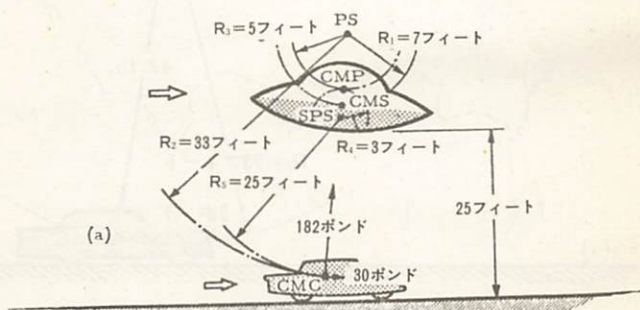
つぎに、空中の円盤が地上の車に及ぼす影響について考えてみよう。私たちはすでにくつかりの目撃例について電磁気学的な観点から検討をしてきたが、ここではそのうちのふたつを取り

上げてR場理論の立場から分析してみよう。本書の最初でマイラ・ジョーンズ夫人が夫の運転する車のすぐ上を円盤が飛んでいるところを目撃した事件について触れたが(本誌18号「重力場理論」の章を参照)、そのとき夫人はこう証言している。「底をふちどるようにして黒っぽい点々がついていました。全体がちよつと傾いて、回転しているみたいでした」。この証言例では車の速度が落ちるといった現象に全く触れていない点に注意していただきたい。これに反して、ロナルド・ワイルドマン氏は車のパワーが落ちたと証言している(本誌24号「電磁(E・M)放射効果」の章を参照)。そして私は、電磁的な原因のほかにもまだ何らかの原因が考えられるのではないかということを描きおいておいた。そこで、問題はこういうことになる。すなわち、これらふたつの目撃例のあいだには矛盾があるのか、それとも、ふたつの目撃例をG場理論かR場理論かのいずれか、あるいはその両方の理論によって説明することができるとだろうか?

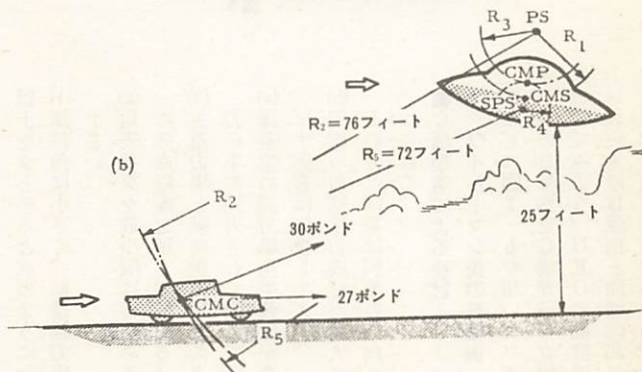
● G場理論による検討

ジョーンズ夫人の目撃例

まず、これらふたつの目撃例をG場理論の立場から再検討してみよう。ジョーンズ夫人の証言の中で注目すべき重要な言葉は、ちよつとという言葉である。傾斜角がわずかだということは浮揚ベクトルの前進推力成分が小さいこ



ジョーンズ夫人の目撃例をG場理論で分析した図



ワイルドマン氏の目撃例をG場理論で分析した図
図7

とを意味しているからである。これは、UFOが車のスピードと同じ比較的速度で飛行していたからである。こんなことは素人にとっては些細なことかもしれないが、専門の技術者にとってはきわめて重要な事柄なのである。

図7・aはジョーンズ夫人の目撃例を再現したものである。図中に示した距離にはいくらか誤差があるかもしれない。それでも、次に述べる方法によってこの目撃例を正当に評価すること

は可能である。まず、円盤は1gの垂直加速度(G_z)を受けて浮かんできた。わずかな前進推力が働いていたこと、 R_1 は7フィート、 R_2 は33フィート、などを仮定すると、主重力場が車の質量中心に及ぼす上向きの加速度(G_c)は次の式で与えられる。

$$G_c = \frac{R_1 \cdot G_z}{R_2^2} = \frac{7 \times 7 \times 1}{33 \times 33} = 0.045g$$

主重力場の焦点(FP)から乗員の質量中心(CM)までの距離(R_3)は5フィートなので、パイロットが受ける

上向きの加速度 (G_p) は

$$G_p = \frac{R_1^2 G_a}{R_2^2} = \frac{7 \times 7 \times 1}{5 \times 5} = 1.96g$$

となる。パイロットの体重を正常値に保つためには、これと同じ大きさの下

向きの加速度を加えてやる必要がある。このために必要な補助場のFPから乗員のCMまでの距離 (R_4) が3フ

ィート、これに対応して補助場のFPから車のCMまでの距離 (R_5) が25フ

ィートなので、車にはさらに

$$SG_p = \frac{R_1^2 G_p}{R_2^2} = \frac{3 \times 3 \times 1.96}{25 \times 25} = 0.028g$$

の上向きの加速度が加わることになる。ゆえに、円盤の軸方向に沿って車

に働く上向きの加速度の合計は、

$$0.045 + 0.028 = 0.073g$$

となる。このことは、車とふたりの人間の総重量を2500ポンドとすると、約182ポンドの力が斜め上方に加わることにほかならない。従って、車が受ける前進推力成分は約30ポンドにすぎないことがわかる。以上述べてきた効果は、道路上のほんのちよつとしたこぶを車が乗り越えるときに感じられる程度のもので、多くの場合、乗っている人は気がつかないで通り過ぎてしまうことだろう。

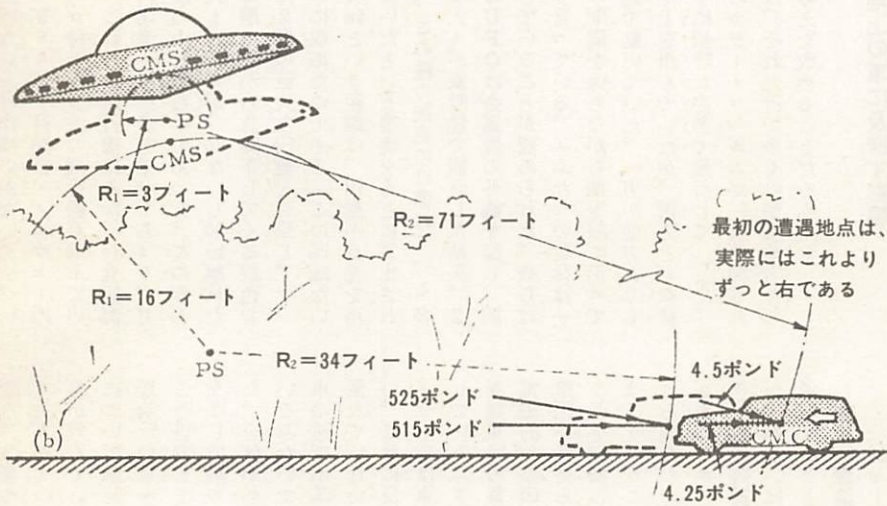
以上をまとめると次のようになる。

- (1) 傾斜角は小さく、前進推力成分も小さい。
- (2) 地表効果を最小限にとどめるために焦点距離を短くしてある。
- (3) 主重力場と補助重力場とによる合力が車に揚力として働いている。
- (4) 操縦室の側方場発生装置が車に及ぼす影響は無視してよい。
- (5) 円盤の前進推力成分が増大すればその分だけ車は円盤の方向へ引っぱられる。

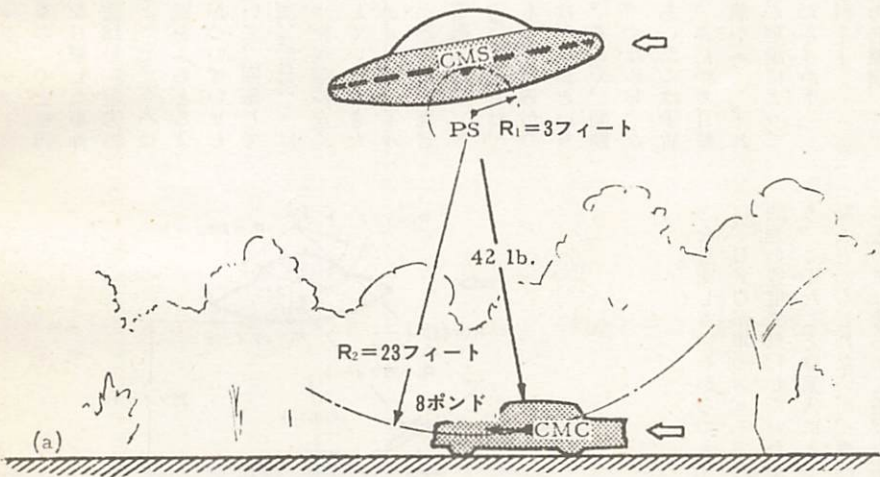
● G場理論による検討

ワイルドマン氏の目撃例

こんどは図7・bを用いてワイルドマン氏の目撃例をG場理論の立場から分析してみよう。UFOの高度はジョーンズ夫人の目撃例と同様に25フィートと仮定した。また、 R_1 、 R_3 および R_4 の値も前と同じものを用いることにす



ワイルドマン氏の目撃例をR場理論により分析した図



ジョーンズ夫人の目撃例をR場理論により分析した図

図8

る。主重力場ポイント・ソース(PS)から車のCMまでの距離(R_2)をおよそ76フィートと見積ることになると、それにもなつて、補助重力場PSから車のCMまでの距離(R_3)は72フィートということになる。従つて、主重力場が車に与える加速度の大きさ(G_c)は

$$G_c = \frac{R_1 G_a}{R_2^2} = \frac{7 \times 7 \times 1}{76 \times 76} = 0.0085g$$

であり、また、補助重力場による加速度(SG_c)は

$$SG_c = \frac{R_1^2 G_p}{R_2^2} = \frac{3 \times 3 \times 1.96}{72 \times 72} = 0.0034g$$

となる。これらを合計すると、円盤が車に及ぼす全加速度は0.012gということになる。ここでも車の重量を2500ポンドとすると、車のCMに働く力は30ポンドとなり、その前進推成分は27ポンドにしかない。ジョーンズ夫人の場合と同様に、この程度の効果をドライバーが気づくとは考えにくい。

以上をまとめると次のようになる。

- (1) 傾斜角は小さく、前進推成分も小さい。
- (2) 地表効果を最小限にとどめるために焦点距離を短くしてある。
- (3) 主重力場と補助重力場とによる合力が車に揚力として働いている。
- (4) 操縦室の側方場発生装置が車に及ぼす影響は無視してよい。
- (5) 円盤の前進推成分が増大すれば

その分だけ車は円盤の方向へ引っかれる。

(6) この例では、付近の木の上の方の枝に降りた霜は約28%軽くなる。

しかし、ワイルドマン氏が述べた現象が、この程度の場効果によって引き起こされたとは考えにくい。もっとも、押しのけられた空気の流れによってこの現象が起きたのかもしれない。

ワイルドマン氏は次のように言っている。「物体が飛び去るとき、霜の霜を払い落としたので、車のフロント・ガラスに降りかかりました」

●R場理論による検討——

ジョーンズ夫人の目撃例

G場理論による分析はこれくらいにして、こんどはR場理論の立場から、ふたつの目撃例を検討してみよう。まず、ジョーンズ夫人の場合を取り上げる。図8・aに示すように R_1 を3フィートとすると、すでに見てきたようにこのR場構成ではパイロットのCMは宇宙船のCMから3・7フィート離れているはずであり、しかも宇宙船が空中に浮かんでいる場合には、パイロットの体重が34ポンドほど軽くなっていることになる。PSから車のCMまでの距離(R_2)は23フィートで、従つて車が円盤の軸方向に沿つて下向きに受ける加速度の大きさは次の式で与えられる。

$$G_c = \frac{R_1 G_a}{R_2^2} = \frac{3 \times 3 \times 1}{23 \times 23} = 0.017g$$

前と同様に、車の重量を2500ポンドとすると、0.017gの加速度は42ポンドの重量変化を意味している。

また、車にたいして垂直なこの効果はG場の場合と反対の向き、つまり上向きではなく下向きに働き、これにともなつて水平成分も逆向きになる。

従つて、G場宇宙船の場合には車にたいして前進推成分が働いていたのに反して、R場宇宙船の場合には車を減速させる成分、つまり後退推力が働くことになる。この後退推力はこの例ではせいぜい8ポンド程度であり、G場のときと同様、車に乗っている人が変化に気がつくかどうかはきわめて疑わしい。

つ。

以上をまとめると次のようになる。

- (1) 傾斜角は小さく、前進推成分も小さい。
- (2) 地表効果を最小限にとどめるために焦点距離を短くしてある。
- (3) 補助場による揚力がない。
- (4) 操縦室の側方場発生装置が車に及ぼす影響は無視してよい。
- (5) 円盤の前進推成分が増大すればその分だけ車は円盤から押しもどされる。

●R場理論による検討——

ワイルドマン氏の目撃例

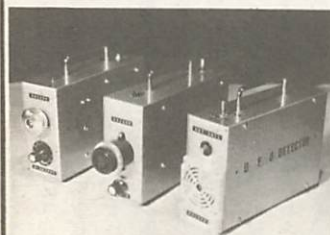
図8・bはワイルドマン氏の目撃例を再現したものである。 R_1 はジョーンズ夫人の例と同じで3フィートだが、

UFO探知機

超高感度

国産唯一の本格的磁気探知機!

現在230台が全国で活躍中!!
既にUFO探知成功18件!!



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型……¥9,000
T-3a型……¥18,000
T-3b型……¥19,000

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先: 〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

PSから車のCMまでの距離は71フィートである。従って車に加わる加速度は次の式で与えられる。

$$G_c = \frac{3 \times 3 \times 1}{71 \times 71} = 0.0018g$$

車の重量を2500ポンドとすると、この0.0018gという加速度は円盤のPSから車へ向かってわずかに4・5ポンドの力が働いていることを意味しているにすぎず、車を水平方向後向きに「引きもどす」力は約4・25ポンドということになる。従って、これをドライバーが気づくなどということとはまず考えられない。

以上をまとめると次のようになる。

- (1) 傾斜角は小さく、前進推力成分も小さい。
- (2) 地表効果を最小限にとめるために焦点距離を短くしてある。
- (3) 補助場による揚力がない。
- (4) 操縦室の側方場発生装置が車に及ぼす影響は無視してよい。
- (5) 円盤の前進推力成分が増大すれば、その分だけ車は円盤から押しもどされる。

G場理論による説明の破綻

これまでのところ、ジョーンズ夫人の目撃例は、円盤と車とがかなり近い位置関係にあってしかもほとんど同じスピードで動いていたために、G場理論とR場理論の双方にとって都合の良い

例となっている。つまり、これまでに見てきたように、この例の場合、G場またはR場による加速または減速の力の大きさは非常に小さなものと思われるからである。

しかし、ワイルドマン氏の目撃例では、G場理論による説明は破綻をきたしている。G場による力がいくら小さいからといって、もしそれが何らかの働きをするとなれば、車の速度を落とすのではなく、むしろ加速する方向に働くはずだからである。あるいは、この場合の減速を、以前検討したように電磁(EM)効果によって説明したくなるかもしれない。しかし、このような検討により事態を正しく評価するためには、あらゆる事実をそれにふさわしい仕方でも考察する必要がある。UFO研究者たちのあいだで比較的明白な事実として知られていることのひとつに、UFOは必ずしも自動車の電気系統を乱す働きをするとは限らない、ということがあげられる。たとえば、ジョーンズ夫人の例では、そのような兆候は何ひとつ見られなかった。従って、ワイルドマン氏の場合には、重力場による効果と電磁場による効果とを両方とも詳細に分析する必要がある。

まず、EM効果がなかったと仮定すると、G場理論による解釈は簡単に除外することができる。なぜならば、平坦な道路上を円盤に向かって走っている車は、先へ行くほど強くなる円盤の場の領域に入って行き、そのため、前に述べた25ポンド程度の力では車はほとんど何も影響を受けないとは言っても、場の強さは逆二乗法則に従って急速に増大し、最後には、車と円盤との位置関係はジョーンズ夫人の場合と同じようになると考えられるからである。従って、円盤に向かって走っている車が減速されるとはとうてい考えられず、この点に關して、ふたつの目撃例のあいだに矛盾を認めざるを得ない。

EM効果によって車の点火系統に障害が発生する可能性については、平坦な道路上を時速35ないし40マイルで走っている車の点火系統が不安定になった場合を考えてみよう。それまでエンジンによって動かされていた車は、この瞬間から、逆に自らの惰性による運動でエンジンを動かすことになる。ただし、クラッチを踏んでエンジンを機械的に切り離れた場合は別であるが、ワイルドマン氏の場合は一見してそうでないことがわかる。彼はスピードの落ちていく車を加速しようとしてアクセルを踏み込んだのである。

車がこの程度のスピードで走っているときにエンジンが全く働かなくなるとしたら、エンジンはただのポンプと同じことになってしまつて、車の運動量がたちまちエンジンに吸収されてしまうことは事実であるが、ワイルドマン氏の車のエンジンは全く働かなくなつたわけではないのである。従って、一方では車のスピードがEM効果のために少しばかり落ちたとも考えられるが、それと同時に忘れてならないのは、この例の場合、先へ行くほど強くなるG場の働きで、車と円盤との距離が急速に縮められることも予想しておかなければならないということである。これらふたつの逆向きの力が相殺しあう結果、車はほとんど速度を落とさずに走り続けるというのが、G場理論に基づいた妥当な解釈であろう。

同様な分析をR場理論の立場から行った場合には満足すべき結果が得られると思われるかもしれない。エンジンのパワーが落ちるものと仮定して、しかも、小さいが先へ行くほど強くなるR場の反発力を考えれば、これ以上議論の余地はないかに見える。しかし、さきほども指摘したように、円盤は必ずしも自動車エンジンの点火系統に影響を与えるとは限らないのである。ワイルドマン氏の例がこういうケースだったとしたらどうであろうか。つまりエンジンのパワーは少しも落ちていないくて、かつ、UFOがR場方式を採用していたとしたら。もしそうだとすれば、さらに分析を進める必要があるのではないだろうか。私は自分にこの問いかけ、次のような結論を得た。

(以下次号)

遠山峻征訳

絶賛発売中!

定価 **1300円**
(¥160)

●空飛ぶ円盤は実在する! 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来……壮大な宇宙空間の大スベクワフルと驚異的事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ!



宇宙からの訪問者

■米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得!

ジョージ・アダムスキー/著

久保田 八郎/訳

●「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い二点の記録書をアダムスキー研究家として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」のうちアダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
☎832-1341~44 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

B 6判 272頁
定価750円
送料160円

私は円盤に乗った!

●驚異のホワイトサンズ事件 ダニエル・フライ/著 久保田八郎/訳

1950年7月4日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを30分間で往復する! その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるというこの驚異の物語は「UFOと宇宙」第2号に掲載され当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る! UFO研究者必読の書。



付■宇宙人アランのメッセージ/
進歩の曲がり道/原子・銀河系・理解

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
電話(832) 1341~1344 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

レンズ片方無料でおなじみの

東京 新宿西口メガネが

レイバン・
サングラスを
5割引!!

通信販売

を開始!
店頭にても
販売

店頭特別企画
好評実施中!

メガネレンズ
片方無料!
コンタクトレンズ
クリニック併設!

学生割引も致しております

各種メガネフレーム
ローデンストック・
マルヴィッツ・
メッツラー他
各種メガネレンズ
HOYA・ニコン・ツアイス他

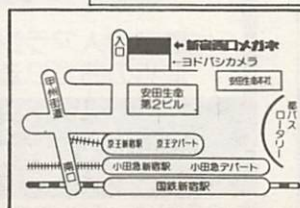


私もTVCMで
放映中です。

週刊ポスト連載中

忘れ苦兵衛

おことわり
品切れの際は、入荷予定日
をお知らせ致します。
又、御返金も致します。

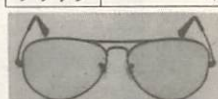


	スモーク	グリーン
金	¥16,000→8,000	¥16,000→8,000
ブラック	¥17,000→8,500	¥17,000→8,500



CARAVAN<キャラバン>

	スモーク	グリーン	濃スモーク
金	¥18,000→9,000		
ブラック	¥19,000→9,500		



METALII<メタルII>

	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥16,000→8,000			¥20,000→10,000
ブラック	¥17,000→8,500			



METAL<メタル>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥18,000→9,000	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000	¥21,000→10,500	
ブラック			¥23,000→11,500		



OUTDOORSMAN<アウトドアズマン>

	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン
金	¥20,000→10,000		¥22,000→11,000	¥24,000→12,000
ブラック				¥25,000→12,500



SHOOTER<シューター>

	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥21,000→10,500		¥23,000→11,500



DECOT<デコット>

●申込方法

ご希望のモデル名・レンズの色と住所・氏名
を明記し現金書留又は代金引換にて申込み下
さい。送料はサービスいたします。

●申込先

〒160 東京都新宿区西新宿1-11-6 協立ビル
新宿西口メガネ レイバンUFO係

新宿西口メガネ

東京・新宿西口・安田生命第2ビル裏・ヨドバシカメラ並び
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休

でんわ東京 03-348-3360

OPINIONS

声

UFOファンに必要なことは、そこから何を学び取るか、だと思ふ

吉田嘉子

〒602 京都府京都市上京区智恵
光院通り今出川上ル桜井104

近頃、UFOに対し違った考え方をもちようになつてきました。

UFOを信じる、信じないはその人の勝手ですが、肝心なのはUFOから何を学びとるかだと思ひます。UFO写真を撮るのも結構ですが、撮ったものをどうするのでしょうか。UFOの存在を信じてもらうため、UFOってこういうものだと思ひたいため……。UFO写真を撮りたがる人を批判したくありませんが、それじゃあ、UFOを「空飛ぶお宝」としか考えていないのではないのでしょうか。

UFOを観測しようとして、夜空を見る人があると思ひます。そんな時、UFOなんか考えないで、そこに存在する宇宙を見てください。宇宙は

とっても美しい。醜い姿をさらけ出すことなく全然ありません。なぜいつも美しい姿を私たちに見せてくれるか考えてください。そして、宇宙のあらゆる所から注ぎ込まれる愛を感じてください。

第三次世界大戦を予知している「ファチマ」の予言文書

山崎 誠(16)
〒949-83 新潟県中魚沼郡中里村荒屋

みなさん！突然ですが、「ファチマ事件」というのを知っていますか？たぶん知らないでしょう。

「ファチマ事件」というのは、今から60年さかのぼった1917年、ポルトガル北方の片田舎で起こった事件です。3人の子供、ジャシント、フランシスコ、ルチアは神の啓示を受け「その年の10月13日、天に奇跡が起こる」と予言しました。

ここで高一時代4月号「太陽が2



●阪上清久 茨城県土浦市

つあらわれた丘より引用しますと、「予言を聞いた人々がその日、このファチマにある丘に何千人と集まってきた。昼の12時30分、それまで雨が降っていた空が突然ひらけ、二つの太陽が現れるのを人々は見た。確かに奇跡は起こった。

「ファチマの予言文書」というのは、その子供たちが受けた神の啓示を記録したもので、今日までバチカンが保持し、公表されていないが、含まれる内容は第一次世界大戦、第二次世界大戦、そして第三次世界大戦(？)の発生の年月日と関係国が記されているという第一次、第二次世界大戦についてはビタリ的中していたという」

さてみなさん。この中に現れた二つの太陽、神とは一体何のことでしょう？二つの太陽の一つは本物の太陽……。するともう一つはみなさんに想像がつくかと思いますが、これは円盤ではないかと思うのです。

神々、つまり円盤に乗る宇宙人はすでに第三次世界大戦が起こることを知っていたのでしょうか？

その「ファチマの予言文書」ですが、今年の1月に盗まれたそうです。もしかするとウラニデスとはもはや第三次世界大戦はまぬがれぬものと思ひ警告の「ファチマの予言文書」を持ち去ってしまったのでしょうか。みなさんの中で「ファチマ事件」をもっと詳しく知っている方「声」の欄に投稿してください。

現在の謎は、UFOよりも人間自身。それは未知であり、興味深い

三樹和博(16)
〒199-01 神奈川県津久井郡相模湖町小原859

今回はじめて投稿を試みる一地球人です。毎回のこの欄から多くのみなさんの意見、姿勢、そして新しい考え方を吸収しています。

だが、こういった多くの文面を読んでみると、ある一つの傾向が表面化していることに気がきます。その傾向とは、UFO、霊魂、超能力などのいわゆる超自然現象といわれるものを、多くの人が趣味という形で受け入れていることです。あらゆる物がマンネリ化した現代社会の中で、こうした未知のものに興味を持つのはごく当然のことなのかもしれません。

しかし、どう立ち向かってみたところで動かしがたい事実であるこれらの現象を、いやそれだからこそ、趣味的な態度で受け入れてはくはなれないです。むしろもっと真剣に、真面目に挑戦的な態度で受け入れてほしいのです。そうした態度が未知の現象を少しずつ解き明かしていく

ものと信じます。そこで私にとっての当面の謎は、UFOよりは、何よりも人間自身。非常に未知であります。そうは思ひませんか。そして大変興味深く思われるのです。どなたか人間自身について教えてください。

私は、自分のテレコン解答が不正解であることを透視していた

保野直美
〒621 京都府亀岡市千代川町北ノ庄明谷10

本誌26号に目をとしたとき、私はふくらんだ風船が急にしぼんだような気分になった。

本文最終ページの「読者アンケート」の最下段に見覚えのある図形(○+□)……。『エニグマ⑤』誌のテレコン正解だ。この順序に私は「おや？」と思ひ25号をあわてて開いた……。なんとそこに書きこんでいた私の解答(25号のテレコンのもの)は、『エニグマ⑤』の正解だったのだ。ああ、なんと不運。ドジな私。偶然といえは、それまでだけど、私も私にテレパシー能力があったとするなら、私は「UFOと宇宙」の方ではなく「エニグマ⑤」のテレコンを透視してしまったことになる。

私が25号を手に入れたのは7月20日頃、それから3日ほどして解答を送り、「エニグマ⑤」を手にしたのは8月16日。私は「エニグマ⑤」にテレコンがあるなんてことも知らなかったのだから……。まさかあんな答えだなんて。当然、25号テレコン

東京を100%として、各県のUFO研究者数の割合をまとめたものです。(アマチュア)

参考資料 UFOと宇宙

超常現象研究会作成(SPS)
(1977年、9月1日現在)



率性%

●全国アマチュアUFO研究者の数を都道府県別に比較しました。
図を作成するにあたり全国1650名様に協力して頂きました。
坂井修一(17) 超常現象研究会
(〒700 岡山県岡山市西市668-27)

今、大切なのは原点に
立ち返った素直な心で
自己を見つめ直すこと
船倉光昭(20)
〒675-02 兵庫県加古川市東神
吉町砂部203

UFOファンのみならず、地球
の正解も「エニグマ⑤」と同じだ
なんてありえないでしょう。私は27号
の正解発表を見ることなく、自分の
解答があつていないことを確信した
のでした。

という狭い観念をこえて宇宙に興味
を抱かれていますということは大変す
ばらしいことだと思ひます。

目まぐるしく刻一刻とたえず移り
変わる時代に相応すべく、また自己
の持つ潜在的なものにひかれ、宇宙
や未知の探求にまい進することは、
新時代をになう地球人として、また
UFOファンとして最も大切な態度
ではないかと思ひます。

ただ、あまりUFOに熱中し過ぎ
て、大切な根本を見失うことのない
ようにしましょう。それは最終的に
重大な過失になる恐れが十分あるか
らなのです。

ぼくは決してファンのみなさんの
熱心な態度を誹謗しようというの
ではありません。ぜひともここで、み
なさんに考えて頂きたいと思つてい
るからなのです。

すべてを含めた宇宙真理の把握は
自らの心でためすべきではないか。
我々地球人はこれまで真理を知らな
かったのではないのでしょうか。

言うまでもなく我々は宇宙の孤児
であり、無知な幼児であるのです。
したがって今までのどおりの興味本位
の心は愚かなものであり、そのよう
な心ではいつまでたっても真理には
ど達いままであるのです。今、UFO
ファンとして大切なことはあさは
かな心を乱用することではなく、原
点に立ち返った素直な心で自己を見
つめ直すことなのではないでしょう
か。

月Ⅱ宇宙船説に反対！
人工建造物ではない種
々の理由がある！
石井貴志

〒125 東京都葛飾区水元小台町
1701-8-1109

確か本誌20号「月世界はUFOの
中継基地か」でソ連の科学者が「月
は宇宙船である」と発表しているの
を読んだことがある。実は、私の意
見は全く違つていて、ここで反
論してみたいと思ひます。

月Ⅱ宇宙船説が飛び出すのは、月
のクレイターがいん石によつて生ま
れたものと考えているからです。私
は、月のクレイターが割れ目噴火に
よつて地下の圧力が減少し、地形が
陥没したものと思ひます。さらに、

月の表面物質がいん石でなく玄武岩
であることもうなずけます。こ
の玄武岩というのは、惑星が誕生し
た際、その内部でいん石物質などが
溶けて、成分の分離を起こしてでき
たのです。つまり、月の内部はその
昔、溶けていたのです。

このようなことから私は、月が宇
宙船であることを否定します。

話は変わりますが、本誌24号「火
星には生命が存在する？」の中で、
「火星の極冠が溶けることはない。
といっています。実は溶けるので
す。その原因もすでに解明されてい
ます。ズバリ申しますと、火星の夏
は極冠の方が暖かいのです。夏にな
ると火星上は一日中、陽があたつて
います。大気が希薄なため、陽の光
が弱められず地表に到達するので氷
が解けるのです。

あなたの郷土の 謎めいた伝説1

話しかけてきた輝く
大きな目玉。広島県
山中での出来事

昭和10年頃の中国山脈の中、
広島県神石町相渡での話です。
一人の若い衆が山仕事から一
里の道を帰宅途中のこと、日は
落ちて木々が、妙にザワザワ鳴
つていたそうです。ふっと横の



●橋本 実 秋田県雄勝郡

山を見ると、輝く大きな目玉の
様な物が二つあるのです。そい
つは山の中腹を歩くと走れど、
等間隔を保つてついて来ます。
血気盛んな彼も恐くなり、何
かを祭つた小さなほこらに飛び
込みました。どれほど時がたつ
たのか、ほこらに光が差してい
ます。朝かと、外に出た彼を待
つていたのは、闇の中にランラ

文通しよう

(〒116 東京都練馬区向上3-15-1)
9 水谷方 (03-9999-4935)

嘲笑にもめげず、文学を専攻する
かたわらずとUFOについて
研究してきました。今では世の中に
生ずるあらゆる不可解な出来事、た
とえば幽霊、怪談、謎の蒸気などは
すべてUFOで説明されるという結
論に達しました。どなたかお手紙く
ださい。

UFO、超能力にすこく、興味
のある方、ぼくといろいろ意見
を交換しましょう。
平川浩二(17)
(〒875 大分県臼杵市熊崎3)

佐藤政行(学生)
(〒030 青森県青森市篠田3-11-9)

UFO研究家のリストを作成しま
す。2年以上UFOを研究して
いる方で、自分なりに専門とする分
野をお持ちでしたら、その研究分野
をお知らせください。自己紹介をつ
けくわえて、TEL明記の上、ご連
絡ください。

UFOに興味をもっただけで宇宙
人呼ばわりされている私です
が、本誌の読者以外に共通の話題に
ついて話し合う友がいないので、文
通して下さる相手を探していま
す。UFOに限らず、ラフな話題—
近所話しやアニメ—などについ
ても話し合います。
佐々木美香(高1)
(〒604 兵庫県伊丹市梅ノ木2-13-28)

宇人、四次元、ESPに関心を
おもちの方、またご本人の宇宙
人、エスパー、コンタクトマンの
方、UFO問題の何もわからないボ
クにご指導ください。連絡を待つて
います。
竹村龍雄
(〒852 長崎県長崎市青山町302)

小生は、UFOはじめ広く超自然
現象に興味をもつ者です。一度
もそれらしき物事に出会ったことは
ありませんが、話し合います。
なるべく同年代の方。
稲葉政幸(22)
(〒332 埼玉県川口市中青木1-1-20 鈴木荘103号)

UFOや宇宙人—、さらには
「人間—そのものに強く関心を
抱いている方、宇宙や人生について
共に考えを深めてゆきませんか。年
齢性別は問いません。
川村アキオ(23)

UFOを目撃したことのない人、
気楽にお手紙ください。
(〒524 滋賀県守山市吉身西町466-12)
山中勇雄

ヨハン・シュトラウスとUFOに
興味をもっている私ですが、い
まだにUFOを目撃したことがない
ほど、UFOに関しては初級者(?)

ンと輝く目玉だったのです。た
だ、ほこれらの周囲だけが明かる
かったのです。
生きた心地もなく、彼は必死
で走り、途中にある空家のかま
どの中に隠れました。目玉は戸
外を真昼のように照らしなが
ら、いつまでも彼に語りかけた
そうです。声はどこから聞こえ
るのか、一言も理解できません
でした。

やがて目覚めると、それは消
え失せて、清らかな山の朝の小
鳥のさえずりばかりでした。恐
怖から解放された彼の目に、か
まどの端の古い貝殻が映りまし
た。海を知らぬ彼は、それに神
秘的な力があって、自分を救っ
てくれた気がしたのでした。それ
をお守りにしたせいか、その後
の戦争からも無事帰ることがで
きたと、若い衆が話していたそ
うです。

これは、私が20年前、相渡の
隣りにある古川小学校3年の
時、相渡出身の滝口先生から聞
いたものです。その若い衆とは
先生の身近な方だそうです。こ
の種の話につきまもの「だから
山へ一人で入るナヨ」というお
説教がなくて、深く印象に残り
ました。

当時、滝口先生は35歳位でい
らして、その後も聞いた教える
は、多いのではないでしょう
か。細かい部分は思い出せませ
ん。会って詳しいお話を聞きた
いものです。
不可解な物が、なんでも知り
たい私の、これがルーツと言え
るかも知れません。

段塚由利
(〒701-01 岡山県倉敷市下庄300-1)

神話の時代から知ら れた謎の怪光。九州 は八代海の不知火

陰暦の7月晦日、九州の熊本
県八代海に見られる謎の怪光、
不知火。かなり以前に漁火の反
射によるただの自然現象として
かたづけられてしまったがなぜ
か奥歯に物がはさまったような
その説に納得がいかなかった。
近頃、あることに気づいてか
ら、その疑問をさらに強めた。

第一、毎年決まった時期に現
れて、その他の日には現れない
というのがおかしい。もちろん
台風シーズンといった時期の
いたい決まっている自然現象も
あるにはあるが、不知火などは
期間が短すぎて、自然現象では
ないように思える。

それに、不知火なるものの正
体を見た者がなく、光点の移動
スピードが、漁火の反射として
はあまりにも速すぎる。不知火

が、互いにずつついたり離れた
り、揺れたりする様子はまるで
何かの合図のようである。

ここで一つ私が地図から発見
したことがある。それは、八代
海の位置が緯度で32・1度から
32・5度にあるということであ
る。これは偶然かもしれない
が、バミューダ・トライアング
ルで有名なバミューダ島も緯度
が32・0度から32・5度に位置
している。なぜか両者は、ほぼ
同じ緯度に一致している。八代
海とバミューダ海域とは関係が
あるのだろうか。

話は飛躍するが、もしバミュー
ダ海域が、人々がいうように
その不思議な現象の原因に宇宙
人や超古代人が関係していると
すれば、当然、八代海の不知火
もそれらに関係している可能性
はないだろうか。

興味のあるかたは研究してく
ださい。ちなみに、不知火は第
12代景行天皇の神話の時代から
知られていた現象だそうです。
坂田 博
(岡山県倉敷市 川崎医大附属
高等学校校寮内)

〈次のテーマ〉

●あなたの郷土の謎めいた伝説

全国から多数のお手紙ありがとうございました。
次号は右記のテーマにお手紙をお寄せください。
発表は11月20日発売「UFOと宇宙」29号です。
800字以内 締切10月末日まで。
ユニバース出版社編集部「声」係

ジョージ・アダムスキー があなたにおくるメッセージ

テレパシー

訳・久保田八郎 ￥550 送料140

テレパシーすなわち宇宙語／人間の四つの感覚器官／触覚／細胞から細胞へ伝わる印象／肉体細胞から来る印象／感情が肉体細胞におよぼす影響／他の遊星から来る印象と地球の習慣的な想念／自我の抑制／弛緩／関心・感受性／透視・透聴・予知／思考と推理

生命の科学

訳・久保田八郎 ￥650 送料140

生命の分析／心とその成分／宇宙の法則の応用／万物の相互関係／意識英知及び生命力／“新鮮さ”は人間の若返り薬／宇宙の記憶／宇宙の一体性／宇宙的細胞と肉体の細胞の活動／意識による旅行／宇宙空間の探険／絶え間なき進歩の報い

フレッド・ステックリング著

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

訳・久保田八郎 ￥750 送料140

好評発売中

当社の出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで直接ご注文ください。

文久書林・〒113 東京都文京区白山1-29-12

電話(03)813-2495 振替 東京4-2521番

(〒725-02 広島県豊田郡東野町大田)

未 知なる地球を探検しようとする方々を求む。場所はチベット、アマゾンのマッドグロウ、ジャスター山、パミューダ海域など。本気でやる人はご連絡ください。

上村敬一
(〒940-02 新潟県新井市谷内2-4-4)

ア ニメサークル「ふしぎな星ミラ」を結成！どなたでも。入会案内書を送ります。50円切手同封の上、ご連絡ください。

雪 雅
(〒565 大阪府吹田市桃山台1-2-B11-304 川島方)

S F、幻想などの同人雑誌を作りたいと思います。一緒に作りたい方。いま一人で取りかかっている方、または読みたい方でも。協力してくれる方は連絡してください。

堀 淳枝(17)
(〒300 茨城県土浦市桜町3-13-4)

青 春をめいっばい楽しむ「サークル・グッドファイリング」に入会しませんか。すばらしい友達にめぐり会えるかも……。

早乙女ゆり
(〒720 広島県福山市花園町2-6-15 佐久間アパート)

超 異常現象研究会が漫画アニメ同好会を作ろうと思います。年齢

不問。希望する会名と自己紹介を書き送って連絡してください。

小坂田隆行(中2)
(〒671-12 兵庫県姫路市網干区坂上12-9)

会 員募集集中！日本宇宙科学研究会では、UFO、宇宙学、生命科学の研究と原子論の啓蒙運動を行っています。また、機関誌のタイトルが改められ、内容もさらに充実しました。新しく案内書も作り直しました。真剣に取り組んでくださる方の入会を歓迎します。男女年齢不問、詳しくは50円切手同封の上ご連絡してください。

日本宇宙科学研究会
(〒020-02 岩手県玉山区内戸68-1)

超 自然現象研究会も結成4年、再び会員を募集します。研究内容は①心霊②UFO③超能力の三つの分野。これらを基礎として心理学、現象学も勉強します。夏にはキャンピングも行います。入会希望の方、特に神奈川県湘南地方の方の朗報を待っています。

また、他の研究会との友好も大歓迎。
洲之内高男(19・学生)
(〒254 神奈川県平塚市松風町14-4)

UFO研究会TUCは結成4年目にして会員を募集集中！UFO、古代文明に興味のある方、年齢性別は問いません。今すぐ一報をください！

わ が「UFOとテレパシー」会員募集集中！入会希望者は情報なども送って連絡ください。それに会費は半年1000円です。
加藤ヒロシ
(〒255-02 千葉県印旛郡富里村七栄255-1-4)

遠藤 恵(中3)
(〒891-04 鹿児島県指宿市十二町139-1)

宇 宙戦艦ヤマト・ファンクラブを結成！会員の意見や批評をどしどし取り上げて行きます。入会希望の方は50円切手同封の上ご連絡ください。

根津春正
(〒360 埼玉県熊谷市箱田636)



読みます



▼「読心術」「テレパシー入門」「数霊術」「四次元世界の神秘」を各200円で。LPレコード、エマソン・レイク&バーマの「展覧会」「トリロジー」を各1800円で。そのほか中学1〜3年の理・数科の問題集もあり。連絡は往復はがきで。尾高 恵 (〒085 北海道釧路市松浦町6-10)

▼和光大学UFO・PSI研究会の機関誌を送料共300円で譲ります。

和光大学UFO・PSI研究会 (〒113 東京都文京区白山1-6-4 601 秋山方)

▼「ドカベン①②」を2240円で。中村 豊 (〒290 千葉県市原市八幡383-4)

▼「魔の三角海域」「未来の記憶」「宇宙人の謎」「コンチキ号漂流記」「あらしー 三匹⑧」「天才バカボン⑦」「英検4級問題集」「ニュープリンス学習の友・中2」を適価で。カセットテープを半額で譲ります。連絡は往復はがきで。

船見悦通 (〒940-02 新潟県栃尾市金沢4) [PASSPORT to MAGONIA] Jacqu-

es Valley著の洋書を1000円、「中岡式念力強化法」3000円、「超念力入門」400円、送料共の価格で譲ります。連絡は往復はがきで。

成沢 一雄 (〒341 佐賀県鳥栖市田代大官町396)

▼「リーダーズ・ダイジェスト」14冊を送料共1万円で購入して下さい。付録に「天文と気象」「SFファンタジー」「読心術」「念力強化法」「テレパシー入門」など総計14冊の本を頂けます。詳しくはがきで。清水優美 (〒804 福岡県北九州市戸畑区西大谷2-11-4)

▼本誌No.1〜15 (14は除く) を適価で。また「天文ガイド」「天文と気象」「清原光学の接眼鏡もあり、手渡し希望。」重元 尚 (〒569 大阪府豊中市夕日丘2-9-18 ☎06-8551-3431)

▼本誌No.2〜20を8000円で譲ります。手渡し希望。連絡は往復はがきで。猪口則子 (〒091-01 北海道江利市太麻宮町4 公団9-1-404)

▼「スーパード」200円、「パピル2世」260円、「ゲッターロボG」300円、「嗚呼花の応援団」450円、「魔王ダンテ」220円、「海辺の観察」800円、「手品トリック名作集」400円、「空飛ぶ円盤」500円、「動物の超能力」と「もしもしの世界」400円、「少年奇術師」350円などで譲ります。本誌バックナンバーとの交換も可。連絡は往復はがきでお願いします。値段は送料共。

木山博史 (〒602 京都府京都市上京区上長者町浄福寺東入)

▼「UFO同乗記」200円、「UFO・衝撃のレポート」400円、「はたして空間は曲がっているか」250円、「UFO事典」400円、「空飛ぶ円盤ミステリー」250円、「それでも円盤は飛ぶ」250円などで譲ります。連絡は往復はがきで。林 美智子 (〒442 愛知県豊川市豊川町留通23-1)

▼本誌No.10〜13、15、17を各2000円で。「宇宙人謎の遺産」「宇宙の知的生物(上下)」「UFO事典」「UFO大襲来」「太古宇宙戦争の謎」を送料別各400円、

「1万年後(上・下)」を送料別3000円で譲る。連絡は往復はがきで。

春国千登勢 (〒145 東京都大田区雪ヶ谷大塚5-1-1)

▼本誌No.1〜13を7000円で譲る。鈴木 郁 (〒991 山形県寒河江市大字寒河江2781-3)

▼UFO雑誌4冊と英語カセット「ニューブリッジ」を送料共9000円で譲る。連絡は往復はがきでお願いします。平野幸夫 (〒330 埼玉県大宮市土屋582)

▼本誌No.1〜25を送料共2万円以下で。付録に「超自然の世界」「ノストラダムスの大予言」「奇想天外(7冊)」をつけます。往復はがきで連絡を。松枝敏之 (〒444 愛知県岡崎市井田町4-165)

▼本誌No.5〜24と「超能力者ユリ・ゲラー」「進化した猿たち」「漂流教室①②③」「くたばれ涙くん①②③」「浅田美代子詩集」など39冊を適価で。ラジカセにカセットテープ10本で28000円、双眼鏡(12×50)とSPレコード70枚で32800円、岡崎友紀のLPレコードとカセットテープ2本5000円で譲ります。値段は送料共。往復はがきで連絡を。井上 功 (〒722-02 広島県尾道市美ノ郷町本郷298)

▼本誌No.1を適価。連絡は往復はがきで。松浦洋子 (〒270-01 千葉県流山市東深井857-8)

▼「UFO写真集①」「UFOの謎」「UFO目撃」「UFO追跡」「写真で見える円盤200集①②」「宇宙人についてのマジメな話」「円盤についてのマジメな話」「世界のUFO」「統一私には宇宙人を見た」「本誌No.1のコピー」などを30000円で。手渡し希望。連絡をください。小川智章 (〒125 東京都葛飾区水元小台町1758)

▼本誌No.1〜最新号有り、適価で譲る。ほかにUFO、心霊関係の図書多数あり、リサト送る。連絡をください。杉山 巖 (〒231 神奈川県横浜市中区本牧2-349)

▼「宇宙の友人たち」私は宇宙人を見た(正

・統一)「宇宙人謎の遺産」「UFO大襲来」「ブラックホール」「氷河期が来る」「テレパシー入門」「世界の怪奇ミステリー」を送料共各3000円で。SF本も7冊あり、連絡は往復はがきで。脇本ひろ子 (〒352 埼玉県上尾市西上尾第2団地1-32-205)

▼本誌No.5、7〜22を送料共5500円で譲る。連絡は往復はがきで。谷 泰仁 (〒463 愛知県名古屋市中区松坂町201)

▼「日本のキリスト伝説」「聖書とUFO」「キリスト宇宙人説」「日本の宇宙人遺跡」「失われたムー大陸」「超能力に挑む」「密教念力入門」「超心理学入門」「エスパー入門」を適価で。連絡は往復はがきで。中島久美 (〒857-24 長崎県西彼杵郡大島町黒瀬)

▼本誌No.12〜20、22を送料別46000円で。プレゼントに「UFO大襲来」をつける。その他、「世界のUFO写真集」「UFO目撃者の証言」「世界のUFO」「日本の宇宙人遺跡」を適価で譲る。手渡し希望。渡辺佳三 (〒720-22 広島県深安郡神辺町上領1954)

▼本誌No.5〜9まで各数冊ずつあるので、送料共各12000円で譲る。信田光秋 (〒500 岐阜県岐阜市金園町5丁目33)

▼本誌No.3、6〜13を送料共35000円で譲る。連絡してください。8PM頃。須永真樹 (〒372 群馬県伊勢崎市田中島町556 ☎0270-12416152)

▼本誌No.15〜18を各4000円で。「写真で見える空飛ぶ円盤200集」10000円、「超能力トレーニング四週」5000円、「恐怖の心霊写真集」4000円、「狐狗狸さんの秘密」4000円、「四次元凶鑑」20000円で譲る。まとめて50000円。横山 敦 (〒244 神奈川県横浜市戸塚区和泉町4357-13)

▼文庫本約690冊(14万円相当)を6万円。週刊アルファ百科辞典No.1〜95、ファイナル2冊付(2万円辞典)を45000円で。またVANのトレンチコート(2万8千円)を160000円で。トリオケンクラ

観ります

望遠鏡



▼カセットテープ(60分) 4本ある。1本400円で譲る。「お化けの住所録」「サッカイレブン」「サッカマガジン」などを譲る。往復はがきで連絡を。
森田君夫(〒397-03 長野県木曽郡開田村末川)
▼UFOと心霊のカラー写真があります。5枚一組(UFO3枚、心霊2枚)送料共1500円。連絡ください。
丹羽利広(〒454 愛知県名古屋市中川区愛知町29-10)
▼セディックポケットカメラ、3000円。小型ラジオ、1000円で譲る。
笹之池功三(〒409-28 山梨県南巨摩郡早

フトラQR666レシーバーのアンテナ付(6万4千円)を39000円で譲る。手渡し希望。
太田和孝雄(〒272 千葉県市川市市川町2-22-1)
▼「タロット占いの秘密(カード付)」「数霊術」「ぼくらの天体観測」「ラジオ図解製作集」「B29」「気象天文の図鑑」「星座早見盤」を4000円で。または次のものと交換可。本誌8冊、「宇宙からの訪問者」「空飛ぶ円盤同乗記」「空飛ぶ円盤実見記」「UFO写真集①」「世界のUFO」「宇宙の友人たち」「空飛ぶ円盤とアダムスキ」のうち4冊と。連絡は往復はがきで。
中島信治(〒214 神奈川県川崎市多摩区河原755)
▼本誌No.5、22を8000円で。「空飛ぶ円盤同乗記」「空飛ぶ円盤の真相」「空飛ぶ円盤と宇宙人」「失われた大陸群」を各8000円。「宇宙人謎の遺産」を5000円で

譲る。送料当方負担。連絡は往復はがきでお願いします。
伏見雪子(〒424-02 静岡県清水市興津中町380)
▼本誌No.11、18を4000円。「写真で見空飛ぶ円盤」宇宙人2000集。「世界の円盤ミステリー」を15000円で譲る。
植木将夫(〒345 埼玉県南埼玉郡宮代町道仏627-1)
▼本誌No.7、19、17を除くを各3000円。「ピラミッドの謎」「謎のピラミッド・パワール」を各5000円。「ポパイ(創刊号)」を6000円で譲る。送料別。連絡ははがきでお願いします。
大木弘之(〒235 神奈川県横浜市金沢区谷津町162)
▼超特価大処分!「世界のUFO写真集」20000円、「世界のUFO」8000円、「UFOの正体」5500円、「空飛ぶ円盤を追え」5000円、「エニグマ①②」

各5000円、本誌No.2を30000円、本誌別冊「UFO写真集①」20000円、UFOカラー写真50枚を8000円で譲る。連絡は往復はがきでお願いします。
坂間千秋(〒560 大阪府豊中市玉井町3-8-17)
▼「世界のUFO写真集」「世界の謎と恐怖」「世界の秘境」「空飛ぶ円盤を追って」の4冊を送料共28000円。「黄色い部屋」の秘密」「たから島」「世界の怪奇七不思議」「五味・ジャン・大学」「地上最後の猛獣狩」「デュラント世界の歴史」の6冊を送料共25000円。モデルガンHP/47た付送料共29000円。「モデルガン雑誌」10冊送料共24000円で譲る。また、本誌No.1、4、一円銀貨、天保、安政一分銀を適価で譲って。連絡ははがきで。
下山浩之(〒379-23 群馬県新田郡等懸村大字阿左美1082)
▼「お化けの住所録」「宇宙戦艦ヤマト」

▼川町中洲
▼S社のラジオ、スカイ・センサー2800(保証書付)を17000円。ポータブルラジオ(2バンド)、25000円。返品可。往復はがきで連絡を。
山上 治(〒586 大阪府河内長野市千代田南町22-10)
▼「宇宙戦艦ヤマト」に登場のキャラクターのイラスト(カラー)をはがきに描きます。1枚2000円。返送可。
坂野康隆(〒299-16 千葉県富津市長崎279-3 電話04396-71549)
▼テレビ番組を録音しました。「金曜スペシャル」「バミューダ三角海域とUFO(60分)」「木曜スペシャルUFO大襲撃45分」。「NHK」静止衛星ETSS II(30分)。また、たんせい3号の打ち上げの模様を連続撮影しました。往復はがきで連絡ください。
福元忠実(〒891-04 鹿児島県指宿市十二町807)
▼「宇宙戦艦ヤマト」LPレコード送料別13000円。UFOの本と交換可。
堀桂太郎(〒252 神奈川県高座郡綾瀬町寺

▼引伸露光計(旭光学) 16000円。
東山 猛(〒945-13 新潟県柏崎市大字平井3659)
▼ブルース・リーの未公開写真あります。連絡ください。カタログ送ります。
武術クラブ(〒515 三重県松阪市久保町1696)
▼模型エンジン・エンヤ09Ⅲと15Ⅲを5000円。送料当方負担。往復はがきで連絡してください。
関 信宏(〒686-05 鳥取県高松青谷町本町)
▼「宇宙戦艦ヤマト」全26話のテレビを写した写真(カラー・各24枚)があります。希望の第() 話を書いて50円切手同封のうえ連絡を。
大久保利明(〒332 長野県須坂市九反田100)
▼天体望遠鏡(屈折式)、D60ミリ、F1000ミリ、レンズHM5、HM12・5ミリ、サンダ付を半額の25000円で譲ります。
奥内政見(〒711-03 徳島県鳴門市瀬戸町

▼「背が高くなる本」を10000円で譲る。切手可。まずは連絡を。
西村兼好(〒040 北海道函館市万代町6-21 電話0138-4216692)
▼本誌No.2、22、別冊「UFO写真集①」を一括送料共20000円で譲る。連絡は往復はがきでお願いします。
西尾雅昭(〒545 大阪府大阪市阿倍野区西田町119-10)
▼「宇宙人謎の遺産」「恐怖の心霊写真」「900円」「怪談」「幽霊船の謎と不思議」(講談社) 5000円、「ガキデカ①」「伊賀の影丸②」4000円、「英語の参考書、カセットテープ多数あり、また、ぼくの空気銃デタッチャブルSS-13(たまた付)」「リビング・イングリッシュ」(英会話、テープ6本付)を合わせて本誌No.1、15と交換して。連絡は往復はがきで。
石川英樹(〒041 北海道函館市中道町131-25)

▼S社ステレオのチューナー(ST-5070)を30000円、プレーヤー(フロテックMF-30000、ベルト式)30000円で譲る。
小野寺典之(〒983-01 宮城県気仙沼市松崎片浜120)
▼天体望遠鏡の赤道儀経緯台(ダウエル製60ミリ用)39500円 送料8000円で譲る。半年使用。
高野義之(〒940-22 新潟県長岡市大積折渡町2-394)
▼写真引伸機(ラッキー70MR)を送料共23000円くらいで譲る。また、ぼくの天体望遠鏡カートン6cm赤とあなたの反赤が短焦点のものと交換してください。はがきで連絡してください。
赤松徹郎(〒981-42 宮城県加美郡中新田町字南町180)
▼天体望遠鏡(屈折、ボラリス6M・ピクセン製)付属品とも、30000円。手渡し希望。はがきで連絡を。
佐藤隆司(〒420 静岡県静岡市大岩2-141)

読んで下さい



00円、「日本切手カタログ」「切手マガジン」各1000円、「英会話入門」(テープ8個、テキスト付)10000円で譲る。またはUFO関係図書との交換も可。そして次のものを譲ってください。日本GAPの機関誌「GAPニューズレター」。「世界のUFO写真集」、UFO写真などです。

森 順二(〒779-44 徳島県美馬郡半田町川又)
▼本誌No.112、4や古銭1円銀、古金銀、天保通宝、宝永通宝、常平通宝を譲ってください。詳しくははがきで。切手を格安に譲ります。趣味、文通、記念、国立、国定、年賀・記念小型など。下山浩之(〒573-23 群馬県新田郡等懸村大字阿左美1082)
▼本誌No.1124(11、18を除く)を安価で譲ってください。また「エニグマ」も。連絡は往復はがきで。

福元富美代(〒574 大阪府大東市幸町467-26)
▼本誌No.110のうち、出来るだけ安い値段で譲ってください。
山本洋一(〒669 兵庫県豊岡市桜町5-15)
▼本誌No.6、7連載の「宇宙・引力・空飛ぶ円盤(1)(2)」のコピーを譲って。実費は負担します。手数料も払います。はがきで連絡してください。
長尾謙二(〒832 福岡県山内郡三橋町白鳥492-2)
▼本誌No.10、12、15、18、「エニグマ」No.1、2を譲って。価格を記入の上、はがきで連絡してください。

▼「世界のジェット戦闘機・第1集」「航空ジャーナル・A1カスタムシリーズ次期戦闘機FX」を適価で譲って。
彦坂和則(〒411-12 愛知県宝飯郡一宮町大字一宮字上新切529-1)
▼「エニグマ」No.114を安く譲って。送料は負担します。はがきで連絡を。

新里和浩(〒177 東京都練馬区石神井台2-16-6)
▼日本GAPの「GAPニューズレター」No.1157までの内どれでも。送料が払えませんが、よろしく願います。
梅田裕生(〒517 京都府長岡京市長岡2-19-9)
▼本誌No.1を500円、218を各350円、9を450円、1012を各350円、1419を各370円、2022を各450円で。また、「自分でできる超能力」700円です。オラメーター、イオンク

▼写真の引伸機と現像用品を送料共1000円です。また次の本を譲る。「空飛ぶ円盤同乗記」「なぞの四次元」「UFOの正体」「円盤と宇宙人」「タロット占いの秘密」など。希望値段を書いて往復はがきで連絡してください。
下 俊久(〒440 愛知県豊橋市曙町南松原53-16)
▼「フアントーシュ」No.116を安く譲って。はがきで連絡してください。

石川 修(〒326 栃木県足利市千蔵町47)
▼「マンガ少年」創刊号12月号(今年)を送料共500円。「ハワーズ・エンド」吉田健一訳を定価で譲って。はがきで連絡してください。
西尾さとし(〒680-04 鳥取県八頭郡郡家町土師百井)
▼本誌No.14、22を適価で。ユリ・ゲラーのレコードも定価で譲って。また「念力呪術入門」「謎のツングース隕石はブラックホールかUFOか」を定価以内で譲る。価格を記入してはがきで連絡を。

▼「天文ガイド」「天文と気象」「高一時代」「高二時代」「あはしり一家」を各2

▼「フアントーシュ」No.116を安く譲って。まずははがきに住所、氏名、電話番号を書いて連絡してください。

林佳津江(〒755 山口県宇部市常藤町5-30)
▼本誌No.8、1318、2224、「私は円盤に乗った!」「テレビシー(アダマスキー著)」を安く譲って。送料当方負担。往復はがきで連絡を。

柴田千秋(〒114 東京都北区豊島8-15-21)
▼カメラ、望遠鏡のカタログを適価で譲ってください。

読んで下さい



▼映画雑誌、新旧問いません。1冊1000円で。送料払います。本誌の創刊号500円で譲って。はがきで連絡ください。
井上静江(〒230 神奈川県横浜市鶴見区下末吉6-6-37 美鶴荘E号室)
▼「宇宙戦艦ヤマト」「海のトリトン」のポスター、切抜き。「ウルトラセブン」の面ライダー、月光仮面、特ジャイアント、エイトマン、鉄人28号、海賊王子」などのレコード。連絡してください。

大越佳子(〒174 東京都板橋区小豆沢1-1-18)
▼「マジンガーZ、グレート・マジンガー」のLPレコードをお持ちの方、適価で譲ってください。
井筒 泉(〒986-21 宮城県石巻市浜松町1-1-7)
▼「宇宙戦艦ヤマト大図鑑」(朝日ソノラマ)適価でお譲りください。お礼に「ゴジラ、モスラ」などの写真を進呈。

齊藤 剛(〒773 徳島県小松島市中田町奥林46-12)
▼UFO探知機の作り方、教えて。2名の方に心電写真、発見されたUFO基地の図などを差し上げます。またUFO写真を譲ってください。

全国の小、中学生に
贈る野球月刊誌！

250円

恒文社

東京・神田錦町3の3
03(291)79001



少年野球
月刊誌

12月号
発売中

(毎月26日発売)

巨人「アベックV2」

チャンピオン
フラッグをねらう V2戦士

土井 淳の
野球教室

大下 弘の
バッティング教室
スター選手

チビッコ
インタビュー



●リトル・リーグ●

ジュニア
ベースボール 杯をめざす！

特集！日本シリーズ

●日本シリーズ楽しみな対決
●日本シリーズ名勝負物語

注目されるドラフト会議

連載
燃える男長嶋茂雄

キョク通になるページ / 12球団
レポート / 野球の科学 / ルール
教室 / 野球クイズ / 読者のページ

交換して下さい



▼本誌No.1～7をお持ちの方、そのうちの3冊と「日本怪奇名所案内」「死霊を見た！」を。往復はがきで連絡を。
奥 信也 (〒519-21 三重県多気郡多気町 相可)
▼本誌No.1～6をお持ちの方、「太古宇宙戦争の謎」「クロワゼットの透視力」「UFO衝撃のレポート」「ノストラダムスの大予言」「エニグマ」No.1～3と交換してください。アダムスキー関係の本とも交換可。

可。はがきで連絡を。
大府真二 (〒719-17 広島県東広島市高屋町溝口7-10)
▼本誌No.1～7をお持ちの方、ベイ・シティ・ローラーズ「青春の記念碑」レコードからダビングしたもの、昨年、武道館で行われた「ライブ76」の録音カセットテープと交換して。連絡はTELか往復はがきでお願いします。
小川和明 (〒373 群馬県太田市本町8-15 0276-2513447)
▼石森章太郎、手塚治虫、水島新治、永井豪の単行本をお持ちの方、本誌No.5～25の何冊かと交換してください。
また次の本を譲ります。「宇宙人の遺産」「UFO追跡」「宇宙の謎」「聖書とUFO」「宇宙の使者」「キリスト宇宙人説」「UFOは第二の黒船だ」「エスパー入門」「空飛ぶ円盤騒ぎの発端(初版)」送料別各200円、「ニューホライズンの英語カセ

船寺140-9」
▼UFO写真をなるべく安く譲って。SF「ペリー・ロンドン・シリウス」に関する資料も。はがきで連絡してください。
布村誠一郎 (〒433 愛知県名古屋市中区鳴海町有松裏147-43)
シト中学1、2年、各5000円、「ぼろシリーズのカセットスタジオ中学2年数学」4000円、往復はがきで連絡を。
山本圭子 (〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16)
▼UFO写真をお持ちの方、ほかのUFO写真と交換して。または3枚5000円で譲ります。連絡してください。
上迫鏡治 (〒703 岡山県岡山市門田文化町882-6)
▼LPレコード「ユリ・ゲラーの魔」「影山勲著「願いが叶う本」をお持ちの方、「文明のあけぼの」(講談社「古代への情熱」(角川文庫)と本誌No.18とで交換して。
後藤久美子 (〒501-62 岐阜県羽島市竹鼻町大西1-1)
▼本誌No.13～15をお持ちの方、「超能力の謎」「超次元」と交換して。往復はがきで連絡してください。
森田君夫 (〒391-03 長野県木曾郡開田村

末川)
▼本誌No.1、2、4をお持ちの方、本誌No.3、5のどれかと交換してください。
新沼直樹 (〒001 北海道札幌市北区北35西5)
▼天体望遠鏡の赤道儀(D100ミリ用)をお持ちの方、ほかの「川柳式背伸び法」「空手道剛柔流泉武館通信指導講座」「近代映画・ビジュアル・特集号」と交換して。また、本誌No.1～4を送料共1500円で譲ってください。はがきで連絡を。
松田博樹 (〒020 岩手県盛岡市上米内字米内沢92)
▼SF本、著書「平井和正、小松左京、半村良、豊田有恒などのものをお持ちの方、私の「宇宙からの訪問者」「世界のUFO」「魔法入門」「超感覚ESPの世界」と交換して。往復はがきで連絡してください。
本名広男 (〒988-01 福島県大沼郡昭和村 小中津川)

大島光昭 (〒969-65 福島県河沼郡会津坂下町坂本朝立)
▼エルビス・プレスリーに関するものや「UFO写真集」を適価で。
森長貴史 (〒615 京都府京都市右京区梅津 四林原町52-55)

▼次のプロマイドを譲って。「パピル2世」「サイボーグ009」「レインボー戦隊ロビン」「風のワジ丸」「コンパニオン」または、その主題歌などをカセットテープにダビングしてください。
八柄真理 (〒819-03 福岡県福岡市西区周

船寺140-9」
▼UFO写真をなるべく安く譲って。SF「ペリー・ロンドン・シリウス」に関する資料も。はがきで連絡してください。
布村誠一郎 (〒433 愛知県名古屋市中区鳴海町有松裏147-43)
シト中学1、2年、各5000円、「ぼろシリーズのカセットスタジオ中学2年数学」4000円、往復はがきで連絡を。
山本圭子 (〒156 東京都世田谷区羽根木1-14-16)
▼UFO写真をお持ちの方、ほかのUFO写真と交換して。または3枚5000円で譲ります。連絡してください。
上迫鏡治 (〒703 岡山県岡山市門田文化町882-6)
▼LPレコード「ユリ・ゲラーの魔」「影山勲著「願いが叶う本」をお持ちの方、「文明のあけぼの」(講談社「古代への情熱」(角川文庫)と本誌No.18とで交換して。
後藤久美子 (〒501-62 岐阜県羽島市竹鼻町大西1-1)
▼本誌No.13～15をお持ちの方、「超能力の謎」「超次元」と交換して。往復はがきで連絡してください。
森田君夫 (〒391-03 長野県木曾郡開田村

ありがとう

本誌を無料で送ってくれた新潟県新尾市のK・Kさん。お名前を教えてください。
安井法子 (愛知県豊明市)

UFO目撃レポート参考事項

1) 目撃者の住所・氏名・年齢・学年・その他	(2) 目撃地点の略図・時刻・天候等
(3) 飛行物体の形状・飛行状態等	その他なるべく詳細に。

新発売!!

●無料でご覧になれます

温度計+湿度計+気圧計

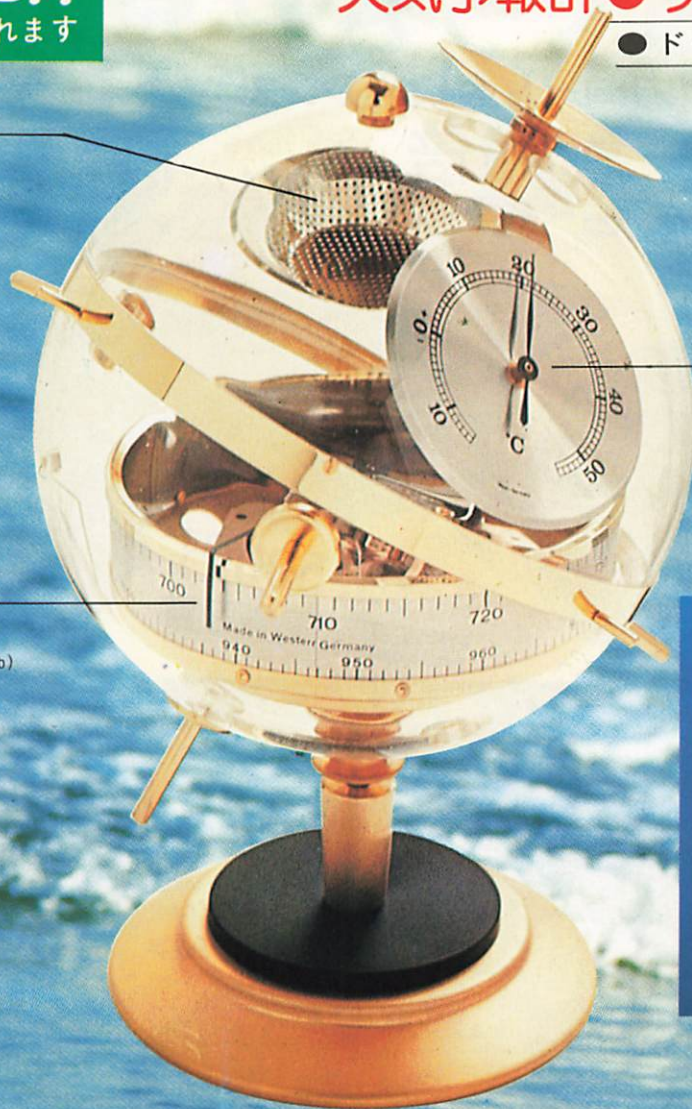
天気予報計●サテライト・3

●ドイツ製、直輸入品

●湿度計
(20%~100%)

●気圧計
(700mb~1060mb)

●温度計
(-15°C~+55°C)



球体直径 130
高さ 205
重量 610

晴れ、のち曇り、一時雨—?

天気予測に最も大きな関係があるのは、気圧の高低ではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧米ではウェザー・バロメーター(天気予報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及しておりません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候…温度や湿度、気圧に適応する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの“サテライト・3”は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お子様の科学の勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書斎の上に飾るインテリア・アクセサリに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気予報計“サテライト・3”はぴったりです。

申込先 社団法人 日本割賦協会 事業会員
フェースアートギャラリー 企画部

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気予報計“サテライト・3”」を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気軽に入りましたら、そのままご購入ください。

●月つき3,000円×6回払いでOK

いま、お申込みの方は奉仕価格⇒月つき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円)しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。

ご希望の方は右記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京・大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心してお申込みください。

〒556 大阪市浪速区大町1の121の8 ☎(06)649-5508
〒170 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

“サテライト・3” 価格表

●現金価格 16,800円 (一括払いの場合のみ)	●割賦価格 18,000円 分割払金 3,000円 支払回数 6回 支払期間 6ヵ月
------------------------------	---

●梱包送料当社負担 ●製品保証

今、スグ切り取ってポストへ!!

●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

“サテライト・3”購入申込書

■天気予報計“サテライト・3”を購入申込みます。現品到着後に下記の方法で必ず送金します。

●支払方法 (○印をしてください)
1.月つき 3,000円×6回払い
2.一括払い 16,800円

現品に不満の場合は現品受取後5日間以内に返送し、この場合、購入義務は一切ありません。

おなまえ	捺印	年令	TEL
	印	才	
おところ(郵便番号)			
() 様方)			
保護者名(18才未満の方は保護者の印が必要)			捺印
			印
UFO-11			

夜でもくっきり見えます!

そのヒミツはマルチコート大口径レンズ

10 $\rightarrow$ 24倍

高倍率、広視界、鮮鋭像
しかも軽量980g

7日間無料でお試し下さい
分割払いもOK



月づき
わずか3,500円
6年間品質保証

夜でも鮮明にズームアップ!

ズーム式の常識を破った24倍という最高倍率ながら、映像は明るくはっきり見えます。対物・接眼レンズに鮮やかなグリーンのマルチコート大口径レンズを採用したからです。

マルチコートは従来高級カメラレンズ、高級望遠レンズにのみほどこされていたものですが、本品は双眼鏡としてはじめて採用したものです。光の表面反射をふせぎ、レンズへの透過量を多くするために、逆光や光量が少い場合でも、明るいはっきりした映像がえられるわけです。



— 広視界

とくに動きのあるものを見るのに威力のある広視界がえられます。

— 普通視界

合格品

この商品は(財)日本望遠鏡検査技術協会が行う輸出検査法の基準による国内信頼検査に合格した優秀品です。

製造元・遠州光学精機(株) 沖縄海洋博にも公式採用された
我国唯一のズーム双眼鏡専門メーカーです。

今ならハードケース、
アクセサリ無料進呈!

●携帯用ハードケース●対物接眼レンズ用
キャップ各2個●レンズクロス●バンド2
本●カメラ三脚固定アダプター

申込書を切り取って封筒でお送り下さい

〒133 東京小岩局27号
二光通販(株)
光学部
143係

現品はお申込み受付後2~3週間前後でお届けします。ハガキでもお申込みになれます。

お急ぎの方は電話でどうぞ 03(673)2101 年中無休
(午前9時~午後7時まで)

お客様第一にカタログ販売14年

二光
二光通販株式会社

東京都江戸川区南小岩6-31-25
二光ショールームで展示販売中!

お問い合わせ電話は
03(672)9094(内線33)
(日・祭を除くAM9:30~PM5:30)

東京都江戸川区西小岩4-13-25
TEL (673) 8505

24倍ズーム双眼鏡 申込書143係 商品番号6031

●7日間試してみて気に入らない時は返送料申込者負担で返品し、代金は支払いません。
●気に入った時は右記の方法で代金を支払います。
(分割価格あるいは現金価格のいずれか(一方の□の中に○印を記入して下さい))

第一回分割払金4,800円
あと月々3,500円×10回
(支払回数11回・支払期間11カ月)
□分割払価格39,800円(実質年率)
□現金価格36,000円(23.69%)
送料500円1回目にお支払い下さい
(商品に同封の払込用紙で郵便局より払込み下さい。)

〒□□□-□□ TEL

(フリガナ)
ご住所

(フリガナ)
お名前

保護者
ご署名

年令 歳

20才未満の方がお申込みの時に必要です

※印のないお申込みは無効です。必ずご捺印下さい。

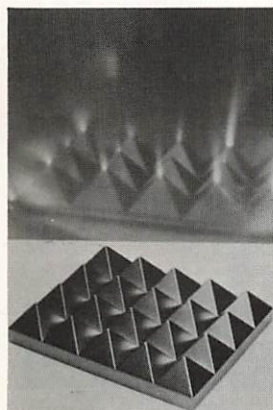
△ ピラミッド製品発売中!! △

——— ピラミッド・エネルギーをあなたのものに! ———

ピラミッド・エネルギーの発見以来、この力を実用化しようと数々の研究が行なわれてきたが、ついにアメリカのパット・フラナガン博士を中心とするピラミッド・プロダクツ社の研究員達によって“ピラミッド・エネルギー発生器”の開発に成功した。そして次々に新製品が開発された。以下は当社が自信をもって皆様におすすめするピラミッド製品(アメリカ製)の数々である。

エネルギー発生器

(ピラミッド・エネルギー・ジェネレーター)



ジェネレーターとエネルギーの発生している瞬間。(キルリアン写真による)

多方向磁場内蔵の結果南北の磁軸に合わせる必要がありません。ピラミッド模型より数倍のエネルギーが発生します。この上に置くだけで、コーヒー、タバコは味がマイルドに、食物は新鮮さを長く保つようになります。

●ポケットサイズ (3×5インチ) ¥3,200(送料共)

●ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥4,150(送料共)

エネルギー放射板

(ピラミッド・エネルギー・プレート)

ピラミッド・エネルギー(18ヵ月分)が注入してある特殊なアルミ板で、ジェネレーターと同じ働きをします。一週間に一度12時間、ジェネレーターの上に置くだけで100%エネルギーを放射します。枕の下に置けばこちよ睡眠ができます。

●ポケットサイズ (3×5インチ) ¥1,650(送料共)
●ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥1,950(送料共)
●キングサイズ (8×10インチ) ¥3,500(送料共)

アクセサリ

(ピラミッド・メダル)



●ピラミッド・メダル (男性用) ¥3,950(送料共)
●ピラミッド・ペンダント (女性用) ¥3,150(送料共)

エネルギーをよく吸収し、放射しやすい特殊合金でできています。一晚ジェネレーターの上に置いて体に付けると、あなたに宇宙生体エネルギーを補給することができます。

ピラミッド・テント

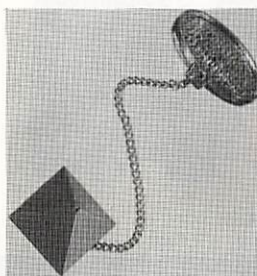
(モジュール・ピラミッドテント一式)



(組立式)

¥22,600(送料共)

ギゼーの大ピラミッドを正確に縮小し、ピラミッド・エネルギーで処理した特殊アルミ管製。ワンタッチで開くと四角錐の表面にエネルギー・スクリーンができ、方位を合わせると中にエネルギー場が出現する。植物の発育や、深い瞑想、安眠に役立ち、あなたの宇宙生体エネルギーを強化させます。



ピラミッド振子

(ペンデュラム)

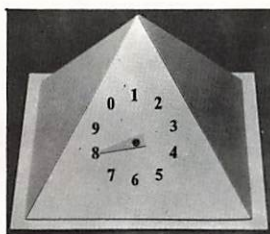
ピラミッド・エネルギー振子を使うと潜在意識が呼びさまされ、振子が四通りの動きをすることによって様々な問題の解答が得られます。

¥2,650(送料共)

パワーダイヤル

あなたの潜在能力を強化し肯定的な希望を実現に導く働きをします。1~10までのある一つの数があなたの自己数になりますが、その数をセットして目的実現のため、ピラミッドに向かって潜在意識に呼びかけるのです。

¥1,850(送料共)



ピラミッド・レプリカ

¥2,450(送料共)

底辺13インチ、高さ8インチのアルミ貼り厚紙製ピラミッド。

ピラミッド・エネルギー研究セット

¥1,700(送料共)

パット・フラナガン著「ピラミッドと宇宙生体エネルギーとの関連」とコンパス、高さ4インチ、底辺6インチの厚紙丸窓付ピラミッド模型3個がセットになっています。実験に最適です。

(上記の商品は全てアメリカのピラミッド・プロダクツ社の製品で、それぞれ詳しい日本語の説明書が付いています。)

(総輸入元)
マンカインド株式会社

(〒150) 東京都渋谷区宇田川町12~3 ニュー渋谷コーポラス1104
TEL. 03-464-8075

●ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)に商品名を明記して当社までお申し込み下さい。カタログ請求の場合は50円切手を同封して下さい。

大好評
発売中!

特典：お申し込みの方の中より抽選で毎月3名様にMOP双眼鏡8×30をプレゼント!

◆MOP高性能天体望遠鏡

(通産省光学検査合格品)

◆MOP本格派双眼鏡

(通産省光学検査合格品)

製造元 武蔵光学株式会社

全商品大特価セール 5年間品質保証書付 UFOをとらえるのはこれだ!

研究観測用高級機 100%反射型赤道儀式

MOP M109型

規格・性能 焦点距離
900mm 主鏡レンズ有
効径100mm(主鏡アルミ
ナイズメッキ) 分解能
1.16秒 極限等級11.8
等星 集光力204倍

装置 直進ヘリコイド
式繰出(接眼レンズ口
径24.5mm用)赤道儀兼
経緯台 微動装置ウォ
ームギヤー使用 赤経
・赤緯目盛環付

付属品付き
定価55,000円の品

特価37,000円
(送料2,000円)



チャンス!

MOP 610型

規格・性能 焦点距離
1,000mm 有効径60mm
(アクロマートレンズ
使用) 分解能1.9秒 極
限等級10.7等星 集光
力73倍

付属品 サングラス
6×30mmファイナダー
天頂プリズムHM6mm
HM12.5mm K20mm
バランスウェイト2 フ
レキシブルハンドル2
木製2段伸縮三脚

研究観測用高級機
60%屈折赤道儀式

チャンス!

定価55,000円の品
特価
36,000円
(送料2,000円)



MOP双眼鏡8×30

スタンダードな小型機

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径30mm
射出瞳径3.8mm 明るさ
14.1 実視界7.5度 1000
m先の視野131m 高さ
11.5cm 重さ550g

定価11,500円の品

特価8,500円
(送料800円)

チャンス!

付属品 ソフトケース
保証書 使用説明書



●ミクロンシリーズ

持ち歩きに便利な
高性能機!

規格・性能 倍率10倍
対物レンズ有効径40mm
射出瞳径4mm 明るさ
16 実視界7度 1000m
先の視野123m 高さ12
.3cm 重さ490g

10×40

付属品ハードケース

MOPミクロン10×40

チャンス!

定価17,300円の品
特価
13,800円
(送料800円)



MOP双眼鏡20×50

高倍率大型機!

規格・性能 倍率20倍
対物レンズ有効径50mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界3度
1000m先の視野52m
高さ17cm

全機種特価

広告に記載されて
いない商品も格安
にて販売!!お気軽
にお問い合わせ、ま
たはご一報下さい。

付属品 ハードケース
保証書 使用説明書

定価18,000円の品
特価11,500円
(送料800円)

チャンス!



●ミクロンシリーズ

ポケットにピッタリ!

規格・性能 倍率8倍
対物レンズ有効径20mm
射出瞳径2.5mm 明るさ
6.3 実視界5度 1000m
先の視野88m 高さ7.1
cm 重さ185g

8×20

付属品ソフトケース



定価14,000円の品
特価
11,000円
(送料800円)

チャンス!

ご注文方法 広告価格はすべて現金価格です。ご注文の場合は品名・住所・
電話番号・氏名を明記し、現金書留でお申し込みください。

あて先

IS 株式会社インターナショナルサイエンティフィック (旧社名英intel)

〒193 東京都八王子市小比企町2957-9 ☎0426(25)7941

【お知らせ】

当社製品の販売代理店を募集します。当社まで資料をご請求下さい。またこの広告につ
いてのお問い合わせは当社調査室(TEL0426-25-7941)までお電話でお願い致します。

カタログ無料進呈

当社全製品満載のカタ
ログを無料で差し上げま
す。切手100円を同封し
下の請求券をはって
お申し込み下さい。

カタログ請求券
UFO 28

High S型赤道儀シリーズ Low



GV700

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F700%
フルコート 同焦点
接眼鏡 HM6% HM12.5%
倍率 117× 56×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サンダース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥59,800

モータードライブ ナシ

¥44,800



No. GV1000

60%赤道儀兼経緯台

対物レンズ アクロマート
コーティング
D60% F1000%
フルコート
接眼鏡 HM6% HM12.5% K25%
倍率 167× 80× 40×
接眼部 24.5% 36%兼用
付属品 天頂プリズム
サンダース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥61,500

モータードライブ ナシ

¥46,500

安定性の低い小型赤道儀の時代は終わった。そしてガバナー制御のモータードライブ付大型赤道儀の時代が始った!!



SH100D

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D100% F800%
接眼鏡 フルコート 同焦点
HM6% HM12.5%
倍率 133× 64×
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 専用
付属品 サンダース
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥51,500

モータードライブ ナシ

¥36,500



No. SH900

100%反射式赤道儀兼経緯台

主鏡 D114% F900%
接眼鏡 フルコート
HM5% HM8% K25%
接眼部 ラックピニオン式
24.5% 36%兼用
付属品 サンダース
光軸アイピース
6×23%ファインダー
S型赤道儀一式
スライド式三脚一式
モータードライブ
(SMD)

モータードライブ付

¥61,800

モータードライブ ナシ

¥46,800

(モータードライブは後日購入も出来ます。)

S型赤道儀は一クラス上の大型赤道儀………小型赤道儀は微振動が多い為、観測しにくく写真撮影も思う様に出来ません。従来の赤道儀の欠点を補って新設計されたS型赤道儀は微振動が少なくて安心です。

S型赤道儀は上下角微調節ネジ付………今迄は10万円クラスの高級品にしか採用されていませんでした。

S型赤道儀は移動するロールバランスウェイト軸………今迄は15万円以上の高級機専用でした。

S型赤道儀のモータードライブは二電源方式のガバナー（電圧安定装置）制御のDCサーボマイクロギヤードモーターですので精度の良い回転が得られ、単3乾電池4本(6V)又家庭用100V電源の両方が使用出来ます。

S型赤道儀シリーズはコストパフォーマンス（価格に比べた品質と性能）が最高で他の及ぶ所では有りません。

●写真撮影用カメラアダプター（35%一眼レフ専用 屈折望遠鏡接眼鏡36%専用）

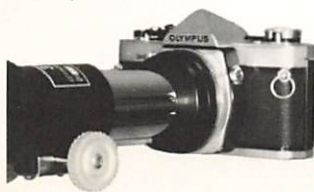
天体写真、地上写真のどちらにも使用出来ます。直接撮影方式で望遠鏡が超望遠カメラ用交換レンズと同じ事に成りますので、他の方式に比べてもっとも鮮明に写せます。

¥3,300

＜使用出来る35%一眼レフカメラ＞ ペンタックス(S&Kシリーズ)
フジカ、マミヤ、リコー、ヤシカ、ニコン、キャノン、ミノルタ、オリンパスOM、
コニカ(新)、ミランダ (注文時カメラ名お知らせ下さい。接眼鏡24.5%径は使用不可)

●地上用ズーム接眼鏡

正立像 6%~18%ズーム
天体望遠鏡がズーム式地上望遠鏡に使えます。¥4,500



ご注文は代金、送料を送金下されば返品致します。又はご来社下さい。

株式
会社

スリービーチ 光学部UFO係

光学部TEL 東京03
(850) 6110

〒121 東京都足立区平野 3丁目7番17号

振替口座 東京 7-103033

総合カタログ・切手100円同封の上お申込み下さい。

(広告有効期間・本誌号月の月末迄)

スイスからやってきた 不思議な腕時計

“ポラウォッチ”

文字盤はあなたの
デザインで……。

¥13,800(千共) T-75
スイス製、完全保証6ヵ月、17石
耐震装置付
(代金後払いは¥14,800)

30秒が待ちどおしい。



●好きなロック
グループやスター
の写真を雑誌のグ
ラビアなどから切り
ぬいて、アイド
ルウォッチ (あこ
がれのスターといつもいっしょ)

●恋人同士で互い
の写真を入って交
換しよう、ペアウ
ォッチ ●学校のマ
ークを入ると、
キャンパスウォッチ

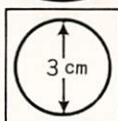


●自分が描いたイラストを入れて、イ
ラストウォッチ ●星座
のマークを入れて、星座ウ
ォッチ ●ジャイアンツの
ファンは、マークを入れて
プロ野球ウォッチ ●PEACE &
LOVEなど言葉を入れてメッセージウォッチ

ご注意

お手持ちの写真、雑誌に掲載されたグラビア写真、プロ
マイド、漫画、イラストなどは、約5cm四方に切りぬいて、
お送りください。イニシャル、メッセージ(例えばI love you …)
ご自分で描くイラストなどは、5cm四方の台紙にペン・筆・ロットリングで
ていねいに描いて、お送りください。なお、時計の場合厚さはふつうの写真
程度。中心に穴があきますのでその点もご考慮ください。

●また写真はなるべく明るく、コントラストのあるものをお選びください。

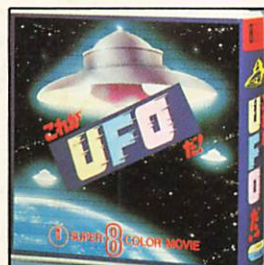


キミの淳子、久美子、百恵、プレ
スリー、BCRがいつもキミの腕
に。もちろん恋人の写真ならなおす
てき。このポラウォッチの文字盤は
あなたが自由にデザインしてください。

30秒ごと、ほら、くっきりと現われ……そして消
え……また現われます。どうですか、世界になっ
たひとつしかない、あなただけの“ポラウォッチ”
ナウな感覚、活動派ならひとつは持ちたいファッ
ション時計、今ヤング仲間で大評判です。

現代の謎UFOに挑む!

月旅行があなたのものに!



これがUFOだ!
スーパー 8 カラー ● (55m
=9分) 光学録音(テープ別売)
¥9,800(千共)

(★光学録音カセットテープ別売 ¥1,000)



**宇宙人は
地球にきた!**
スーパー 8 カラー ● (55m
=9分) 光学録音(テープ別売)
¥9,800(千共)

8
ミリ
映画
好評
発売
中



地球は青かった!
スーパー 8 カラー ● (55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)
¥9,800(千共)



人類月に立つ!
スーパー 8 カラー ● (55m=9分)
光学録音(カセットテープ付き)
¥9,800(千共)

東宝株式会社製作

★★★★ ポラウォッチ・8ミリ映画申込書 ★★★★★

商品名 時計 ポラウォッチT-75	8ミリ題名
住所: 千	
氏名:	年令 才 電話
保護者氏名:	(印) (20才未満の方は、保護者の氏名) 捺印をお願いします。
送金合計金額	円 個 UFOと宇宙

お申し込み方法

★別紙に左の要領で記入の上、代金と共に現金書留
でお送りください。なお時計の場合あなたがデザイ
ンした文字盤(約5cm四方)を必ず同封することを、
お忘れなく。商品はお申し込み後7日以内に発送い
たします。代金後払いは¥1,000プラスされます。

★カタログご希望の方は、商品名と年令
を書いてお申し込みください。

申し込み先
〒104 東京都中央区築地1-3-4 築地警察署
ヤングショップ・ツクダ 係
☎03(543)2733